

2016年 四季折々【15】

■ 四季折々 Mutsu 神戸便り 2016

■ 神戸で 思いつくまま From Kobe 2016

2017. 3. 1.

【四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り 2016】



【神戸で 思いつくまま From Kobe 2016】



by Mutsu Nakanishi

home page 更新時に四季折々の花・風景 そして 好奇心一杯でトライしたことや
その時折々 頭にあることを綴ったメモなどを集めました

和鉄の道・Iron Road

鉄の「まばゆい輝き・閃光」と「黒光り・肌光」

日本には「たたら製鉄」という鉄鉱石や砂鉄の塊から、
「硬くてねばい鋼」を直接作り出す日本古来の製鉄法がある。
ヒタイトが人工鉄を発明した当初の姿を現代まで残し、
現在の製鉄法にも負けない高品質の鋼を作り出す技術に高め、
維持している日本独自の製鉄法である。



日本に「鉄」が伝来して、この「たたら製鉄」が行われるまで、
約 800 年の長きにわたってたたら製鉄法の摸索が続き、その技術を
さらに磨き高めながら 1500 年続いてきた日本独自の製鉄技術。

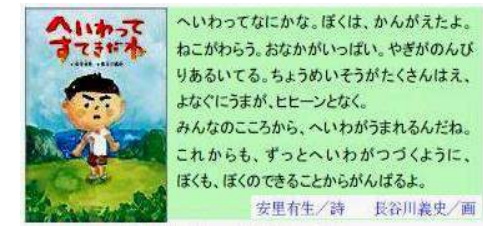
「鉄は国家なり」「鉄は産業の米」と「鉄」の力が強調されるが、
一方で文化を育み、そこに住む人たちの生活を豊かにし、
現在に至る日本を作ってきた。

今、急速な社会変革の中で この製鉄にともなう数々のドラマが忘れ
去られ、日本各地の「たたら製鉄」遺跡もろとも消え去ろうとして
いる。和鉄の道での数多くの人たち・賑わい そして数々のドラマ
が、周りの美しい景色とともにうもれて残っています。

そんな日本で繰り広げられたドラマ そして その痕跡の風景を少し
でも残しておきたいと home page に掲載してきました。

同時に ほぼ毎月更新してきた Home page のトップ[®]には その四
季折々 私の好きな花 ・好奇心いっぱいでの取り組んだこと・Country
walkの風景などを紹介するとともに その折々 頭にあった時代の流
れ・技術・社会などへの自分の思いを From Kobe として書き綴って
掲載してきました。

home page のトップページは更新ごとに消えてしまうので、その時々
を忘れぬよう残しておきたいと「四季折々・From Kobe」として
ファイルし、それを毎年一冊の小冊子にまとめています。
自分勝手なわがままな思いのメモ書きばかりですが、自分の生きる指
針でもあります。



神共に居まして
得られるものを変える「勇氣」
変えられないものを受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニーパーの祈りより

「まあええか 元氣だして行こう」と
心は行ったり来たりですが
好奇心さえあれば・・・と前向いて
お互い笑顔で 前向き思考 元氣で乗り切って行きましょ

from Kobe Mutsu Nakanishi



災害や病気など数多の困難の中に居られる方々にエールを !!
いつも 思いをはせています。 ♪
「忘れまい 忘れないで 仲間がいる」
暖かい希望の輪が繋がっていることを ♪



世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

2016年 四季折々 目次

[mutsu2016.pdf](#)

- 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り 【15】 2016 [mutsu2016.pdf](#)
- 神戸で 思いつくまま From Kobe 【15】 2016 [kobe2016.pdf](#)

■ 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り 【15】 2016 [mutsu2015.pdf](#)

■ 四季折々 Monthly page 2016 更新時のhome page の top pageを集めて収録しています

年賀 1月 2月 3月 4月 5月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

1月 年の初め 迎春の便り

1. 2016年 年の初め 迎春の便り
2. 絶やすまい 忘れまい 1995.1.17 の記憶
3. <<三猿>>と<<新三猿>>
4. 賀状にあふれる仲間の顔
5. 天王山の山腹 山崎聖天さんの石段
6. 今月の home page 更新記事

2月「如月」の便り 春が待ち遠しい

1. 春が待ち遠しい 2月「如月」の便り
2. 節分 追儺式 そして「鬼」の話
3. なにか ほっこりする話は?
◆ネズミに見えるジャガイモ
◆バレンタインのハートの花の環
4. 今 淡路島が面白い 淡路島に前方後円墳????
5. 今月の home page 更新記事

弥生3月 春便り どこかで春が生まれてる

1. 弥生3月 春便り どこかで春が生まれてる
2. 東播磨の溜池にこんなものが設置されていた
3. 3.17東日本大震災 被災した人達を忘れずに
4. 東大寺のお水取りと若狭遠敷の里の水送りの行事
アテルイと坂上田村麻呂交流の痕跡を知る
5. 今月の home page 更新記事

4月春爛漫 春便り 出会いと出発へ日々新らた

1. 春爛漫 4月春便り 出会いと出発へ日々新らた
2. 満開の花をつけた枝を精一杯大空に掲げる一本桜
人それぞれに思い出がある
3. 神戸の話題 イカナゴの「夏眠」と幻の神戸石炭
4. 春の陽気に誘われて 好奇心一杯で
久しぶりに見る狂言・大阪散歩・淀川背割りの堤
5. 今月の home page 更新記事

7月の便り 待ち遠しい 梅雨明け

1. 梅雨明けが待ち遠しい7月の便り
6月23日「命は宝 沖縄慰霊の日」
沖縄の現実を我が身に
2. 本年の須磨離宮のバラ
春の終わりを飾るローズフェスティバル2016
3. 淀川の源流はどこ?
4. 鉄の惑星 地球の壮大な営み
「豊かな森に包まれた山の『鉄』が豊かな海をは育む」
5. 今月の home page 更新記事

8月 ひまわりの夏 2016 の 便り

1. 8月 ひまわりの夏 2016
2. 自らと向き合って
平和の危機「憲法九条を守ろう」
3. 高校野球の観戦とともに夏が来た
郷土の「市尼」 甲子園出場 おめでとう
4. 京都半日会 京朝顔展
5. 今年もハオハブの木が花をつけた
6. 今月の home page 更新記事

9月 初秋の便り

1. 初秋の便り
2. 夏の甲子園へ 今年も孫と
3. 格安スマホで LINE に挑戦
4. 新名神高速道路建設が着々と
5. 今月の home page 更新記事

10月 秋便り 身も心も弾む里の秋

1. 10月 秋便り
里の秋 胸膨らませ、今を元気にと
2. マンドリン オーケストラ
3. 飛行機雲
4. 孫の運動会
5. 今月の home page 更新記事

11月 深まりゆく秋の秋桜便り

1. 11月秋 秋桜便り
2. 故郷「尼崎市制100年」
仲間が描く「尼崎風景」が記念切手に
3. 小野アルプス「紅山」 南稜岩尾根のスロープ
4. スマホの緊急地震警報音 はじめて鳴ってびっくり
5. 人恋しい秋 秋の夜長 色々思い浮かべて
6. 今月の home page 更新記事

12月 Merry Christmas!! 2016年師走

1. 2016年 Merry Christmas!! 12月 師走
2. 2016年和鉄の道を振り返って
3. 師走の紅葉 こんな紅葉が見られました
4. 今月の home page 更新記事

■ 神戸で 思いつくまま *From Kobe* 【15】 2016 kobe2016.pdf

- 【From Kobe 2016年1月 迎春】 fkobe1601.pdf
1. 2016年 年の初めに 溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光り「肌光」
 2. <縄文の心> 一万年も平和な生活が続いた 「縄文」のエンジンは「他人を思いやる心」
- 【From Kobe 2016年2月 如月】 fkobe1602.pdf
1. 春が待ち遠しい如月の便り
 2. 阪神淡路大震災の記憶 「風化させてはいけない記憶とはなんなのだろうか？」
- 【From Kobe 2016年3月】 fkobe1603.pdf
1. どこかで春が生まれてる 弥生3月の便り
 - ◆ 弥生3月 雌岡山・神出の里の田園地で見つけた春
 - ◆ 原発再稼働トラブルに見る日本人気質
 - ◆ 播磨地域に広がる溜池群を利用したメガソーラー発電所の建設
- 【From Kobe 2016年4月 春爛漫】 fkobe1604.pdf
1. 春爛漫 4月の便り 新しい出会いと出発へ 日々あらた 元気に今を
 2. 神戸の春
 - ◆ 毎春の恵み イカナゴ漁と牡蠣の水揚げ また「イカナゴの夏眠」
 - ◆ わが町 妙法寺「車」周辺の谷筋は 幕末期神戸開港を支えた神戸石炭の大生産地
 3. この四月 TV ニュース番組の芸能番組化 また おかしかった朝日新聞の紙面構成の変化
- 【From Kobe 2016年5月 新緑】 fkobe1605.pdf
1. 新緑 5月の便り 野も山も里も草木燃え 輝きの一瞬 戸外へ出て元気に
 2. 緑色にはどれほど種類があるのだろうか 知らなかった緑色にびっくり
 3. 神戸三宮・元町「高架下」商店街が高架の耐震補強で存続の危機に!!
- 【From Kobe 2016年7月 happy rainy days!!】 fkobe1607.pdf
1. 7月初旬の便り happy rainy days!!
 2. NHK BS 英雄たちの選択
征夷大將軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」評価討論から見えてくること
 3. 合成の誤謬」と今の世相 インターネットで見つけた「合成の誤謬」の評論を見つけて
- 【From Kobe 2016年8月 ひまわりの夏】 fkobe1608.pdf
1. ひまわりの夏 2016の便り 8月 自らと向き合って 平和の危機「憲法九条を守ろう」
 2. 法政大学総長田中優子氏「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」
神戸新聞 2016.8.1. 朝刊記事「識者の視点」のご紹介
- 【From Kobe 2016年9月 初秋】 fkobe1609.pdf
1. 9月 初秋の便り 青空を吹きわたる爽やかな風に気分も新た
 2. 地球の気象異変をわが身のものとして 考えよう!!
- 【From Kobe 2016年10月 里の秋】 fkobe1610.pdf
1. 10月 里の秋の便り 胸膨らませ、今を元気にと
- 【From Kobe 2016年11月 秋桜の秋】 fkobe1611.pdf
1. 秋桜便り 11月 秋桜便り 道端のコスモスにふっと顔を寄せる
 2. 神戸港で 深海調査船「しんかい6500」とその 母船「横須賀」一般公開
- 【From Kobe 2016年12月 Merry Christmas !! 2016 師走】 fkobe1612.pdf
1. 12月 Merry Christmas !! 2016 師走の便り
 2. この世界の片隅で 久しぶりに映画「この世界の片隅に」を見て



ホームページ更新時 ホームページ更新の紹介とともに、四季折々の季節の花や風景
そして頭にあることなどを私のメモ代わりに 掲載してきました。
もう 10 数年を越え、神戸を中心にした四季折々の風物詩 毎度同じ風景ばかりにな
っていますが、その時節になると訪れないと何か忘れ物をしているようで……。
また、やっぱり お伝えしておかねば……と。
本年もそんな 四季折々の花・里景色の羅列に毎月なってしまいましたが、
どこかで そんな景をゆったりと眺めていただき、また 何かのおやくにたてば……と。
もう 新しいことを始めるす力はありますが、まだまだ 好奇心はある!! 前向いてと。

災害や病気など数多の困難の中に居られる方々にエールを !!

いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる」
暖かい希望の輪がつながっていることを」


神 共に居まして

得られるものを変える「勇気」
変えられないものを受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を

ニーバーの祈り より

日々新た 今できることを 精一杯
無理せずゆっくと

「まあええか 元気だして行こう」と
心は行ったり来たりですが
好奇心さえあれば……と前向いて
お互い笑顔で 前向き思考
元気で乗り切って行きましょう



ジョージ・カーリンのメッセージ

◎ 「老いを楽しく生きるために」

「老いを嘆くことはない。100才になったら
赤ちゃんに戻るんだから……」
そして、忘れてはいけない。
人生とは自分が息を吸う数ではなく、
吐く瞬間で測定するものです。
充実した毎日を生きましょう!!

◆ WMV 動画
“ Philosophy For Old Ages ”

■ 四季折々 Monthly page 2016 更新時のhome page のtop pageを集めて収録しています

年賀 1月 2月 3月 4月 5月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

1月 年の初め 迎春の便り

1. 2016年 年の初め 迎春の便り
2. 絶やすまい 忘れまい 1995.1.17の記憶
3. <<三猿>>と<<新三猿>>
4. 賀状にあふれる仲間の顔
5. 天王山の山腹 山崎聖天さんの石段
6. 今月のhome page 更新記事

2月「如月」の便り 春が待ち遠しい

1. 春が待ち遠しい 2月「如月」の便り
2. 節分 追儺式 そして「鬼」の話
3. なにか ほっこりする話は?
◆ネズミに見えるジャガイモ
◆バレンタインのハートの花の環
4. 今 淡路島が面白い 淡路島に前方後円墳????
5. 今月のhome page 更新記事

弥生3月 春便り どこかで春が生まれてる

1. 弥生3月 春便り どこかで春が生まれてる
2. 東播磨の溜池にこんなものが設置されていた
3. 3.17.東日本大震災 被災した人達を忘れずに
4. 東大寺のお水取りと若狭遠敷の里の水送りの行事
アテルイと坂上田村麻呂交流の痕跡を知る
5. 今月のhome page 更新記事

4月春爛漫 春便り 出会いと出発へ日々新らた

1. 春爛漫 4月春便り 出会いと出発へ日々新らた
2. 満開の花をつけた枝を精一杯大空に掲げる一本桜
人それぞれに思い出がある
3. 神戸の話題 イカナゴの「夏眠」と幻の神戸石炭
4. 春の陽気に誘われて 好奇心一杯で
久しぶりに見る狂言・大阪散歩・淀川背割りの堤
5. 今月のhome page 更新記事

7月の便り 待ち遠しい 梅雨明け

1. 梅雨明けが待ち遠しい7月の便り
6月23日「命は宝 沖縄慰霊の日」
沖縄の現実を我が身に
- 2 本年の須磨離宮のバラ
春の終わりを飾るローズフェスティバル2016
3. 淀川の源流はどこ?
4. 鉄の惑星 地球の壮大な営み
「豊かな森に包まれた山の『鉄』が豊かな海をは育む」
5. 今月のhome page 更新記事

8月 ひまわりの夏 2016 の 便り

1. 8月 ひまわりの夏 2016
2. 自らと向き合って
平和の危機「憲法九条を守ろう」
3. 高校野球の観戦とともに夏が来た
郷土の「市尼」 甲子園出場 おめでとう
4. 京都半日会 京朝顔展
5. 今年もバオバブの木が花をつけた
6. 今月のhome page 更新記事

9月 初秋の便り

1. 初秋の便り
2. 夏の甲子園へ 今年も孫と
3. 格安スマホで LINE に挑戦
4. 新名神高速道路建設が着々と
5. 今月のhome page 更新記事

10月 秋便り 身も心も弾む里の秋

1. 10月 秋便り
里の秋 胸膨らませ、今を元気にと
2. マンドリン オーケストラ
3. 飛行機雲
4. 孫の運動会
5. 今月のhome page 更新記事

11月 深まりゆく秋の秋桜便り

1. 11月秋 秋桜便り
2. 故郷「尼崎市制100年」
仲間が描く「尼崎風景」が記念切手に
3. 小野アルプス「紅山」 南稜岩尾根のスロープ
4. スマホの緊急地震警報音 はじめて鳴ってびっくり
5. 人恋しい秋 秋の夜長 色々思い浮かべて
6. 今月のhome page 更新記事

12月 Merry Christmas!! 2016年師走

1. 2016年 Merry Christmas!! 12月 師走
2. 2016年和鉄の道を振り返って
3. 師走の紅葉 こんな紅葉が見られました
4. 今月のhome page 更新記事



**生命をつかさどる元素・文明を支える元素として「鉄」がなければ 人類は生きてゆけない
溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光り「肌光」その輝きの中に燦然と輝く人類の知恵の数々**

グローバル・高度情報化社会と日本の成長繁栄が声高に叫ばれる現代社会のほころびが見えだし、気候温暖化の激変・環境変化・格差と貧困の急激な進行そして紛争と戦さ。 世界が今 新しいスタンダードを探し求めている。地球温暖化はもう抜き差しならぬ状況になり、 極端な格差社会が新興国のみならず、先進国でも軒並み 貧困差別と争いを引き起こしている。

この激変の真ただ中で、ただひたすら、東京一極集中を追い続ける日本。 抜き差しならぬ状況の中 さらに高齢化成熟社会の厳しさが忍び寄る日本。これが人類が追い続ける未来繁栄の道なのだろうか???

「一億総活躍社会」の掛け声にも 首をかしげたくなる未来不安の世相が蔓延し、他人事だった現実が我が身にふりかかる日々に ハッと気が付く。「昔はよかった」と振り返っても なんの役にも立たない。

今 一度立ち止まってグローバル・高度情報化社会の現実を直視せねばと……

今 出口を見致す転換をしないと人類・地球滅亡への道の縁にいと。

なにか 満たされぬ閉塞感から脱する新しい道を今踏み出さねば……………

「どう 生きればよいのか」 あれこれ思いめぐらす中での 新しい年の始まりです。

世界が注目する縄文の「他を思いやる 心優しき縄文」

**1 万年を超える長きにわたり、平和で豊かな社会を築いた日本の縄文
世界にも類例のない平和な永続社会 その原点には何があるのか…**



ほかの動物に狩猟・採取の生活を見ると
「乳離れするまでは 面倒を見るにしろ、狩猟・採取の移動の中で群れについて行けなくなると置いてきぼり」
それが狩猟・採取の生活の厳しさ。
そんな縄文の狩猟・採取の時代に 幼くして小児麻痺の少女が 成年期を経て、一生 多くの人達に見守られ、村で暮らしていた。また、猟犬として飼われていた犬たちが、家族同様 大切に暮らしていた証拠もある。

人間の間たる所以は「他人を思いやる心」。

人は心を許す仲間なくして生き延びてはこれなかった。それを「愛」という人もいる。

今 厳しい競争社会の中で それが大きく揺らぎ、忘れ去られてきた。

「甘っちょろい」との声もあるが、「他人を思いやる心」なくして 人類は生き延びてこれなかった現実を先端の科学そして歴史が証明している。

現代社会が忘れたものを今の現代社会に取り戻すことが、閉塞した現実を突破する糸口になるだろう。

◎ 手にしていたすべてが一瞬にして消え去って 立ちすくんで 途方に暮れた中で 神戸の街が一つの輪になって立ち向かった震災の記憶。

◎ グローバル・効率化と激烈な競争の中で、現代人・社会が忘れ去ってしまったもの
それを思い起こさせてくれたルミナリエの光の環

また、かつて 世界に類のない「1万年もの長きに渡って 平和で豊かな永続社会築いた日本の縄文」

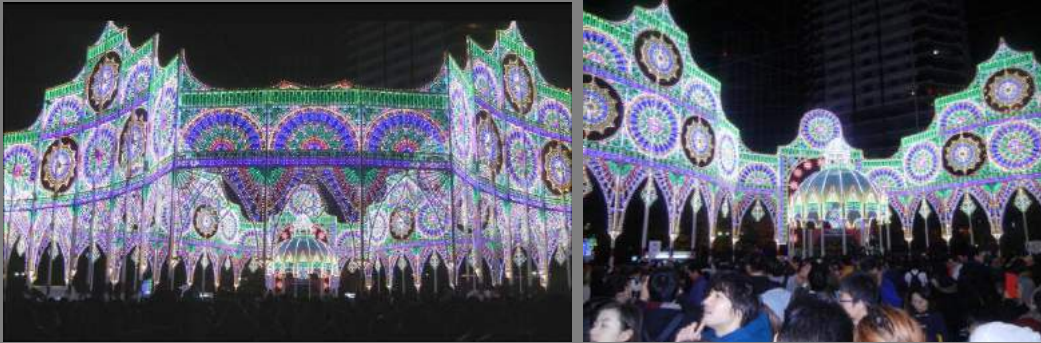
今 世界が「日本の縄文」に着目し、現代社会を見直そうとしている。

そんな「日本の縄文」にも現代を見直す知恵がある。

欲望・競争の渦から抜け出して 取り戻そう 「他人を思いやる心」を。

新しい価値観として次の世代へ伝えねばと。

《2015年12月21回目を迎える神戸に ルミナリエの灯が灯り、多くの笑顔に出会えました》



2015年神戸 ルミナリエ 2015.12.5.

神戸淡路大震災から21年 震災を経験していない若者が増え、
震災のことが街の話題に登ることもめっきり少なくなってきましたが、
でも、真っ暗な中に ルミナリエの灯がともった時の感動は忘れない。

神戸の街が一つの輪になって よろこびあった暖かい灯。それは変わらず。

観光化の懸念も年々論議されていますが、「神戸が一つになれた希望の灯 これを忘れまい」

鎮魂から未来へ この神戸の灯をいつまでも灯し続け、震災の記憶を語りつなごう。



2015年神戸 ルミナリエ 2015.12.5.

光の環に飛び込んで「神戸が一つになれた希望の灯

忘れまい」鎮魂から未来へ この神戸の灯をいつまでも灯し続け、震災の記憶を語りつなごう。

◆ 競争社会から成熟社会へ移行する日本に必要なのは「縄文かえり・心の優しさ」では・・・

朝日新聞天声人語にこんな記事が・・・

ヒューマンを特徴づける「利他的精神」がこんなところにも

2014.5.6. 朝日新聞「天声人語」より

天声人語

おもしろい実験をネットで見
た。2本の高速道路が合流する
場合、どうすればすんなりと車
線変更できるかを探っている。
「渋滞学」の生みの親として知
られる東大の西成活裕教授が説
く。合流する直前まで互いが見えない
状況ですぐに車線変更しようとすると、
ぶつかりそうになったり、詰まったりす
る。危ない。そこで合流地点から一定の
距離を車線変更禁止とする。するとその
間、互いを見合い、譲り合いながら車線
を変えられるようになる▼われ先に走る
よりは、まわりとコミュニケーションを
取りながら運転するほうが、結果的に速
くなる。車間距離を十分に取ることもど
れど、道路の流れをよくするための
知恵である▼この実験は「利他的精神実
験」と銘打たれている。西成教授が強調
するのは、他のドライバーへの思いやり
だ。目先のプラスばかりを追わず、長期
的視野を持つ。情けは人のためならず。
損して得とれ、とも。頭ではわかってい
ても、なかなか実行できないところが凡
夫の悲しさか▼きのう、Uターンラッシ
ュに巻き込まれた方も多めにない。
きょうも混雑が続くだろう。渋滞のスト
レスを長時間受け続けるつらさはいかば
かりか。どこにも出かけずじっとしてい
た身には、お気持ちを押察することしか
できない▼大型連休が終わる。朝の駅の
雑踏が戻ってくる。遅い流れにいら立
って、ともすると前に出たがるのを自
戒することにする。急がば回れ、だ。

2014・5・6

人間が人間たる由縁は「他を思いやる心」を持っていること。現生人類が現代にまで、幾多の苦難を乗り越え、文明を発展させて 今まで生き延びることが出来たのは、この「他を思いやる心・利他的精神」を持ち合せていたからだという。そんな「心やさしき」縄文人は 世界3大文明に先駆け、縄文文化を花開かせ、日本人の心のふるさととなった。激しい競争社会が展開させる現在 今一度 この人類史の現実をみつめ直す必要がある。ややもすれば 自己責任を強要する現代社会への警鐘 こんな身近な例からも社会を考えるヒントがある。

2014.5.6. from Kobe Mutsu Nakanishi

人類の歴史の中で 他に類を見ない1万年という長きにわたり、平和な継続社会を築いた「縄文」

今こそ 「日本人のルーツ 心優しき縄文人」 の心を今取り戻そう。

心を許す仲間なくして生き延びてはこれなかった人類。


その繁栄の道はただ一つ「他人を思いやる心」。

年齢70を越え、無理は効かぬし力もなし。でも まだまだ 好奇心は旺盛 元気はある

今一度 家族・仲間を そして世界平和の道を思い浮かべつつ、

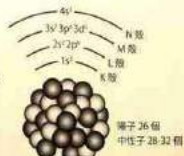
仲間の元気を活力に!! 無理せず 元気に前向いて 本年もよろしくお願いします。


迎春 2016




鉄 Fe

- 原子番号 26
- 原子量 55.845
- 同位体存在度 (%)
- ⁵⁴Fe 5.845
- ⁵⁶Fe 91.254
- ⁵⁷Fe 2.119
- ⁵⁸Fe 0.282
- 酸化数 0, 2, 3







2016.1.1. by Mutsu Nakanishi

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

一万年も 平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」

日本人のふるさと縄文

VIDEO 動画

縄文の心を映すストーンサークル

縄文かえりのすすめ

◆ 「縄文の心を映すストーンサークル」を訪ねる

2015.10.10.改訂



***** 1月 迎春の便り 2016.1.1. *****

《2016年 和鉄の道・Iron Road》

人工鉄が生まれた西アジアから東へ ユーラシア大陸を東西に結ぶ Metal Road

今 鉄の起源・日本のたたら製鉄伝来への道が解き明かされつつあり、

今年はさらにはっきり見えてくる そんな 期待の年に

シルクロードに先立ち、ユーラシア大陸を東西東西に結ぶ金属器・鉄器文化東遷の道

Metal road・Iron Road



村上恭通教授を中心とする愛媛大学東アジア古代鉄文化センターは、5年に渡り、中国やモンゴル、トルコ、ロシア・ハカス共和国、カザフスタンなどのユーラシア大陸の諸国・日本の研究者をも巻き込んで、ユーラシア大陸諸国での製鉄遺跡の共同調査 および研究交流を推進。今まで ベールに閉ざされていた鉄の起源・並びに日本のたたら製鉄につながる古代製鉄技術東遷の道が新しい知見・発見を含め、解き明かされつつある。本年にはこの連携プロジェクトの数々の成果を一括してまとめ 国際会議を開き 区切りをすると聞か。

「鉄の起源並びに時代を超えた製鉄技術伝播の道くメタルロード」解明の連携プロジェクト」成果例

- ◆人口鉄を初めて作ったとされてきたヒッタイト以前の最古の鉄を 西アジア アナトリア高原カマンカレホエック遺跡で発掘 ヒッタイトが人工鉄を初めて作ったとの定説を覆す
- ◆鉄の起源に迫る銅主生産地パレスチナ/キプロスでの銅製錬と密接な関係を示す多数の出現期鉄器の存在の確認と同時期のパレスチナ製銅遺跡出土の鉄滓・小鉄塊の調査
- ◆ヒッタイト滅亡後 ユーラシア大陸伝播の出発点 古代鉄東遷の鍵を握るジョージア周辺の製鉄遺跡群調査
- ◆ロシア シベリア・モンゴル匈奴の製鉄遺跡調査 中央アジア草原の道とシベリア遊牧民は製鉄を含め生産基地を持たないとする定説を覆し、遊牧民は製鉄を行っている
- ◆四川成都高原の蜀・漢代の製鉄遺跡の調査等々 黄河・中原が製鉄の根拠地とみられてきた中国古代 蜀・漢代成都平原を中心とした製鉄遺跡群
- ◆インド・スリランカ・東南アジア伝播の道も。スリランカの珍しい自然送風巨大箱型炉を思わせる風炉

毎年 一度 その年の成果報告を中心に鉄の起源・鉄のユーラシア大陸東遷の道(Metal Road)の話が聞けるうれしいシンポジウム。2015年末には 新たに ウラル・モンゴル・シベリアの古代製鉄遺跡そしてインド・スリランカ・東南アジアの古代製鉄なども紹介され、ユーラシア大陸鉄東遷のメタルロードが解き明かされつつあると強く感じました。また センセーショナルに伝えられたパレスチナでの製銅現場での鉄・小鉄塊が鉄の起源とのイメージも強くなってきたと 来年の成果まとめに益々期待が膨らんでいます。

《鉄の起源を考える西アジアの鉄についての新たな視点 銅生産と初期鉄器の出会い》

「最初の人工鉄は 銅生産の副産物として 生まれた」との提案と調査

アナトリア高原でのヒッタイト以前世界最古の人工鉄&鉄滓の発掘や古代銅生産の中心地「パレスチナ」での数多くの古代鉄器・鉄滓の出土調査や 鍛冶遺跡の調査などから、「人工鉄はヒッタイト以前 最初 銅生産の副産物として、パレスチナで始まった可能性がある」との新しい見方が提案され、注目されている



一方、国内では1から3世紀 倭国魏志倭人伝の時代 朝鮮半島交易の中心地として栄えた 吉岐カラカミ遺跡から出土した「炉壁・立派な羽口のある地上炉でありながら、鉄滓・鍛造剥片も少なく、また出土する鉄が殆ど未完成のくず

小鉄片という特異な特徴をもつ地上炉」を巡り、カラカミ遺跡の発掘調査を行った九州大学 宮本教一夫教授らは「朝鮮半島などから集めた融点の低いくす銑鉄を製鉄原料として鉄素材を作った製鉄炉(製錬鍛冶炉)であろう」との報告があり、注目される。 2015.3.1. 大阪中之島 吉岐公開講座で 九州大 宮本教授講演より

◆ 日本にも製鉄の黎明期 銑鉄くずを原料とした製鉄炉(精錬鍛冶炉)が存在した

弥生時代中期(1~3世紀)の吉岐カラカミ遺跡から出土した製鉄炉(精錬鍛冶炉)は朝鮮半島南岸の独島地域に豊富にある銑鉄くずを主原料として、再溶解した製鉄素材を作る製鉄炉ではないか……との説が提案されている

2015.3.1. 大阪中之島 吉岐公開講座で 宮本教授講演より



吉岐からみ遺跡から出土した魏志倭人伝の時代の製鉄炉は他に類例がない特徴を持ち、日本のたたら製鉄のルーツにせまるのではないかと、そんな時期を秘めている



からみ遺跡から出土した鍛冶炉跡と推定される大型竪穴住居床面の土跡跡および石製鍛冶工具・羽口・鉄素材・鉄甲等

九州大学宮本一夫教授らは 倭国魏志倭人伝の時代 朝鮮半島交易の中心地として栄えた吉岐 からかみ遺跡の鍛冶工房遺構から出土した他に類例のない地上炉について

「炉壁・立派な羽口のある地上炉でありながら、鉄滓・鍛造剥片も少なく、また出土する鉄が殆ど未完成のくす小鉄片という特異な特徴をもつ地上炉で、朝鮮半島の対岸の勅島周辺から出土する地上炉の特徴がある。これらのことから、この地上炉は鉄精錬・鉄器加工の鍛冶炉とは考えにくい。

「朝鮮半島などから集めた融点の

低いくす銑鉄を製鉄原料として鉄素材を作った製鉄炉(鍛冶炉)であろう」という。

日本でも早くから銅製錬は行われ、また 朝鮮半島から持ち込まれた銑鉄くずを原料とした精錬(製鉄)が早くから行われていたとすると、これを展開する中で砂鉄原料・鉄鉱石粉添加などたたら製鉄に展開する技術(比較的低温製錬から高温製錬へのアプローチ)がはぐくまれた可能性を頭に描いている。

私見ではあるが、「高温が得られなければ 鉄製錬は不可能」との長年のたたら製鉄誕生の謎が、西アジアで銅製錬の副産物として生まれた鉄製錬(銑鉄・鋼)を考えれば、時代は大きく異なるが、小さなくす銑鉄原料の精錬から鉄製錬への発展としてとらえれば、アプローチは十分考えうると見える。



《 2016年1月 年の初め 迎春の便り 》



1. 2016年 年の初め 迎春の便り
2. 絶やすまい 忘れまい 1995.1.17の記憶
3. 《三猿》と《新三猿》
4. 賀状にあふれる仲間の顔
5. 天王山の山腹 山崎聖天さんの石段
6. 今月のhome page 更新記事



2016年 年の初め 迎春の便り

歳をとるとともに だんだんとスピードについてゆけぬ日々ですが、

「まだまだ 元気 好奇心もある 前向いて元気に」と

新しい年の始まりに希望を託す。暖冬の温かいお正月 いかがだったでしょうか・・・

今年こそ 明るく平和な年になることを願っています。 本年も相変わりませず、よろしくお願いします。

今世界は人類が自ら作り出した激的な気候変動の中、社会は戦争と平和の岐路。豊かで平和な社会実現を夢見たグローバルな高度情報化社会はついに行き詰まりを見せ、格差と戦争の先行き不安の出口のない社会が口を開けている。

いま 一度 立ち止まって 方向をかんがえねば・・・

若者に未来を託すにしろ 年寄りとして黙ってはいは沈没だ。

今 一万年の長きにわたって平和で豊かな社会が続いた日本の縄文に世界の目が集まっている。

欲望・競争の渦から抜け出し、希望の未来へ

「他人を思いやる心」 「日本人のルーツ 心優しき縄文人」 の心を今取り戻そう。



世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」

そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

2016年 年の初め 迎春の便り

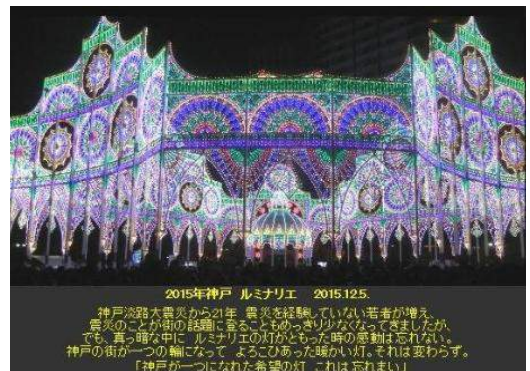
1月17日 神戸では阪神淡路大震災 21年を迎えます。

集まると震災の話で盛り上がり皆が一つになれた熱気も過去の事。人々の話題に上ることもほとんどなくなりました。

でも、ルミナリエの灯が灯るとかつての思い出が次から次へと脳裏に浮ぶ。

何もかも失ってしまった中で生まれた共感がらつらつと・・・

絶やすまい忘れまい あの日のことを 1995.1.17の記憶



《三猿》 と 《新三猿》

今年は申年 れ、「見ざる・言わざる・聞かざる」の「三猿」がたくさん描かれた。現代人はこの「三猿」をどう受け止めているのだろうかと思う。

私の信条としては「見る・言う・聞く」も有かた。

この正月 義姉からもらった賀状には「見る・言う・聞く」の新三猿が大きく。

また 神戸新聞 1月5日のコラム「正平調」には

「三猿に加えて 4 匹目の猿 または余計なことをしない『動かざる』」を付

け加えるところがある・・・でも 通常国会開幕の審議には「よく見て 聞いて 言うて さらに動いて」の精神で

かかわっていかねば」と。これは愉快やと。



「三猿に加えて 4 匹目の猿 または余計なことをしない『動かざる』」を付

け加えるところがある・・・でも 通常国会開幕の審議には「よく見て 聞いて 言うて さらに動いて」の精神で

かかわっていかねば」と。これは愉快やと。

どっちゃでもええと言われそうですが、年寄とて 今年は「見る・言う・聞く」に「動く」やと。

🌈 賀状にあふれる仲間の顔

今年も 多くの方から賀状をいただきました。
賀状を手にとると その中にあふれる仲間の顔と声
がふつつと。あんなことも こんなこともと日頃
失礼を忘れて うれしい。HPを閲覧してくれた先
輩や仲間諸氏からアドバイスのコメントも。
一年に一度の付き合いもあるが、みんな 前向いて
頑張っている。
また、声をかけられずいた病気と闘っている仲間か
らの便りに ほっと一息 うれしい。
声かけたいなあ…… と。
仲間のありがたさを感じるひととき 本当にありがと
うございます。 返事を書けず 失礼しているところもありますが、失礼お許しください。



仲間からの賀状の一部をコラージュに
賀状にあふれる仲間の顔のありがたさ ありがとう

🌈 天王山の山腹 山崎聖天さんの石段 2015.12.20.

今回 Country walk の記事ありませんが、大阪と京都の境大山崎の天王山の山腹にある山崎聖天さんの紹介。



天王山山腹 境内の紅葉の林をぬけて、仁王門への長い石段 2015.12.20.



山崎聖天さんとその境内から眺める大山崎の下を流れ下る淀川 2015.12.20 . 仁王門から本堂広場へ長い石段

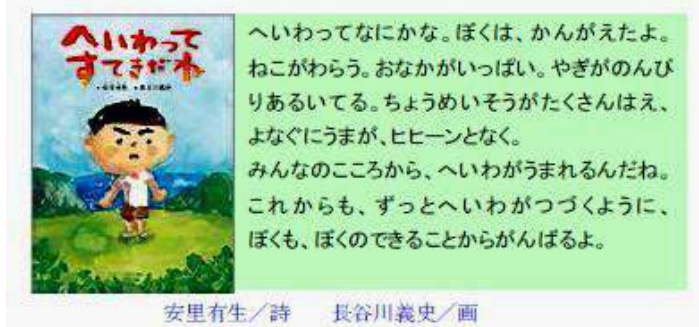
もう、60数年前 まだ 幼稚園にも行っていなかったと思うのですが、4月 桜見物に行って、すごい人出の中で迷子になった経験がある。 なにもかも記憶にないのですが、覚えているのは「山崎聖天さん」とすごい人出の境内の中を寺の本堂のある広場へ延々と続く石段のみ。ふっと頭に浮かぶのですが、全く記憶の外。

京都から帰りの車 裏道で迷い込んだ大山崎。山崎聖天さんへ行こうと。 12月20日というのに 山は紅葉で真っ赤。聖天さんの入口に車を置いて そこから延々紅葉した林の中を途中仁王門を経て上まで延々階段が続いていました。60数年子供のころの記憶と今 随分隔たりがある。石段の両側は深い林 でも記憶のあるのは この両側山腹一面にゴザを広げて みんな花見を楽しんでいて、とにかく人出が多かったとの記憶があるのですが……。階段もこんな急やなかったと。

迷子になった強烈な記憶の中にある聖天さん。ふっと 頭に浮かぶ幼いころの記憶。随分印象がちがうなあ……。いかがでしょうか…。思えば 子供の目線と大人の目線。随分広いと思っていたところが、今はこんなに狭かったのかと感ずることは多々。

長いことトラウマみたいになっていた山崎聖天さんの階段 その今がわかり、もう記憶の外へ行くでしょう。
 登りついた本堂のある広場からは 大山崎と対岸の男山の間を流れ下る淀川 京都南部が一望でした。
 ちょうど この聖天産の横から天王山からボンボン山 への登り口を見つけました。
 ボンボン山裏のフクジュソウ群落も長いこと行かない。一度 ここから登ってみたい。
 山に登らずでも 静かな山の林の中の寺 気持ちの良い空間でした。

政治の大きなうねりの今 「平和を そして国を考えよう」 2016



戦争に道を開く安全保障法案国会通過
 でも 何と言おうと戦争反対
 平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
 国の大きな転換点 今 声を上げねば !!
 平和を今 自分の頭で考えよう

from Kobe Mutsu Nakanishi

★★ 今月のhome page 更新記事 ★★



1.	【和鉄の道・Iron Road】 2015年 和鉄の道・Iron Road 主要掲載写真 2015年 和鉄の道 Iron Road【15】の口絵
2.	【和鉄の道・Iron Road】【スライド動画】 鉄の起源・鉄の伝播探求 Review 2015 ユーラシア大陸を東西に結ぶ鉄の道 Metal Road 愛媛大東アジア古代鉄文化研究センター国際学術シンポジウム 「古代世界の鉄生産 中近東から東アジアまで」聴講記録2015.12.6より
3.	【From Kobe 2016年1月 迎春】 2016年 年の初めに 溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光り「肌光」 生命をつかさどる元素・文明を支える元素として「鉄」がなければ 人類は生きてゆけない その輝きの中に燦然と輝く 人類の知恵の数々 《 縄文の心 》
【更新記事概要・更新記事アドレスリスト】	

〔和鉄の道・Iron Road〕

◎ 2015年 和鉄の道・Iron Road 主要記事写真

2015年一年間の掲載記事を一冊に製本して 2015年和鉄の道を作成中。その2015年の主要記事を代表する口絵写真を幾つか作成。何と云っても 長年のたたら製鉄のルーツの謎が解き明かされつつあるのがうれしい

◎ 鉄の起源・鉄の伝播探求 Review 2015 2016.1.7. ユーラシア大陸を東西に結ぶ鉄の道 Metal Road

西アジアに起源を持ち、ユーラシア大陸を西から東へダイナミックに伝播した「鉄」。この鉄東遷の道・メタルロードは 日本古来のたたら製鉄の源流。

村上恭通教授を中心とする愛媛大学東アジア古代鉄文化センターの古代鉄研究チームは、約10年に渡り、中国やモンゴル、トルコ、ロシア(ハカス&カザフスタン)などのユーラシア大陸の諸国・日本の研究者をも巻き込んで「鉄の起源並びに時代を超えた製鉄技術伝播の道<メタルロード>解明の連携プロジェクト」を推進し、鉄の古代ユーラシア大陸東遷の道が解き明かされつつある。毎年聴講させていただいている成果報告をもとに今解明されつつある最先端の状況を私なりに動画スライドでレビュー。

〔風来坊・Iron Road〕

◎ 今回は特になし。 神戸の冬景色 ルミナリエなどトップページに記載

〔From Kobe 1月〕

◎ 2016年 年の初めに 溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光り「肌光」

生命をつかさどる元素・文明を支える元素として「鉄」がなければ 人類は生きてゆけない

その輝きの中に燦然と輝く人類の知恵の数々《 縄文の心 》

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」。そのエンジンは「他人を思いやる心」
 人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道でもある

何度も同じことを言い続けて すみません。 北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

今月 新たに掲載した記事

【和鉄の道・Iron Road】【PDF 写真集】

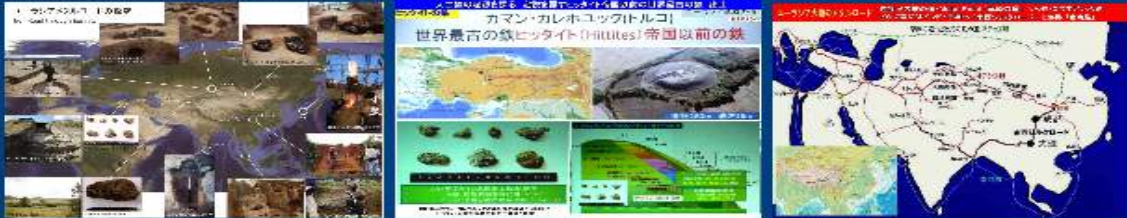
1. 2015年 和鉄の道・Iron Road 主要掲載写真 2015年 和鉄の道 Iron Road【15】の口絵

- 口絵1 2015年 クローズアップされた たたら遺跡
1. ヒッタイト以前世界最古級の小鉄塊と鉄滓出土
アナトリア高原 カマン・カレホユック遺跡の2013年発掘調査で
 2. たたらの技術が支えた明治日本の産業革命・日本の近代化
日本近代製鉄発祥の地 釜石 大橋・橋野鉄鉱山 世界産業遺産に登録 2015.7.8.
 3. ベールを脱ぎつつあるユーラシア大陸の東西を結ぶメタル ロード・鉄の道
ユーラシア大陸を東西に結ぶ 古代鉄 Metal Roadで
 4. ●自然通風型のスリランカ古代鉄の製鉄炉 << 風炉 >>
●中国 成都 漢代の橋脚に使われている巨大インゴット
- 口絵2 ヒッタイト以前世界最古級の小鉄塊と鉄滓出土
アナトリア高原 カマン・カレホユック遺跡の2013年発掘調査で
- 口絵3 たたらの技術が支えた明治日本の産業革命・日本の近代化
日本近代製鉄発祥の地 釜石 大橋・橋野鉄鉱山 世界産業遺産に登録 2015.7.8 .
- 口絵4 ベールを脱ぎつつあるユーラシア大陸の東西を結ぶメタル ロード・鉄の道
- 口絵5 8000年を超える長きにわたり、平和で豊かな社会を築いた日本の縄文
世界が注目する縄文の「他を思いやる 心優しき縄文」

【和鉄の道・Iron Road】【スライド動画】

2. 鉄の起源・鉄の伝播探求 Review 2015 ユーラシア大陸を東西に結ぶ鉄の道 Metal Road

愛媛大東アジア古代鉄文化研究センター国際学術シンポジウム
「古代世界の鉄生産 中近東から東アジアまで」 聴講記録2015.12.6より



2015.12.6. PDF Photo Book VIDEO 動画 PDF Web Book

【from Kobe 2016年1月 迎春】

3. 2016年 年の初めに 2016年 年の初めに << 縄文の心 >> 2016.1.1.

溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光り「肌光」

生命をつかさどる元素・文明を支える元素として「鉄」がなければ 人類は生きてゆけない
その輝きの中に燦然と輝く 人類の知恵の数々

<< 縄文の心 >>

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
そのエッセンスは「他人を思いやる心」 人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道でもある

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界産業遺産登録 2015.7.8.
たたら技術が支えた明治日本の産業革命・日本の近代化
日本近代製鉄発祥の地 釜石 大橋・橋野鉄鉱山 世界産業遺産に登録



◆ 近代製鉄発祥の洋式高炉建設地「釜石」橋野・大橋を訪ねる。 2014.6.7.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1407kamaishi00.htm>



暖冬 穏やかな天候の中で始まった2016年の始まり。
ホームページの更新も頭が回らず 遅れがちですが、頑張って更新していこうと。
今年は暖冬で 野菜も草花も異変。いつも年初めにある花とは様相が一変でした。
今回は 昨年一年の和鉄の道・Iron Road のレビュー更新だけになってしまいましたが、
引き続きやぶにらみの身勝手な情報ですが、お知らせしたいと。 齢70を越え、無理は効かぬし力もなし。
激動の世の中 年寄りは何をすればよいのか 頭は行ったり来たりですが、
まだまだ 好奇心は旺盛 元気はある この厳しい時代を前向いてと。
地球環境も社会変化ももう他人事ではない 我が身に直接降りかかる時代ですが、

仲間の元気を活気に!! お互い無理せず元気に
ご意見や感想など 引き続きお知らせください
体調管理にご留意ください
今できることを精一杯 お互い笑顔で 前向き思考 元気を出してと



2016.1.10. from Kobe Mutsu Nakanishi

困難の中に居られる方々にエールを!!
いつも 思いをはせています。
「忘れまい 忘れないで 仲間がいる
暖かい希望の輪がつながっていることを」

神 共に居まして
得られるものを 変える「勇気」
変えられないものを 受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニーバーの祈り より

日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと

「まあええか 元気だして行こう」と心は行ったり来たりですが

好奇心さえあれば・・・と前向いて お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

ジョージ・カーリンのメッセージ

◎「老いを楽しく生きるために」

「老いを嘆くことはない。100才になったら
赤ちゃんに戻れるんだから・・・」

そして、忘れてはいけない。

人生とは自分が息を吸う数ではなく、
吐く瞬間で測定するものです。

充実した毎日を生きましょう!!

◆ WMV 動画

“ [Philosophy For Old Age.pps](#) ”





神戸 学園都市の丘から見る明石海峡 明石大橋・淡路島 2016.1.26



寒さが和らいだ日には 春の足跡も 待ち遠しい春です 須磨で 2016.1.26.

《 暖冬とはいえ 寒さに震える2月ですが 元気出して 》



神戸押部谷 高和性海寺の集落に残る新春の追儺式・鬼踊り 2016.1.11. 成人の日

正月から 2月節分・立春にかけて 各地で《春迎への行事》が行われる。私には 「鬼」は祀ろわぬ存在 災危や疫病などを運んでくる「悪霊の鬼」として退治すべき存在として 退治して新春を迎えようと追儺式・鬼やらいや節分豆まき などが各地で行われる。

でも 現在鬼は「良鬼」 仏の従者として災いを祓う存在として、行われる追儺式も多くあり、私の住む西神戸から播州にかけての集落には 新春 そんな「良鬼」による災厄払いの追儺式が数多く残っている。

「祀ろわぬ集団として鬼にされた たたら集団」の伝承には 鉄に携わってきた私にとっては 愛着のある「良鬼」たち。毎年新春を迎えると「鬼」のことが気になって、鬼の出でくる行事を訪ねたくなる。

今年は 私の住むすぐ近く 西神戸 押部谷高和の集落にある平安時代からつづ 古刹 性海寺で受け継がれてきた 新春の天下泰平・五穀豊穰を願う 厄除け祈願の「追儺式・鬼踊り」を見学してきました。

「福は内・鬼も内」 今年も 家内・仲間とともども 健康で穏やかな暮らしでありますようにと。

バレンタインデー(2月14日)にちなんだ

須磨離宮公園温室の春の花とハートバレンタイン展

ここは もう一歩早く 華やかな春でした 2016.1.26



鬼退しの面、青鬼、赤鬼、

チヨケ鬼の面



青鬼

赤鬼

チヨケ鬼

オシロイ

性海寺 追儺式の鬼の正

赤鬼・青鬼・チヨケ鬼



春の花によるハートの環 須磨離宮公園温室で 2016.1.26



サクラソウの科 プリムラ Prunella sp. 在来種よ「青春の嵐」 寒い季節に温かな観賞温室 ここはもう春 心も身体も温まります



1. 春が待ち遠しい 2月「如月」の便り
2. 節分 追儺式 そして「鬼」の話
3. なにか ほっこりする話は？
◆ネズミに見えるジャガイモ
◆バレンタインのハートの花の環
4. 今 淡路島が面白い 淡路島に前方後円墳???
5. 今月のhome page 更新記事



🌈 春が待ち遠しい 2月「如月」の便り

2月「如月」 寒さがぶり返す月 寒さに震える2月ですが元気出して・・・

暖冬といいながら、襲ってきた寒さは酷寒の寒さ そんな寒さがまた 振り返すのでしょうか・・・
ご用心ください。

1月が天候の急変による大風と厳しい寒さに震えあがりましたが、地球温暖化の影響か 総じて暖冬。巨大大根にプロッコリーも 庭では蟬梅が満開・梅も咲き始め、庭のサクラソウももう花をつけています。

こんな異変がそこかしこ。でも 急変する天候と寒波襲来にはご用心

せめて ホームページには春を探して 暖かいページにと・・・

歳をとるとともに だんだんとスピードについてゆけぬ日々ですが、
まだまだ 元気 好奇心もある 前向いて元気に」と

🌈 節分・追儺式 そして「鬼」の話

2月のページには「鬼」が出てこなければと。
今年は近くの西神戸の田舎 押部谷 高和性海寺の新春新春厄除け祈願の追儺式・鬼踊り見学に行ってきました。

丘陵地の山裾に広がる小さな集落の素朴な本年の厄除け祈願の鬼踊りでした。

節分豆まきや追儺式本来の鬼は「悪霊をもたらす悪い鬼」で追払われる大将。

でも 西神戸周辺の追儺式の鬼は「神仏の使者 神仏に変わって悪霊を祓う良鬼」

いつから 追儺式の鬼にこんな変質が起こったのかはよく知りませんが、昨年紹介した役の行者の従者前鬼・後鬼伝承や、たたら衆や蝦夷

なまはげ等々「鬼にされた祀ろわぬ者」へ共感する民間伝承が、追儺式の名はそのままだに中身が変質したのかもしれない。

現代情報化社会の中で 今一番忘られていることかもしれぬ「福は内 鬼も内」

今年も鬼に思いを寄せる2月です。



2016.1.11. 西神戸押部谷 高和性海寺
新春厄除け祈願の追儺式・鬼踊り

🌈 なにか ほっこりする話は？

毎回おなじような話でぶつぶつ言ってもなあ何かほっこりする話はないかなあ？

◆ネズミに見えるジャガイモ

24日朝 伊川谷の農家の朝市に行っていた 家内がうれしそうにジャガイモを手に「このイモの写真撮って」と。

何に見えますでしょうか・・・

「ネズミやなあ いも食べさせよう」と。2人でひねくり回して、こんな写真に。農家の朝市にゆくとこんな掘り出し物も。

でも このイモも調理してその日の食卓に

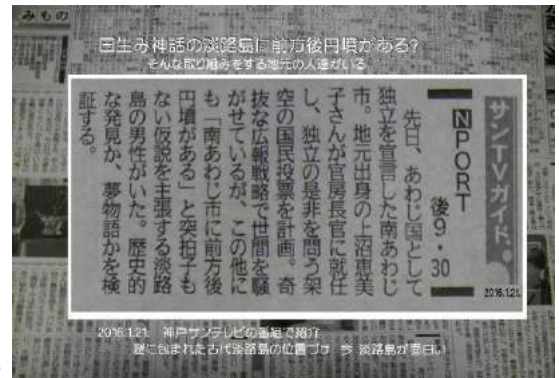


◆ バレンタインのハートの花の環

2月14日はバレンタインデー。今年も色々な催しが計画されている。神戸ではチョコレートに始まり、今年は酒蔵とチョコレートメーカーがコラボで灘の酒入りチョコレートが発売されると。剣菱の酒米「愛山」を使った清酒入りチョコレートも。今年はこれを自分で買おうか・・・でもバレンタインデーも遠い記憶の向うです。



今 淡路島が面白い 淡路島に前方後円墳????



先日メールで「淡路島に前方後円墳があると思いますか」との質問を受けた。「南淡路市の街中にある淳仁天皇陵の周辺を空から眺めると前方後円墳が浮かび上がってくる」と。ほんまかいなとgoogle earthをみるとそう思える節もある。若狭の田園の中に埋没している前方後円墳群 脇袋古墳群を思い出しました。淡路島の対岸 徳島・香川・播州には古い前方後円墳がいくつもあるのになぜ淡路にはないのか 国生み神話の島・瀬戸内海の東の玄関口なのに。弥生の大鍛冶工房村の出土 そして松帆銅鐸の出土で一機に盛り上がっていると。また、古くから開けた淡路島の丘陵部の発掘調査はこれから。でも弥生の末期には数々の生産工房があったとも。淡路は畿内の重要地である。でもなぜか淡路と大和の交流の話は聞かないし、西から広がってきた実用鉄器の伝播フロントは明石海峡・鳴門海峡で停滞し、畿内の普及は遅れると聞く。そういえば淡路はずっと四国阿波の国の支配下になったし、古代の流刑地である。古代 明石海峡・鳴門海峡の荒波が淡路へ行くのを阻んだのか 古代日本黎明期の淡路が今ペールを脱ぎ始めている。淡路島に前方後円墳は何とも言えないが、どっちになっても今までの大和・古代史をひっくり返す発見が淡路であるかも・・・

★★ 今月のhome page 更新記事 ★★



【和鉄の道・Iron Road】

◎ 神戸 竹中大工道具館

「近代建築 ものづくりの挑戦」展を見る

「近代建築 ものづくりの挑戦」展。明治の近代建築の歴史

や近代建築への「鉄の役割も見られる」と期待一杯。明治近代化の象徴 和洋折衷のレンガ造りの洋館から、鉄骨・鉄筋構造への構造変遷等日本の近代化を支えた新しい素材「鉄」が見られました。

◎ 【2016年 新春の鬼】 西神戸 押部谷 高和 性海寺 新春の修正会 追儺式・鬼おどり

2月になると毎度気になる「鬼」。今年は西神戸 押部谷の小集落が守り続けてきた素朴な新春の鬼踊りを紹介。子鬼に扮したわんぱく坊主たちが自由奔放で久しぶりで そっちも楽しかったです。

1.	【和鉄の道・Iron Road】【スライド動画】 2015.12.18. 神戸 竹中大工道具館「近代建築 ものづくりの挑戦」展を見る 世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」 新しい産業に連動したものづくり・国づくりを 明治の日本近代化の象徴 新しい建物群の変遷に見る
2.	【和鉄の道・Iron Road】【動画・スライド動画】 2016.1.11. 【2016年 新春の鬼】 西神戸 押部谷 高和 性海寺 新春の修正会 追儺式・鬼おどり
3.	【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 2016.1.26. 《春を探して須磨スケッチ》 1月末 酷寒の寒さも和らいで 春の足音を探す 須磨網敷天満宮・離宮公園 春の花とハートバレンタイン展
4.	【From Kobe 2016年2月如月 春が待ち遠しい】 1995.1.17. 阪神淡路大震災 21年目の記念日 翌日 神戸の街の空に架かった虹におもう 「風化させてはいけない記憶とはなんなのだろうか?」
【更新記事概要】・【更新記事アドレスリスト】	

〔風来坊・Iron Road〕

◎ 《春を探して須磨スケッチ》

1月末 酷寒の寒さも和らいで 春の足音を探して 須磨の海を眺めながら、 須磨海岸梅の名所 網敷天満宮 そして 須磨離宮公園を歩きました。 一足早い春の足跡です。

〔From Kobe 2月 〕

◎ 【From Kobe 2016年2月如月 春が待ち遠しい 】


1995.1.17. 阪神淡路大震災 21年目の記念日

今年の記念日には「風化」「風化」と声高に多くの人から聞いた。でも「風化させてはいけない記憶とはなんなのだろうか？」行事ではないと思うのですが、それに触れる人はほとんどいない。



21年目の阪神淡路大震災 1995.1.17.記念日の翌日 神戸新聞2016.1.19より 神戸の街に美しい虹がかかりました

◎ 政治の大きなうねりの今 「平和を そして国を考えよう」 2016



へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎがのんびりあるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。みんなのころから、へいわがうまれるんだね。これからも、ずっとへいわがつづくように、ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

戦争に道を開く安全保障法案国会通過
でも 何と言おうと戦争反対
平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
国の大きな転換点 今 声を上げねば !!
平和を今 自分の頭で考えよう

from Kobe Mutsu Nakanishi



暖冬に早起き？ 神戸でフキノトウ



未来への希望 空に 阪神・淡路大震災から21年が経過した神戸。18日午前、三宮の上空には鮮やかな虹が懸かった＝神戸市役所から(撮影・笠原次郎)

21年目の阪神淡路大震災 1995.1.17.記念日の翌日 神戸新聞2016.1.19より 神戸の街に美しい虹がかかりました

待ち遠しい春 神戸新聞掲載の季節写真より

暖冬と言われながら、1月は北風吹きすさぶ荒れた酷寒に。これも地球温暖化の影響かと。2月は穏やかな天候に戻ってほしいもの。庭では満開の繭梅・水仙にサクラソウも咲きだして、もう春はそこまでといわなあかんのか・・・と。でも 春はまだまだ。2月春迎えの行事も これから。天候の急変には気をつけねば・・・と。2月はいつも「鬼」と春迎えの記事。

毎度の代わり映えせぬ内容ですが、 そんな動画のBGMを聞きながら、PCに向かっています。

いまだに昨年の記事をまとめた製本版電子 book にできずお許しを。

激動の世の中 年寄りは何をすればよいのか 頭は行ったり来たりですが、 まだまだ 好奇心は旺盛 元気はある この厳しい時代を前向いてと。

3月はじめに楽しみにしている年に一度の同窓会がある。そんな仲間のメーリングリストに「年末 胃の摘出手術。退院して今は回復に勤めている」とのメール。あんなに元気で「3月には行くぞ」というてたのにとびっくり。メーリングリストには、仲間からのお見舞いと励ましのメールが続々送られてくる。それも闘病経験をもとにした励ましが幾つもある。

日頃は全く知らなかったが、こんなに多くの仲間が病気と闘い、病気克服に挑んでいるのか……。また、周囲にはこんなに大勢の仲間がいるのかと。

「仲間がいる」 うれしい実感。3月には また元気で会いたい。

地球環境も社会変化ももう他人事ではない 我が身に直接降りかかる時代ですが、仲間の元気を活力に!! お互い無理せず元気に ご意見や感想など 引き続きお知らせください。

仲間の元気を活力に!! お互い無理せず元気に
ご意見や感想など 引き続きお知らせください
体調管理にご留意ください

今できることを精一杯 お互い笑顔で 前向き思考 元気を出してと



2016.2.5. from Kobe Mutsu Nakanishi



世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」

そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

困難の中に居られる方々にエールを!!

いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる

暖かい希望の輪がつながっていることを」

神 共に居まして

得られるものを 変える「勇気」

変えられないものを 受け容れる「心の静けさ」

両者を見分ける「叡智」を

ニーマーの祈り より

日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと

「まあええか 元気だして行こう」と心は行ったり来たりですが

好奇心さえあれば・・・と前向いて お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

ジョージ・カーリンのメッセージ

◎「老いを楽しく生きるために」

「老いを嘆くことはない。100才になったら赤ちゃんに戻れるんだから……」

そして、忘れてはいけない。

人生とは自分が息を吸う数ではなく、

吐く瞬間で測定するものです。

充実した毎日を生きましょう!!

◆ WMV 動画

“ [Philosophy_For_Old_Age.pps](#) ”



***** 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪・Iron Road 2016年2月 *****

1. 神戸 竹中大工道具館「近代建築 ものづくりの挑戦」展を見る 2015.12.18.

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界遺産に登録された。
これら新しい産業に連動したものづくり・国づくりを 明治の日本近代化の象徴 新しい建物群の変遷に見る



新しい産業に連動した日本近代化のものづくり・国づくりを 明治日本近代化の象徴である新しい建物群の変遷を下記の3つの時代に区部して眺める。

- 1 建築の文明開化 棟梁とお雇い外人の活躍 洋風建築 煉瓦 洋風に挑む時代
- 2 歴史主義との格闘 建築家と請負業の登場 日本人建築家の登場と建設業の近代化 & 進化する煉瓦造の時代
- 3 鉄とコンクリート 技術革新が建築を変える 洋風鉄骨構造煉瓦建物から 耐震構造の鉄筋コンクリート造りへ

「歴史主義との格闘」 「日本人建築家の登場」と「建設業の近代化」 & 「進化する煉瓦造」



復元された東京駅

煉瓦建築「三菱一号館」



1922年 関東大震災を経て 一躍一鉄筋コンクリート造りの時代へ
重要文化財の認定を受けたとして大正19(1920)年に建設された旧地蔵堂の復元構造



世界遺産遺産登録 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

橋野高炉跡

日本近代製鉄発祥の地 釜石・橋野鉄鉱山

2.【2016年 新春の鬼】

西神戸 押部谷 高和 性海寺 新春の修正会 追儺式・鬼おどり

2016.1.11.



西神戸 押部谷 高和 性海寺 追儺式の「鬼」 2016.1.11.



「鬼やらい・鬼踊り」のスタート ほら貝・太鼓の音とともに 赤鬼・青鬼を先頭に子鬼たち最後にチョウ鬼がお堂の回廊を3周 2016.1.11.

修正会の法要が終ると 本堂で太鼓と法螺貝の音に合わせて 本鬼(赤色・青色)と走り(チョウ), 小鬼の鬼が登場し鬼踊りを舞う。鬼はそれぞれ左手に松明を持ち、赤鬼は斧、青鬼は槌を右手に持つ。走り(チョウ)は瓢箪や柄杓 鈴など出る時によって持ち物は異なる。8匹の小鬼は赤熊を被り、棒を持つ。小鬼の大将格を「狸々と呼ぶ。鬼踊りは七番行われ、終盤に餅切りの踊りが行われ、内陣と外陣の長押しにかけられた青竹に扶んだ鬼の餅を、赤鬼が斧で割る。そして、最後に赤鬼・青鬼は右手に松明、左手に罫(さかき)の葉の付いた枝に紙の花型をつけた鬼花を持って花おどりを踊る。



***** 今月の風来坊 Country Walk2016年2月 *****

1. 《春を探して 須磨スケッチ》 1月末 酷寒の寒さも和らいで 春の足音を探す 2016.1.26.
 須磨網敷天満宮・離宮公園 春の花とハートバレンタイン展



***** from Kobe 2016年2月 *****

【From Kobe 2月 如月 春が待ち遠しい】

1.17. 阪神淡路大震災 21年目の記念日

その翌日 神戸の街の空に虹が架かった

「風化させてはいけない記憶とはなんなのだろうか?」

今年の記念日には「風化」「風化」と声高に多くの人から聞いた。

でも「風化させてはいけない記憶とはなんなのだろうか?」

行事ではないと思うのですが、それに触れる人はほとんどいない。



【 2016年 2月】 掲載 記事リスト 2016.2.5.

<p style="text-align: center;">今月 新たに掲載した記事</p>	
1.	<p>1. 神戸 竹中太工道具館「近代建築 ものづくりの挑戦」展を見る 2015.12.18.</p> <p>世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」 新しい産業に連動したものづくり・国づくりを 明治の日本近代化の象徴 新しい建物群の変遷に見る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 建築の文明開化 棟梁とお雇い外人の活躍 疑洋風建築 棟梁 洋風に挑む時代</p> <p>2 歴史主義との格闘 建築家と請負業の登場 日本人建築家の登場と建設業の近代化 & 進化する煉瓦造の時代</p> <p>3 鉄とコンクリート 技術革新が建築を変える。 洋風鉄骨構造煉瓦建物から 耐震構造の鉄筋コンクリート造りへ</p> </div>
2.	<p>2.【2016年 新春の鬼】西神戸 押部谷 高和 性海寺 新春の修正会 追儺式・鬼おどり 2016.1.11.</p> <p>＜A＞ 性海寺「修正月会結願法要と追儺式 鬼踊り」概要</p> <p>＜B＞ 性海寺「修正月会結願法要と追儺式 鬼踊り」 2016年1月11日 13:00 ～ 16:00頃</p> <p>【1】 性海寺 新春の修正会 追儺式 法要</p> <p>【2】 2016年新春の性海寺 追儺式 鬼おどりが始まった</p> <p>2.1. 赤鬼・青鬼を先頭に本堂の回廊を周回し、鬼踊りがはじまった</p> <p>2.2. 追儺式 鬼踊りの場面場面をつないでゆく子鬼たちの舞</p> <p>2.3. 赤鬼・青鬼の鬼踊り</p> <p>2.4. 餅まき</p> <p>2.5. ちよけ鬼の登場</p> <p>2.6. 赤鬼・青鬼 再度登場 そして ちよけ鬼も登場</p> <p>【3】 鬼踊りのクライマックス 鬼の餅切りから 最後 本年の平安を祈願する花踊りへ</p> <p>3.1. 鬼踊りのクライマックス 鬼の餅切りへ</p> <p>3.2. 鬼の餅切り</p> <p>3.3. 鬼踊りの最後 花踊り</p>
3.	<p>3. 《春を探して 須磨スケッチ》 1月末 酷寒の寒さも和らいで 春の足音を探す 2016.1.26. 須磨網敷天満宮・離宮公園 春の花とハートバレンタイン展</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 須磨 網敷天満宮の梅</p> <p>2. 須磨 陽光の影が映り輝く須磨浦</p> <p>3. 須磨離宮公園温室 春の花とハートバレンタイン展</p> </div>
<p>【From Kobe 2月 如月 春が待ち遠しい】</p> <p>◆ ぶつぶつ from Kobe</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>阪神淡路大震災の記憶 「風化させてはいけない記憶とはなんなのだろうか?」 2016.2.1</p> </div>	



我が家の角先にも春の草花が花をつけました 2016.3.1.



水ぬるむ春の訪れ 水辺では鴨の親子が一行に 大阪湾に大きく口を広げる尼崎/西宮 武庫川河口で 2016.2.24.



弥生三月 暖冬でいつもより早い春と言われながらも 猛烈な風雪が日本列島を吹き荒れて厳しい寒さにも。

気候変化の激しい昨今ですが、各地からの梅便りが届く中 西神戸にも着々と春の足音

神戸の春の風物詩 イカナゴ解禁日が遅れて、神戸の街ではやきもき。

やっと解禁日が3月7日と決まって 西神戸も春の訪れに活気づく事でしょう。

いかがでしょうか・・・

弥生3月 春が生まれてる どこかで春を見つけましたか・・・・・・・・



ピンクの花の重なりが美しい雌岡山梅林の梅 その向こうに須磨から明石海峡・淡路島の田園・街が遠く浮かぶ西神戸の早春一番の景色 2016.2.25.



寒さが和らいだ日には 春の足跡も着実に 待ち遠しい春



フキノトウ
待望・仲間



雪割草
信頼・はにかみや



梅
気品・忠実



菜の花
快活・小さな幸せ



1. 弥生3月 春便り どこかで春が生まれてる
2. 東播磨の溜池に こんなものが設置され始めました
3. 3.17. 東日本大震災 被災した人達を忘れずに 思いをはせましょう
4. 若狭小浜の古刹 明通寺と東北蝦夷の雄「アテルイ」のつながり
春到来を告げる奈良東大寺「水取り」の水送りの行事の
若狭小浜遠敷(おにゅう)の里
5. 今月のhome page 更新記事



弥生3月 春便り どこかで春が生まれてる

神戸の春の風物詩「イカナゴ漁」の解禁日が遅れて、西神戸の街では ヤキモキ。

やっと3月7日解禁と決まって「さあ 出番!!」神戸の街も活気づいて スピードを上げて春モードへ例年のパターンですが、例年の確定申告を済ませて、神戸の春迎への 便り作りへ



もう年金生活者 確定申告の必要もないのですが、今年も申告書作り。手慣れたもので、書類を作り終わって パソコンのキーをポン通すと 還付金はほんのわずか。労力多しですが、毎年春迎への頭の体操。書類を提出。いつものコース 須磨の海から網敷天満宮に参って 須磨の春の足音を聞き、3月の便りのホームページ作りの対応に。

3月のテーマはテ弥生3月 どこかで春が生まれてる

毎年のパターンですが、西神戸の田園に春を探しに行っ HP の今月のページに。

今年も西神戸の田園地帯 神出の雌岡山周辺で出会った早春の景色を撮れましたので、皆様にもお知らせ。

また、整理が遅れていた昨年掲載記事の電子ブック化も。一年を振り返りながら「2015 和鉄の道・2015 風来坊・2015 四季折々・from Kobe」の3冊に合本整理できました。

例年ですとイカナゴ漁の様子をお伝えするのですが、今年は清楚な梅の花の蜜をつつく野鳥に パッと明るい菜の花畑 静かに咲く雪割草など早春の花の春景色を花言葉を添えてお知らせ。知りませんでした、フキノトウにも花言葉があるのですね。

春到来を前にこっちも奮い立って 元気出さねばと思うのですが、歳をとるとともに だんだんとスピードについてゆけぬ日々 でも 老け込んで家にこもる歳でもなし。

でも「まだまだ元気 好奇心はある 前向いて」と張り切らねばと。

まだまだ 厳しい寒さの日もあり、一向に衰えぬインフルエンザ

そして 春の花粉症にPM2.5 襲来の季節に。どうか 無理せず 体調管理にご留意ください。

東播磨の溜池に こんなものが設置され始めました 2015.2.25.

先日雌岡山から眺めた神出の溜池群の中に こんなものが浮かんでいるのを見つけました。これは何なのでしょう
現在工事中らしく、この白い筏の上で作業している人が見えていました。

早速この溜池の縁に行き確かめました。ほかにもあるに違いないと google earth で 東播磨の溜池群を眺めるとこの西神戸の西の加東市の溜池にも、びっしり水面



の上に敷き詰められた光景が見られました。雌岡山から南の眺望 溜池に白い架台をつなげた大きな筏
太陽電池パネルをぎっしり敷き詰めたメガソーラーの発電所でした。

先端に行くメガソーラーが西神戸の田舎にも。時代が大きく動いている象徴かもしれません。

3.17. 東日本大震災・福島原発事故を忘れずに

復興はまだ 道半ば

被災地の人達を応援しよう

また、原発はどうあるべきなのだろうか

みんなの日本の暮らしを考えよう

困難の中に居られる方々にエールを!!

いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないうで 仲間がいる

暖かい希望の輪がつながっていることを 」



若狭小浜の古刹 明通寺と東北蝦夷の雄「アテルイ」のつながり

春到来を告げる奈良東大寺「水取り」の水送りの行事の若狭小浜遠敷(おにゅう)の里

関西ではお水取りの行事が終わると春が来ると昔から言われる奈良東大寺のお水取り。このお水取りの行事には若狭小浜 遠敷(おにゅう)の里が深いかわりを持っている。古くからの伝承に基づき、毎年 3月12日の二月堂若狭井での「お水取り」に 先立って3月2日遠敷の里の神宮寺並びに遠敷川 鶴の瀬で今年も水送りが 行われたという。遠敷川・鶴瀬など遠敷の里は以前紹介した古代若狭から大和への 根来・針畑 越の道であり、古代大和にとって この遠敷の里が大陸・朝鮮半島 並びに日本 海交流の重要な港であったことを示す伝承である。

◆ [東大寺のお水取り「おたいまつ」 2008年3月8日夕](#)

◆ [若狭と大和の深い関係を示す 若狭 遠敷川の鶴の瀬の水送り](#)

そんな若狭小浜遠敷の里を紹介する TV 番組を見ていたら、同じ遠敷の里の古刹明通寺は蝦夷討伐の征夷大将軍坂上田村麻呂が蝦夷の平和を願って投降した蝦夷の雄 アテルイやモレさらに討伐された蝦夷の霊を慰めるため、建立した寺だと紹介されるのを見ました。京都清水寺にアテルイとモレの碑があるのはよく知っていましたが、若狭にも坂上田村麻呂とアテルイ・モレの交流の跡があるのを初めて知りました。

若狭遠敷の里が古代日本海交流の拠点であり、坂上田村麻呂とアテルイが互いを尊重しあっていた証しがここにも残っていると初めて知りました。敵対した坂上田村麻呂と蝦夷の雄 鬼にされてしまったアテルイが相互にその実力と度量を認め合っていたこと 中央の資料だけでは見えてこない。

「あの高嶺 鬼住む誇り」と東北人がうたうアテルイと坂上田村麻呂交流の痕跡

が若狭小浜の古刹明通寺にもあることを知りました。

◆ [蝦夷の雄 アテルイ](#) [和鉄の道・Ironroad 2006](#) 蝦夷の雄「アテルイ」の痕跡「清水寺・将軍塚より

★★ 今月のhome page 更新記事 ★★



「和鉄の道・Iron Road」電子ブック

「和鉄の道 2015」・「四季折々2015」・「風来坊 2015」
 独りよがりの記事ばかりでしたが、2015年の
 記事一年分を3冊に整理しました。



1.	【和鉄の道・Iron Road】 今回掲載はありません
2.	【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 《早春のアルバム》 西神戸 神出の里 早春の雌岡山山麓 Walk 2016.2.25. 弥生三月 春が生まれてる 春はもうそこまで
3.	【From Kobe 2016年弥生 3月 どこかで春が生まれてる】 ◎ 弥生3月 雌岡山・神出の里の田園地で見つけた春 ◎ 原発再稼働トラブルに見る日本人気質
4.	和鉄の道・Iron Road 2015 PDF電子book ・「和鉄の道・Iron Road 2015」掲載記事 [18件 P231] ・「四季折々・Country Walk 2015」掲載記事 [24件 P156] ・「風来坊・From Kobe 2015」掲載記事 [17件 P207]
【更新記事概要】・【更新記事アドレスリスト】	

【2015年和鉄の道 製本版電子Book】

毎度 同じ事の繰り返しですが、冷静に1年をふりかえる材料。また、それぞれ1冊ずつ増えました。

【和鉄の道・Iron Road】

- ◎ 今月特に掲載記事ありませんが、3.17.東日本大震災の記念日がやってくる。
 蝦夷の鉄や縄文の世界などで訪ねた東北。被災された東北の人たちに思いを寄せています。

【風来坊・Iron Road】

- ◎ 《早春の雌岡山山麓 Walk》
 毎年の西神戸雌岡山周辺の早春 Walk です。今年も梅をはじめ田園に咲く早春の草花に出会えました。

【From Kobe 3月】


- ◎ 【From Kobe 2016年弥生 3月】
 - ◆ 弥生3月 雌岡山・神出の里の田園地で見つけた春
 - ◆ 原発再稼働トラブルに見る日本人気質
 - ◆ 播磨地域に広がる溜池群を利用したメガソーラー発電所の建設

◎ 和鉄の道・Iron Road 2015 PDF 電子 book

「和鉄の道 2015」・「四季折々2015」・「風来坊 2015」

昨年 HP に掲載した記事を読み返しながら それぞれ1冊 3冊の pdf 電子ブックに整理しました。
 毎度独りよがり 同じ事の繰り返しですが、冷静に1年をふりかえる材料。また、それぞれ1冊ずつ増えました。

◎ 政治の大きなうねりの今 「平和を そして国を考えよう」 2016



へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。
 ねこがわらう。おなががいっぱい。やぎのんびりあるてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒビーンとなく。
 みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
 これからも、ずっとへいわがつづくように、ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

戦争に道を開く安全保障法案国会通過
 でも 何と言おうと戦争反対
 平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
 国の大きな転換点 今 声を上げねば!!
 平和を今 自分の頭で考えよう

from Kobe Mutsu Nakanishi

3月になっても 一向にイカナゴの話題が出てこない。本当にびっくり。 やっと7日に操業開始が決まったようで、街も活気づくことでしょう。 暖冬で大阪湾の水温が上がり、産卵が遅れた精たといいますが、今年もイカナゴは不良かもしれません。

イカナゴもそうですが、暖冬と言われながらも、厳しい気象変化に見舞われた早春。本当に何もかもが、今までの経験値で判断したら失敗してしまいそう。 元気に前向いてと 気持ちを奮い立たせる毎日です。

毎年 3月はイカナゴ漁の話題で構成していましたが、今回は「どこかで春が生まれてる 春を探しに・・・」。そんな眼で出かけると結構新鮮な景色に出会えて、びっくりでした。

3月はまた 東日本大震災・原初事故の3月17日が巡ってくる。被災された人たちとも思いをはせねば・・・と。また、病気や苦難に立ち向かっている仲間が数多くいる。見舞いにはよう行かずにいるが、いつも頭に。寺や神社・教会の尖塔を見ると早く元気になって出会えるようにと 自分の健康に感謝しつつ頭を下げている。3月 暖かくなったとはいえ 寒暖の激しい気象変化に花粉症 PM2.5 も飛んでくる。

仲間の元気を活かに!!

お互い無理せず元気に 体調管理に留意して過ごしたいと
ご意見や感想など 引き続きお知らせください。

仲間の元気を活かに!! お互い無理せず元気に
ご意見や感想など 引き続きお知らせください
体調管理にご留意ください

今できることを精一杯 お互い笑顔で 前向き思考 元気を出してと



2016.3.5. from Kobe Mutsu Nakanishi



世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
そのエンジンは「他人を思いやる心」
北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

困難の中に居られる方々にエールを!!

いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる

暖かい希望の輪が繋がっていることを」

神 共に居まして

得られるものを 変える「勇氣」

変えられないものを 受け容れる「心の静けさ」

両者を見分ける「叡智」を

ニーバーの祈り より

日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくと

「まあええか 元気だして行こう」と心は行ったり来たりですが

好奇心さえあれば・・・と前向いて お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

ジョージ・カーリンのメッセージ

◎「老いを楽しく生きるために」

「老いを嘆くことはない。100才になったら赤ちゃんに戻れるんだから・・・」

そして、忘れてはいけない。

人生とは自分が息を吸う数ではなく、

吐く瞬間で測定するものです。

充実した毎日を生きましょう!!

◆ WMV 動画

“ [Philosophy For Old Age.pps](#) ”



***** 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪・Iron Road 2016年3月 *****

1. 「和鉄の道・Iron Road」電子ブック「和鉄の道2015」・「四季折々2015」・「風来坊2015」
 独りよがりの記事ばかりでしたが、2015年の記事一年分をの3冊に整理しました。



【 2015年和鉄の道 製本版電子Book 】

***** 今月の風来坊 Country Walk2016年3月 *****

1. <<早春のアルバム>> 西神戸 神出の里 早春の雌岡山山麓 Walk 2016. 2. 25.
 弥生三月 春が生まれてる 春はもうそこまで



- ◆ 雌岡山 東山腹梅林の梅と明石海峡の遠望
- ◆ 雌岡山山頂からの眺めと直下の雑木林に顔を出す雪割草
- ◆ 雌岡山南山麓神出集落の田園を春を見つける

暖冬でいつもより早い春
 毎年出かける西神戸神出の里 雌岡山の梅ももうそろ
 山腹の雑木林で 顔をのぞかせる「雪割草」にも遅いたくて
 暖かい午後 西神戸神出の里の雌岡山へ出かけました



***** from Kobe 2016年3月 *****

【From Kobe 弥生 3月 どこかで春が生まれてる】

- ◎ 弥生3月 雌岡山・神出の里の田園地で見つけた春
- ◎ 原発再稼働トラブルに見る日本人気質
- ◎ 播磨地域に広がる溜池群を利用したメガソーラー発電所の建設
- ◆ 原発再稼働トラブルに見る日本人気質 2016.3.5

【 2016年 3月】 掲載 記事リスト 2016.3.5.



..		今月 新たに掲載した記事		
1.		【和鉄の道・Iron Road】 「和鉄の道・Iron Road」電子ブック 「和鉄の道2015」・「四季折々2015」・「風来坊2015」 独りよがりの記事ばかりでしたが、2015年の記事一年分をの3冊に整理しました。		
		和鉄の道・Iron Road 2015	風来坊・Country walk 2015	「四季折々・from Kobe 2015」
2		【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 2. <<早春のアルバム>> 神戸 神出の里 早春の雌岡山山麓 Walk 2016.2.26. 弥生三月 春が生まれてる 春はもうそこまで		
4.		【From Kobe 弥生3月 どこかで春が生まれてる】 弥生3月 From Kobe ◆ 弥生3月 雌岡山・神出の里の田園地で見つけた春 ◆ 原発再稼働トラブルに見る日本人気質 ◆ 播磨地域に広がる溜池群を利用したメガソーラー発電所の建設		
..				



再度山山麓 諏訪山レインボーブリッジから眺めた春の神戸市街地 2016.4.5.



春爛漫 元気に 2016.4.4.

神戸の市街地 再度山山裾の高台 水の科学館(奥平野貯水池)

樹齢約70年の大きな一本桜「舞桜」が、今年も満開の花をつけました 2016.4.4.

春爛漫 満開の花をつけた枝を精一杯 大空に掲げる一本桜 人それぞれに思い出がある

花の香りが漂う春に胸膨らませ、仲間の元気を活力に!!

時には助けてもらいながら わが道を前向いて

3月27日はイースター・復活日

毎年 復活日が来るとキリストの受難に思いをはせ、自らをふりかえり、わが身に感謝し、家族・仲間 そして地球の人たちへと思いをはせる

希望の明日そして世界平和を春の花に込めて「神とともにいまして」との思いもあらた 新しい出発を誓う

Happy Easter 2016



ベンチから飛び出す若者たちにエール 甲子園 若き日がふつふつと

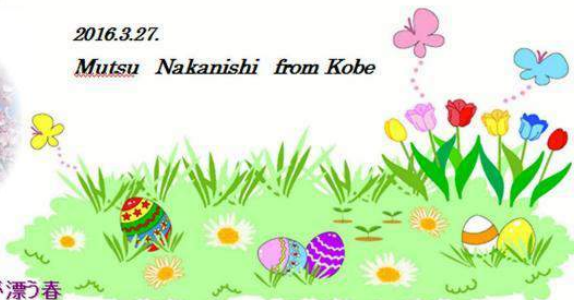
2016.3.27.

Mutsu Nakanishi from Kobe



「希望」「愛」「優しさ」

アーモンドの花の香りが漂う春



満開の花をつけ 精一杯 手を掲げる桜には 人それぞれのなつかしい思い出がある

また、私には 人一倍愛着をよせる春の花がもう一つ。

里の雑木林の中 まだ 冷たい風にまっすぐ顔を向け、身を震わせて立ち向かう春の妖精「カタクリの花」

早春から春爛漫に 目まぐるしく移り変わる春景色 野山も里も草木萌え 生命観あふれるうれしい季節の訪れ

毎年の春迎え 戸外に飛び出して 元気いっぱい 春を楽しむ

また、この時期は新しい出会いと出発の時 街には新しい門出の若者たちの華やいだ声が響く

思わず「カー杯飛び出せ!!」とエールを送り、愚痴るより 元気に自然の中へ また街中へ

「老いてはいられぬ 前向いて 一步を」と気を引き締める

そんな4月の春便りです

春の妖精 カタクリの花 2016

花言葉は「初恋」・「耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて地表に顔を出し
山腹の斜面で冷たい風に身を打ち震わせ
て立ち向かう姿に心を揺さぶられる

桜の便りが届きだすと毎年出会いに行く
佐用たたらの里のカタクリの花

春一番の楽しみ カタクリの花との出会い
その愛らしい姿にじつと目を凝らす



春を告げる妖精「カタクリ」の花
花言葉は 「初恋」・「寂しさに耐える」
地球氷河期の生き残り
日陰の山腹の斜面で
冷たい風に身を打ち震わせる姿に
いつも 心をゆさぶられる

「ガンバレヨ!」と声を掛けたくなる花から
「また、一年 ガンバロウ!!」と
元気をもらう花になりました

2016.4.5. by Mutsu Nakanishi



***** 春爛漫 4月 春便り 新しい出会いと出発へ 日々あらた *****
愚痴るより 元気に自然の中へ また街中へ

1. 春爛漫 4月春便り 新しい出会いと出発へ 日々新た
2. 満開の花をつけた枝を 精一杯大空に掲げる一本桜
人それぞれに思い出がある
3. 神戸 寝目に水の話2つ イカゴの「夏眠」と幻の神戸石炭
4. 春の陽気に誘われて 好奇心一杯で
久しぶりに見る狂言・大阪散歩・淀川背割りの堤
5. 今月のhome page 更新記事



春爛漫 4月春便り 新しい出会いと出発へ 日々新た

早春から春爛漫に 目まぐるしく移り変わる春景色 野山も里も草木萌え
生命観あふれるうれしい季節 戸外に飛び出して 春を楽しむ
好奇心もまだ旺盛 Stay Yang Day!!
春爛漫の4月 新しい出会いと出発がここかしこ
街には新しい門出の若者たちの華やいだ声が響く
若者たちに「カー杯飛び出せ!!」とエールを送る

3月27日 イースター・復活日

「神ともに いまして」の思いも日々新た
闘病や幾多の困難の中にある人達に思いをはせつつ、
わが身の今を感謝し、世界平和を祈る。



2016.3.27.
Mutsu Nakanishi from Kobe

「希望」「愛」「癒しさ」
アーモンドの花の香りが漂う春



満開の花をつけた枝を 精一杯大空に広げる一本桜

人それぞれに思い出がある



大空に向かって 精一杯手を広げる満開の一本桜。神戸でも市街地 再度山山裾の高台 水の科学館(奥平野貯水池)にある樹齢約70年の大きな一本桜「舞桜」が、今年も満開の花をつけ、また 千種川が流れ下る西播磨たたらの里佐用漆野の一本桜 光福寺の「大糸桜」にも出会えました。

桜にかかる思いは人それぞれ。少し離れて腰を下ろして、ほんやりと桜を見上げるのが私流。

ふいっとかつてのTVドラマ主題歌「記念樹」の歌が口を突いて出てくる。

桜を眺めるといつも出てくる 懐かしい私の応援歌です。

【参考 風来坊 2014.5月 by Mutsu Nakanishi】

◀ SOUND [かつて訪れたことがある日本各地の一本桜 と私の応援歌「記念樹」](#) ▶



神戸 寝耳に水の話2つ イカナゴの「夏眠」と幻の神戸石炭

◆ 砂から顔だけ出して夏眠 ユーモラスなイカナゴ姿 でもこれもすごい知恵

神戸の春は何とんでも「イカナゴ漁」の話題から。

でも 今年も暖冬がたたって 大阪湾の水温が高く、大阪湾に回遊するイカナゴの稚魚 が極端に少なく不漁。毎年神戸ではイカナゴの釘煮の話題で盛り上がるのですが、高値を呼んで 今年も不発。

でも、店先には例年ほどではありませんが、釘煮にするイカナゴを求める行列ができていました。

ところで 新聞にこんなユーモラスなイカナゴの姿が掲載。水温が高くなる6~7月頃 海底の砂の中に潜って活動を停止。イカナゴはそれ以後 餌も食べず、12月まで砂の 中でじっとしているという。



海峡の底の砂地で 夏眠するイカナゴの稚魚達

この習性は、彼らが北の海から南へ分布を広げるために身につけた、暑い夏を乗り切る素晴らしい戦略。

12月頃になって水温が下がってくると、イカナゴは砂の中から出てきて、産卵をおこない、満1才で親になるという。高山植物やカタクリなどの植物の生き残り戦略の話はよく聞きいて 知っていましたが、魚にも こんな生き残り戦略がある。「イカナゴ生き残りのすごい戦略」いまさらながらびっくり。

◆ 幻の神戸石炭 わが町周辺の谷が幕末開国の一時期石炭の重要な産出地



周辺が植物化石の宝庫で 道端に目を凝らすと小さな化石が今も見つかりますが、石炭が出るなど寝耳に水。今は谷や谷筋の丘にマンションが立ち並び、谷を山陽新幹線・高速道路が渡ってゆく。

採炭地とされるパチンコ屋周辺や谷筋を石炭のかけらを探してたどりましたが、見つけられませんでした。

六甲連山が明石海峡に落ちる摂津/播磨の国境 いろんな話の残る面白い場所です。

🌈 春の陽気に誘われて 好奇心一杯で 久しぶりに見る狂言・大阪散歩・淀川背割りの堤
 静まり返った空間を切り裂く笛と「よお〜？」 との大きな掛け声とともにポンと鼓の音 久しぶりに聞く狂言の始まり なんと心地よい。この一瞬だけでも狂言鑑賞の価値があると思う。

演目は「三番叟」と「二人袴」 久しぶりの狂言鑑賞
 すう〜と気分爽快に

天気はほかほかの春陽気 前後する時間 家内と二人 大阪散歩
 新しく建て替わった阪急ビルに初めて行き、目を丸くしてあきられたり、
 また、大槻能楽堂のすぐそば 大阪 法円坂・難波宮跡の広い空間を家内
 は知らぬ という。

どっちもどっち、おのぼりさんで大阪を久しぶりに歩きました。

また、 男山と天王山に挟まれた八幡で 淀川へ注ぎ込む桂川・宇治川・木
 津川の 合流点の中州に作られた長さ 1.4km の背割りの堤にも。
 ウグイスが春の鳴き声の練習。

一度歩きたかった場所 桜にはちょっと早かったのが残念。

phot を、[早春から春爛漫に 神戸の春を駆ける](#) に一緒に掲載しています。



★★ 今月のhome page 更新記事 ★★



1.	<p>【和鉄の道・Iron Road】【PDF File】 幕末神戸の街に炭鉱!! 神戸開港と密輸に關係した「幻の神戸石炭」 高取山北麓 車・妙法寺の石炭 幕末神戸開港に一役!! 寄港する外国蒸気船の石炭供給基地 2016.3月12日 神戸新聞の記事より</p>
2.	<p>【和鉄の道・Iron Road】【PDF File】 参考 雑誌「岳人」2016年2月号 畠山重篤氏「鉄の誘い」の転記紹介 第18回 山と海の出逢い -つながりと恵みを巡る旅- より</p>
3.	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 《2016神戸の春アルバム》早春から春爛漫に 神戸の春を駆ける</p>
4.	<p>【From Kobe 2016年 春爛漫の4月 春便り】 新しい出会いと出発へ 日々あらた 元気に今を ぶつぶつ from Kobe ◆ この春 神戸の話題 神戸の春 海からの毎春の恵み イカナゴ漁と牡蠣の水揚げ 幻の神戸石炭 ◆ TVニュース番組の芸能番組化急速に また 異常だった朝日新聞の紙面構成が大きく修正されている</p>
<p>【更新記事概要】・【更新記事アドレスリスト】</p>	

(和鉄の道・Iron Road)

◎雑誌「岳人」の2月号に 昨年世界遺産に登録された近代製鉄発祥の地 釜石の「橋野高炉跡」の訪問記をベースにした畠山重篤氏「鉄の誘い」が掲載。
 世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の中の「日本近代製鉄」の黎明と発祥期 東北での近代製鉄の発祥がもたらした日本の近代化について 実に簡潔にまとめられている。 また 東日本大震災で未曾有の災害を受けた三陸沿岸の山に存在する鉄が三陸の豊かな海を育み、支えていることにも触られている。うれしくなって、この一文を転記して ご紹介。また、この同じ時代に自宅周辺の谷筋が石炭の採炭地として、日本開国・神戸開港を支えたとの新聞記事が掲載。合わせて「幻の神戸石炭」をご紹介。

(風来坊・Iron Road)

◎《早春から春爛漫に神戸の春を駆ける》
 2016年神戸の春をスライド動画と Photo アルバムで紹介しました。

(From Kobe 4月)

◎【From Kobe 2016年 春爛漫の4月 春便り】

◆ 4月新しい出会いと出発へ 日々あらた 元気に今を

◎ ぶつぶつ from Kobe この春神戸の話題

◆ 毎春の恵み イカナゴ漁と牡蠣の水揚げ & 幻の神戸石炭

◆ TVニュース番組の芸能番組化急速に また異常だった朝日新聞の紙面構成が、大きく修正されている



へいわってなにか。ほくは、かんがえたよ。ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎがのんびりあるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒビーンとなく。みんなのころから、へいわがうまれるんだね。これからも、ずっとへいわがつづくように、ほくも、ほくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

戦争に道を開く安全保障法案国会通過
でも 何と言おうと戦争反対
平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
国の大きな転換点 今 声を上げねば!!
平和を今 自分の頭で考えよう

from Kobe Mutsu Nakanishi

3.17. 東日本大震災・福島原発事故を忘れずに 復興はまだ 道半ば 被災地の人達を応援しよう
東北讃歌 私の好きな東北 東日本大震災にみまわれた人達を忘れぬために



「あの高嶺 鬼すむ誇り その瀬音 久遠の賛歌
この大地 燃えたついのち ここは(東北)」
- 北上市市民憲章より -

◆ 和鉄の道・Iron Road 2014 「東北・三陸沿岸のIron Road」を訪ねる 総集

困難の中に居られる方々にエールを!!

いつも 思いをはせています。
「忘れまい 忘れないで 仲間がいる
暖かい希望の輪がつながっていることを」

神 共に居まして
得られるものを 変える「勇氣」
変えられないものを 受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニーバーの祈り より
日々新た 今できることを 精一杯
無理せずゆっくりと

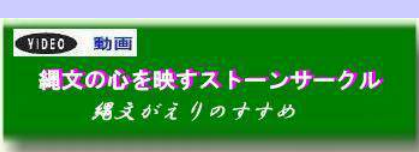
「まあええか 元気だして行こう」と心は行ったり来たりですが
好奇心さえあれば・・・と前向いて お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

ジョージ・カーリンのメッセージ

◎ 「老いを楽しく生きるために」
「老いを嘆くことはない。100才になったら
赤ちゃんに戻るんだから・・・」
そして、忘れてはいけない。
人生とは自分が息を吸う数ではなく、
吐く瞬間で測定するものです。
充実した毎日を生きましょう!!

◆ WMV 動画

“ [Philosophy For Old Age.pps](#) ”



世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

各地から届く花だよりが届く中 厳しい気象変化にと戸惑った神戸でしたが、孫たちの行事や同窓会・仲間の会 高校野球も今年は行かねばと。ここ数年いつも盛り上がるラグビー観戦もなく、感がくるってしまったのか 何やかや ぐずぐずしている間に、桜満開に。そや 早く カタクリにも出会いに行かねばと。

春爛漫 うれしい季節になり、一番後回しになったホームページ更新ですが、やっとできました。遅くなったおかげで、春爛漫 例年の土筆採りから菜の花そして 桜 カタクリまで春景色を満載できた一人喜んでます。毎度の繰り返しですが、何度見ても飽きない満開の桜に風に身を震わすカタクリの花 お暇なときにでもご覧ください。また、ずっと闘病などで仲間の会から離れていた仲間が今年何年ぶりでしょうか 幾人も顔を見せてくれました。もう うれしい びっくり。



医学の進歩のすごさを知るとともに 病気を克服して語る仲間の笑顔に本当に うれしい春です。

何かと世話がやけ、色々気にかけてもらった家族・孫たちも みんなに世話になりながらも、元気に春を迎えることができました。孫と甲子園の応援席にいるなんて・・・とうれしくもあり、ほっとした春です。

頭回らずで、更新もままならずですが、お許し下さい。

元気に前向いてと 気持ちを奮い立たせる毎日ですが、好奇心もまだまだ。仲間の元気を活力に!!

お互い無理せず元気に 体調管理に留意して過ごしたいと

ご意見や感想など 引き続きお知らせください。

気候も良くなり、山はもう 新緑の中にミツバツツジ 街では数々の春のイベント 戸外で楽しむ絶好の季節 どうか 無理せず 体調管理にご留意ください

2016.4.10. from Kobe Mutsu Nakanishi

今できることを精一杯 お互い笑顔で 前向き思考 元気を出して 仲間が頼りですが、まだまだ元気 好奇心はある

2016年4月 home page 更新記事 概要.

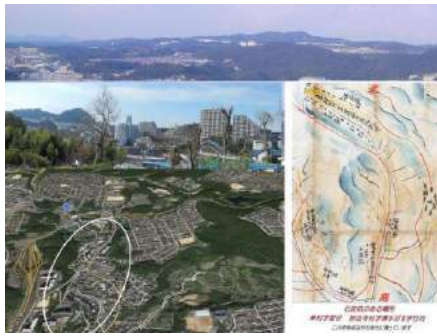


***** 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪・Iron Road 2016年3月 *****

1. 幕末神戸の街に炭鉱 !! 神戸開港と密接に関係した「幻の神戸石炭」 2016.3月12日

高取山北麓 車・妙法寺の石炭 幕末神戸開港に一役 !! 寄港する外国蒸気船の石炭供給基地 神戸新聞より





自宅周辺の谷筋が石炭の採炭地として、日本開国・神戸開港を支えたとの新聞記事が神戸新聞に掲載。

周辺では、植物化石の宝庫で 道端に目を凝らすと小さな化石が今も見つかりますが、石炭が出るなど寝耳に水。

長く住んでいますが、全く知らず。今は谷や谷筋の丘にマンションが立ち並び、谷を山陽新幹線・高速道路が渡ってゆく。

採炭地とされるパチンコ屋周辺や谷筋を石炭のかけらを探してたどりましたが、見つけれませんでした。

2. 参考 雑誌「岳人」2016年2月号掲載 畠山重篤氏「鉄の誘い」の転記紹介 2016.4.1.
 畠山重篤 山と海の出逢い -つながりと恵みを巡る旅- 第18回「鉄の誘い」より

【参考 和鉄の道・Iron Road】震災後初めて 東北 三陸沿岸のIron Road を再訪 2014.6.7-6.9.

雑誌「岳人」の2月号に 昨年世界遺産に登録された近代製鉄発祥の地 釜石の「橋野高炉跡」の訪問記をベースにした 畠山重篤氏「鉄の誘い」が掲載された。

世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の中の「日本近代製鉄」の黎明と発祥期 東北での近代製鉄の発祥がもたらした 日本の近代化について 実に簡潔にまとめられている。

また 東日本大震災で未曾有の災害を受けた三陸沿岸の山に存在する鉄が三陸の豊かな海を育み、支えていることにも触れられている。うれしくなって、この一文を転記してご紹介。



***** 今月の風来坊 Country Walk2016年4月 *****

1. <<2016 神戸の春アルバム>> 早春から春爛漫に 神戸の春を駆ける

<<2016神戸の春アルバム>> 早春から春爛漫に 神戸の春を駆ける

<p>「イカナゴ」漁 & 夏眠するイカナゴ</p> 	<p>性海寺の里で土筆とり</p> 	<p>神戸開港に貢献した「神戸石炭」</p> 	<p>若き血がもゆる甲子園</p> 
<p>2016年春爛漫 桜 満開の花をつけた枝を 精一杯広げる一本桜 人それぞれに 思い出がある</p>			
 <p>神戸 再度山 山桜</p>	 <p>神戸 奥平野の「舞桜」</p>	 <p>西播磨 佐用 漆野光福寺の「大糸桜」</p>	 <p>姫新線三日月 佐用川の桜堤</p>

- ◆ 神戸の春の海からの贈り物「イカナゴ」漁と西播磨相生・室津の殻付き牡蠣
- ◆ 早春の大阪街散歩 & 淀川3河川(桂川・宇治川・木津川)合流点 背割り堤
- ◆ 3月27日 復活日(イースター)
- ◆ 西神戸の里での例年の土筆とり & 久しぶりの春選抜野球の応援に
- ◆ 神戸でも 桜も咲き始め 野も街も桜満開 春爛漫に
- ◎ 神戸奥平野の「舞桜」と神戸市民の山 再度山の山桜
- ◎ 西播磨 佐用町漆野の「大糸桜」と姫新線千種川沿い桜堤
- ◆ 毎年春になると一番出会いたい 山の斜面で身を震わせる春の妖精「カタクリ」

3月から4月初めにかけて早春から春爛漫に 野山も里も草木萌え 目まぐるしく移り変わる
 春景色 生命観あふれる自然の中に飛び込んで、春を楽しむ
 神戸近郊の春景色 walking 私の毎年の春迎え 戸外に飛び出して 元気いっぱい うれしい季節になりました



***** from Kobe 2016年4月

【From Kobe 2016年 春爛漫の4月 春便り】

◆ 4月新しい出会いと出発へ 日々あらた 元気に今を

◎ ぶつぶつ from Kobe この春神戸の話題

◆ 毎春の恵み イカナゴ漁と牡蠣の水揚げ & 幻の神戸石炭

◆ TVニュース番組の芸能番組化急速に

また異常だった朝日新聞の紙面構成が、大きく修正されている



【2016年 4月】 掲載 記事リスト 2016.4.10.

今月 新たに掲載した記事										
1.	<p>【和鉄の道】【PDF File】2016.3.17. 幕末神戸の街に炭釜!! 神戸開港と密接に関係した「幻の神戸石炭」 高取山麓 車・妙法寺の石炭 幕末神戸開港に一役!! 寄港外国蒸気船の石炭供給基地 2016.3月12日 神戸新聞の記事より</p> <p>【参考】 ▼ 「神戸石炭」を紹介する2016.3月12日 神戸新聞の記事 ▼ 国交省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所編「妙法寺川物語」</p>									
2.	<p>【和鉄の道】【PDF File】2016.4.1. 参考 雑誌「岳人」2016年2月号掲載 畠山重篤氏「鉄の誘い」の転記紹介 【参考 和鉄の道・Iron Road】 ▼ 震災後初めて 東北三陸沿岸のIron Road を再訪 2014.6.7-6.9.</p>									
3.	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 2016.4.5. <<2016神戸の春アルバム>> 早春から春爛漫に神戸の春を駆ける ◆ 神戸の春の海からの贈り物 「イカナゴ」漁と西播磨相生・室津の綾付き牡蠣 ◆ 早春の大阪街散歩& 淀川3河川(桂川・宇治川・木津川)合流点 背割り堤 ◆ 3月27日 復活日(イースター) ◆ 西神戸の里での例年の土筆とり & 久しぶりの春選抜野球の応援に ◆ 神戸でも 桜も咲き始め 野も街も桜満開 春爛漫に ◎ 神戸奥平野の「舞桜」と神戸市民の山・再遊山の山桜 ◎ 西播磨 佐用町 漆野の「大系桜」と姫新線千種川沿い桜堤 ◆ 毎年春になると一番出会いたい 山の斜面で身を震わせる春の妖精「カタクリ」</p> <p>【参考 風来坊 2014.5月 by Mitsu Nakanishi】 ▼ <<かつて訪れたことがある日本各地の一本桜と私の応援歌「記念樹」>></p>									
4.	<p>【From Kobe 2016年 春爛漫の4月 春便り】 新しい出会いと出発へ 日々あらた 元気に今を 《ぶつぶつ from Kobe》</p> <p>◆ この春 神戸の話題 ◎ 神戸の春 海からの毎春の恵み イカナゴ漁と牡蠣の水揚げ ◎ 幻の神戸石炭</p> <p>◆ TVニュース番組の芸能番組化急速に また おかしかった朝日新聞の紙面構成も大きく変化</p>									
<p>【電子ブック】 製本版 2015年 和鉄の道・Iron Road】Year Book</p> <table border="1"> <tr> <td>和鉄の道・Iron Road 日本各地の製鉄道跡 & 関連地探訪</td> <td>風来坊・Country Walk 日本各地の山・川・里 探訪</td> <td>四季折々・From Kobe 思いっくまま ぶつぶつ 神戸便り</td> </tr> <tr> <td>2015年掲載記事リスト</td> <td>2015年掲載記事リスト</td> <td>2015年掲載記事リスト</td> </tr> <tr> <td>和鉄の道 2015【46MB】 book4for2015.pdf</td> <td>風来坊 2015【195MB】 bookWalk2015.pdf</td> <td>四季折々 2015【47MB】 bookmitsu2015.pdf</td> </tr> </table> <p>【和鉄の道・RON ROAD】(2001-2015) 全掲載記事 LIST</p>		和鉄の道・Iron Road 日本各地の製鉄道跡 & 関連地探訪	風来坊・Country Walk 日本各地の山・川・里 探訪	四季折々・From Kobe 思いっくまま ぶつぶつ 神戸便り	2015年掲載記事リスト	2015年掲載記事リスト	2015年掲載記事リスト	和鉄の道 2015【46MB】 book4for2015.pdf	風来坊 2015【195MB】 bookWalk2015.pdf	四季折々 2015【47MB】 bookmitsu2015.pdf
和鉄の道・Iron Road 日本各地の製鉄道跡 & 関連地探訪	風来坊・Country Walk 日本各地の山・川・里 探訪	四季折々・From Kobe 思いっくまま ぶつぶつ 神戸便り								
2015年掲載記事リスト	2015年掲載記事リスト	2015年掲載記事リスト								
和鉄の道 2015【46MB】 book4for2015.pdf	風来坊 2015【195MB】 bookWalk2015.pdf	四季折々 2015【47MB】 bookmitsu2015.pdf								



新緑の5月 五月晴れの空 野も山も里も草木燃え 輝きの一瞬
野山を楽しむのもよし、スポーツや街歩きもまた楽し



但馬水入山山麓では南西限の水芭蕉 六甲では新緑の森にツツジ・ジャクナゲ そしてヒマラヤの青いケシ



ストリートジャズにひかれて 多くの人が街にくりだして 5月8日 神戸新開地音楽祭 2016.5.8. 新開地 ジャズ ストリートで
久しぶりのジャズの音に気分爽快 缶ビール片手にストリートジャズのはしご。
気持ちも晴れやか 大空の空気を胸いっぱい吸い込んで、ゆったりと

春の行事に活気づく街 気持ちも晴れやか
 大空の空気を胸いっぱい吸い込んで、戸外へ出て ゆったりと
 5.8.は新開地ジャズストリート & 5.15.は神戸まつり と
 春の行事が続き、神戸の街に心地よいストリートジャズの音が響き、
 多くの人が街に出て楽しむ。うれしい春です
 久しぶりのジャズの音に気分爽快。
 缶ビール片手にトリートをはしごる。
 真っ青な空に手を広げ 自然を胸いっぱい吸い込んで今を元気にと。
 でも 忘れてはいない熊本の大地震。
 次々と起こる自然災害の怖さがまざまざと。
 まだ余震が続く中での生活の厳しさを察しながら 早く余震が収まり
 一日も早く 生活再建への道が開けることを祈っています。



2016.5.10. Mutsu Nakanishi from Kobe



我が家の角先の草花も春爛漫に(5.5.更新)

《 五月晴れ 新緑の5月の便り 》



野も山も里も草木燃え 野山を楽しむのもよし、スポーツや街歩きもまた楽し



大地にどっしり根をおろし、山里を見守る一本桜
 養父市大屋町樽見の一本桜「仙桜」 2016.4.20.

1. 新緑の5月便り
2. 新緑の一本桜 養父市大屋町樽見の「仙桜」
花は散っても 新緑の枝を大空一杯に
3. 水芭蕉の南西限 但馬に自生する水芭蕉
4. 大阪弥生博物館特別展 4月23日～6月19日
「鉄の弥生時代 鉄器は社会を変えたのか?」
5. ジャズ ストリート 久しぶりにブルーグラスをきいて
6. 三内丸山縄文の藤川直迪先生を悼む
7. 今月のhome page 更新記事

熊本の大地震。次々と起こる自然災害の怖さがまざまざと。
 まだ余震が続く中での生活の厳しさを察しながら
 被災された皆様には 一日も早く 生活再建への道が
 開ける ことをお祈りしています。



🌈 新緑の5月便り

神戸の街には 心地よいジャズが流れ、多くの人が街に出て、何とはなしに華やぐうれしい春
野も山も里も草木燃え 野山を楽しむのもよし、スポーツや街歩きもまた楽し。
老いぼれてはられない 外に出て元気にと

- ◎ また 思いもよらぬ大地震が熊本・阿蘇地方を襲う 震度7の大地震が2度までも。
私にとっては何度も訪れたことがある熊本・阿蘇地方。次々と起こる自然災害の怖さがまざまざと。
一番最近では2012.11月 阿蘇カルデラ内に広がる「阿蘇黄土」や古い製鉄関連遺跡・阿蘇神社などを
訪ねた旅。多くの人に世話になり、その時を思い浮かべ、HPに掲載した阿蘇の記事を見返しながら、
心配しています。 ◆ [私の阿蘇谷 「阿蘇黄土」を訪ねる 2012.11..](#)
まだ余震が続く中での生活の厳しさを察しながら
被災された皆様には 一日も早く 生活再建への道が開け「すように。

🌈 新緑の一本桜 養父市大屋町樽見の「仙桜」

新緑の枝を大空一杯に拡げ、里を見守る一本桜

花は散っても その堂々としたパワフルな姿がまぶしい

但馬の山懐 芽吹きの中の山腹で、枝一杯に若葉をつけ、
堂々と里を見守る一本桜を見てきました。
堂々とした姿は花満開の姿と変わらず。
その姿に唖然と見上げる。
これが一本桜の魅力だと。

新緑の一本桜を目的に訪ねたのは初めてでしたが、
堂々とした姿に圧倒された。

「老いゆくばかりではられない。元気に今を頑張ろう」
皆さんにはどう映るでしょうか



養父市大屋町樽見の一本桜「仙桜」 2016.4.20.

🌈 水芭蕉の南西限 但馬に自生する水芭蕉

水芭蕉 今年 何とはなしにうれしく、元気をもらう春の花になりました



氷ノ山の自然環境に恵まれ、隔絶された地で 1万年以上の長きにわたり、命をつないできた水芭蕉が、
兵庫県の但馬に咲いている。氷河期の生き残り。水芭蕉が南西限の地 兵庫に自生している。
尾瀬や他の自生地の水芭蕉に比べ、その大きさが極めて小さいことや、色つやなどに厳しい環境に耐える姿が
垣間見え、同じ兵庫に暮らすものとして 思わず 頑張れよと声をかけたくなった。
水芭蕉 何とはなしにうれしく、元気をもらう春の花になりました

大阪弥生文化博物館特別展 4月23日～6月19日
「鉄の弥生時代 鉄器は社会を変えたのか？」



今までの弥生時代の常識を変える時代感。
大阪弥生文化博物館(JR 阪和線信太山駅近く)で「鉄の弥生時代」の特別展が開催中。おすすめです。
「弥生時代の始まりは500年遡れる」との発表から、その後の数々の弥生時代の発掘調査研究やC14年代計測法の発展による実年代の絶対比較評価が可能になるなどとして、今までの弥生時代の常識が大きく見直されようとしています。

「弥生時代は鉄器時代のはじまり」と言われた鉄器の役割も見直しが始まっている。

古代史ブームの邪馬台国論も弥生時代の解明なくしてはわからない。

先日関連セミナー参加に合わせて特別展を見してきました。小さな展示ですが、弥生時代の疑問をストレートに示して、新しい成果を取り込んだ弥生の時代感を地域で比較しながら、実にわかりやすく展示レビューされました。TVや小説の脚色に惑わされず、縄文・弥生時代ともに日本を知るよい機会おすすめです。

ストリート ライブ 久しぶりにブルーグラスをきいて



5月8日新開地音楽祭ジャズストリート。地下鉄の出口から神戸の街にでると心地よいジャズの音が聞こえてくる。久しぶりにブルーグラスの軽快なリズムを奏でるバンジョーやマンドリンにギターベースも細身になってテンポをとる。人ごみをかき分けて街のライブステージへ。久しぶりに聞く音とリズムに気分爽快。しっかりブルーグラスのファンにになってしまったなあ。また、デキシーもええなあ。

缶ビール片手にストリートライブのはしご。スカーッとしました。

友人に連れて行ってもらっているうちにハマっていますが、ふらっとひとり気ままに耳を傾けられるのが、心地よい。 ◆新開地ジャズストリート 2016.5.8. ◆ [【 Sound 7min 8MB ・ MP4 動画 11min 74MB 】](#)

原宿はどうあるべきなのだろうか みんなの日本の暮らしを考えよう
政治の大きなうねりの今「平和を そして国を考えよう」2016



へいわってなにかな。ぼくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびりあるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒビーンとなく。
みんなのころから、へいわがうまれるんだね。これからも、ずっとへいわがつづくように、ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

戦争に道を開く安全保障法案国会通過
でも 何と言おうと戦争反対
平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
国の大きな転換点 今 声を上げねば!!
平和を今 自分の頭で考えよう

from Kobe Mutsu Nakanishi

● 三内丸山縄文の藤川直迪先生を悼む

三内丸山縄文の会「縄文ファイル」が送られてきて、藤川直迪会長のご逝去を知る。

諸氏済々の三内丸山縄文の会をまとめ、三内丸山遺跡をよにひろめ、また世界遺産登録運動の先頭に立ってこられた諸先輩の一人である。

もう 20 年近くになるが、三内丸山遺跡のお月見の会に誘われでかけた三内丸山遺跡で、多くの人とを酌み交わし集う中で、「三内丸山縄文発信の会におはいいよ」と誘っていただいたのが始まりで、その後 三内丸山縄文を通じてのお付き合いをさせてもらってきた。

三内丸山遺跡の魅力は遺跡・出土品のみならず、

「そこに集まってくるひとたち 学者も市民も学生も偉い人も 誰もがみんな 自由に教えを請い、自由に意見をぶつけ合い、縄文を語り合えるのが、ど素人の私にとっての一番の魅力」

ほかの多くの人からも同じ話をよく聞きました。

そんな三内丸山の伝統が先生たち諸先輩によって築かれ、それが縄文を世界に発信する大きな広がり原動力になっていると おだやかに語られる藤川先生の語り口は「心優しき縄文人」そのもの。

最近では年賀状と縄文ファイルで知るだけになっていましたが、天国で安らかに憩われますようお祈りするとともに、三内丸山縄文の世界遺産登録の目的が達成されることを願っています。

2016.5.11. from

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に



★★ 今月のhome page 更新記事 ★★



1.	<p>【和鉄の道・Iron Road】【PDF File】 大阪弥生文化博物館 特別展「鉄の弥生時代 - 鉄器は 社会を変えたのか? - 特別展第1回考古学セミナー 愛媛大村上恭通教授講演 2016.4.30. 「ユーラシア大陸における鉄の発展史と弥生時代の鉄」聴講メモ 村上恭通教授講演スライド集技粋整理 & 図録整理</p>
2.	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 新緑の但馬路 氷ノ山山系大屋加保坂・ハチ北の高層湿原に 氷河期の生き残りの水芭蕉を訪ねる 2016.4.20.</p>
3.	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 《2016石楠花》 新緑の六甲に石楠花・春の高山植物を訪ねる 2016.5.2.</p>
4.	<p>【From Kobe 2016年5月 新緑 5月の便り】 野も山も里も草木燃え 輝きの一瞬 戸外へ出て 元気に ぶつぶつ from Kobe ◆ 緑色にはどれほど種類があるのだろうか 知らなかった緑色にびっくり 新緑・芽吹き 毎日眺める山の緑のグラデーション この「緑色」をどう呼べばいいのか ◆ 神戸三宮・元町「高架下」商店街 高架の耐震補強で存続の危機に!! またひとつ普段着の街 昭和の匂いがする商店街が消えそう なんとも寂しい。</p>

[和鉄の道・Iron Road]

◎「ユーラシア大陸における鉄の発展史と弥生時代の鉄」 聴講メモ

西アジアで生まれた鉄がユーラシア大陸の西端から約 2000 有余年かけてメタルロードを東進して、日本に伝来した。此の間 ユーラシア大陸で発展・伝播していった鉄の探求を約 10 年関係諸国との共同発掘調査研究を続けてきた愛媛大学村上教授の講演スライドを整理してその発展史をとりまとめレビューを採録しました。古代鉄の第一人者愛媛大村上恭通教授の鉄のユーラシア大陸伝播史講義 の整理まとめです。

◆ かつて何度も訪れたことのある南ウラルのオレンブルグ (ロシア)

ユーラシア大陸を横断して朝鮮半島・日本へ伝来した鉄。

その鉄が長い東遷の旅に出るその出発点が、黒海・カスピ海北岸地帯と村上先生に教えてもらいましたが、スライド集を見て、ウラル地方の名があるのにびっくり。若いときに仕事で何度も訪れた当時はソ連のオレンブルグがその中心地のひとつ。村上先生が示されたのはもう少し南かもしれませんが・・・。

アジアとヨーロッパの境の境のウラル山脈の南ウラル地方。

日本では誰も知らず、仕事が終わった時には、荒涼とした草原が続くこの地を見聞きすることは、もうないだろうなあ・・・と。そんな記憶がふつふつと。

この南ウラルの地域が日本への鉄伝来に大きな役割を果たした地と知り、また、ちょっと北ですが、お連ブルグの地は今も ヨーロッパとアジアを結ぶ石油・天然ガスのパイプラインの重要地点のはずだと。

昔を思い出しつつ、不思議な鉄の縁を感じています。

[風来坊・Iron Road]

◎ 野山が芽吹き 新緑を迎えた 2016年神戸の春を 下記2件のスライド動画と Photo アルバムで紹介しました。

◆新緑の但馬路 大屋加保坂・ハチ北の高層湿原に 氷河期の生き残りの水芭蕉を訪ねる 2016.4.20.

◆新緑の六甲に石楠花・春の高山植物を訪ねる 2016.5.2.

ぼんやりとは聞いたことがあったのですが、但馬の水芭蕉。南西限の隔絶された地氷ノ山山麓で厳しい環境に適応しながら、1万年にわたって命をつないで自生する但馬の水芭蕉。

尾瀬の水芭蕉とはまた 違った感動です。

[From Kobe 5月]

◎ 【From Kobe 2016年 新緑 5月の便り】

◆野も山も里も草木燃え 輝きの一瞬 戸外へ出て 元気に

◆ぶつぶつ from Kobe

◎ 緑色にはどれほど種類があるのだろうか 知らなかった緑色にびっくり

新緑・芽吹き 毎日 t018h 山の緑のグラデーション この新緑の「緑色」をどう呼ぶのだろうか?

◎ 神戸三宮・元町「高架下」商店街 高架の耐震補強で存続の危機に!!

またひとつ普段着の街 昭和の匂いがする商店街が消えそう。 なんとも寂しい。

3.17.東日本大震災・福島原発事故を忘れずに 復興はまだ 道半ば 被災地の人達を応援しよう
東北讃歌 私の好きな東北 東日本大震災にみまわれた人達を忘れぬために



「あの高嶺 鬼すむ誇り その瀬音 久遠の賛歌
この大地 燃えたついのち ここは (東北) 」

- 北上市市民憲章より -

◆ 和鉄の道・Iron Road 2014 「東北・三陸沿岸のIron Road」を訪ねる 総集

桜の花が散った5月 野山は芽吹き・新緑 行事も多く 街も華やぐうれしい春。
 刻々と変化してゆくこの春を 家からとびだして、自然の中に身を置くのもよし、街歩きもよしと。
 ゴールデンウィーク いかがお過ごしだったでしょうか
 毎日がサンデーの私には 特に意識はしませんでした。毎年春 神戸の街歩き・展覧会 そして芽吹きの野山に
 花をたずね、やってきては 笑顔で家中を走り回る孫たち
 みんな健康であればこそと。
 なんやかやバタバタしている間に 5月も半ば、 ホームページ更新が今月も遅れてしまって。次は6月をパスして
 7月と思っています。

街にあふれる外国の人達のかお自信に満ちた顔・顔・顔。 今の日本人からは消えてしまった顔。
 もう富んだ国など幻想になってしまったとの認識もひしひしと。
 政治・一握りのマスコミ・メディアに踊らされている日本にほころびが・・・・。
 次は強権を持つ強いリーダーが世界で待望される風潮 またそろ誕生し始めている。
 また多くの外国人が奥の深い日本の暮らし・料理にあこがれ、日本にやってくる。
 日本人は どちらを向くのだろうか……
 強権を持つリーダーなぞ怖くて仕方がない。いつ自分に刃が向くか……、


平和で穏やかな暮らしこそが 人が生き延びる道
 まだそんななじ取りが生まれれないのが寂しいこの頃。
 話題はいつも 病気と介護と年金へ ぼそっと先の不安が頭をよぎる。
 でも 仲間・家族がいる。 お互いそんな話題にも 元気にと前向いて




困難の中に居られる方々にエールを! ↓
 いつも 思いをはせています。 ↓
 「忘れまい 忘れないで 仲間がいる」
 暖かい希望の輪がつながっていることを」 ↓
神 共に居まして
 得られるものを変える「勇気」 ↓
 変えられないものを受け容れる「心の静けさ」 ↓
 両者を見分ける「叡智」を ↓
 ニーバーの祈り より ↓
日々新た 今できることを 精一杯 ↓
無理せずゆっくりと ↓
 「まあええか 元気だして行こう」と心は行ったり来たりですが ↓
好奇心さえあれば・・・と前向いて お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう ↓

ジョージ・カーリンのメッセージ ↓
 ◎ 「老いを楽しく生きるために」 ↓
 「老いを嘆くことはない、100才になったら 赤ちゃんに戻れるんだから・・・・」 ↓
 そして、忘れてはいけない。 ↓
 人生とは自分が息を吸う数ではなく、 ↓
 吐く瞬間で測定するものです。 ↓
 充実した毎日を生きましょう! ↓
 ◆ WMV 動画 ↓
 “ [Philosophy For Old Ages](#) ” ↓

2016.5.10. from Kobe
 Mutsu Nakanishi

 今できることを精一杯
 お互い笑顔で 前向き思考 元気を出して

まだまだ元気 好奇心はある
 仲間が頼りですが
 今年は 「見る・聞く・言う」そして「前向いて」と。

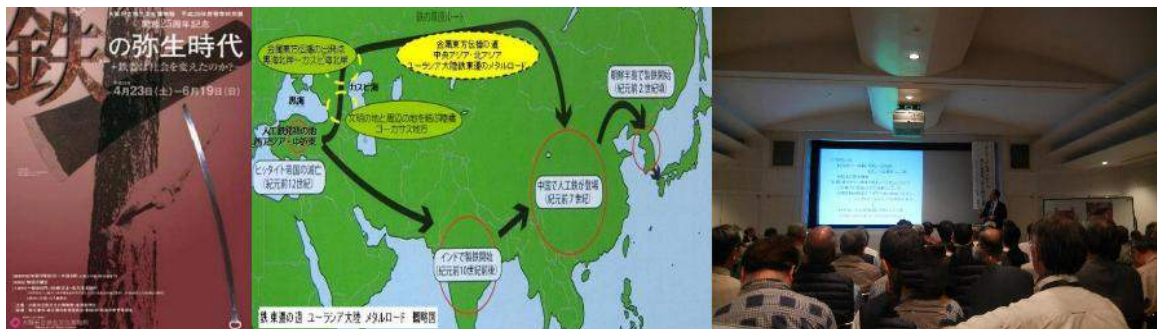


2016年5月 home page 更新記事 概要.



***** 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪・Iron Road 2016年5月 *****

1. 「ユーラシア大陸における鉄の発展史と弥生時代の鉄」 愛媛大村上恭通教授 講演聴講メモ
村上恭通教授講演スライド集抜粋整理 & 図録整理 2016.4.30.



大阪弥生文化博物館 弥生の鉄セミナー「ユーラシア大陸における鉄の発展史と弥生時代の鉄」

愛媛大村上恭通教授講演 2016.4.30.

愛媛大学東アジア古代鉄研究センター村上恭通教授らが進める関係各国研究連携プロジェクト「鉄の起源・ユーラシア大陸の東西を結ぶ古代メタルロードの探求」の目覚ましい成果により鉄の起源・そして西アジアからの古代鉄ユーラシア大陸東遷の道が解き明かされつつある。

西アジアで生まれた鉄がユーラシア大陸の西端から約 2000 有余年かけてメタルロードを東進して、日本に伝来した。約 10 年関係諸国との共同発掘調査研究を続けてきた研究成果をもとに 4 月 30 日大阪弥生文化博物館での「ユーラシア大陸で発展・伝播していった鉄文化・鉄技術の歴史レビュー」の講演を聴講させてもらった。そのスライドを整理して採録しました。

村上先生の鉄の伝播を理解する視点として、鉄の伝播には3つのstageがあり、それを経なければ伝播は途切れる。伝播は一機には飛躍することはできないと。

技術伝播のむつかしさ時間と技術をはぐくむ素地・環境そして交流が不可欠であるとし、具体的なメタルロード上での鉄の発展実例を示して、鉄の伝播史・鉄の道が解き明かされた。

私の私的な聴講記録ですが、古代鉄の第一人者愛媛大村上恭通教授の鉄のユーラシア大陸伝播史講義の整理まとめです。

◆「ユーラシア大陸における鉄の発展史と弥生時代の鉄」
西アジアで生まれた鉄のユーラシア大陸東進とその発展史
ユーラシア大陸を西から東へ数千年をかけて東進して、日本に伝えられた鉄
ユーラシア大陸のメタルロードで3つのstageを経て鉄は東へ伝播した
そのプロセスの理解なくしては弥生の鉄を理解できない。



2016.4.30.村上恭通教授の講演より 要旨まとめ

- ① 第1のstage : 第1波 → ② 第2のstage : 第2波 → ③ 第3のstage : 第3波
- 見つけた鉄そのものの姿
小鉄塊が稀少価値 宝物性を持つ
- 希少・利用価値のある金属 威信性
金柄鉄剣など複合鉄器(バイメタル)
その希少性・利用価値のえ
金以上の価値があった鉄
- 広く実用器としての利用
本格的な鉄技術の確立
武器・工具など実用利器



鉄技術の伝播はこの3つの波を経験できた地を経てのみ東進

***** 今月の風来坊 Country Walk2016年5月 *****

1. 新緑の但馬路 大屋加保坂・ハチ北の高層湿原に 氷河期の生き残りの水芭蕉を訪ねる 2016.4.20.



新緑の但馬路 氷ノ山山系の山郷 養父・ハチ北に水芭蕉を訪ねる 2016.4.20.	
◆ 芽吹きの中 中国山地 但馬路	山腹全体をキャンパスに新緑の中 ピンクの花・ミツバツツジが点在 新緑の春景色 山が萌え輝く一瞬・林を彩るミツバツツジ
◆ 養父市大屋 樽見	山腹から里を見下ろす新緑の一本桜 樽見の大桜「仙桜」
◆ 養父市大屋 佐保坂峠	西日本で唯一自生す加保坂峠湿原 南西限の水芭蕉
◆ 香美町ハチ北高原	水芭蕉の里 休耕田の水芭蕉 (ハチ北高原 休耕田栽培地)
◆ 香美町ハチ北高原	ハチ北グレンデ 小沼湿原の水芭蕉 (自然環境での水芭蕉観察栽培地)
◆ 香美町ハチ北高原	ハチ北グレンデ 丘を黄色に埋める水仙をバックに立つ白樺の木
◆ 但馬路の水芭蕉	但馬路で訪ねた水芭蕉2016



氷ノ山の自然環境に恵まれ、隔絶された地で1万年以上の長きにわたり、命をつないできた水芭蕉が、南西限の地兵庫但馬で自生して咲いている。尾瀬や他の自生地の水芭蕉に比べ、その大きさが極めて小さいことや、色つやなどに厳しい環境に耐える姿が垣間見え、同じ兵庫に暮らすものとして 思わず 頑張れよと声をかけたくなった。水芭蕉 何とはなしにうれしく、元気をもらう春の花になりました。

水芭蕉が咲く湿原ばかりでなく、久しぶりに眺めた中国山地 但馬の春。

新緑の山並みは山腹全体をキュンパスにして 芽吹きの新緑のグラデーションの中に山桜やミツバツツジ のピンクをちりばめ、鳥たちのさえずりが聞こえる雑木林 そして人影のないスキーゲレンデの丘一面は水仙のじゅうたんに。山が萌え輝く最も素晴らしい時でした。



2. 《2016 石楠花》 六甲森林植物園 石楠花谷 & 六甲高山植物園 2016.5.2 新緑の六甲に石楠花・春の高山植物を訪ねる



六甲森林植物園 石楠花谷& 六甲高山植物園で 2016.5.2.

神戸の春 5月初頭 桜が散って、野山は一年で一番美しい季節に。

毎年でかける石楠花 Walk 5月2日 石楠花の盛りから遅れましたが、六甲森林植物園の石楠花谷・六甲高山植物園に石楠花を訪ねました。谷筋を埋めつくすシャクナゲは見られませんでした。人も少なく 日本石楠花の美しさをひとつひとつ ゆっくりとながめることができました。気分も晴れやかに。

新聞では「六甲山上の高山植物園では今ちょうどシャクナゲが見頃 ヒマラヤの青いケシも咲いている」と。

そのまま六甲山上へドライブウェイを上って、六甲高山植物園へ。

満開の石楠花や幻の青いケシばかりでなく、湿地にはクリンソウ。 シラネアオイに出会えたのもうれしい。

高山植物の女王 コマクサ・ウスユキソウのほかハクサンイチゲにも。知らなかったユキモチソウなど数々の高山植物・山野草に出会えました。春と初夏の高山植物が一斉に咲いていて ラッキーでした。

新緑の森の中でのうれしい花めぐり。 もれ来る光に照らされて、森の小道も淡い緑のグラデーション。

新緑の緑をバックに木漏れ日に輝く石楠花石楠花谷とは違う美しさも。

春が来て桜が散ると毎年 心待ちの一日 今年も素晴らしい「石楠花2016」をお届け。

毎年の春の楽しみ また 一つ 新しい楽しみが増えました。



.. From Kobe 2016年5月 新緑 5月の便り 】

野も山も里も草木燃え 輝きの一瞬 戸外へ出て 元気に
《ぶつぶつ from Kobe》

- ◆ 緑色にはどれほど種類があるのだろうか 知らなかった緑色にびっくり
新緑・芽吹き 毎日眺める山の緑のグラデーション
この「緑色」をどう呼ばばいいのか? また 古名「鉄色」は緑の系統色????
- ◆ 神戸三宮・元町「高架下」商店街が高架の耐震補強で存続の危機に!!
またひとつ普段着の街 昭和の匂いがする商店街が消えそう なんと寂しい。



神戸三宮・元町高架下商店街
三ノ宮のシャレタ店から若者の店 そしてマニアックな店へ
若者から年寄りまで 世代を超えた多くの人が行きかう街

変化する芽吹きの色名は??

【2016年5月】 掲載記事リスト 2016.5.10.

今月新たに掲載した記事															
1.	<p>【和鉄の道】【PDF File】 大阪弥生文化博物館 2016年春季 特別展第1回考古学セミナー 「ユーラシア大陸における鉄の発展史と弥生時代の鉄」 愛媛大村上基通教授講演聴講メモ 2016.4.30. 村上基通教授講演スライド集抜粋整理 & 図録整理</p>														
2.	<p>風来坊・Country Walk【スライド動画】<<2016神戸の春アルバム>> 新緑の但馬路 氷ノ山山系大屋加保坂・八子北の高層湿原に 氷河期の生き残りの水芭蕉を訪ねる 2016.4.20.</p> <table border="1"> <tr> <td>◆ 芽吹きの中園山地 但馬路</td> <td>新緑の春景色 山が萌え輝く一瞬・林を彩るミツバツツジ 山腹全体をキャップバスにピンクの山桜・ミツバツツジが点在</td> </tr> <tr> <td>◆ 養父市大屋 樽見</td> <td>山腹から里を見下ろす新緑の一本桜 樽見の大桜「仙桜」</td> </tr> <tr> <td>◆ 養父市大屋 佐保坂峠</td> <td>西日本で唯一自生す加保坂峠湿原 南西限の水芭蕉</td> </tr> <tr> <td>◆ 香美町八子北高原</td> <td>水芭蕉の里 休耕田の水芭蕉 (八子北高原 休耕田栽培地)</td> </tr> <tr> <td>◆ 香美町八子北高原</td> <td>八子北グレンデ 小沼湿原の水芭蕉 (自然環境での観察栽培地)</td> </tr> <tr> <td>◆ 香美町八子北高原</td> <td>八子北グレンデ 丘を黄色に埋める水仙をバックに立つ白禰の本</td> </tr> <tr> <td>◆ 但馬路の水芭蕉</td> <td>但馬路で訪ねた水芭蕉2016</td> </tr> </table>	◆ 芽吹きの中園山地 但馬路	新緑の春景色 山が萌え輝く一瞬・林を彩るミツバツツジ 山腹全体をキャップバスにピンクの山桜・ミツバツツジが点在	◆ 養父市大屋 樽見	山腹から里を見下ろす新緑の一本桜 樽見の大桜「仙桜」	◆ 養父市大屋 佐保坂峠	西日本で唯一自生す加保坂峠湿原 南西限の水芭蕉	◆ 香美町八子北高原	水芭蕉の里 休耕田の水芭蕉 (八子北高原 休耕田栽培地)	◆ 香美町八子北高原	八子北グレンデ 小沼湿原の水芭蕉 (自然環境での観察栽培地)	◆ 香美町八子北高原	八子北グレンデ 丘を黄色に埋める水仙をバックに立つ白禰の本	◆ 但馬路の水芭蕉	但馬路で訪ねた水芭蕉2016
◆ 芽吹きの中園山地 但馬路	新緑の春景色 山が萌え輝く一瞬・林を彩るミツバツツジ 山腹全体をキャップバスにピンクの山桜・ミツバツツジが点在														
◆ 養父市大屋 樽見	山腹から里を見下ろす新緑の一本桜 樽見の大桜「仙桜」														
◆ 養父市大屋 佐保坂峠	西日本で唯一自生す加保坂峠湿原 南西限の水芭蕉														
◆ 香美町八子北高原	水芭蕉の里 休耕田の水芭蕉 (八子北高原 休耕田栽培地)														
◆ 香美町八子北高原	八子北グレンデ 小沼湿原の水芭蕉 (自然環境での観察栽培地)														
◆ 香美町八子北高原	八子北グレンデ 丘を黄色に埋める水仙をバックに立つ白禰の本														
◆ 但馬路の水芭蕉	但馬路で訪ねた水芭蕉2016														
3.	<p>風来坊・Country Walk【スライド動画】<<2016神戸の春アルバム>> <<2016石楠花>> 新緑の六甲に石楠花・春の高山植物を訪ねる 2016.5.2. 六甲森林植物園 石楠花谷& 六甲高山植物園</p>														
4.	<p>From Kobe 2016年5月 新緑 5月の便り] 野も山も里も草木燃え 輝きの一瞬 戸外へ出て元気に 2016年5月 新緑 5月の便り 2016.5.10.</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 緑色にはどれほど種類があるのだろうか 知らなかった緑色にびっくり ◆ 神戸三宮・元町「高架下」商店街が高架の耐震補強で存続の危機に!! 														

梅雨明けが待ち遠しい 7月初旬の便り 2017.6.25.
神戸 そば降る雨の 街明かり Happy Rainy Days!!



西宮浜から大阪湾越しに神戸の街並みを遠望



田圃に水が入り、一機に田園風景が初夏モードに 2016.6.1. 東播磨加東市で

ゴールデンウィークが過ぎて 田圃に水が入ると野山も里も一機に景色が初夏モードへ
一雨ごとにその色を変化してゆく紫陽花が庭や街角をいろどっています。

気が付くと この時期 街で過ごすことが目白押し。例年の開催される鉄のシンポや仲間の会。
そして「今この年やから 同窓会やろう」との誘いにうれしくて出かけてゆく。

この梅雨は「年寄りのゴールデンウィークだ」とハッと気が付く Happy Rainy Days!!

同窓会・落語会・カントリーライブ等々の会。



刻々と色を変えてゆく庭の紫陽花 雨上がりの朝は一層鮮やかに

会の後は一献。決まって青春時代を懐かしみ、健康・介護 そして仲間のことなど お決まりの話なのですが、みんな「今でなければ」との思いが顔を出す。

日頃 近くに居ながら、なかなか出会えぬ仲間や思いがけずの50年ぶりの仲間にも出会えました。

友人から 季節の便りを添えて【サクランボ】の箱も届けてくれました。「ペナン島で私のかつての仕事仲間に随分世話になった」と懐かしい仲間の消息を持って 古い大学仲間が神戸を訪ねてくれ、山口の田中夫妻もご子息のいる富士山麓河口湖からの帰りに立ち寄っていただいた。

こんなに色々仲間に出会ったのは久しぶり。孫たちも梅雨をものともせず、元気に頑張っている。

年寄りの二人暮らし 「うれしいねえ」と多くの仲間や健康の今に感謝としつつ、Happy Rainy Days!!



雨の中仲間と出かけた5時間にわたるカントリーのコンサート 2016.6.19
いつもながら 出演しているグループ 観客共に 直に楽しんでいるのが伝わってくるのが魅力



雨上がりの青空 京都山科のぶらぶら歩き 南の勤修寺で 咲き始めた初夏を告げる花菖蒲・蓮がに会いました。 2016.6.7.

街では参議院選挙の選挙カーがかなり立てている。争点は「アベノミックス」と「憲法と平和な暮らし」だという。でも 頭の上を素通りしてゆく心地よい言葉だけの政治にはもう飽き飽き。

はっと気が付けば 自分だけが取り残されている不安感。

6月23日は沖縄 慰霊の日 「命は宝」の言葉をかみしめる。

心地よい言葉には気を付けよう。選挙はおろそかにはできないと・・・

人任せの風来坊楽しんでいる場合ではないのだと気をひきしめる。

仲間から このHPで紹介した ジョージ・カーリンの「老いを楽しく生きるために」について聞いた。

「同窓会で みんなに配ったら好評で喜んでくれた」と。

「そや 100になったら赤ちゃんや 今を元気に 前向いて」とこれも支え。

次は高校野球の予選 母校の応援に。これが始まると梅雨明けと暑い夏の到来。

梅雨明けが待ち遠しい7月初旬 無理せず 元気に今を過ごしたいと。

2016.6.25. 神戸にて Mutsu Nakanishi



西六甲縦走路 梅尾山より眺める須磨・明石海峡



須磨アルプスから眺める北 我が家のある丘も視界に



家内はせっせと梅雨の雨を縫って 朝顔ほか夏の苗の準備を進めている

今月の記事より

山の月刊誌「岳人」との出会い 森から流れ出る鉄分が豊かな海を育てる



月刊誌「岳人」7月号の「名水の山」特集の巻頭に「水のすがすがしさ」を演出してくれる言葉が掲載されている。

霧雨にけぼる緑の森と谷川の流れが眼に浮かぶ。

この流れが、各地の名水を生み、豊かな海をはぐくむという。梅雨時 ならではの景色である。

特に鉄屋の私には、「岳人」誌に毎月掲載される畠山重篤氏の連載エッセイ「山と海の出逢い」が お気に入り。

「山にある鉄分が川を通じて海に流れ込み 豊かな海を作る」 毎回視点を変えて掲載されている。

今月号「名水の山」特集に掲載された畠山重篤氏のエッセイ「いい山の水が、豊かな海を作る『森の滴』」の巻頭には「海の生き物たちを支えているのは、植物プランクトンである。

その植物プランクトンが光合成をして成長するために、もっとも必要なのは「鉄」だという。

鉄は、山奥で生まれた水によって、川を流れて運ばれてくる。

しかし、鉄がしないまま酸化しないまま、無事に海へたどり着くためには、

森の中で生まれる、もう一つ重要な物質が必要だった」

との言葉を置き、豊かな海の形成には「鉄」が重要であることを示す。

そして、その鉄が海の植物プランクトンに届くには

「途中で鉄が鉄酸化物などの粒子になってしまわず、

水に溶けた鉄(鉄イオンなど)の形のままで 川から海へ運ばれる」ことが重要と解説している。

この海へ届いた水に溶け込んだ鉄が海をはぐくみ、豊かな海を作る。

また、今 重大な炭酸ガス汚染の地球環境問題の解決の切り札にもなるかもしれないと大きな関心を集めている。

そんな地球の今緊急の大問題 地球温暖化・炭酸ガス汚染環境問題の解決の切り札として、

「鉄」の役割が広く研究されている。

「鉄の惑星地球 地球46億年 もし鉄なかりせば、人類も地球の生命体も存在せず」

そういえば 畠山重篤氏が示す三陸の海岸や北海道噴火湾沿岸には 海に運ばれた大量の砂鉄があり、カキ養殖で有名な広島湾 兵庫相生湾には砂鉄の川 太田川・千種川が流れ込み、宍道湖にも斐伊川がある。

「鉄」について 山の雑誌で毎号こんな話に出会えるとは 思いもしていなかったのですが、

毎号「岳人」誌発売を待ちかねて、楽しみにしています。

この梅雨時 手にした岳人7月号 畠山重篤氏のエッセイと合わせて 名水の山特集 興味津々でした。

山女ブームとかで ハイキング誌が多く出るようになって 山の雑誌も大きく変貌した。

定番の「山と渓谷(ヤマケイ)」と「岳人」誌も数々のハウツウ本の登場でブームに押され、経営主体が変わり、内容もかわり、本屋へ行って「ヤマケイある? ガクジンどこにある?」と聞いても通じない店員が多い。

もうびっくり。そんな中で 私も「山と渓谷」誌を買い、「岳人」を立ち読みしていましたが、最近は逆にしている。

鉄屋の私には 岳人に掲載されている畠山重篤氏の連載エッセイ「山と海の出逢い」が気に入る。

「山にある鉄分が川を通じて 海に流れ込み 豊かな海を作る」ことが 毎回視点を変えている。

「霧、滝、湯、滴、氷、雨、雲、雪」

水は状態によって 呼び名が変わる

山紫水明、水を得た魚、水に流す、水が合う・・・。

「水」という日本語には 豊かなニュアンスを含み持つ。

古くから伝わる マタギの知恵

「雨で沢の水が濁ったら、ブナの幹を伝う水を採ればいい」

山の水はおいしい。・・・さあ、山と水の世界へ

岳人7月号 名水の山特集 記事14編の巻頭より



山口秋吉台カルストの湧水 弁天池

六甲の名水 布引の滝

京都 芦生の森



梅雨 霖雨の散歩道 京都陣露水 哲学の道・法然院周辺 2016.6.25.

梅雨明けが待ち遠しい 7月初旬 7月の便り 2017.6.25.

神戸 そば降る雨の 街明かり Happy Rainy Days!!
無理せず 元気に今を過ごしたいと。

1. 梅雨明けが待ち遠しい 7月の便り
6月23日 「命は宝 沖縄 慰霊の日」 沖縄の現実を我が身に
2. 本年の須磨離宮のバラ 春の終わりを飾るローズフェスティバル2016
3. 淀川の源流はどこ?
4. 鉄の惑星 地球の壮大な営み 「豊かな森に包まれた山にある『鉄』が豊かな海をは育む」
- 5.. 今月の home page 更新記事



🌈 梅雨明けが待ち遠しい 7月の便り

梅雨空のもと あちこちぶらぶらと足の向くまま、気の向くままに
多くの仲間にも出会い 6月は年寄りにはうれしい Happy Rainy Day!!
でも 梅雨明けが 待ち遠しい。

6月23日は 「命は宝 沖縄 慰霊の日」 沖縄の現実を我が身に

街では参議院選挙の宣伝カー。争点は「アベノミックス」と「憲法と平和な暮らし」という。

あの外国人観光客の群れと爆買いを前にして、

「日本の屋台骨 自動車会社・金融はすごい 収益。景気は上昇」と平然と言う政治家にもうだまされない。

自分とは無縁 疎外感が広がるのみ…

ある人が言う

政治家は金を使うのが仕事 節約なんてさらさら意識なし。まして 腰ざんちゃくの政治屋にはなおさら
芸能化したTV キャスターに惑わされるなど。

この選挙 ひとそれぞれ。日本の若者が岐路に立っている。

でも、心地よいキャッチコピーに惑わされず、自分の意思を示さねば。

「憲法と平和な暮らしを守る」 「格差是正と安定雇用をないがしろにする悪法 非正規雇用の廃絶」を。

なかなかむづかしい時代。晴れ晴れとした気分で 梅雨明けを迎えたい。無理せず 元気に今を過ごしたいと

🌈 今年の須磨離宮公園のバラ

ちょっと時期が過ぎましたが、HPの紙面に色鮮やかなバラがないと寂しい。春の終わりを飾るバラの花5月21日バラが満開と聞いて、足を延ばす。うれしい時も 悲しい時も 寂しい時も また 満面の笑み歓喜の時も 色によって花言葉が異なると聞かすが、私はよく知らず。眺めた時の気分。

今年はこのほか 白系のバラが美しい。

でも やっぱり元気が出るのは 深紅のバラ。 元気いっぱい 須磨離宮を後にする。

春の終わりを飾るローズフェスティバル2016



🌈 淀川の源流はどこ? それは「琵琶湖」?

最近ツアーの募集広告やハイキング誌に掲載された記事に川の源流・源頭を訪ねる企画を見ることが多い。

今回「岳人」誌の話を書いていて、ふと身近な川の源流はどこかと。

知っているのは京都北山を源流域とする川 鴨川の源流は雲ヶ畑 岩屋不動。

由良川の源流は福井県との境 三国岳の西斜面 芦生の森で、桂川は山を西南に越えた広河原が源流だと昔からよく聞きました。

では、大阪湾に注ぐ淀川の源流はとなると淀川が流れ下る京阪神の人たちでも怪しくなる。

みんな怪しいから「それは琵琶湖や」とまず言う。その先は知らぬといい「大阪の水瓶 琵琶湖 それでええんや」と。ちょっと調べてみると 正確には琵琶湖は淀川の本流。 源流は湖北の木の本から高時川を北にさかのぼった滋賀県と福井県の県境「朽の木峠」とある。 この高時川の最上部朽の木峠へ別ルートで登ってきた北国街道の道脇には「淀川の源」の碑があるという。



この朽の木峠を一度越えてみたいのですが、行ったことなし。

また、琵琶湖の西岸は比良山系 北は若狭野坂山塊 東から北へ伊吹山地の山々がつらなり、これらの山々はその麓には古代のたたら跡が残る鉄の山。

琵琶湖が水資源ばかりでなく、豊富な魚に恵まれているのも 周辺の山から流れ出る鉄分を豊富に含んだ水のおかげかもしれない。

ふっと淀川の源流・琵琶湖に面白い見方があると。



滋賀県と福井県との県境にほど近い北国街道高時川の最上部朽の木峠にある「淀川の源」の碑

🌈 鉄の惑星 地球の壮大な営みにつなげていたいなあ・・・と。

「豊かな森に包まれた山にある『鉄』が豊かな海をは育む」



京都鹿ヶ谷京都疎水界限 清らかな流れの底に敷かれた花崗岩の敷石が真っ赤に。

「豊かな森に包まれた山にある『鉄』が豊かな海をは育む」山の月刊誌《岳人》より

はじめは半信半疑でしたが、そのメカニズムまた実証例を知るにつれ、さすが地球 鉄の惑星と。温暖化問題化をも解決してくれるかもしれない。海・山・森・水・そして鉄の壮大な営みにうれしくなっています。この営みにどこかで自分もつながっていたいなあ・・・と。

霧雨の中、京都鹿ヶ谷京都疎水界限を歩いていて、鹿ヶ谷から流れ出る小さな流れ。清らかな流れの底に敷かれた花崗岩の敷石が真っ赤に。どこから持ってこられた石か知りませんが、花崗岩に含まれた鉄が赤く染まり、その上を清らかな谷水が流れ下る。梅雨のひとつ時 こんな所にも 鉄と水の出会いがあると。

★★ 今月のhome page 更新記事 ★★



〔和鉄の道・Iron Road〕

◎ 「弥生後期の淡路島 五斗長垣内遺跡にみる 弥生時代の鉄器生産」

5月大阪弥生文化博物館で開催され「鉄の弥生-鉄器は社会を変えたのか?-」展

に合わせて開かれた最近の発掘調査成果をベースにした弥生時代見直しの考古学講座。

前月に引き続いて今回は淡路市教委 伊藤宏幸氏講演「弥生後期の淡路島 五斗長垣内遺跡にみる弥生時代の鉄器生産」についての聴講 まとめで掲載。

弥生時代の後期 羽口が出土しない畿内の鍛冶炉でも高温が得られ、小規模小型ながら高温鍛造成形による鉄器生産が行いえることを示唆。

畿内の鉄器生産解明の突破口を開く講演でした。

◎ 京都山科の鍛冶伝承

盆地北の壁である大文字山・如意ヶ岳周辺には鉄鉱石 山裾には古代のたたらがある古代の製鉄地帯があり、天智天皇陵など王城の地でもある。

この山科盆地にも古い鍛冶伝承があるはずと思いながら、知らなかったのですが、山科盆地の南部 稲荷山・西野山山麓を歩いて

「稲荷神の化身 子狐が相槌を務め、名刀小狐丸を鍛った」という鍛冶伝承を見つけました。

もともととの目的 坂上田村麻呂の墓を訪ねる山科西野山 walk 併せて紹介しました。

1.	<p>【和鉄の道】【スライド動画】 大阪弥生文化博物館2016年春季特別展第3回考古学セミナー 淡路市教委 伊藤宏幸氏講演 聴講まとめ 2016.5.28. 「弥生後期の淡路島 五斗長垣内遺跡にみる弥生時代の鉄器生産」 〈発掘調査と実証実験で見てきたこと〉 弥生後期五斗長垣内遺跡 すでに高温鍛冶が行われていた可能性を示唆</p>
2.	<p>【和鉄の道】【スライド動画】 京都山科 西野山walk 2016.6.3 古代の鍛冶伝承・稲荷伝承の残る京都山科に坂上田村麻呂の墓を訪ねる 1. 今の時代に通じる 征夷大将軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」の評価討論 !! NHK BS 英雄たちの選択「衝突!その時 男は何を見た 征夷大将軍・坂上田村麻呂」より 2. 京都山科 西野山walk 主要訪問先案内 山科 西野山Walk 西野山周辺の古代伝承 3. 京都山科 西野山walk 3.1. 坂上田村麻呂墓を訪ねる 3.2. 稲荷伝承の折上稲荷 3.3. 西野山山麓の鍛冶伝承地 花山稲荷神社 3.3. 勤修寺 回遊式庭園の花苔菖と蓮葉見学 4. 坂上田村麻呂創建の京都東山 清水寺に アテルイ・モレの碑を訪ねる</p>
3.	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 春から初夏へ移り変わる季節に 新緑の西六甲縦走路 須磨アルプスの岩稜 馬の背 2016.5.21. 須磨アルプス東山から馬の背を通過して横尾山・栲尾山そしてバラの須磨離宮へ</p>
4.	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 春から初夏へ移り変わる季節に 春の終わりを飾るローズフェスティバル2016 須磨離宮公園のぼら 2016.5.21.</p>
5.	<p>【 From Kobe 2016年 梅雨明けが待ち遠しい7月初旬の便り 】 神戸 そば降る雨の 街明かり Happy Rainy Days!! 2016.7.5. 6月29日 油壱樹雪の日 「命け宝」 平和な日々の実理に ぶつぶつ from Kobe ◆ NHK BS 英雄たちの選択 征夷大将軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」評価討論から見えてくること 「衝突!その時 男は何を見た 征夷大将軍・坂上田村麻呂」2016.5.26. より ◆ 「合成の誤謬」と今の世相 インターネットで見つけた「合成の誤謬」の評論を見つけて</p>

【風来坊・Iron Road】

◎ 春から初夏へ移り変わる季節に 5月下旬 Kobe walk

もうだいぶ前になりましたが、快晴の5月の下旬 いつも眺める須磨アルプスの背を歩く人影を見つけて、久しぶりに 西六甲須磨アルプスの岩稜縦走路を 歩きました。また、そのまま春の終わりを飾る須磨離宮公園のバラを見てきました。このバラ展をみると 春の終わり。毎年眺める季節の代わりの景色です。

【From Kobe 7月】

◎ From Kobe 2016年 梅雨明けが待ち遠しい7月初旬の便り】

神戸 そぼ降る雨の 街明かり Happy Rainy Days!! 2016.7.5.

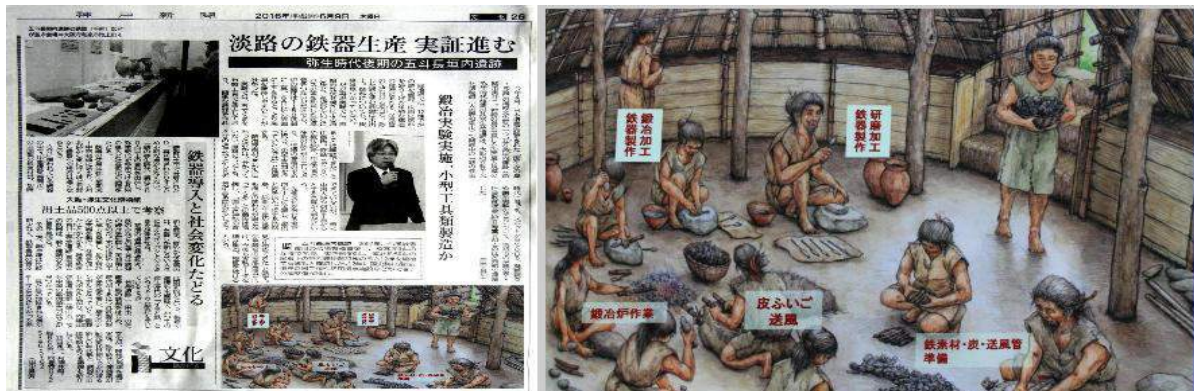
6月23日 沖縄慰霊の日 「命は宝」 平和な日々の実現に

- ◆ NHK BS 英雄たちの選択 征夷大将軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」評価討論から見えてくること 「衝突! その時 男は何を見た 征夷大将軍・坂上田村麻呂」2016.5.26. より
- ◆ 「合成の誤謬」と今の世相 インターネットで見つけた「合成の誤謬」の評論を見つけて

【2016年7月 home page 更新記事 概要】



梅雨の晴れ間に 神戸で元気に from kobe より



弥生後期の日本最古・最大級の鍛冶工房村 淡路島 五斗長垣内遺跡の今



知っているようで知らなかった 古代の鍛冶伝承・稻荷伝承が残る 京都山科盆地南部の西野山界隈

困難の中に居られる方々にエールを!!

日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと

いつも 思いをせています。
「忘れまい 忘れないで 仲間がいる
暖かい希望の輪がつながっていることを」

神共に居まして
得られるものを変える「善気」
変えられないものを受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニーパーの祈り より

「まあええか 元氣だして行こうと
心は行ったり来たりですが
好奇心さえあれば…と前向いて
お互い笑顔で 前向き思考 元氣で乗り切って行きましょ



**原案はどうあるべきなのだろうか みんなの日本の暮らしを考えよう
政治の大きなうねりの今「平和を そして国を考えよう」2016**



へいわってなにか。ほくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびり
あるいている。ちようめいそうがたくさんはいえ、
よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。
みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように、
ほくも、ほくのできることががんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義典/画

**戦争に道を開く安全保障法案国会通過
でも 何と言おうと戦争反対平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
国の大きな転換点 今 声を上げねば!! 平和を今 自分の頭で考えよう
from Kobe Mutsu Nakanishi**

******* 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪・Iron Road 2016年7月 *******

大阪弥生文化博物館 2016 年春季特別展第 3 回考古学セミナー

1. 淡路市教委 伊藤宏幸氏講演「淡路島 五斗長垣内遺跡にみる弥生時代の鉄器生産」

聴講 まとめ by Mutsu Nakanishi 2016. 5.28.

< 弥生後期の五斗長垣内遺跡 <発掘調査と実証実験で見えてきたこと >

弥生後期の五斗長垣内遺跡では すでに高温鍛冶が行われていた可能性を示唆



1. 弥生後期の五斗長垣内遺跡ではすでに高温鍛冶が行われていた可能性
2. 弥生後期の五斗長垣内遺跡の位置付け
弥生後期 津名丘陵周辺に現れた淡路島の生産工房を有する山間集落群の
周辺流通ネットワークに注目
3. 弥生後期の五斗長垣内遺跡 <発掘調査と実証実験で見えてきたこと 聴講まとめ

五斗長垣内遺跡は次にくる卑弥呼の時代の直前 弥生後期の淡路島でしゅつとした日本最古・最大級の鍛冶工房村。
前方後円墳の卑弥呼の時代 鉄は卑弥呼の時代をふくめ、日本の国造りの最も重要なキーワードであるが、当時の鉄器
生産がどのように行われていたかは不明。しかも、畿内は北部九州に比して、実用鉄器の後進地。
鉄器が新しい国づくりにどのようにかかわったかを知る重要な遺跡である。

5月大阪弥生文化博物館で開催され「鉄の弥生- 鉄器は社会を変えたのか? -」展に合わせて、開催された最近の発掘
調査成果をベースにした弥生時代見直しの考古学講座。前月に引き続いて今回は淡路市教委 伊藤宏幸氏講演「弥生後
期の淡路島五斗長垣内遺跡にみる弥生時代の鉄器生産」についての聴講 まとめを掲載。 畿内の鉄器生産解明の突破
口を開く講演です。

今回の講演で発掘に携わってきた伊藤宏幸氏は

「弥生後期の五斗長垣内遺跡ではすでに高温鍛冶が行われていた可能性を示唆」

五斗長垣内遺跡遺跡の発掘調査では 鍛冶炉の炉床は掘り込みのない平坦面であり、しかも羽口が出土しないことから、
高温鍛造はむつかしく鑿切り加工の鍛冶が行われるのみとの考え方が一般的。

一方、鍛冶炉の炉床には高温で焼しめられたとみられる硬いドーナツ模様の焼しめ部が存在する。

この矛盾を克服するため、伊藤氏はら 周辺から容易に手に入る植物の茎「蓮や竹」で羽口を作るアイデアで高温鍛冶
の可能性を検討。また、遺跡からは鉄素材が見つかっていないが、五寸釘を鉄素材として、石製鍛冶具を用いて 高温
鍛造した小型鉄製品を製作することに成功。

弥生後期の五斗長垣内遺跡ではすでに高温鍛冶が行われていた可能性を示唆。

2. 古代の鍛冶伝承・稲荷伝承の残る 京都山科 西野山 walk

京都山科 西野山に坂上田村麻呂の墓を訪ねる



1. 今の時代に通じる 征夷大將軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」の評価討論 !! NHK BS 英雄たちの選択 「衝突! その時 男は何を見た 征夷大將軍・坂上田村麻呂」 2016.5.26より	
2. 京都山科 西野山walk 主要訪問案内 <山科 西野山Walk 西野山周辺の古代伝承>	
3. 京都山科 西野山walk	
3.1. 坂上田村麻呂墓を訪ねる	3.2. 稲荷伝承の折上稲荷
3.3. 西野山山麓の鍛冶伝承地 花山稲荷神社	3.3. 勸修寺 回遊式庭園の花菖蒲と睡蓮見学
4. 坂上田村麻呂創建の京都東山 清水寺に アテルイ・モレの碑を訪ねる	

2016.5.26. NHKBS 「英雄の選択」その時 男は何を見た 征夷大將軍・坂上田村麻呂」が放映されているのを興味津々で見ました。

時は平安遷都を行った桓武天皇の時代。遷都と並ぶ国家プロジェクトが東北の蝦夷の制圧だった。大きな期待を背負い戦った坂上田村麻呂は、蝦夷のリーダー・アテルイを降伏させることに成功する。しかし田村麻呂はアテルイから助命を要請される。

朝廷の大反発が予想されるなか命を救う行動にできるか、それとも処刑やむなしと突き放すのか？

国家の方針で蝦夷と衝突したが、蝦夷の実像を知っていた田村麻呂の苦悩に迫る。

この場面で、坂上田村麻呂の選択を支持するのか、それとも反対するのか？

4人のコメンテーターがどちらの選択をするのか？ コメンテーターの意見・討論で番組が進む。興味津々。

蝦夷の雄 アテルイと坂上田村麻呂 概要

蝦夷の雄「阿弭流為・アテルイ」と征夷大將軍 坂上田村麻呂 和鉄の道 Iron Road <http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/6iron03.pdf> Page3 より

8世紀末頃まで、東北北上川流域を日高見国といい、大和朝廷の勢力圏外にあり、独自の生活と文化を形成していた。当時 大和朝廷は服属しない東北の民を蝦夷と呼び、蔑視してその計略のため数次にわたり、巨万の征夷軍を動員した。胆沢(岩手県水沢市地方)の族長「アテルイ」は近隣の部族を連合して10数年にわたりこの侵略を頑強に阻止した。中でも789年の巢伏の戦いでは勇猛果敢に奮闘して征夷軍に壊滅的な打撃を与え、蝦夷の英雄と称された。征夷大將軍となって東北に赴いた坂上田村麻呂は和戦量戦略を用いつつ、801年 数万の将兵を動員してアテルイを打ち破り、ここに蝦夷攻撃は終り東北経営の拠点として胆沢城が築かれた。

「アテルイ」は十数年に及ぶ激戦に疲弊した郷を憂慮し、盟友「モレ」と同胞500余名と共に降伏、田村麻呂に従って平安京に上った。田村麻呂は蝦夷の両雄の武勇と器量を惜しみ、東北経営に登用すべく朝廷に助命嘆願したが、公家たちに反対され、「アテルイ」「モレ」の両雄は802年に河内の国で処刑された。

田村麻呂は深く帰依し、造営につくしたゆかりの「清水寺」でこの二人や敵味方の将兵の霊にその誠を呈して祈念を重ねたという。また、清水寺の後には京都東山連邦が連なり、その中央部のなだらかな山の上に「將軍塚」がある。

將軍塚からは京都全体が一望でき、桓武天皇が平安京造営を決断した場所といわれる。

そして、長く都を護る祈りを込めて土の武将像・坂上田村麻呂を作り、その甲冑を着せ、鉄の弓矢・太刀を持たせてここに埋めたといわれ「將軍塚」の名がついた。山の中央部にその古い円形の將軍塚があり、また頂上部の大日堂にはこの山から出土した平安初期の大日如来石像が祭られている。

なお、坂上田村麻呂の墓は京都市山科区にある坂上田村麻呂公園内にある西野山古墳が墓所と推定されている。

平安後期編纂の「清水寺縁起」に墓の位置を「山城国宇治郡七条昨田西里栗栖村の水田、畑、山を与える」という文言があり、この場所は今の山科区西野山岩ヶ谷町にあたり、西野山古墳の場所と一致するという。

西野山古墳は清水寺から南東約2キロの山科盆地西部にあり、8世紀後期から9世紀前期と見られ、田村麻呂の時代と一致する。大正8年に墓穴が見つかり、内部から、武人の墓にふさわしい純金の装飾を施した大刀や金銀の鏡、鉄の鍔などの副葬品が出土し、京都大総合博物館に所蔵されている。

一番最初にアテルイの名が出てくる「続日本書紀」では「賊帥夷垂豆流為 賊の大將 蝦夷のアテルイ」となっているのが後の編纂になるや「類聚国史」や「日本紀略」では「夷大墓公阿弭流為」と「公」という姓を与えられ、蝦夷の統率者として遇されており、その人物像には多くのなぞが残されていて、かつ魅力的な人物である。

一般歴史では「悪路王」と呼ばれ、田村麻呂の影で悪者とされてきた「アテルイ」であるが、東北では自分たちのオリジンとしての連帯の中「坂上田村麻呂」を信じ、更なる騒乱による犠牲と荒廃をさけて自ら投降し、平和共存を願うアテルイと広く愛されてきた。

そして、平成6年にアテルイの復権に賭けた人たちの熱い運動で、田村麻呂ゆかりの京都清水寺の境内に「アテルイ・モレ」の顕彰碑が建てられた。

■ 参考 「和鉄の道 Iron Road たたら遺跡探訪[IV]」6.蝦夷の鉄 東北 和鉄の道

<http://mutsu-nakanishi.web.infoseek.co.jp/iron/4iron06.pdf>

■ 参考 「蝦夷の雄「阿弭流為・アテルイ」と征夷大將軍 坂上田村麻呂」

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/6iron03.pdf>

***** 今月の風来坊 Country Walk2016年7月 *****

春から初夏へ移り変わる季節に 神戸で

1. 新緑の西六甲縦走路 須磨アルプスの岩稜 馬の背 2016. 5. 21.

須磨アルプス東山から馬の背を通って横尾山・梅尾山そしてバラの須磨離宮へ



晴天の午後 麓から見る馬の背の痩せ尾根に人影が見える 久しぶり 須磨アルプスの岩稜稜線を歩きました 2016.5.21.

春から初夏へ移り変わる季節に 神戸で

2. 春の終わりを飾るばら 須磨離宮公園 ローズフェスティバル2016 2016. 5. 21.



バラの花から 元気をもらおう 優しさをもらおう 花の色と姿に 感じる思いはひとそれぞれ
見に行かないと何となく 春の歳時記が終わらない



須磨離宮公園 2016年春のバラ ローズフェスティバル2016で 2016.5.21.

***** from Kobe 2016年7月 *****

【From Kobe 2016年 梅雨明けが待ち遠しい 7月上旬の便り】

梅雨明けが待ち遠しい 7月初旬 神戸 そば降る雨の 街明かり Happy Rainy Days!

🇧🇷 2016年7月の初めに 7月の便り 2016.6.25.

《ぶつぶつ from Kobe》時代の転換期に

◆ NHK BS 英雄たちの選択
征夷大将軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」評価討論から見えてくること
「衝突！その時 男は何を見た 征夷大将軍・坂上田村麻呂」2016.5.26. より

◆ 「合成の誤謬」と今の世相
インターネットで見つけた「合成の誤謬」の評論を見つけて

6月23日 沖縄慰霊の日
「命は宝」
平和な日々の実現に



西宮浜から大阪湾越しに神戸の街並みを遠望



「蝸牛 角ふりわけよ 須磨明石」 梅雨が明けて 晴れ渡った須磨の海 海峡を行く船の航跡もくっきり

. 2016 ひまわりの夏 到来 無理せず 元気に

キラキラと照りつける太陽 真っ青な空にモクモクと入道雲
毎日頭や肌を刺す酷暑にも一斉に太陽を見つめる黄色い元気な顔・顔・顔
今年も 元気な沢山のひまわりの笑顔に出会えました
また、古代製鉄神降臨伝承地 千種岩鍋 たたら郷の山中に眠るたたら跡
千種岩野辺荒尾山鉄山を訪ねてきました



2016年 ひまわりの夏到来 お変わりありませんか…

暑い暑い酷暑 熱中症にかからぬようご注意ください
梅雨明けを待ちかねたように一斉にセミが鳴きだし、
久しぶりに登った山からは須磨の海が遠くまで見渡せる
気持ちも晴れ晴れですが、酷暑が定番となった暑い夏
今年も奥播磨ノ元気なひまわりに出会ってきました
黄色のまん丸の顔・顔・顔
一斉にこちらを向いて「よう!!」と



この姿に出会いたくて 通いだして もう何年になるのでしょうか？ 緑の山里を駆け抜ける爽快感と明るいひまわり
私の夏迎え。ひまわりの元気な姿をお伝えしたい「2016 ひまわりの夏」。

2016.7.20. 奥播磨 佐用のひまわり畑 すこし早かったのですが、元気にさきはじめていました。

宝蔵寺の郷では一度撮りたかった ひまわりと一緒に走る列車の姿も撮れました

また、古代製鉄神降臨伝承地 千種岩鍋 たたら郷の山中に眠るたたら跡 千種岩野辺荒尾山鉄山を訪ねてきました



奥播磨 たたら郷 古代製鉄神降臨伝承地 千種岩鍋の山中に眠るたたら跡 近世の荒尾山鉄山 2016.7.20

《 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔 毎朝がたのしみに 》



夏元気をもらうひまわりの花 一方 夏の朝 ひっそりと咲いて昼にはしぼんでしまう朝顔
そのすがすがしい姿 なんともしめやかなさしさに心奪われ、「今日も ゆったりと一日を」と
毎朝早く起きだして庭の朝顔をみるのもまた夏の楽しみ「今日は幾つ どんな色の花が咲いているだろうか？」と
大きな葉っぱの陰からそっと顔を出した花に ふっと息を吹きかけるとパッと大輪の花を広げる。

ふと「朝顔にも花言葉
あるよなあ」と。
色によって違うよう
ですが、
「さりげない愛」
「明日もさわやかに」
「冷静に前向いて」など
私には「包み込んでくれ
るやさしさ」そんな言葉
が頭に浮かぶ。
シルバー世代にとって
ゆっくり流れてゆく時
間の楽しさが ちっと
わかってきたかな
あ・・・と



自宅の門先でも かわいらしい小さなひまわりと朝顔と一緒にさいています
毎日どちらの顔も見れるのがうれしい 2016.8.1

毎年8月には 終戦・原爆・原弍 そして 墓参 それぞれが生き様の記憶を次々と呼び起こし、戦争と平和 暮らしと家族 そして仲間にも思いをはせ、今を考える。


「平和の危機」「憲法九条を守ろう」というのですが、先日の選挙ではそんな声もついに少数派。もっと仲間がいると思ってきたのですが、少数派の無力感に。これからどうなるのか……

でも 朝ラジオのスイッチを入れると

「今の政治には深みがない 薄っぺらな言葉の遊びに近い だからすぐ連合して言葉をすり替える スピードを誇るよりも 遅くとも具体的な積み重ねと判断が今一番大事」と某経済評論家氏がいう。私には一番受け入れやすい。



私もブレず・迎合せず やっぱり「平和の危機」「憲法九条を守ろう」と。

違憲 戦争に道を開く安全保障関連法案 社会の流れが大きく変わる節目 年寄と言えども参画せねばと……



へいわってなにかな。ぼくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびりあるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。
みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように、ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画



いろんなことが去来する8月 仲間・家族 そして社会のこともでも 毎日がなんとわなしに過ぎてゆく。そのありがたさを感じつつも、見聞する社会の激しさ・異常さ そして地球環境変化のおそろしさも。。。。

でも 多数派ではないなあ…感じることの多いシルバー世代 どうせ 年寄りのボヤキ 口はだすまいと。

でも やっぱり 穏やかで 平和な暮らしの方向へ

ゆっくりでもいい 動いてくれることを願がわずにはおれない。

日差しは耐え難い酷暑 暑さに負けぬ 好奇心も健在。 前向いてと思うのですが、さすがにきつい。

お互い無理せず この夏を乗り切りましょう

2016.8.1. ひまわりの夏 2016.

去来する平和への思い 家族・仲間にも思いを寄せつつ Mutsu Nakanishi

◆ 極暑の清涼剤 佐用町随一の滝「飛龍の滝」 旧上月町櫛田 滝谷川にかかる滝



「飛龍の滝」マイナスイオンを全身に浴びて 2016.7.20. 15:30
「マイナスイオンを前進に浴びれる爽やかな滝が近くにないやろか？」
ふっと林田のひまわり畑で尋ねて教えてもらった滝
言ってみるもんですね
この夏はそんな滝を探そうと思っていましたが、ひったりでした。
誰もいない空間の中、滝の音だけが囁き
マイナスイオンを全身に浴びて、飛び散る水滴を肌で感じられる滝
まだ、一つ素晴らしい滝に出会えました
さあ、また、神戸まで帰らねば、と帰路に



今月の記事より 久し振りに たたら山郷 奥播磨 佐用・宍粟を訪れました

【奥播磨 たたら山郷 佐用・宍粟の夏景色】

◆ 奥播磨 天空の草原 砥峰高原

タタラの山の峰 山砂鉄の切り崩し跡が今に残り、爽やかな風が吹き抜ける



奥播磨 タタラの山 山砂鉄の切り崩し跡の草原 砥峰高原 2016.7.11.

秋のススキの原 映画「ノルウェイの森」ドラマ「平清盛」のロケ地として一躍有名に でも緑の草原も印象的



この緑の草原を独り占めにして
ウェディングドレスで記念写真を
撮っている 1組のカップル
草原の中にいました。



◆いつ訪れても心地よい 宍粟・佐用の山郷を流れ下る清流 千種川・揖保川



帰路 切窓峠を越えて山崎の揖保川についた時には夕暮れ近く 2016.7.20. 16.20.
揖保川では数多くの釣り人が竿を出している これもひまわりの夏2016 奥播磨 夏の風物詩

今はちょうどアユ釣りのシーズン 千種川・揖保川に入って竿を出す釣り人をたくさん見ました

《 8月 ひまわりの夏 2016 の 便り 》



1. 8月 ひまわりの夏 2016
2. 自らと向き合って
平和の危機「憲法九条を守ろう」
3. 高校野球の観戦とともに夏が来た
郷土の「市尼」 甲子園出場 おめでとう
4. 京都半日会 京朝顔展
5. 今年もバオバブの木が花をつけた
6. 今月のhome page 更新記事



ひまわりや朝顔の顔を見るのが 毎朝の楽しみ
高齢者には厳しいこの酷暑 無理せず 元気に乗り切りましょう

🌈 8月ひまわりの夏到来

ひまわりの夏 到来

今年も厳しい酷暑とゲリラ豪雨が襲う厳しい夏になりました。

いかがでしょうか・・・・・・・・・・

元気に出歩けることに感謝しつつ、

今年もひまわりの元気な姿を送ります。

毎年出かける千種川沿い佐用のひまわり・

小野のひまわり いずれも元気な姿が見
られました。

また、家の通りに植えたひまわりも小ぶりなら
朝顔と一緒に元気に育ちました。

家族ともども 健康で元気に過ごせることに

感謝しつ

つひま

わりの明

るさを前

向きにと

毎朝顔を見る朝顔も またすがすがしさとともに

一日を楽しいものに

でも 高齢者には厳しい夏

おたがい 無理せず、体調に気を付けて この夏を乗り切りましょう



🌈 8月 自らと向き合って 平和の危機「憲法九条を守ろう」

法政大学田中優子総長の意見文「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」に目が行く

いろんなことが去来する8月 仲間・家族 そして社会のこと等々 でも 毎日がなんとわなしに過ぎてゆく。

そのありがたさを感じつつも、見聞する社会の激しさ・異常さ・地球環境変化のおそろしさなど先行きの生活不安
そして「国際・グローバル化」の衣に包んで ひたひたと進む戦争への踏み込み。

刹那的な今の利しか追わない政治が多数派を占め、平和主義憲法の砦「憲法九条」の危機が現実のものに。

現実多数派ではないなあ…と感じることの多いシルバー世代 自分の身の置き所のなさに無力感ただよう。

若者が老練な政治に翻弄されているように見えて仕方がないのですが、どうせ 年寄りのポヤキ 口はだすまいと。

そんな8月の初め ふと見た新聞に法政大学田中優子総長の意見文「国民投票に備える改憲論議 事実知る努力を」
に目が行く

神戸新聞 2016.8.1. 朝刊 「識者の視点」 法政大学総長田中優子氏は

「創造力・知恵のなさをひた隠す今の政治の職人たちの政治手法に多数の人たちがたぶらかされている
理想や理念の創造力よりも 政治の技術を重視し、誇り、それに頼ってことを進めているように見える」という。

今の政治家が一番隠したいことに、ズバーと切り込む鋭い視点。

今は受け継ぐ政党もなくなった革新少数派と言われ、葬り去られてしまっている意見の中にこそ、しっかりと時代を見つめる視点・正論がうずもれている。常にわかりやすい意見論文・視点でした。

是非 機会があれば、憲法論議 平和を考える視点として 一読・一考をと。

◆神戸新聞 2016.8.1. 朝刊 「識者の視点」 法政大学総長田中優子氏

「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」

日本の平和維持による繁栄をもたらしてきた平和憲法がおろそかにされる今は、厳しい競争・格差社会の拡大と日本の繁栄の行き止まりと没落の時代、ここに 改憲論議が持ち出せられ、しかも論議無しの急進である。

誰のための改憲なのか 今一度、世界界の孤児になり下がらぬためにも…

頭にすっと入って年寄りにも ちょっと 元気が出てきた気になっています。

穏やかで 平和な暮らしの方向へ

ゆっくりでもいい 舵が切られてゆくことを願わずにはおれない8月です。。

🌈 高校野球の母校応援とともに夏が来た 郷土の「市尼崎高」 甲子園出場 おめでとう

毎年 夏の高校野球の予選が始まると血が騒ぐ母校の応援に。同窓の仲間や先輩と一緒にの応援。

毎年のうれしい夏迎いの行事になりました。今年も仲間と応援に出かけましたが、残念ながら母校は兵庫大会突破ならず。でも 明石球場で小さな孫にせがまれ、決勝戦を見たのですが、同じ故郷「尼崎」の市立尼崎高校が 33年ぶりに甲子園出場を決めた。

「おめでとう 市尼」。故郷尼崎の市制100年と重なり、大いに盛り上がっていると聞く。

ちょっぴりうらやましくもあり。甲子園の大会の裏で、母校も含め、新チームによる来年春の選抜大会 地区予選が始まると仲間からのメール。

甲子園での母校出場の応援は青春

時代の一ページ。今も頭にありありと。次はうちやと。

悲願達成へ向けて 頑張ってもらいたいなあ また 全国大会での市尼の奮闘を祈る。

今年も高校野球の母校応援とともに夏が来た 皆様のところは いかがだったでしょうか。。。。。



郷土の「市尼崎高」 甲子園出場 おめでとう

🌈 京都半日会 京朝顔展 京都府立植物園

2016. 8. 2.



夏の朝 ひっそりと咲いて昼にはしぼんでしまう朝顔
そのすがすがしい姿 なんともいえぬやさしさに
心奪われ、 「今日も ゆったりと一日を」と
シルバー世代にとって ゆっくり流れてゆく
時間の楽しさが ちっとわかってきたかなあ・・と
夏のすがすがしさを演出してくれる朝顔。
久しぶりに 本年の京朝顔展を見に行ってきました。
やっぱり すばらしい朝顔 今見ていただきたくて
展示されていた朝顔の一部を掲載。

庭で家内が育てた朝顔や京朝顔展でみた朝顔など 2016年朝顔帳を作りたいのですが、まだ手づかす。ゆっくり整理します。

🌈 **今年も 京都府立植物園のバオバブの木が花をつけました 2016.8.2.**

今年も京都府立植物園のバオバブの木が白い大きな花をつけました。

このバオバブの花をみると思い出すアフリカのこと。

見たこともなかったアフリカの巨木。

「大きな白い花が 枝からブーンととぶら下がるんや」と教えてもらい、また この巨木のモニュメントの周りで、みんな輪になって踊った民博「西アフリカお話し村」展(2003)。



鉄の技術屋しか知らなかった私が カルチャーショックを受けた生き方・世界でした。

10 数年前を思い出す。 あの時 アフリカからやってきた人 たちは元気だろうか
バオバブの木の花が今年も咲いた うれしいねえと 今年も京都府立植物園に会いに行く。

★★ 今月のhome page 更新記事 ★★



〔和鉄の道・Iron Road〕

◎ 古代の製鉄神金屋子神降臨の伝承地

千種岩野辺(岩鍋) 2016.7.20.

大坂泉屋が経営した千種岩野辺(岩鍋) 荒尾鉄山遺跡
ずっと気になっていた金屋子神降臨の伝承地「岩鍋」
にある製鉄遺跡「荒尾山鉄山跡」。

営まれた時代は古代からずっと後の江戸中期頃から
明治初めの製鉄遺跡であるが、千種の鉄山を営
した大坂泉屋が経営する鉄山の一つ。

「岩鍋の地のどんな場所で鉄が吹かれたのか？」

興味津々。久しぶりの千種たたら跡の訪問。

胸ワクワクで訪ねました。

〔風来坊・Iron Road〕

◎ ひまわりの夏 2016

奥播磨 千種川が流れ下るたたら郷

佐用のひまわりを訪ねる

各地から届くひまわりの便りに、毎年出かける東播磨
小野のひまわりの丘&奥播磨 佐用のひまわり畑へ

ひまわりに出会いに行きました。小野のひまわり畑は
今年は例年に増して、黄色の笑顔があふれかえって
いましたが、奥播磨では梅雨時の長雨と日照不足で開
花が随分遅れていて、満開にはちょっと早く、田園一
面を黄色に染めるひまわりの景色は見られず。

〔和鉄の道〕【スライド動画】

古代の製鉄神金屋子神降臨の伝承地 千種岩野辺(岩鍋)
大坂泉屋が経営した千種岩野辺(岩鍋) 荒尾山鉄山遺跡 2016. 7. 20.

1. 山崎と千種・佐用の境切窓峠を越えて千種川を遡って千種へ
2. 千種から西へ国道429号
岩野辺川に沿う谷筋を岩野辺荒尾 荒尾山鉄山遺跡へ
3. 荒尾山鉄山製鉄遺跡 荒尾山山中のたたら跡を歩く
4. 国道29号線がトンネルで抜ける鳥ヶ峠
旧429号で山を登り 鳥ヶ峠の「峠」へ

〔風来坊・Country Walk〕【スライド動画】

ひまわりの夏2016

奥播磨 千種川が流れ下るたたら郷 佐用のひまわりを訪ねる 2016.7.20.

- 東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016. 7. 11
- 奥播磨 たたら郷 佐用のひまわり 2016. 7. 20.
 1. 佐用徳久 林崎のひまわり畑
 2. 佐用三日月 宝蔵寺のひまわり畑
- 夏の冷風 佐用旧上月 柳田の飛龍の滝 2016. 7. 20.

〔From Kobe 〕

8月 ひまわりの夏 2016 の 便り 2016.8.5.

ぶつぶつ from Kobe

神戸新聞 2016.8.1. 朝刊記事「識者の視点」
法政大学総長田中優子氏
「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」

でも、一度撮ってみたかった「ひまわり畑を行く姫新線の列車」の スナップを撮ることができました。
いつもとは違った景色でしたが、 ひまわりの元気な姿に出会ってきました。

〔From Kobe 8月 〕

◎ 8月 ひまわりの夏 2016 の 便り 2016.8.5.

ぶつぶつ from Kobe

神戸新聞 2016.8.1. 朝刊記事「識者の視点」
法政大学総長田中優子氏
「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」

平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
自ら考えよう。改憲論議が現実の課題になり、
平和論議を自分の頭で考えねばならぬ今

ずっと頭に入った神戸新聞 2016.8.1. 朝刊記事「識者の視点」の記事
参考になればと記事を転載させていただきました。

原殆どどうあるべきなのだろうか みんなの日本の暮らしを考えよう
政治の大きなうねりの今「平和を そして国を考えよう」2016



へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびり
あるいてる。ちょうめいそがたくさんはえ、
よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。
みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように、
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

戦争に道を開く安全保障法案国会通過
でも 何と言おうと戦争反対
平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
国の大きな転換点 今 声を上げねば !!
平和を今 自分の頭で考えよう

from Kobe Mutsu Nakanishi

8月 毎年の「ひまわりの夏」の便り。
相も変わらず、気の向くまま 足の向くままの風来坊
の記事。もう定期便は限界と思い始めています。
今回もすばらしい山里の夏の景色に出会え
水と鉄との出会いも。
デジカメ写真ばかりになってしまいましたが、
お許しください。
文章がまとまらず、言葉が出てこない。
伝えたいことが書けないなあ・・・と。
でも 好奇心は健在 まだ たたら製鉄 鉄の未来に
も 興味津々。



孫とナイター観戦 花火 & 風船飛ばし 2016.7.27.

また、世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」 そのエンジンは「他人を思いやる心」
それを語る「北東北・北海道の縄文遺跡のユネスコ世界遺産登録」推進 本年もまた 推薦見送りに。
まだまだ頑張らねば……



世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

わが故郷尼崎の市尼が 33 年ぶりに夏の高校野球復活を果たした。
 母校の選手たちも甲子園出場を目指して、新チームが起動し、もう来年の戦が始まるという。
 また、期待一杯です。
 知力・体力・気力の衰えを感じるこの頃で、頭は周りませんが、家に引きこもる気はなし。
 「取り残されないぞ」の思いも引き続き よろしくお願ひします。
 仲間・家族がいる。お互いの笑顔が元気の源
 健康に気を付けて 無理せず 元気に前向いて。

お互い笑顔で 前向き思考 元気を出して
 仲間が頼りですが、まだまだ元気 好奇心はある
 今できることを精一杯
 2016.8.5. from Kobe Mutsu Nakanishi



3.17. 東日本大震災・福島原発事故を忘れずに 復興はまだ 道半ば 被災地の人達を応援しよう
 東北讃歌 私の好きな東北 東日本大震災にみまわれた人達を忘れぬために



「あの高嶺 鬼すむ誇り その瀬音 久遠の賛歌
 この大地 燃えたついのち ここは(東北)」
 - 北上市市民憲章より -

◆ 和鉄の道・Iron Road 2014 「東北・三陸沿岸のIron Road」を訪ねる 総集

災害や病気など幾多の困難の中に居られる方々にエールを !!
 いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる
 暖かい希望の輪がつながっていることを」

神 共に居まして

得られるものを 変える「勇気」
 変えられないものを 受け容れる「心の静けさ」
 両者を見分ける「叡智」を

ニーバーの祈り より

日々新た 今できることを 精一杯
 無理せずゆっくりと

「まあええか 元気だして行こう」と
 心は行ったり来たりですが
 好奇心さえあれば・・・と前向いて
 お互い笑顔で 前向き思考
 元気で乗り切って行きましょう



ジョージ・カーリンのメッセージ

◎ 「老いを楽しく生きるために」
 「老いを嘆くことはない。100才になったら
 赤ちゃんに戻れるんだから・・・」
 そして、忘れてはいけない。
 人生とは自分が息を吸う数ではなく、
 吐く瞬間で測定するものです。
 充実した毎日を生きましょう!!

◆ WMV 動画

“ [Philosophy_For_Old_Age.pps](#) ”

2016年8月 ひまわりの夏 2016 home page 更新記事 概要

***** 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪 ・ Iron Road 2016年8月 *****

1. 奥播磨千種 古代の製鉄神金屋子神降臨の伝承地 千種岩野辺(岩鍋)近世の製鉄遺跡 大坂泉屋が経営した千種岩野辺(岩鍋)荒尾山鉄山遺跡を訪ねる 2016. 7. 20.



1. 山崎と千種・佐用の境切窓峠を越えて 深い山間佐用下三河から千種川を遡って千種へ遡る
2. 千種から西へ国道429号 岩野辺川に沿う谷筋を岩野辺荒尾 荒尾山鉄山遺跡へ
3. 荒尾山鉄山製鉄遺跡 荒尾山山中のたたら跡を歩く
4. 国道29号線がトンネルで抜ける鳥ヶ岨 旧429号で山を登り 鳥ヶ岨の「峠」へ

中国山地の峰が連なる奥播磨の古代製鉄地帯「千種」に是非訪ねたい製鉄遺跡がある。

大坂泉屋(住友発祥の泉屋の分家)が千種で経営した鉄山「荒尾山鉄山」遺跡

7月20日 朝早く飛び起きて ワクワクで 久しぶりに製鉄遺跡を訪ねました。

中国山地から南へ流れ下る千種川水系と揖保川水系に挟まれた源流部一帯の谷筋には千種鉄・栗栗鉄と呼ばれる古代からのたたら跡が点在し、その二つの川を西の千種から鳥ヶ岨の山並みを隔てて東の波賀町齊木へ結ぶ国道429号線。

古くからのたたら跡の郷を結ぶ街道である。千種側からこの鳥ヶ岨を越える峠道にかかる荒尾山の麓 荒尾集落の入り口に「製鉄神 金屋子神降臨の伝承地」の碑があり、またすぐそばに、10年ほど前から荒尾山鉄山跡の案内標識が立っている。この国道429号を通るたびに気になり、資料も読んだこともありますが、たたら跡の現場に立ったことはなし。

ここから、通じている荒尾山へ登る道が紹介されるようになり、

最近その山歩きの記録の中に、たたら跡が紹介されているのを幾つを見つけ、荒尾川の谷筋にある遺跡の位置や様子が分かり、ぜひ出かけようと。小さな荒尾谷川が流れ下る岩野辺荒尾集落奥の荒尾山山中にひっそりと緑に包まれて荒尾山鉄山内の石組みが整然と残っていました

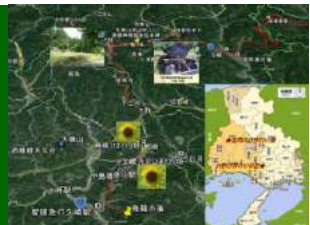


1. ひまわりの夏2016

奥播磨 千種川が流れ下るたたら郷 佐用のひまわりを訪ねる 2016.7.20.
東播磨 小野市ひまわりの丘 & 奥播磨 佐用のひまわり畑



- 東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11
- 奥播磨 たたら郷 佐用のひまわり 2016.7.20
 1. 佐用徳久 林崎のひまわり畑
 2. 佐用三日月 宝蔵寺のひまわり畑
- 夏の冷風 佐用旧上月 榎田の飛龍の滝 2016.7.20.



7月11日 各地から届くひまわりの便りに、毎年出かける東播磨小野のひまわりの丘&奥播磨佐用のひまわり畑へひまわりに出会いに行きました。小野のひまわり畑は今年は例年に増して、黄色の笑顔があふれかえていました。奥播磨では梅雨時の長雨と日照不足で開花が随分遅れていて、ひまわりの花は咲き始め 再度訪ねることに。

7月20日 奥播磨千種「製鉄神 金屋子神 降臨の伝承地 千種岩鍋(岩野辺)」の近世のたたら跡 荒尾山鉄山遺跡を訪ねた午後 再度佐用のひまわりを訪ねましたが、まだちょっと早かったようで、田園一面を黄色に染めるひまわりの景色は見られませんでした。いつもとは違った景色でしたが、ひまわりの元気な姿に出会ってきました。また、志文川沿いの宝蔵寺の郷のひまわり畑で、一度撮ってみたかった「ひまわり畑に行く姫新線の列車」の スナップを撮ることができました。佐用の夏「涼風吹く 爽やかなパワースポット」教えてもらった佐用一の滝「久崎の飛龍の滝」へも立ち寄って、ここでもパワーを。

夏の太陽がギラギラ照り付ける暑い一日でしたが、また 今年も作用で元気をもらって帰ってきました。本当にギラギラ輝く酷暑が続く夏ですが、無理せず 元気にお過ごしください。

2016.8.1. from Kobe Mutsu Nakanishi



【From Kobe 8月の便り 2016.8.5】

ひまわりの夏 2016

ぶつぶつ from Kobe

神戸新聞 2016.8.1. 朝刊記事「識者の視点」
法政大学総長田中優子氏
「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」

平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう 自ら考えよう

改憲論議が現実の課題になり、平和について 自分の頭で考えねばならぬ今 すっと頭に入った

神戸新聞 2016.8.1. 朝刊の記事

法政大学総長田中優子氏の「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」

参考になればと 記事を転載させていただきました。

【2016年8月】 掲載記事リスト 2016.8.5.

1.	<p>【和鉄の道】【スライド動画】 古代の製鉄神金屋子神降臨の伝承地 千種岩野辺(岩鍋) 大坂泉屋が経営した千種岩野辺(岩鍋)荒尾山鉄山遺跡 2016. 7. 20.</p> <ol style="list-style-type: none">1. 山崎と千種・佐用の境切窓峠を越えて千種川を遡って千種へ2. 千種から西へ国道429号 岩野辺川に沿う谷筋を岩野辺荒尾 荒尾山鉄山遺跡へ3. 荒尾山鉄山製鉄遺跡 荒尾山山中のたたら跡を歩く4. 国道29号線がトンネルで抜ける烏ヶ峠 旧429号で山を登り 烏ヶ峠の「峠」へ
2.	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 ひまわりの夏2016 奥播磨 千種川が流れ下るたたら郷 佐用のひまわりを訪ねる 2016.7.20.</p> <ul style="list-style-type: none">■ 東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016. 7. 11■ 奥播磨 たたら郷 佐用のひまわり 2016. 7. 20.<ol style="list-style-type: none">1. 佐用徳久 林崎のひまわり畑2. 佐用三日月 宝蔵寺のひまわり畑■ 夏の冷風 佐用旧上月 櫛田の飛龍の滝 2016. 7. 20.
3.	<p>【From Kobe】 8月 ひまわりの夏 2016の便り 2016.8.5. ぶつぶつ from Kobe</p> <p>神戸新聞 2016.8.1. 朝刊記事「識者の視点」 法政大学総長田中優子氏 「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」</p>



山を越えるトンボや蝶が舞い秋の兆し 明石海峡から生駒山まで 大阪湾が一望できました 2016.8.22. 横尾山で
 さすがの酷暑も朝晩はめっきり涼しくなってきました。
 真っ青に澄み渡る大空を わやかな秋の風が吹き渡りく
 蝶やアキアカネが山を渡ってゆく
 里の田園は黄金色に色づき、傾斜地の果樹園にはブドウ・
 イチジク・なしなどの 果実がいっぱい
 また、新学期が始まった街の通りを 子供たちがかけてゆく
 夏の喧騒から ゆったりとした秋の訪れに「気分も新た」
 新しい風にもふれたいなっあと ホームページを「秋の訪れ」のページに更新しました



2016.9.5. Mutsu Nakanishi



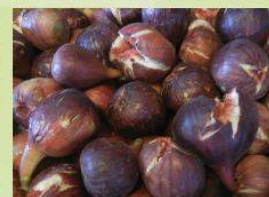
西神戸の田園地帯も黄金色に色好きはじめ、果樹園では秋の収穫が始まりました 2016.9.3. 北神戸 淡河の里で
西神戸の初秋の味覚 イチジク・葡萄・梨 朝採りの出荷がたけなわ



梨の収穫の真っ最中 2016.9.3. 西神戸性海寺で



葡萄の収穫もちょうど終わり、少し腐っていました。2016.9.4. 西神戸性海寺で



何年ぶりでしょうか 田んぼの畔に 塩辛トンボが止まっているのを見つけました。



2016.9.3. 東播磨 灘の酒蔵の旗が幾つも翻る秋 三木・吉川の田園で
 西神戸・東播磨 稲穂が垂れ始めた酒米「山田錦」の畔に灘の酒蔵の旗が幾つもはためき、
 今年も豊作 うまい新酒ができることでしょう



稔り始めた田んぼの畔で 塩辛トンボが飛んでいるのを見つけました。 いつからみていないのだろうか？
 なにか 忘れかけていたものを見つけたようで うれしくてデジカメでパチリ。

◆ 地球の気象異変をわが身のものとして 考えよう!!

オリンピックに沸いた8月でしたが、やっと終わって静かになったというのが本音。

終わってみれば、芸能化した有名スポーツ選手の顔しか浮かばない。高い放送権料を払っての「金や銀や銅やと」
 そればっかしのオリンピック放送はやめてもらいたいが、 次の東京はもっとエスカレートするのだろう。

この現状路線のパターンは 東京への一極集中をさらに進め、次世代を担う日本先進化の取組をさらに遅らすこと
 になるだろう。「今のままのオリンピックは もう役割を終えた」と感じるのは 私だけだろうか・・・

政治も経済も 早く東京一極集中から脱して先進方向に舵を切ってほしいもの。

今月はぶつぶついうまいと思っていました、 8月の報道「オリンピックそして東京都知事選・参議院選挙」
 などを聞くとやっぱり気になる。おりしも 8月 日本各地では地球温暖化による台風・ゲリラ豪雨に雷など経
 験したことのない気象異変の猛威災害に日本各地が襲われ、平穏な日常が一瞬にして危機へと変わった。

流される映像と各地で日々頻発される集中豪雨の警報にその猛威のすごさは他人ごとではない。

都市洪水のすごさ 雷の猛威は年ごとにエスカレート。

今までの防災設備と意識では守れない限界に近付いている。今もてはやされ始めている「物のインターネット
 (Internet of Things : IoT)」などは 雷や都市洪水の前にはひとたまりもない。

落雷による都市圏交通網の混乱と同じことが、都市社会全般にさらに拡大してゆく。

専門家は「地球規模の巨大災害がますます拡大してゆく時代に入った」と指摘する。

経験したことのない環境変化が進む中で、「ストップ ザ 温暖化」はもう無理。

でも軽減・防備への対策行動は今 スタートしないとますます厳しくなる。

世界も大きく舵を切り始めた今、この問題に「無作為な言葉の連呼」だけでは何も変わらないのである。

「限られた資源をどこに投入すべきか」は政治・国の大きな方向性「理念と資質」にかかわっている。

原因はもう後戻りできない毎年の海水温の上昇。スピードを加速しつつ、今世紀末には気温が4℃も上昇すると
 いい、専門家たちはもう現実として、もとに戻すことはできぬという。

100mm/hr を越える局地的集中豪雨 猛烈な突風 そしてすさまじい落雷などが引き起こす脅威が
 その激しさを増しつつ、日本のいたるところで 突然に 何度も 人それぞれに襲いかかる。
 差し迫った危機がもう始まっている。そして今ひとり一人の生き方に直接かかわっている。

オリンピックに名を借りた東京投資など 目先と仲間内ばかりに うつつを抜かす場合ではないのである。
 年寄りといえども 厳しい時代がすでに始まっていることを認識して 前向いて生き抜かねばと。
 次世代を担う若者たちにも時代に迎合することなく 未来をみつめ 自分の立ち位置をしっかりと。
 この脅威の中で すでに被災された皆様に一日も早く救援の手が差し伸べられ、立ち直られますよう。
 また、新しい方向転換が一日も早く始まるよう声をあげねば・・・と。

おぼろげですが、何か不安をいだきつつ、もやもやしていた中身を知って頭をガツンと打たれた思いでいます。
 今 世界で起こっていることに自ら向き合おう。

先月 掲載した平和憲法擁護の立場から、「自らと向き合って 事実を知る努力を」と説く法政大学田中優子総長の
 の意見ともその根のところで 相通ずると思える。

何もできなかった今年の8月でしたが、夜静かに ネットサーフィンしながら考えさせられてしまいました。

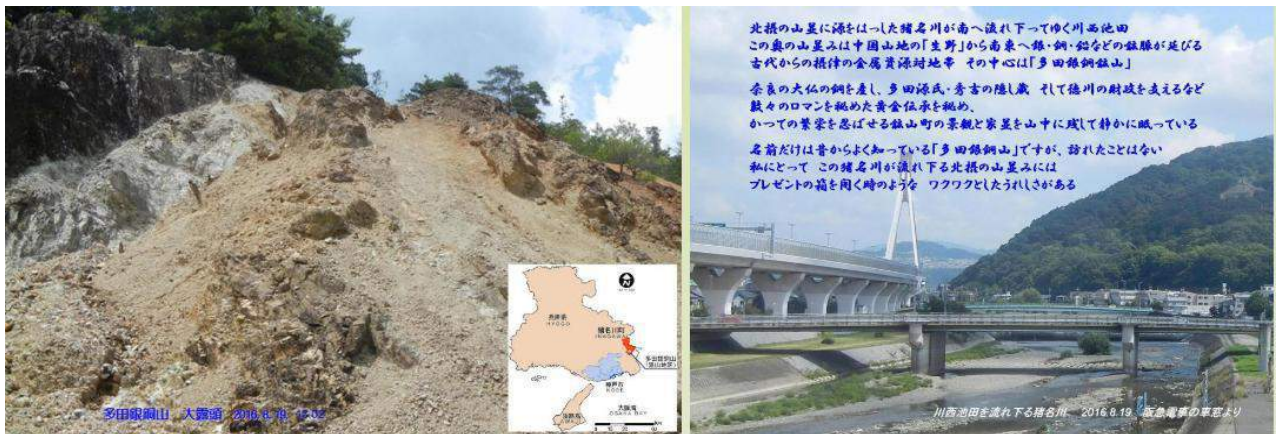
2016.9月 暮らしに思いをはせて by Mutsu Nakanishi

今月の記事より

夏の毎日の楽しみ 朝顔帳を作りました。

近くにいながら この夏初めて 北摂の多田銀銅山を訪ねました

◆ 江戸時代栄えた鉱山町の街道筋にタイムスリップ 北摂の多田銀銅山 2016.8.19&24 また道のすぐそばで、銅の大鉱脈露頭がみられるのにもびっくりしました



北摂 猪名川町 国の史跡 多田銀銅山 2016.8.19.&24.

◆ 夏毎朝の楽しみ「朝顔」 今年一番気に入った朝顔



朝顔の花言葉
色によって違うようですが、「明日もさわやかに」
「さりげない愛」「冷静に前向いて」など
私には「包み込んでくれるやさしさ」 そんな言葉が頭に浮かんできます
2016.8.10. by Kikuko & Mitsu



9 月初秋の便り 青空を吹きわたる爽やかな風に気分も新た 2016.9.5.



朝晩は爽やかになったとはいえ 気象変化が激しい時節 無理せず 元気に乗り切りましょう

1. 初秋の便り
2. 夏の甲子園へ 今年も孫と
3. 格安スマホで LINE に挑戦
4. 新名神高速道路建設が着々と
5. 今月のhome page 更新記事



🌈 9月 初秋の便り

青空を吹きわたる爽やかな風に気分も新た 9月の便りです。日中はまだまだ 夏の暑差ですが、朝夕は爽やかな風。色づき始めた稲穂の頭にウエーブを描きつつ、風が渡ってゆきます。

9月と聞いたからでしょうか 気分もしゃきっとして 動かねば・・・

夏痩せでなく 夏に運動不足で体重が増える人が多いと聞く。

私もその部類に。気候もよし 秋を訪ねて 飛び出さねばと・・・

家内は心待ちにしていた西神戸のイチジク農家の電話に飛び出して 分けてもらったイチジクでジャム作り。

また、夏の終わり花火ナイトで 野球観戦が終わるラグビー シーズンの開幕。久しぶりの肉弾戦に思わず、声が出る。



仲間の会・カントリーのライブ・落語 登りたい山もある。そして間もなく咲き始めるガンバナ・コスモス 里の秋も訪ねたい。動ける今に感謝しつつ この秋を訪ねたい。

8月には 毎年 お盆を迎え、また平和に思いをはせ、自らを振り返る。今年は何か違っていました。

オリンピックのTVが夜な夜なつづ” いたからでしょうか・・・

でも 忘れてはならない平和のこと また 地球温暖化の脅威のこと。

この夏ほど地球温暖化の脅威 ゲリラ降雨・台風・雷・都市洪水等々 自分のすぐ隣で毎日のごとく警報が出て、こんなに身近に感じたことはない。専門家はもう この脅威をもとに戻せない。立ち向かわねばという。

この脅威の中ですでに被災された皆様にも 一日も早く救援の手が差し 伸べられ、立ち直られますよう。

今年の京都五山の送り火も ゲリラ集中豪雨で「大文字」が見えなかった という。

「平和も自然の脅威」にも自らと向き合って事実を知ることが第一歩 今一度 この言葉をかみしめたい。

◆ **再集録** 法政大学田中優子総長 **自らと向き合って 事実を知る努力を**

原発はどうあるべきなのだろうか みんなの日本の暮らしを考えよう
政治の大きなうねりの今「平和を そして国を考えよう」2016



へいわってなにかな。ぼくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびり
あるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、
よなくにうまが、ヒヒーンとなく。
みんなのこころから、へいわがうまれるんだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように、
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

戦争に道を開く安全保障法案国会通過 でも 何と言おうと戦争反対
平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
国の大きな転換点 今 声を上げねば!! 平和を今 自分の頭で考えよう

from Kobe Mutsu Nakanishi

災害や病気など 幾多の困難の中に居られる方々に エールを !!

いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる 暖かい希望の輪がつながっていることを」

神 共に居まして

得られるものを 変える「勇気」

変えられないものを 受け容れる「心の静けさ」

両者を見分ける「叡智」を

ニーバーの祈り より

日々新た 今できることを 精一杯

無理せずゆっくりと

心は行ったり来たりですが 笑顔で 前向き思考元気で乗り切って行きましょう



3.17. 東日本大震災・福島原発事故を忘れずに 復興はまだ 道半ば 被災地の人達を応援しよう
東北讃歌 私の好きな東北 東日本大震災にみまわれた人達を忘れぬために



「あの高嶺 鬼すむ誇り その瀬音 久遠の賛歌

この大地 燃えたついのち ここは (東北) 」

- 北上市市民憲章より -

◆ 和鉄の道・Iron Road 2014 「東北・三陸沿岸の Iron Road」を訪ねる 総集

夏の甲子園へ 今年も孫と



毎年気になる夏の高校野球。今年はビッグニュースが飛び込んできた。高校2年の孫が通うクラーク高校の北海道本校が北北海道代表で出場。芦屋のキャンパスに通う孫から「応援行ってや」と明るい声。

8月12日 2500人を越える大応援団の中に幼稚園へ行く孫と一緒に応援。

試合は負けましたが、うれしい応援でした。

70歳をこえた今も 母校の甲子園出場の話になると 仲間一つになって盛り上がる。孫も忘れぬ宝物の思い出になると。試合後 甲子園球場の歴史館で開催中の高校野球歴史展を見に行ったのですが、今までの春夏全国大会の全組み合わせ・戦績がパネル展示。その中に 何回か母校の名前を見つけました。やっぱり誇らしい。また、幾つになっても母校の野球は気になる。昨年公立高校の長田高に続いて今年は市尼が出場。ぜひ出場してほしい なあと

格安スマホで LINE に挑戦

街では 若者ばかりでなく、スマホを手にポケモン Go に興じている人を多く見 かけるようになった。タブレットを使って 街中で インターネットと接 続できる魅力に触れて、やっぱりスマホはほしい。でも その機器・通信料の高さにびっくり。また、携帯電話の安心感と料金の安さは捨てがたい。色々考えて、携帯電話を維持したまま インターネットプロバイダーの LET 機能データSIM スマホを手に入れた。これが一番安い。電話はできないが、インターネットは街中どこでもつながって、スマホにちょっと話しかければ、データがすぐ表示される。3歳の孫まで「youtube ジュウオウジャー」と話しかけては 映像を楽しんでいる。このデータSIM スマホでもLINE のソフトを使って無料の通話ができるし、固定電話も格安で使えると孫娘に教えてもらって 挑戦中。普通に電話ができるのにびっくり。でも なんやかやソフトについていて複雑。これがええねんと使っている人は言うのですが、スマホのアプリは同じようなのが、五万とあってその機能は複雑。年寄りにはむづかしい。電話だけ使えればええねんと言いながらも 色々トライ中。ご迷惑かけているかも…… もう一つ困ったことは いらぬPR メールなどが増えたこと。ちょっと 若者の世界をのぞけたのが気に入っています。また 先日車で行き先の地図に話しかけたら、車についているナビとは 違う声が正確に道案内。これにもびっくり。タブレットを数年使っていたこともあり、簡単にスマホユーザーに。これに慣れなれたら、そのうちに格安スマホの機能価格競争が安定化したら、乗り換えも可能ですが、これが一番快適なようだ。こんなスマホもあるとご紹介。 ご存知でしたらごめんなさい。また、LINE 接続で迷惑かけた仲間への報告もかねて。

新名神高速道路工事が着々と



先日 多田銀銅山を見に行った時に北摂の山中を東西に貫く新名神の工事現場を見かけました。猪名川町広根 山中といっても、周辺は幾つもの尾根を開発して作られた ニュータウンがつづく。山中とは思えぬ都市化が続く場所。

久しぶりの工事現場に 興味津々。現場を眺めるのは やっぱりうれしくて ついとことこと入っていきたくなる。街中では見えないところで、随分都市化が進んでいる。

★★ 今月のhome page 更新記事 ★★



1.	<p>【和鉄の道】【スライド動画】 多田源氏・秀吉の隠し蔵「多田銀銅山」を歩く 2016. 8. 18. & 24. 東大寺大仏の銅伝承 摂津国 北摂の鉱物資源帯 能勢・猪名川</p> <p>【2016.8.19. 多田銀銅山の鉱山町「銀山」を歩く】 1. 猪名川町広根「銀山口」から銀山川に沿って 鉱山町「銀山」へ 2. 悠々の広場 明治の銅精錬所跡& 悠々の館 多田銀銅山関係展示見学 3. 悠多田銀山の鉱山町「銀山」の街歩き 代官所跡・銀山橋高札・本町(甘露寺・本町の家並)・銀山川源流の合流点 4. 多田銀銅山の「山の神」金山彦神社・青木間歩の坑道内見学 5. 多田銀銅山の露頭から大切間歩・瓢箪間歩へ</p> <p>【2016.8.19. 多田銀銅山の鉱山町「銀山」の再訪 疑問点を確かめる】 1. 江戸時代の繁栄をもたらした銀の大鉱脈が開坑された大口間歩の位置? 2. 鉱山町「銀山」 江戸時代の製錬場(採銅所)がよくわからない 3. 多田銀銅山の製錬スラグは磁石にくっつかないのか…… 4. 間歩や銅選鉱・製錬遺構が出た「猪瀬谷坑道群 間歩ヶ谷支群」 現説資料で知った新名神道路建設中の県道324を西へ遡る</p>
2.	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 2016朝顔帳 2016盛夏 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔 毎朝がたのしみに</p>
3.	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 京都半日会 京朝顔展 京都府立植物園 2016. 8. 2.</p>
3.	<p>【From Kobe】 9月 青空を吹きわたる爽やかな風に気分も新た 秋便り 2016.9.5. ぶつぶつ from Kobe</p> <p>◆地球の気象異変をわが身のものとして 考えよう!! ◎再集録 自らと向き合って 事実を知る努力を</p>

・【和鉄の道・Iron Road】

◎ 多田源氏・秀吉の隠し蔵「多田銀銅山」を歩く
 2016.8.18.&24.
 東大寺大仏の銅伝承地 北摂の鉱物資源帯
 能勢・猪名川

北摂の鉱物資源帯 猪名川町にある国の史跡「多田銀銅山」を訪ねました。
 東大寺大仏の銅算出伝承や多田源氏や秀吉の隠れ蔵と言われ、最も繁栄した江戸期には徳川幕府の財政を支えた銀銅山。
 北摂山中 数多くの間歩(坑道)跡とともに狭い街道に沿って鉱山町の古い家並みが残っています。
 街道のすぐそばに間歩や銅の大鉱脈露頭を見られるのも魅力

【風来坊・Iron Road】

◎ 2016 朝顔帳 2016 盛夏
 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔

夏の早起きの楽しみ 今年も数多くの朝顔が咲き、すがすがしい朝を演出。

今年の我が家の朝顔帳をスライド動画に

◎京都半日会 京朝顔展
 京都府立植物園 2016.8.2.

京都伝統の朝顔造りの技法「京朝顔 -大輪造り・数造り-」毎年恒例の朝顔展をスライド動画で。
 丹精込めて低い背丈に切りそろえて育て、大輪の花を一つ咲かせたり、また、幾つもの花を一度に咲かせて、夏の朝 朝顔の爽やかさを楽しむ

【From Kobe 9月】

9月 青空を吹きわたる爽やかな風に気分も新た 秋便り 2016.9.5.
 ぶつぶつ from Kobe
 ◆ 地球の気象異変を わが身のものとして考えよう!!

9月初秋の便りを お届け。夏の暑さにばてたわけではありませんが、今年の暑さには参ってしまいました、元気に神戸で過ごしています。夏の朝顔の透き通ったゆったりとした美しさと近くにいなながら、訪ねたことのない多田銀銅山 walk をスライド動画で掲載しましたので、暇な時にでも。
 銀・銅の製錬の製錬も長い苦難の道 薄々知っていましたが、原料鉱石枯渇の時代 南蛮技術を取り入れ、いち早く衰退の中から復活し、第2の繁栄期作ったのが、多田銀銅山と初めて知りました。
 たたら製鉄や鉄製錬と同様に原料枯渇を乗り越え 新しい道を開いた銅山があるはずと銅山を色々眺めてきましたが、多田銀銅山はそんな銀銅山の一つのようだ。
 新技術で新しい道を開いた多田金銅山もうすこし調べてみよう。
 毎年 孫たちに振り回される夏ですが、今年は孫たちと高校野球応援に行けたのがうれしい。
 きっと 大きくなって心に残る母校・ふるさと応援の夏に夏になりました。
 でも 今夏ほど気象の異変を身近に感じたことはなし。それもどんどんエスカレートして、災害も大きくなり、専門家はさらに地球規模でエスカレート もとに戻ることはないという。
 巨大災害の縁にみんなたっていると……。

国の方向を変えないとえらいことになると感じた夏でもありました。

心配も多いですが、覚悟を決めて、前向いてと……。

ラグビー観戦で見ろ闘志と投資のぶつかり合いにも元気をもらっています。 今回も素晴らしい自然・人とその景色などにも出会えました。

知力・体力・気力の衰えを感じるこの頃で、頭は周りませんが、家に引きこもる気はなし。

「取り残されないぞ」の思いも
引き続き よろしくお祈いします。

仲間・家族がいる。お互いの笑顔が 元気の源
健康に気を付けて 無理せず 元気に前向いてと。

ゲリラ豪雨にも気配りください



お互い笑顔で 前向き思考 元気を出して
仲間が頼りですが、
まだまだ元気 好奇心はある
今できることを精一杯

2016. 9. 5. from Kobe
Mutsu Nakanishi



多田銀銅山で出会ったすごい夕立 2016.8.24.
ピンポイントの集中豪雨を頭に入れた行動を



世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を コネスコ世界遺産に

🌈 ジョージ・カーリン「老いを楽しく生きるために」

ジョージ・カーリンの名言「老いを楽しく生きるために」は

「ストレスをためずに100まで」と。

なかなかむづかしい時代。 それだけに心に響く。

また、仲間・家族がいるのはありがたい。

こちらも 同じだけ 意識せねばと……

- 要約「[老いを楽しく生きるために](#)」
- 動画 (WMV 動画に変換
“[Philosophy For Old Age.pps](#)” .
- [紹介日本語訳全文](#)

ジョージ・カーリンのメッセージ

◎「老いを楽しく生きるために」
「老いを嘆くことはない。100才になったら
赤ちゃんに戻れるんだから……」
そして、忘れてはいけない。
人生とは自分が息を吸う数ではなく、
吐く瞬間で測定するものです。
充実した毎日を生きましょう!!

◆ WMV 動画

“[Philosophy For Old Age.pps](#)”



***** 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪 ・ Iron Road *****

1. 多田源氏・秀吉の隠し蔵「多田銀銅山」を歩く 2016. 8. 18. & 24.
東大寺大仏の銅伝承 摂津国 北摂の鉱物資源帯 能勢・猪名川



北摂の山並に源をはった猪名川が南へ流れ下ってゆく川西池田この奥の山並みは中国山地の「生野」から南東へ銀・銅・鉛などの鉱脈が延びる 古代からの摂津の金属資源対地帯 その中心は「多田銀銅山」。

奈良の大仏の銅を産し、多田源氏・秀吉の隠し蔵 そして徳川の財政を支えるなど 数々のロマンを秘めた黄金伝承を秘め、かつての繁栄を忍ばせる鉱山町の景観と家並を山中に残して静かに眠っている。名前だけはよく知っている「多田銀銅山」ですが、訪れたことはない。私にとってこの猪名川が流れ下る北摂の山並みにはプレゼントの箱を開く時のようなワクワクとしたうれしさがある

多田銀銅山を中心とした兵庫県猪名川町や川西市、宝塚市 そして 大阪府豊能町など 十数キロ四方に広がる山里の地域。古代から多数の小規模な鉱床が散在する鉱山地帯。その中心 猪名川町多田銀銅山は銀・銅を主とする大鉱山。その最盛期は16世紀後半～18世紀前半 吹屋（ふきや）（精錬所・採銅所）が76軒も立ち、そのにぎわいぶりは「銀山三千軒」と呼ばれた。江戸時代には、新たな銀の大鉱脈が発見されると幕府直轄となり、最盛期 その生産量は銀で佐渡 銅で足尾に次ぐ大鉱山となって国をささえた。その後 資源の枯渇とともに衰退しつつも、明治になって民営化されるが、引き続き昭和40年代まで 生産がつつけられたという。



***** 今月の風来坊 Country Walk *****

1. 2016 朝顔帳 2016 盛夏 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔 毎朝がたのしみに



夏の早起きの楽しみ 今年も数多くの朝顔が咲き、すがすがしい朝を演出。

今年の我が家の朝顔帳をスライド動画にまとめました

2. 京都半日会 京朝顔展 京都府立植物園 2016.8.2.



京都伝統の朝顔造りの技法「京朝顔 -大輪造り・数造り-」毎年恒例の京都半日会の朝顔展

丹精込めて低い背丈に切りそろえて育て、大輪の花を一つ咲かせたり、また、幾つもの花を一度に咲かせて、夏の朝朝顔の爽やかさを楽しむ。久しぶりに出かけました。

早朝に咲き始め、風にはしぼんでしまう半日の花 蕾の中に姿を封じ込めていて、早朝咲くまでその姿を見せない

毎朝 期待一杯で 目にする色鮮やかな大輪は その日一日を爽やかに楽しくしてくれる

植物園の広い緑に包まれた朝 丹精込めた色とりどりの大輪の朝顔が一堂に会して見事。

また、朝顔を見るきっかけになった変化朝顔も展示されていて、楽しませてくれる。

名前とその見事な姿・色・形・大きさなどを見比べては、花びらのすぐそばに顔をくっつけたり、

眺める角度を変えたり、花びらの色のグラデーションに ひとりイメージを膨らませる心とむひと時でした



***** from Kobe 2016年9月 *****

■ 9月 青空を吹きわたる爽やかな風に気分も新た 秋便り 2016.9.5.

ぶつぶつ from Kobe

◆ 地球の気象異変を わが身のものとして考えよう!!

今 世界で起こっていることに自ら向き合おう。

平和憲法擁護の立場から、「自らと向き合って 事実を知る努力を」と説く法政大学田中優子総長の意見文再録

2016年9月 掲載記事リスト 2016.9.5.

秋の訪れ 青空を吹きわたる爽やかな風に気分も新た



<p>1.</p>	<p>【和鉄の道】【スライド動画】 多田源氏・秀吉の隠し蔵「多田銀銅山」を歩く 2016. 8. 18. &24. 東大寺大仏の銅伝承 摂津国 北摂の鉱物資源帯 能勢・猪名川</p> <p>【2016.8.19. 多田銀銅山の鉱山町「銀山」を歩く】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 猪名川町広根「銀山口」から銀山川に沿って 鉱山町「銀山」へ 2. 悠久の広場 明治の銅精錬所跡& 悠久の館 多田銀銅山関係展示見学 3. 悠多田銀山の鉱山町「銀山」の街歩き 代官所跡・銀山橋高札・本町(甘露寺・本町の家並)・銀山川源流の合流点 4. 多田銀銅山の「山の神」金山彦神社・青木間歩の坑道内見学 5. 多田銀銅山の大露頭から大切間歩・瓢箪間歩へ <p>【2016.8.19.多田銀銅山の鉱山町「銀山」の再訪 疑問点確かめる】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 江戸時代の繁栄をもたらした銀の大鉱脈が開坑された大口間歩の位置? 2. 鉱山町「銀山」江戸時代の製錬場(採銅所)がよくわからない 3. 多田銀銅山の製錬スラグは磁石にくっつかないのか…… 4. 間歩や銅選鉱・製錬遺構が出た「猪瀧谷坑道群 間歩ヶ谷支群」現説資料で知った新名神道路建設中の県道324を西へ遡る
<p>2.</p>	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 2016朝顔帳 2016盛夏 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔 毎朝がたのしみに</p>
<p>3.</p>	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 京都半日会 京朝顔展 京都府立植物園 2016. 8. 2.</p>
<p>3.</p>	<p>【From Kobe】 9月 青空を吹きわたる爽やかな風に気分も新た 秋便り 2016.9.5. ぶつぶつ from Kobe</p> <p>◆地球の気象異変をわが身のものとして 考えよう!! ◎再集録 自らと向き合って 事実を知る努力を</p>



秋の風物詩 鳥来の田仁道徳の旗が暮る秋 2016.9.1. 西神戸から三木の田圃で



秋の風物詩 鳥来の田仁道徳の旗が暮る秋 2016.9.1. 西神戸から三木の田圃で



秋の風物詩 鳥来の田仁道徳の旗が暮る秋 2016.9.1. 西神戸から三木の田圃で

10月 秋便り みのりの田を飾る彼岸花 2016.10.5.
身も心も弾む里の秋 秋到来に期待を膨らませています



10月になっても 晴天が続かぬ秋の幕開け 気象異変が続き、期待した秋の爽快感も まだ これからでも 街の外に飛び出すと 彼岸花がみのりの田を飾る里の秋 身も心も自然と弾む里の秋に。例年の西神戸・東播磨 田舎の里の秋景色に出会いたくて、ちょっとした晴れ間を見つけては、運動不足解消もかねての 里歩き。 また、一度やりたくて 興味津々だった京都/山科東山越の街道往復 walk。夏からのびのびでしたが、やっとゆけました。今までのように 簡単に「天高く馬肥ゆる秋」という風には行かぬ秋10月の始まりですが、期待に胸躍らせて 今を元気にと。

西神戸・播磨の郷では 実りの田の畔を彼岸花が飾り、郷の入口には祭りの飾りつけそして 実りの田の収穫も始まり、元気にこの秋を楽しみたいと 毎秋のスケジュールが頭を巡る秋の風物詩を訪ねて 戸外に出て遊ぶのも 共に酒を酌み交わすもよし 夜長静かに家で過ごすのも また、運動会で孫たちの成長を眺めるのもうれしい。



木々が色づき始めた京都岡崎・南禅寺界隈 オープンテラスでお茶 秋をを楽しむ 2016.9.25.
西神戸・東播磨 里の秋【1】 酒米の畦に酒蔵の旗が翻る 実りの稲穂加東町で



山田錦発祥の地 東播磨加東町の田園では 幾本も酒蔵の旗がはためき、田園では例年になく彼岸花が美しく、この山田錦の郷を一層 華やかに 2016.9.24.

秋の訪れとともに すぐ頭に浮かんだ 昨年訪れて知った幻の酒米「愛山」の栽培地 加東市旧社町木梨 昨年はあまり印象のなかったヒガンバナが 畦を美しく 飾って、畦ではためく酒蔵の旗とともに 播州秋の風物詩 酒米の郷の美しい秋景色でした



西神戸・東播磨 里の秋【2】 そばの花満開の東播磨小野市来住野 2016.9.24.



加古川に沿って北に走る JR 加古川線 その中流域西岸 小野アルプス北麓に「小野町駅」があり、この駅そのものが、地域の NPO 法人の人で運営される美味しいそば屋になっていて、この地でとれるそばを食べさせてくれる。疲れた時など ふっと思い立って 原チャリを加古川の土手を走らせ、小野駅でそばを食べて帰る 私のお気に入りの散歩コースの一つである。

この加古川の中流域の西岸 小野アルプスの北麓に広がる広い斜地来住野の田園地帯では 今 黄金色の稲穂とともにそばの花が白い花が満開になっている。最近 この小野市の来住野から南に山を越えた加古川市志方などは休耕田を利用したそばの栽培が盛んで、兵庫の新しい名産となっている。



JR 加古川線 小野町駅 「ぶらっと きすみの」

そば粉はこの地のものだけではないと思いますが、そばの花を見て、うちたてのそばを食べる。この時期ならでは……。 はじめて今年 来住野の田園を白く染め上げる満開のそばの花見ることができました。



今月の記事より

■ 今熊野の家並みが続く狭い坂道 滑石街道越 & 稲荷神降臨の神の山 稲荷山山頂三ヶ峰横断

一度やってみたかった京都東山三十六峰越往復 秋雨の悪天候の中、やっと実現



- ◆ 京都から山科へ滑石街道を東山越 滑石街道 府道118号今熊野勸修寺線
これが東山越の幹線道路? ゆっくり歩ける古道 昔の街道筋 狭い家並を抜けて東山三十六峰越
- ◆ 山科西野山から霊山稲荷山を京都伏見へ 山越え
山科側は静かな杉林の中 神が集う不思議のワンダーランド また京都側は伏見稲荷大社の参道
下から上まで赤い鳥居のトンネルに

10月秋便り みのりの田を飾る彼岸花 身も心も弾む里の秋
秋到来に期待を膨らませています 2016.10.5.



1. 10月 秋便り
里の秋 胸膨らませ、今を元気にと
2. マンドリンオーケストラ
3. 飛行機雲
4. 孫の運動会
5. 今月のhome page 更新記事



10月 秋便り 里の秋 胸膨らませ、今を元気にと

10月になっても 晴天が続かぬ秋の幕開け 気象異変が続き、期待した秋の爽快感も まだ これから。
想定外」異変と言えぬ地球全体の天候異変は本物の時代に。台風もまだ本番はこれから 気象異変への備え・防災には十分ご留意を。でも、久しぶりに加古川の土手に出ると里の祭りの飾りつけ。
どこかで 里の祭りに出会えたらと・・・

秋迎への準備は みんな着々 里の秋。 「天高く 馬肥ゆる秋」 そんな秋晴れがつづいてほしいなあ。心待ちにしている仲間会・同窓会・孫たちの運動会にカントリーのライブ・落語 ラグビーシーズンに登りたい山もある。おそろかになっている「鉄」の勉強もしたいと。身も心も自然と弾む里の秋に胸膨らませ、今を元気にと。なにはともあれ、体調に留意して元気に前向いて。 いつも ありがとうございます。

🌈 仲間のマンドリンオーケストラの演奏会にも参加

門外漢と思いつつも参加すると色々なことに 出会ったり、気が付いたりと楽しくなる。「やっぱり 出かけなあかん」と。もつとも 会のあと仲間とワイワイやるのも魅力なのですが・・・久しぶりに映画も見ました。



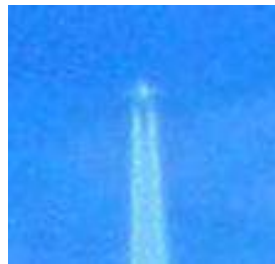
マンドリンオーケストラの演奏会など門外漢などと思っていましたが、そのやわらかい音色が心地よく、一気に引き込まれてしまいました。これは いつも困る動画のBGMにぴったりやと。仲間が演奏会の聞き方教えてくれました。

「あるストーリーをイメージして 場面場面を頭に描くんや。ぴったり演奏と収まると 本当に心地いいよ」と。なるほど。 秋の夜長 こんな音楽の楽しみ方もあるのやと。収穫の多いマンドリン オーケストラ

🌈 飛行機雲 2016.9.25.

9月25日 やっと晴れ間がのぞいた。

飛行機のかすかな爆音に空を見上げると 真っ青な空の前機が残した飛行機雲に クロスして、雲を吐き出しながら、飛んでゆく飛行機の機影が見えました。爆音を響かせ、一気に飛び去る飛行機は何度も見たことがあるのですが、飛行機雲を吐き出しながら、それこそ 悠然と飛行機雲を横切ってゆく。久しぶりの秋晴れの飛行を楽しんでいるようで、思わずパチリ。機影がしっかり見えたのもうれしい。



一説によれば、飛行機雲は高い空を高速で飛ぶ飛行機の排気に含まれる水蒸気や周辺の冷たい水蒸気が飛行機が巻き起こす気流変化で水滴や氷 粒になったもの。

飛行機雲が長く残る次の日は雨になることも多いといい、嬉しがってばかりはられないのですが、久しぶりの景色でした。

9月24日 東播磨の小野で見た空もきれいでした。神戸では9月は目まぐるしく変化する天候で、中旬から下旬の日照時間は、半分程度だったという。そんな精で、自然と空に目が向いたかもしれません。



🌈 運動会

10月1日 土曜日 6年生になる孫の運動会 孫たちの元気な姿を見る のはうれしいもの。来週もまた、幼稚園へゆく孫の運動会。リレーやマスゲームの練習をやっているという。孫たちも 元気にこの秋を迎えました。



困難の中に居られる方々にエールを!!

日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと

いつも 思いをせています。
「忘れないで 仲間がいる
暖かい希望の輪が繋がっていることを」

神共に居まして
得られるものを変える「善気」
変えられないものを受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニーバーの祈り より

「まあええか 元気でして行こう」と
心は行ったり来たりですが
好奇心さえあれば・・・と前向いて
お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましよう



**原案はどうあるべきなのだろうか みんなの日本の暮らしを考えよう
政治の大きなうねりの今「平和を そして国を考えよう」 2016**



へいわってなにか。ほくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなががいっぱい。やぎのんびり
あるいている。ちよめいそうがたくさんはえ、
よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。
みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように、
ほくも、ほくのできるこころががんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

戦争に道を開く安全保障法案国会通過
でも 何と言おうと戦争反対平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
国の大きな転換点 今 声を上げねば!! 平和を今 自分の頭で考えよう
from Kobe Mutsu Nakanishi

★★ 今月のhome page 更新記事 ★★



1.	<p>【和鉄の道・Iron Road】【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 京都 東山三十六峰越 walk【1】 京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016.9.13. 大石内蔵助が山科から福園・伏見へ通ったという古道 京都にうれしい古道散歩道の発見 府道118号線 今熊野勸修寺線</p>
2.	<p>【和鉄の道・Iron Road】【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 京都 東山三十六峰越 walk【2】 東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 2016.9.13. 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ 山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランドでした</p>
3.	<p>【風来坊・Country Walk】【写真アルバム】 小野アルプス「紅山」南稜岩尾根ハイク 2016. 9. 24 南稜岩尾根は一枚岩のスロープ 天然の滑り台!!</p>
4.	<p>【From Kobe】 10月秋便り 里の秋 胸膨らませ、今を元気にと みのりの田を飾る彼岸花 身も心も弾む里の秋 秋到来に期待を膨らませています</p>

〔和鉄の道・Iron Road〕

◎ 京都 東山三十六峰越 walk 2016.9.13.

- 1.京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」
- 2.東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク

京都の東の壁 東山三十六峰を越えると山科盆地。

この春東山の西山腹西野山地区を歩いて、知った稲荷神の鍛冶伝承など山科の伝承。

京都三条通日ノ岡峠越 旧東海道の山科盆地北部とは違った稲荷山を中心とした京都とのつながりを初めて知り、南部の稲荷山・西野山を越える東山三十六峰 越を歩いてみたいと。

行き JR 東山トンネル出口の今熊野からの古い街道滑石街道を山科へ。帰りは山科側からの参詣道稲荷神降臨伝承稲荷山三ヶ峰を越え伏見稲荷へ。知っているようで知らなかった山科。稲荷山のすぐ北を越える滑石街道そして稲荷山山頂越 二つの東山越。やってみたかった東山越 walk の記録。また 稲荷山は摩訶不思議のワンダーランド 稲荷神は農耕の神であると共に 山科・京都の土着の神・開拓神でもあるので、この walk でひょ

っとして「鉄」の痕跡が見つけられるかと期待をしていましたが、残念ながら 見つけることはできませんでした。

〔風来坊・Country Walk〕

◎ 京都 東山三十六峰越 walk 2016.9.13. 「和鉄の道」に掲載した記事をそのまま転載

◎ 小野アルプス「紅山」南稜岩尾根ハイク 2016.9.24. 南稜岩尾根は一枚岩のスロープ 天然の滑り台!!

低い山ですが、一枚岩の山で、平滑な岩肌が南へ延びる。南稜岩尾根の山裾に立ち見上げるルートの上方はまるで垂直な壁。でも 須磨アルプス 馬の背級のハイキングコースと聞いて、先日岩尾根の取り付け口への道を教えてもらって、出かけました。表面がざらざらの蛇紋岩質の直登ルート上部で ホールドさえ しっかり選べは大丈夫。久しぶりに緊張感を体験した山登り。日本一低い小野「アルプス」ですが、こんな山もあると。また、展望も素晴らしい。ゆっくり スライド記録作ります。

〔From Kobe 10月〕

■10月秋便り 里の秋 胸膨らませ、今を元気にと 2016.10.5.

みのりの田を飾る彼岸花

身も心も弾む里の秋 秋到来に期待を膨らませています

一日中 スカッとほれた秋晴れの天気がまちどおしい毎日 いかがでしょうか
 どこにいても すく答えてくれる Wi-Fi スマホに毒されたせいなのか 老化なのか頭が回らなくなっているなあ
 と感じる事が多く、文がなかなか書けず、同じようなことばかり、お許しください。
 今回の更新も取り立てたトピックスもありませんが、2016年の秋便りです。
 好奇心だけは旺盛 元気にやっています。

今年は例年になく周辺の田園でも きれいな彼岸花の咲く里景色が見られ、また、酒蔵の旗がはためく東播磨の山
 田錦の郷でも 畦を彼岸花が飾って 例年よりも華やかでした。

また、一度やってみたかった京都と山科 東山三十六峰山越往復ハイク。そして、岩尾根の状況がわからず、何度
 も近くを通る度によく見える場所を探した小野アルプス「紅山」頂上からの天然滑り台 南稜岩尾根を晴れ間を
 見つけてやっと 歩けました。200mほどの低山が並ぶ日本で一番低い小野アルプスですが、低山悔りがたし。
 久しぶりに緊張した山登りを御紹介。

from Kobe も 閉塞感漂うまた同じ。スッキリした話題も見つけられずで、今月は 里の秋の写真のみに
 お暇な時にでも ご覧ください。

専門家はさらに地球規模でエスカレート もとに戻ることはないという異常気象。ゲリラ豪雨ばかりでなく洪水
 土砂災害にもにも気配要。新幹線が潜り抜けるトンネルの直上に建つ自宅・街にも初めての避難勧告
 携帯電話がけたたましくなり、びっくりしました。

健康・体調管理ともども 防災にも 手ぬかりなきよう。引き続き よろしくお祈りします。
 仲間・家族がいる。お互いの笑顔が 元気の源
 健康に気を付けて 無理せず 元気に前向いと。

お互い笑顔で 前向き思考 仲間が頼りですが、
 まだまだ元気 好奇心はある
 今できることを精一杯

2016.10.5. from Kobe Mutsu Nakanishi



VIDEO 動画
縄文の心を映すストーンサークル
 縄文がえりのナナメ

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
そのエンジンは「他人を思いやる心」
北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

3.17東日本大震災・福島原発事故を忘れずに
 復興はまだ 道半ば 被災地の人達を応援しよう
東北讃歌 私の好きな東北
 東日本大震災にみまわれた人達を忘れぬために

「あの高嶺 鬼すむ誇り その瀬音 久遠の賛歌
この大地 燃えたついのち ここは(東北)」
 - 北上市市民憲章より -

ジョージ・カーリンの名言
「老いを楽しく生きるために」
 「老いを楽しく生きるために」は
 「ストレスをためずに100まで」と。
 なかなかむつかしい時代。それだけに心に響く。
 また、仲間・家族がいるのはありがたい。
 こちらも 同じだけ 意識せねばと…

- 要約「[老いを楽しく生きるために](#)」
- 動画 (WMV 動画に変換
 “[Philosophy_For_Old_Age.pps](#)” .
- [紹介日本語訳全文](#)

◎「老いを楽しく生きるために」
 「老いを嘆くことはない。100才になったら
 赤ちゃんに買れるんだから・・・」
 そして、忘れてはいけない。
 人生とは自分が息を吸う数ではなく、
 吐く瞬間で測定するものです。
 充実した毎日を生きましょう!!

***** 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪・Iron Road *****

京都 東山三十六峰越 walk 【1】. 京都にうれしい散歩古道の発見

1.京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016. 9.13.

大石内蔵助が山科から祇園・伏見へ通ったという古道 府道118号線 今熊野勸修寺線



今熊野橋より、東山をトンネルで抜けてゆくJR東海道線(左)・新幹線(右) 2016.9.13. 滑石街道は正面に見える東山の右手を越えてゆく



「滑石街道」って 御存じでしょうか？ 府道118号 今熊野勸修寺線

家並みが道の両側にびっしり、続く狭い坂道が東山へと登ってゆく。かつては 大石内蔵助が計を図りながら、山科から祇園・伏見へ足しげく通った道だという。

滑石街道・醍醐道などと名称はついているが、三条通日岡越や五条通東山越に幹線道路の役割を渡し 今はこの街道筋に暮らす人たちの生活道路で、昔の街道筋そのままに、東山へと坂道を登っていく。

車に邪魔されることもなく、家並みを楽しみながら ゆっくりと東山越。往時を思い起こしながら 30分もあれば峠越 山科がこんなに近いとは。

「滑石街道」どんな由来を持つのか……

峠越え 京都・山科の遠望も楽しい。

また、JRが東山トンネルで抜けてゆく上を山越える道があることも知りませんでした。東山を越えた山科側にあるきれいな形のヘアピンカーブもおもしろく、この道は稲荷山・醍醐へたどる古い参詣道でもある。



京都 東山三十六峰越 walk 【1】 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ

2. 東山三十六峰南端の稲荷山 三ヶ峰越 横断ハイク 2016.9.13.

山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランドでした



稲荷山 一の玉への道 ポイント【52】 2016.9.13. 12:24



稲荷山山頂(西野山) 稲荷三峰と一の玉の道 2016.9.13. 12:32



もう 何十年ぶりか？ 久しぶりに歩きはじめた稲荷山。山科側の山中は緑の林に包まれた静かな空間の中を稲荷山山頂三ヶ峰への小道がづく。昔から伏見稲荷への参詣する多くの人々がたどった道。

霧雨けふる林の中に幾つも 名も知らぬ祠や塚そして行場がポッと現れてくる 摩訶不思議なワンダーランド。

神が集う山 今はやりのパワースポットか？

初めて山科側からたどる稲荷山への道はこの山が伏見稲荷の御神体山であることを随所で体現させてくれる。

靄がかった林の中に赤い鳥居が正面向こうに浮かんでいる。稲荷神が降臨した稲荷山山頂 三が峯への参道の入口である。何十年ぶりかの三が峰 随分変わっているようですが、今はどうなっているのか・・・



***** 今月の風来坊 Country Walk *****

1. 小野アルプス「紅山」南稜岩尾根ハイク 2016. 9. 24

南稜岩尾根は一枚岩のスロープ 天然の滑り台!!

東播磨を流れ下る加古川中流の西岸に小野アルプスと呼ばれる山並みがある。

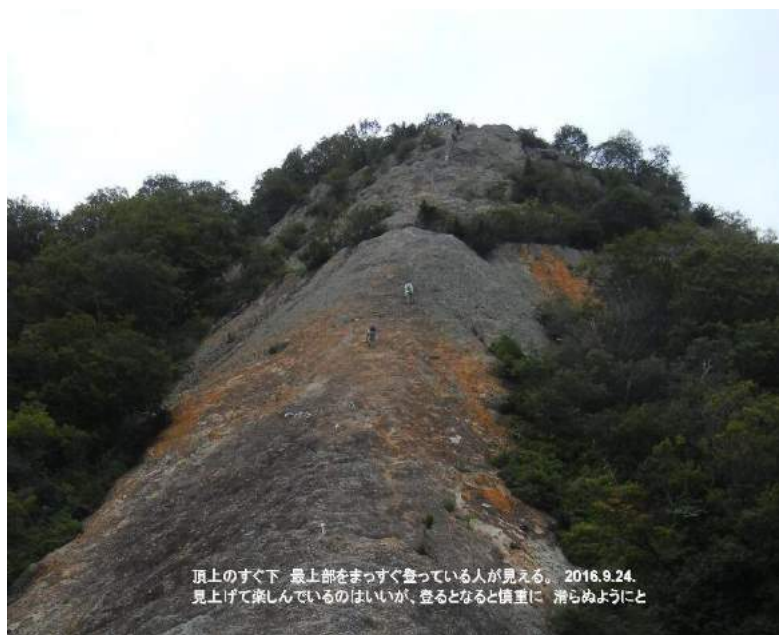
標高は最高でも惣山（小野富士）の200mで、標高150m前後の12の岩峰がつらり、縦走にはアップダウンを繰り返さねばならぬ。



なかでも紅山の南稜は頂上から麓まで高低差約80m 斜度約35度の一枚岩の岩稜が、岩のすべ台のごとく美しい弧を描いていて、加古川の土手からもよく遠望できる。しかも、この岩稜はハイキングのごとく手軽に歩けるとして、山好き 知る人ぞ知る山。

だいぶ以前から知り、ハイキングでゆけると聞くのですが、地図には道が記載されておらず、遠くから眺める斜度などに圧倒されて、なかなか登れずでした。

最近 道も教えてもらい、頂上への直登ながら 岩肌も滑りにくく、まあ須磨アルプス級と教えてもらい、晴れ間が出た9月24日初挑戦。



正面から見上げる迫力ある岩稜 隣の惣山から眺める優美なスロープ 久しぶりに緊張感もあじわって、楽しい山でした。

日本で一番低い小野「アルプス」ですが、低山悔りがたし。 楽しい近場の山の紹介です

***** from Kobe 2016年10月 *****

【From Kobe 10月.】

10月秋便り 里の秋 胸膨らませ、今を元気にと 2016. 10. 5.

みのりの田を飾る彼岸花

身も心も弾む里の秋 秋到来に期待を膨らませています



京都市街地と山科を隔てる東山三十六峰 東山三十六峰越

1.	<p>【和鉄の道・Iron Road】【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 京都 東山三十六峰越 walk【1】. 京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016.9.13. 大石内蔵助が山科から祇園・伏見へ通ったという古道 京都にうれしい古道散歩道の発見 府道118号線 今熊野勤修寺線</p>
2.	<p>【和鉄の道・Iron Road】【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 京都 東山三十六峰越 walk【2】. 東山三十六峰南端の稻荷山 横断ハイク 2016.9.13. 稻荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稻荷大社へ 山科西野山から稻荷山へ登って伏見稻荷大社へ 久しぶりの稻荷山はワンダーランドでした</p>
3.	<p>【風来坊・Country Walk】【写真アルバム】 小野アルプス「紅山」南稜岩尾根ハイク 2016. 9. 24 南稜岩尾根は一枚岩のスロープ 天然の滑り台!</p>
4.	<p>【From Kobe】 10月秋便り 里の秋 胸膨らませ、今を元気にと みよりの田を飾る彼岸花 身も心も弾む。里の秋 秋到来に期待を膨らませています</p>



酒米の郷 播州加東市木梨 幻の酒米「愛山」栽培地で
2016.9.24.



池に姿を映す飯盛山 広島の郷のコスモス畑 2016.10.15.



鉄塔が満開のコスモスの原を抜けてゆく 下飯坂のコスモス畑 2016.10.15. 毎歳ですが、うれしい秋のコスモスの景色です

2016.10.15. 東播磨 加古川市志方の郷のコスモス畑で 今年も清々しい気分

異常気象が日本列島で荒れ狂った今秋 天候もやっと落ち着き、街路の樹々も色づきはじめました

見上げる青空に 気持ちも晴れやか 飛び出して Good Luck!!

道端のコスモスに ふっと顔を寄せる

街にはジャズが流れ、数々のイベントに 酒蔵・利き酒のイベントも

ぶらぶらの街歩きが楽しい 何とはなしに人恋しい秋です



運動公園のコスモスの丘には 柔らかな風にコスモスが揺れていました 2016.10.27.

■ 2016 秋桜 東播磨 加古川 志方の郷の秋桜畑 ■



志方のコスモス祭りの中央会場、高畑のコスモス畑 2016.10.15.



志方のコスモス祭りの中央会場、高畑のコスモス畑 2016.10.15.

毎年 気持ちをすっきりさせてくれる 東播磨 志方の郷の秋桜 里に咲く秋桜の秋景色を今年もどっぴりと。



志方の田園は今野焼きの真っ最中 あちこちで煙が上がっていました 2016.10.15.



朝早くに涼やかな秋の朝です。涼か 種方畑で 2016.10.15.



小野アルプスの山頂を越えて 志方から小野へ越える高畑 2016.10.15. 毎年秋の美しい林の取り囲む上、朝の秋景色です。



加古川 上飯坂土路 秋の夕暮れ 2016.10.15.

やっと真っ青な青空 晴れ晴れと。神戸の街にはジャズがながれ、
数々のイベント 楽しい賑わいに。

街行く人も明るい笑顔に。こ。ちょっと街を離れると爽やかな風に揺
れるコスモス 2016 秋桜の秋到来

今年も東播磨加古川志方のコスモス畑に出かけてきました。

毎年同じ空き景色ですが、出かけるとまた、新しい発見が・・・

今秋 相次いで関西で発掘された遺跡のニュースが新聞の片隅をに
ぎわした。

芦屋・会下山遺跡の謎 発掘60周年シンポ 鉄生産の議論も!!

国生み神話の淡路松帆銅鐸が出雲の兄弟銅鐸!!

近江で卑弥呼の時代の鉄の流通の拠点がみつかった!!

京都龍谷大大宮キャンパスから鍛冶工房など中世職人町発掘!!

日本の国造り・鍛冶工房関連の遺跡発掘に、興味深々。

久し振りに古い鍛冶工房跡が見られると 現地説明会にも参加。

神戸の港で一般公開された深海調査船「しんかい6500」と

その母船「よこすか」にも見学できました。

なんやなや 勝手ごちゃまぜの神戸からの 11 月の始まり

2016 秋桜便りです。

厳しい気象異変に 鳥取でも大地震発生 日本列島はどこで起きても不思議でない

巨大災害の時代に。また、インフルエンザ流行期に お互い 手ぬかりなきよう。



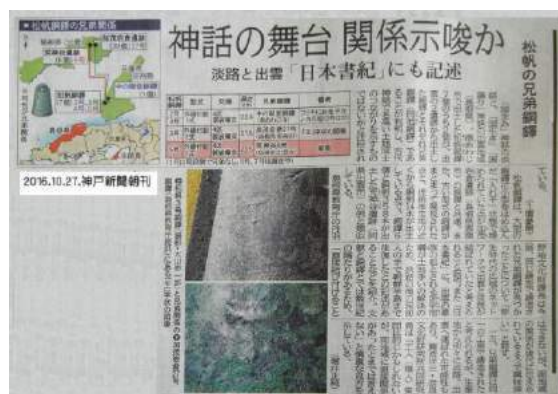
神戸港 深海調査船「しんかい6500」公開 2016.10.18



今月の記事より

この秋 関西では卑弥呼の時代の幕開け 初期ヤマト連合に係わる遺構・遺物の発掘が大きな話題に
新聞紙上をにぎわし、その現地説明会などには 多くの人が集まりました

- 淡路島の松帆銅鐸は同じ鋳型で作られた出雲の銅鐸と兄弟銅鐸
国生神話の出雲・淡路は強い結びつき



淡路の松帆銅鐸は出雲と兄弟銅鐸銅鐸 国造り神話の国 出雲と淡路とは強い結びつきが考えられ、また、その
間を結ぶ播磨野播磨風土記には ヤマト連合と在地の勢力との接触&抵抗を示す「妻問い-印南別嬢の抵抗」伝承が
記載されている。

淡路の弥生の国内最大級の鍛冶工房工房村五斗長垣内遺跡との関係も話題になる一方、淡路を見晴るかす芦屋の高地
性集落会下山遺跡は武器を作る鉄の生産工房の可能性が議論されている。

この時代を経て、初期ヤマト王権誕生にこれらの国がどうかかわり、どんなドラマが展開されていったのか・・・
興味は尽きない。また、ここでも 鉄が重要な鍵になっている。

大型建物跡
交通要衝「いなべ国」か
東海や山陰の土器も出土

古墳時代の大型建物跡が、滋賀県彦根市の稲部遺跡で、古墳時代中期（3世紀中葉）の大規模な建物跡（面積約188平方メートル）が見つかり、17日、市教育委員会が発表した。弥生時代末から古墳時代初期にかけて、邪馬台国の有力候補地とされる稲部遺跡（奈良県磯原市）の大型建物跡（約300平方メートル）に匹敵規模だった。また近時では国内最大規模の鍛冶工房とみられる遺跡も見つかった。（30面に掲載記事）

遺跡は東日本と西日本をつなぐ交通の要衝に位置し、邪馬台国の頃にあった国境の一つとする見方もあり、邪馬台国から大和政権成立期に鉄器が交易で栄えた一大拠力があつたと見られる。

強力な豪族の存在を示す
定跡秀夫 滋賀県立大教授（考古学）の鑑 稲部遺跡は弥生時代から古墳時代中期にかけて連続した遺跡で、古墳時代前期前半の鍛冶産物の成立地とみられる。遺跡は、邪馬台国から古墳時代中期の鍛冶工場で使った鉄製材料は朝鮮半島から輸入しており、それを入手できる強力な豪族の存在を示している。地理的に、大和の政權に組み込まれた可能性は、日本海ルートで独自に入手していた可能性があり、さらにその産物を東国へ供給していた可能性も考えられる。

鍛冶炉の発見が不可欠
村上 誠道・滋賀県立大アジア古代鉄文化研究センター長の鑑 鉄製材料の加工に必要なハンマーや石臼が出土しているものの、鍛冶工程と関連するものは、今の発見が不可欠だ。遺跡内のどこかに炉がある可能性があるのだから、今後の調査に期待したい。見つかった炉もたの鉄片について、付着した土を分析し、実際の産物や形の把握などの調査が必要だ。

2016.10.18.神戸新聞朝刊 2016.10.22. 現地説明会

邪馬台国時代の大型建物跡
滋賀の遺跡、国内最大級

遺跡は縦横16・2の列もあり、豪族居館の大きさは1・5倍とみられる。同じ場所、柱が巨大で、柱の厚は0・9mあり総柱建物（14・5m×16・2m）に匹敵する規模と見られる。柱の厚は0・9mあり、豪族居館の大きさは1・5倍とみられる。同じ場所、柱が巨大で、柱の厚は0・9mあり総柱建物（14・5m×16・2m）に匹敵する規模と見られる。

鉄、交易で栄えた国存在か

稲部遺跡は、大規模な建物跡のほか、鍛冶産物の出土も確認されている。弥生時代末から古墳時代中期にかけての遺跡で、古墳時代前期前半の鍛冶産物の成立地とみられる。遺跡は、邪馬台国から古墳時代中期の鍛冶工場で使った鉄製材料は朝鮮半島から輸入しており、それを入手できる強力な豪族の存在を示している。地理的に、大和の政權に組み込まれた可能性は、日本海ルートで独自に入手していた可能性があり、さらにその産物を東国へ供給していた可能性も考えられる。

2016.10.22. 現地説明会



2016.10.22. 卑弥呼の時代 ヤマトと琵琶湖交通・東国を結ぶ結节点近江の大型建物を持つ鉄の物流拠点「いなべ」の国か? 滋賀県 彦根市稲部遺跡 現地説明会 (写真合成)

卑弥呼の時代にヤマトと琵琶湖交通・東国を結ぶ結节点近江に大和纏向遺跡に匹敵する大型建物を持つ鉄の物流拠点とみられる都市(彦根市稲部遺跡)が出土し、大型建物のすぐそばに、繰り返し継続して多数の鍛冶工房があったとみられている。 初期ヤマト王権に組み込まれていった近江の大勢力の拠点。10月22日現地説明会が開かれた。新聞を見て、興味津々で現地説明会に参加してきました。非常に大勢の人が詰めかけました。 まだ、整理ができていませんが、2世紀~4世紀にかけて、大和政権の成立からその後大和政権に組み込まれ、栄えた近江の拠点です。また、別途整理してお知らせします。



11月秋 秋桜便り 道端のコスモスに ふっと顔を寄せる 2016.11.5.

1. 11月秋 秋桜便り
2. 故郷「尼崎市制100年」仲間が描く「尼崎風景」が記念切手に
3. 小野アルプス「紅山」南麓岩尾根のスロープ
4. スマホの緊急地震警報音はじめて鳴ってびっくり
5. 人恋しい秋
6. 今月のhome page 更新記事

見上げる青空に 気持ちも晴れやか 飛び出して Good Luck!!
街にはジャズが流れ、数々のイベントに 街歩きが楽しい
酒蔵・利き酒のイベントも 何とはなしに人恋しい秋です



11月秋桜便り 道端のコスモスに ふっと顔を寄せる

街路の樹々も色づきはじめました。
見上げる青空に 気持ちも晴れやか
飛び出して Good Luck!!
道端のコスモスにふっと顔を寄せる
街にはジャズが流れ、数々のイベント
に街歩きが楽しい。酒蔵・利き酒のイベ
ントも。何とはなしに人恋しい秋。
いかがでしょうか



気力の衰えを感じながらも、空元気半分 好奇心はまだある。 ぶつぶつは言うまいと奮い立たせています。
なんやかや 勝手ごちゃまぜの神戸からの2016秋桜便り 爽やかな秋のコスモスの姿 お届け。
毎度同じ秋風景ですが、あたらしい発見も……。今秋 私の勝手な思い「卑弥呼の時代 日本国生みにかかわった鉄
の謎」にかかわる発掘調査の記事が関西の新聞の片隅に。興味深々で、わくわく。飽きもせず 歩いています。
厳しい気象異変・熊本・鳥取での大地震発生・火山の噴火も続く。日本列島はどこで起きても不思議でない巨大災
害の時代に。また、インフルエンザ流行期にお互い 手ぬかりなきよう。
仲間・家族がいる なにはともあれ、体調に留意して元気に前向いて。
いつも ありがとうございます。

故郷「尼崎市制100年」 仲間が描く「尼崎風景」が記念切手にほか

故郷「尼崎」では この10月市制100年を迎え、色々な行事が行われているが、高校仲間が描いた尼崎の風景
原画に記念切手が発売された。

さっそく買い求めましたが、
忘れかけていた場所が幾つも描かれ
ていて、昔を思い出しながら楽しむ。
使うのも勿体ない。もう少し手元に
置いておこうと。

11月には尼崎で原画展も開かれる
と聞く。見にゆかねば。

出かけた尼崎の街歩きで幼馴染に偶
然出会えたのも収穫。

また、会社の仲間がもう20年 逆
瀬川の駅ビルで営むカレー専門店。知る人ぞ知る有名店だそうです、TVに出るとのメール。

久し振りに見る仲間夫妻の顔にTVにエールを送る。娘やほかの仲間からもメールや電話も来て、嬉しい。
尼崎を離れて、随分になります、元気な仲間の話聞くのは本当にうれしい。

11月には故郷の仲間の会がまたある。待ち遠しい11月である。

小野アルプス「紅山」南稜岩尾根のスロープ

先月紹介した小野アルプス「紅山」の南稜岩尾根Walk。孫に教えてもら
ったANAのPRソングをBGMにスライド 動画に。「元気が出るわ」と
再構成してアップ。

でも、この南稜スロープを遠望はでき
ても、南正面から、まじかに眺めていない
のが気になって、志方の秋桜を 見に行
った帰り、山陽自動車道の道を再度探
して、まじかで 見てきました。



やっぱり急傾斜。ここを下るゴマ粒の人を見つけて、勇気あるなあと。



🌈 スマホの緊急地震警報音 はじめて鳴ってびっくり

2016/10/21 スマホが大音量でけたたましく鳴り響く。

とっさに「事態が判らず、はよ止めねば!!」と立ち上がって、スマホに手を伸ばした途端 ガタガタときた。地震警報だと初めて理解。

すごいサウンド音「地震や!! 地震や!!」とでも言ってほしい。この音忘れたら、また 怖いなあ。

でも、スマホに手が伸ばせたのは収穫。この音知っていれば、初動はできるかも…………。

初の体験でした。皆様にはどうだったでしょうか…………。

🌈 人恋しい秋 ラグビーの平尾氏逝く

ラグビーの平尾誠二氏や TV でいつも眺めていた明るい女性登山家田部井淳子さんの突然の訃報には びっくり。残念ですが、今はただ安らかに。

迫りくる敵の中ステップを切って駆け抜けてゆく平尾氏の姿と声をかけたことはないのですが、神戸の街のカウンターで 一人ゆったりと盃を傾けられていた姿がダブって浮かびます。

今秋ほど消息や訃報を聞いた秋はついぞなし。

また、多くの人とも出会えました。ナベツルが元気に今年も飛来したとの話を耳にした矢先に ご無沙汰している山口・美祢。萩焼陶芸の田中講平夫妻からの元気な便り。電話して声を聴く。東京での仲間の会にはよう出かけませんでした。電話・メールや仲間との街での語らいなどうれしい秋です。また、家内の友人を通じて、思いもかけず多くの昔の山仲間の消息もきけました。秋の夜長 色々思い浮かべながら ふとみんなどうしているやろかと…………。

それぞれを思い浮かべる人恋しい秋の夜

仲間・家族がいる。お互いの笑顔が 元気の源。お互い健康に気を付けて 無理せず 元気に前向いと。

★★ 今月のhome page 更新記事 ★★



1.	【和鉄の道・Iron Road】【スライド動画】 初めて見る京都市街地出土した中世鍛冶工場の痕跡 龍谷大学大宮キャンパス 発掘調査現場見学 平安京東市跡から中世の職人町家並が出土 2016. 10. 16. 町屋の裏庭から鍛冶工場の存在示す土坑
2.	【和鉄の道・Iron Road】【Pdf File】 淡路島 松帆銅鐸は出雲と同じ鋳型の兄弟銅鐸 国生神話の出雲・淡路は強い結びつき 2016.10.14.
3.	【和鉄の道・Iron Road】【Pdf File】 鉄のはなし あれこれ 神戸港で一般公開 2016.10.18. 母船「横須賀」と深海調査船「しんかい6500」
4.	【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 2016 秋桜 東播磨 志方の郷のコスモス畑 今年も加古川中流西岸の志方を訪ねました 2016.10.15.
5.	【風来坊・Country Walk】【スライド動画 収録】 小野アルプス「紅山」南稜岩尾根ハイク 2016. 9. 24 南稜岩尾根は一枚岩のスロープ 天然の滑り台!!
6.	【From Kobe 11月】 11月 秋桜便り ● 神戸港で一般公開 2016.10.18. 母船「横須賀」と深海調査船「しんかい6500」

【和鉄の道・Iron Road】

◎ この秋 関西では卑弥呼の時代の幕開け

初期ヤマト連合に係わる遺構・遺物の発掘が大きな話題に

・芦屋・会下山遺跡の謎

発掘60周年シンポ鉄生産の議論も!!

国生み神話の淡路松帆銅鐸が出雲の兄弟銅鐸!!

近江で卑弥呼の時代の鉄流通拠点が見つかった!!

京都龍谷大大宮キャンパスでは 鍛冶工房など中世職人町発掘!!

日本の国造り・鍛冶工房関連の遺跡発掘に興味深々。久し振りに古い鍛冶工房跡が見られると現地説明会にも参加。新聞記事や現地説明会資料などを整理紹介しました。

・また、20年ほど前 当時の先端技術の粋を集めて造られた「しんかい6500」 興味深々で見学。

【風来坊・Country Walk】

◎ 201 秋桜 東播磨 志方の郷のコスモス畑
今年も加古川中流西岸の志方を訪ねました。

◎ 小野アルプス「紅山」南稜岩尾根ハイク

南稜岩尾根は一枚岩のスロープ 天然の滑り台!!

先月紹介した小野アルプス「紅山」の南稜岩尾根。ANA のPR ソングをBGM に再構成。「元気が出るわ」と。

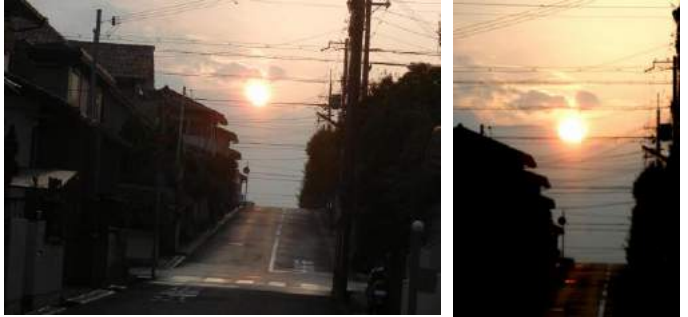
【From Kobe 11月】 11月 秋桜便り

街路の樹々も色づきはじめ、 見上げる青空に 気持ちも晴れやか

飛び出して Good Luck!! 道端のコスモスに ふっと顔を寄せる

11月のMonthly Page 毎年の秋桜の便りだけの構成になるかなぁと気にしていましたが、関西での相次ぐ埋蔵文化財発掘のニュース。それも 興味深々の「卑弥呼の時代の鉄の謎関連」。そして「はじめて見る京都市街地での鍛冶工場の痕跡」も。また、20年ぶりの先端技術を思い起こしながら、まじかで見ると「しんかい6500」しっかり整理まとめて記録しておこうと。資料整理しながら、うれしい思い入れ一杯の記録になりました。人恋しい秋の便り ちょっと感傷的か? お許しください。

お互い笑顔で 前向き思考 仲間が頼りですが、
 まだまだ元気 好奇心はある
 今できることを精一杯
 2016.11.5. from Kobe
 Mutsu Nakanishi



自宅前で見える秋の夕日 海に沈む夕日をとりたいのですが

困難の中に居られる方々にエールを!!


日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと

いつも 思いをはせています。
 「忘れまい 忘れないで 仲間がいる
 暖かい希望の輪がつながっていることを」

神共に居まして
 得られるものを 変える「勇気」
 変えられないものを受け容れる「心の静けさ」
 両者を見分ける「叡智」を
 ニーバーの祈り より

「まあええか 元気だして行こう」と
 心は行ったり来たりですが
 好奇心さえあれば・・・と前向いて
 お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

原筈はどうあるべきなのだろうか みんなの日本の暮らしを考えよう
 政治の大きなうねりの今「平和を そして国を考えよう」2016






へいわってなにかな。ぼくは、かんがえたよ。
 ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびり
 ありあいてる。ちょうめいそがたくさんはえ、
 よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。
 みんなのこころから、へいわがうまれるんだね。
 これからも、ずっとへいわがつづくように、
 ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

戦争に道を開く安全保障法案国会通過
 でも 何と言おうと戦争反対平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
 国の大きな転換点 今声を上げねば!! 平和を今 自分の頭で考えよう
 from Kobe Mutsu Nakanishi

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
そのエンジンは「他人を思いやる心」
北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

3.17東日本大震災・福島原発事故を忘れずに
 復興はまだ 道半ば 被災地の人達を応援しよう
東北讃歌 私の好きな東北
 東日本大震災にみまわれた人達を忘れぬために

「あの高嶺 鬼すむ誇り その瀬音 久遠の管歌
 この大地 燃えたついのち ここは(東北)」
 - 北上市市民憲章より -

ジョージ・カーリンの名言
「老いを楽しく生きるために」
 「老いを楽しく生きるために」は
 「ストレスをためずに100まで」と。
 なかなかむつかしい時代。それだけに心に響く。
 また、仲間・家族がいるのはありがたい。
 こちらも 同じだけ 意識せねばと…

- 要約「[老いを楽しく生きるために](#)」
- 動画 (WMV 動画に変換
 “[Philosophy For Old Age.pps](#)”.
- [紹介日本語訳全文](#)

◎「老いを楽しく生きるために」
 「老いを嘆くことはない。100才になったら
 赤ちゃんに長れるんだから・・・」
 そして、忘れてはいけない。
 人生とは自分が息を吸う数ではなく、
 吐く瞬間で測定するものです。
 充実した毎日を生きましょう!!

***** 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪・Iron Road *****

初めて見る京都市街地で出土した中世鍛冶工房の痕跡

1.龍谷大学大宮キャンパス 発掘調査現場見学 2016.10.16.

平安京東市跡から中世の職人町家並と町屋の裏庭から鍛冶工房の存在示す土坑出土



10月16日朝「平安京の「東市」の跡地より、七條大路にそう鎌倉時代の家並みが出土し、その裏庭には鍛冶工房があった」との記事を インターネットニュースで見つけ、午後現地説明会があると知って、中世の街並の中にある鍛冶工房に興味津々で 京都へ出かけました。

場所はよく知る西本願寺の南隣七條通りに面した龍谷大大宮キャンパス。初めて知る中世の町屋の家並みと町屋の裏のすごい数のごみ処理の土坑群。また、町屋裏庭の土坑からの鍛冶関連遺物の出土により、鍛冶工房の存在が推察されたが、鍛冶炉跡は不明であり、生産された製品もよくわからず、さらなる検討が必要に思えました。

でも初めて見る京都市街地での鍛冶工房の可能性です。

「この平安京東市跡の鎌倉時代の賑わいは当時描かれた一遍上人絵伝にもえがかれており、平安時代から引き続きこの地が 鍛冶職人などを中心として繁栄した職人町であることが確認された」今回の発掘の成果が、まとめられたこの遺跡の評価はまだこれからですが、久しぶりに出かけた製鉄関連偉闊の現地説明会。

現説資料並びに発掘現場の写真などを抜粋整理。

2. 淡路島 松帆銅鐸は出雲と同じ鋳型の兄弟銅鐸との報道 2016.10.14.

国生神話の出雲・淡路は強い結びつきが推定される



淡路の松帆銅鐸は出雲と兄弟銅鐸銅鐸。国造り神話の国 出雲と淡路とは強い結びつきが考えられ、また、この二つの国間にある播磨野播磨風土記には ヤマト連合と在地の勢力との接触&抵抗を示す「妻問い-印南別嬢の抵抗」伝承が記載されている。

この時代、初期ヤマト王権誕生にこれらの国がどうかかわり、どんなドラマが展開されていったのか・・・興味は尽きない。新聞で報道された 兄弟銅鐸のニュース。新聞切り抜き整理。

なお、これら淡路島松帆銅鐸と出雲との関係などを2015年銅鐸出土時にまとめていますので、ご参考に

【参考 和鉄の道】

大和の進出による新旧勢力交代による 国づくりの始まりを示すのか ???

「伊弉諾神宮 国生み神話の島」 淡路島で 大量の埋納銅鐸出土 2015. 5. 20.

国譲り神話の出雲の大量の埋納銅鐸出土 (加茂岩倉・荒神谷遺跡) とそっくり



〈鉄のはなし あれこれ〉

3.母船「横須賀」と深海調査船「しんかい6500」見学記 神戸港で一般公開 2016.10.18.

深海調査船「しんかい6500」とその母船「よこすか」が、神戸の港で一般公開された。

「しんかい6500」が当時の先端技術の粋を集めて建造が進められた約20年前。

直接携わったわけではありませんが、鉄鋼会社で厚鋼板材料とその溶接の仕事をしていた私には 思い出深い「しんかい6500」である。

数々の深海調査の成果を出し、現在も活躍中のしんかい6500の生の姿を見られるまたとないチャンス。

次の「しんかい12000」についても知りたいし、母船と調査船の関係も・・・。

こんな機会は またとない。

興味津々で深海調査船「しんかい6500」& 無人探査船「うらしま」そして それらの支援母船「よこすか」の見学会 に行ってきました。



******* 今月の風来坊 Country Walk2016年11月 *******

1. 2016 秋桜 東播磨 志方の郷のコスモス畑 2016.10.15.

今年も加古川中流西岸の志方を訪ねました



志方に暮らす飯沼山 五郎の郷のコスモス畑 2016.10.15.

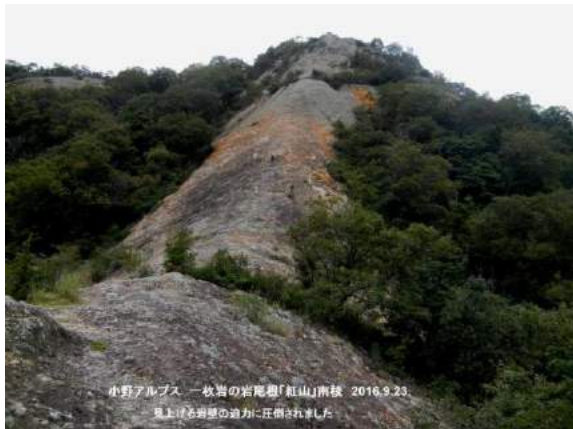


鉄塔が高層のコスモスの原を越えてゆく 下島坂のコスモス畑 2016.10.15. 母娘ですが、うれしい秋のコスモスの景色です。



2016年の秋桜 東播磨 加古川市志方の郷のコスモス畑で 今年も清々しい気分 2016.10.15.

2 【動画 再構成】 小野アルプス「紅山」南稜岩尾根ハイク 2016.9.24
 南稜岩尾根は一枚岩のスロープ 天然の滑り台!!



先月紹介した小野アルプス「紅山」の南稜岩尾根 Walk。
 孫に教えてもらった ANA の PR ソングを BGM にスライド
 動画に。 その出来栄に「元気が出るわ」と・・・
 再構成動画をアップ。 また、この南稜スロープをまじかにみ
 られるポイントを見つけ、真横から眺めてきました。
 やっぱり急傾斜。ここを下るゴマ粒の人を見つけて、
 勇気あるなあと。



***** from Kobe 2016年11月 *****

【From Kobe 11月..】

11月 秋桜便り 道端のコスモスに ふっと顔を寄せる 2016.11.5.

● 神戸港で 深海調査船「しんかい6500」とその 母船「横須賀」一般公開 2016.10.18.

2016年11月 掲載 記事リスト 2016.11.5

1.	<p>【和鉄の道- Iron Road】【スライド動画】 初めて見る京都市街地で出土した中世鍛冶工房の痕跡 龍谷大学大宮キャンパス 発掘調査現場見学 平安京東市跡から中世の職人町家並が出土 2016. 10. 16. 町屋の裏庭から鍛冶工房の存在示す土坑</p>
2.	<p>【和鉄の道- Iron Road】【Pdf File】 淡路島 松帆銅鐸は出雲と同じ鑄型の兄弟銅鐸 国生神話の出雲-淡路は強い結びつき2016.10.14.</p>
3	<p>【和鉄の道- Iron Road】【Pdf File】 <鉄のはなし あれこれ> 神戸港で一般公開 2016.10.18. 母船「横須賀」と深海調査船「しんかい6500」</p>
4.	<p>【風来坊- Country Walk】【スライド動画】 2016 秋桜 東播磨 志方の郷のコスモス畑 今年も加古川中流西岸の志方を訪ねました 2016.10.15.</p>
5.	<p>【風来坊- Country Walk】【スライド動画 収録】 小野アルプス「紅山」南稜岩尾根ハイク 2016. 9. 24 南稜岩尾根は一枚岩のスロープ 天然の滑り台!!</p>
6.	<p>【From Kobe 11月】 11月 秋桜便り ● 神戸港で一般公開 2016.10.18. 母船「横須賀」と深海調査船「しんかい6500」</p>



12月 Merry Christmas!! 2016年師走 2016.12.10.

クリスマスの装いの街にルミナリエも始まり、華やいだ声があふれ、神戸の街も師走のムードに振り返ってみるとあつという間の1年 色々気にかけていただき ありがとうございます
おかげで 家族ともども元気に暮らしています。

地球環境変化による異常気象や地球の活動活発化による巨大災害が降りかかる時代に。

世界の情勢も既存勢力が次々とどんでん返し。

グローバル化・効率・大量消費を追い求めた国際金融中心の情報化社会世界のほころびがあちこちに。

格差の増大とともに、弱者切り捨て問答無用の封建時代に戻ってゆくよう。

幸福感が日に日に遠のいてゆく現実がひたひたと。われわれも 勝ち組の仲間の中に入れてほしいなあと

そんな不安感が頭をよぎる昨今です。でも 愚痴は言うまい 前向いて。

原色に近い色に塗りなおされた新長田の「鉄人28号」がこぶしを高く振り上げる。

歳をとるとともに スピードについてゆけず、

あつという間 色々あった1年ですが、

まだまだ 元気 好奇心もある。

仲間の元気を活力に!! 前向いてと

お互い無理せず元気に よろしくお願ひします

2016.12.10. from Kobe by Mutsu Nakanishi



元気に拳を突き出す新長田の鉄人28号



2016年12月 クリスマスの飾りつけの中 神戸三宮の街も 華やいだ雰囲気 2016.12.2.

2016年神戸 ルミナリエ

鎮魂から未来へ時空を超えて ともに生きる喜びをつなぐ 2016.12.3.



今年も多くの笑顔にであえました 2016.12.12. ルミナリエ 光の環の中で

神戸淡路大震災から22年 震災を経験していない若者が増え、震災のことが街の話題に登ることもめっきり少なくなりましたが、でも、真っ暗な中ルミナリエの灯がともった時の感動は忘れない。「神戸が一つになれた希望の灯 これは忘れまい」

このルミナリエの光の灯も 今存続の危機に直面している。「鎮魂から未来へ ともに生きる喜びをつなぐ灯」へこの神戸の光の灯をいつまでも灯し続け、震災の記憶とともに「時空を超えて ともに生きる喜び」を語りつなぎたい。

2016.12.3 ルミナリエの光の環を眺めながら。

by Mutsu Nakanishi



今月の記事より

「日本の国の始まりのkeyは鉄」と言われながら、それを実感できなかったが、卑弥呼の時代の都市集落の中心部に幾棟もの鍛冶工房が林立する。こんな姿を見るのは初めて。鉄器物流を担う近江の拠点集落集落 まさに「鉄が主役」を思わせる遺跡の出土です

● 弥生末から古墳時代前期 (3世紀~4世紀) 邪馬台国から日本の国家形成の時代

近江の彦根から纏向遺跡に匹敵する大型建造物のある「鉄」で栄えた物流拠点都市集落が出土



卑弥呼の時代にヤマトと琵琶湖交通・東国を結ぶ結節点近江に

「大和の纏向遺跡に匹敵する大型建物を持つ鉄の物流拠点とみられる都市集落(彦根市稲部遺跡)」が出土。巨大都市集落の中核の大型建物のすぐそばに、幾棟もの鍛冶工房群(竪穴住居群)が、繰り返し継続して存在。

「日本の国造りのkeyは鉄」と言われながら、それを実感できなかったが、都市の中心部にこんなに鍛冶工房が林立する姿を見るのは初めて。鉄器物流を担う近江の拠点集落集落 まさに「鉄が主役」。

初期ヤマト王権に組み込まれた後も、畿内と東国・北陸を結ぶ拠点として、更に勢力を伸ばしていった近江の大勢力の拠点とみられてる。

卑弥呼の日本の国造りの時代に、日本の国造りにどんな役割を演じていたのでしょうか? この巨大都市の中核でどんな鉄器生産が行われていたのか?

今後の検討がうれしい遺跡です。



弥生終末~古墳初期・3世紀、方形区画とその内大型建物遺構に隣接して、20棟を超える鍛冶工房と推定されている竪穴住居群が密集して存在。鍛冶炉が出土していないので実態は不明ですが、床面には点々と細かい鉄滓が散在

● 「地鉄の黒の美しさ」 肥後金象嵌 金細工のデザインを浮かび上がらせる「漆黒の黒の鉄素地」



装飾品や刀のつばに施された肥後金象嵌

生地の黒は肥後象嵌の技法を精出し・錆止めで施された「漆黒の黒」

私の持っていた京象嵌のネクタイピン 漆仕上げでした

TV「肥後伝統の象嵌」の話を聞いて、肥後象嵌の金細工のデザインを浮かびあらせる素地が「地鉄そのものの黒」と初めて教えてもらいました。古来から、何百年受け継がれてきた鉄の技がここにもあると。

12月の便り Merry Christmas !! 2016年師走



12月師走 Merry Christmas!!

歳をとるとともに スピードについてゆけず、
あつという間。色々あった1年ですが、
まだまだ元気 好奇心もある。

仲間の元気を活力に 前向いて!! と。

こぶしを高く 振り上げる「鉄人28号」

「鉄人28号」の歌を口ずさんで気分爽快 お互い無理せず元気に よろしくお祈りします

1. 2016年Merry Christmas!! 12月 師走
2. 2016年和鉄の道を振り返って
3. 師走の紅葉 こんな紅葉が見られました
4. 今月のhome page 更新記事

原簿はどうあるべきなのだろうか みんなの日本の暮らしを考えよう 政治の大きなわりの今「平和を そして国を考えよう」2016



へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなががいっぱい。やぎのんびり
あるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、
よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。
みんなのこころから、へいわがうまれるんだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように、
ぼくも、ぼくのできるこころからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

戦争に道を開く安全保障法案国会通過
でも 何と言おうと戦争反対
平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
国の大きな転換点 今声を上げねば!!
平和を今自分の頭で考えよう

from Kobe Mutsu Nakanishi

2016年 和鉄の道・Iron Road を振り返って

2016年1年間 ホームページ更新 12回の自分勝手な掲載記事にお付き合いいただき
本当にありがとうございました。掲載記事数は合計44件になりました。

- 和鉄の道・Iron Road 17件
- 風来坊・Country Walk 15件
- 四季折々・Monthlyの便り from Kobe 12件

頭も回らず、文章も書けず挫折しかけながらの1年でしたが、色々教えていただきながら続けることができました。

1.和鉄の道・Iron Road 本年のトピックス

◎ 愛媛大学東アジア古代鉄文化センター設立10年と「鉄の起源探求 & 鉄ユーラシア大陸東遷の道の解明」



日本の古代鉄研究のナショナルセンターの役割を担う数々の成果
でも道半ば 次のステップに期待大

村上恭通教授を中心とする愛媛大学東アジア古代鉄文化センターが設立されて10年。
毎年解される研究成果報告を兼ねたシンポジウムを聴講させてもらい、
「和鉄の道」home pageにも紹介させてもらってきました。

西アジアに起源を持ち、ユーラシア大陸を西から東へダイナミックに伝播した「鉄」。
そして日本古来のたたら製鉄技術がもたらされた。

村上恭通教授を中心とする愛媛大学東アジア古代鉄文化センターの古代鉄研究チームは、
約10年に渡り、中国やモンゴル、トルコ、ロシア・ハカス共和国、カザフスタンなどのユーラシア大陸の諸国・
日本の研究者をも巻き込んで、「鉄の起源並びに時代を超えた製鉄技術伝播の道<メタルロード>解明の連携プロジェ

クト」を推進し、点から線そして面へとユーラシア諸国との研究連携ネットワークの拡大とともに、ユーラシア大陸の東西を結ぶメタルロード・鉄の道がパールを脱ぎつつある。素晴らしい成果にいつもワクワクの10年でした。

● 鉄の起源・伝播ユーラシア大陸各国研究連携プロジェクト

「ユーラシア大陸を東西に結ぶ鉄の道 Metal Road」成果報告会聴講まとめ 2016.1.7.

◆ <http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1601metalroad201500.htm>

さらに、並行して、古来からずっと継承されてきた「たたら製鉄」の製鉄技術の復元を中心にすでに断絶した世界の古来製鉄技術の復元にも取り組んで、数々の成果をあげ、研究ネットワーク並びにユーラシア・世界規模での共通土研究土壌が進みつつあると聞く。

この10年 古代鉄研究に果たした愛媛大学東アジア古代鉄文化センターの素晴らしい成果により、パールを脱ぎ始めた「鉄の起源探求・鉄ユーラシア大陸東遷の道」ではあるが、まだ道半ば。

研究連携がさらに進まなければ解明できぬ課題ばかりであり、今後 更なる10年の研究成果に大いに期待したい。

◎ 国内の製鉄関連遺跡探訪

卑弥呼の時代から日本の国家形成のアプローチを解くカギになると注目される遺跡・遺物が関西で次々と出土し、大きな話題に。また、久しぶりに製鉄・鍛冶遺構の残る製鉄関連遺跡を幾つか訪ねることができました。

◎ 「沿岸の自然豊かな山が豊かな海を育てる」

このメカニズムの主役に「鉄」がかかっていることが解き明かされ、豊かな海回復の実践が日本各地で進められている。また、地球温暖化による激変する環境変化の軽減にも「豊かな海を育てる鉄」を使って、海へのCO2吸収の研究も進んでいる。地球規模で取り組む「新しい鉄の姿」を知ったのもうれしい。

この1年色々思いを巡らしながらの「和鉄の道」。うれしい数々の鉄との出会いだったと。

■ 本年の和鉄の道 掲載記事リンクリスト <http://www.infokkna.com/ironroad/iron16list.htm>

2. 風来坊・Country Walk 本年のトピックス

本年も私の住む神戸を中心とした近郊の里を例年季節折々訪ねる花便り・近郊ハイクの楽しみが中心。

それをスライド動画にしてBGMを楽しむスタイルが定番化してしまいました。

春 梅・カタクリに始まり、菜の花・桜 そして石楠花・バラへ 夏はクリンソウ・アジサイ・ひまわり

そして 京朝顔 六甲の高山植物園・京都府立植物園のバオバブを訪ねるのも定番に。

秋は黄金色 Country Walk に輝く播磨の田園とヒガンバナから紅葉へ。

ほとんどが、デジカメ片手の原チャリで田園地帯・里山の集落を駆け抜ける訪ねないと落ち着かない胸ワクワクのCountry Walk。相変わらず、運動不足解消の西六甲須磨アルプス周辺ハイクにも励んでいます。

毎年同じような景色ばかりですが、自分的には季節を楽しむうれしい Walking。

新しい情報が提供できずごめんなさい。本年私にとっては新しいCountry Walkのコースが付け加わりました。

4月の但馬大屋加保坂・ハチ北の高層湿原に咲く氷河期の生き残りの水芭蕉

9月の念願の京都東山三十六峰越 & 山科側西野山・稲荷山の古道参詣道

■ 本年の風来坊 掲載記事リンクリスト <http://www.infokkna.com/ironroad/walk16list.htm>

3. 四季折々・Monthlyの便り from Kobe 本年のトピックス

ホームページ更新時 ホームページ更新の紹介とともに、頭にあることや情報を記憶にとどめておくため、私のメモ代わりに 掲載してきましたが、何か年とともに時代の流れから取り残されている疎外感……………

でも 愚痴はいうまいと。頭にあるのは「平和」・「穏やかな暮らし」。毎度 同じことの繰り返しばかりだったと。

この厳しい時代 日本はどこへ向かうのか? 激変するこの時代を生き抜く知恵の模索。

そんな中で はっと気が付いた「縄文の心」 過酷な時代に一万年の長きにわたり、平和な持続社会を築き上げた日本の縄文人

「おもてなし」がビジネス用語としてとらえられる薄っぺらな情報社会からの脱却に一度 耳を傾けてほしいと。

■ 本年の四季折々・Monthly from Kobe 掲載記事リンクリスト

<http://www.infokkna.com/ironroad/mutsu16list.htm>

今年1年 独りよがりの勝手なページにお付き合いいただき本当にありがとうございました。
私にとっては 多くの方とつながり、 どこかでなにかのお役にたてばと・・・・・・・・
私のライフワークになった「和鉄の道」 好奇心いっぱい 興味津々 今後の展開を眺めています。
頭も回らず、更新もだんだんまならぬようになってきましたが、引き続きよろしくお願いします。

まだまだ元気 好奇心はある 仲間が頼りですが、
元気に「前向いて」 今できることを精一杯
今年一年 和鉄の道・Iron Road を振り返りつつ
2016.12.10. .
Mutsu Nakanishi from Kobe

. 師走の紅葉 こんな紅葉が見られました

毎年晩秋から初冬へ移り変わる時節 真っ赤な紅葉で、Top Page を飾ってきたのですが
11月下旬から体調を崩して、紅葉探勝によろしく出かけられず。 寂しいページになると心配していたのですが、
師走になっても 心と目をやる街の紅葉が美しく、そんな写真が掲載できてラッキー。
どこの街にも まだ知らない素晴らしい景色を見張らせるポイントがあるはず
ぜひ 一度 気ままにな散歩のともに そんなポイントをお探してください

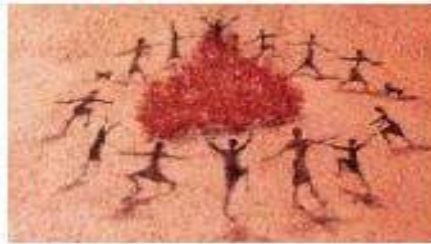


京都御所で 足元の紅葉した落ち葉を踏みしめて 2016.12.4.



妙法寺 緑ヶ丘の上から 北側 妙法寺川が流れ下る谷越しに眺める若草町の丘 2016.12.6.
我が町 神戸妙法寺で こんな美しい晩秋と初冬が入り混じる紅葉の里景色ポイントを見つけました

★★ 今月のhome page 更新記事 ★★



松山の街



ほとばしる初出銃



柿渋で赤錆びのハチンコ玉・釘を漆黒に

1.	<p>【和鉄の道・Iron Road】 【スライド動画】 琵琶湖交通・北陸や美濃・尾張・伊勢など東日本と畿内をつなぐ交通の重要な結接点 近江の彦根 縄文遺跡に匹敵する大型建造物のある鉄器物流を担う拠点都市集落が出土 弥生末から古墳時代前期 (3世紀~4世紀) 邪馬台国から日本の国家形成の時代 「鉄」で栄えた近江の中心都市集落「彦根市稲部遺跡」訪問記(現地説明会) 2016.10.22.</p>
2.	<p>【和鉄の道・Iron Road】 【Pdf File】 肥後金象嵌「地鉄の黒の美しさ」 2016.12.1. 金細工のデザインを浮かび上がらせる「漆黒の黒の鉄素地」</p>
3.	<p>【風来坊・Country Walk】 【Pdf File】 晩秋と初冬が交錯する2016年12月はじめ 師走の紅葉 今年はずい近くで こんな紅葉に出会えました 2016.12.6. 1. 須磨アルプス 妙法寺界限 里山の紅葉 2. 京都御所の紅葉</p>
4.	<p>【From Kobe 12月】 Merry Christmas!! 2016年師走 本年最後のHP更新の便り ● この世界の片隅で 久しぶりに映画「この世界の片隅に」を見て 「縄文の心」の小文ではじまった1年でしたが、 しめくくりの12月にもまた「縄文帰りの勤め」で 幸福感よりも不安感が増す激変・変革の時代の今 今一度立ち止まって「地球環境」「平和」「暮らし」を考えたい</p>

人類が幾多の困難を克服し、命をつないできた道に今 世界が注目する



世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
 そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

■ 日本人のふるさと「縄文」 縄文の心を映すストーンサークルを訪ねる

あっという間に12月師走 一年が過ぎようとしています。木枯らし1号が吹き、厳しい寒波もありましたが12月はまた暖冬に。何が起こるかわからぬ厳しい気象異変に 追い打ちをかけるかのように地殻変動も活動期に 日本列島はどこで起きてても不思議でない巨大災害の時代に。お互い油断なきよう

11月の半ばから風邪で体調を崩して いまだにぐずぐずして、ホームページの更新もまともな更新になってしまいました。お許してください。

この1年今年1年 独りよがりの勝手なページにお付き合いいただき本当にありがとうございました。

私にとっては多くの方とつながり、どこかでなにかのお役にたてばと・・・・・・・・

私のライフワークになった和鉄の道 好奇心いっぱい 興味津々 今後の展開を眺めています。

頭も回らず、更新もだんだんまならぬようになってきましたが、引き続きよろしくお祈りします。

何はともあれ、家族ともども元気に暮らせていることにも感謝

まだまだ元気 好奇心はある 仲間が頼りですが、元気に「前向いて」今できることを精一杯と

「北風小僧は まだこれから ご留意ください。」

お互い笑顔で 前向き思考 仲間が頼りですが、

まだまだ元気 好奇心はある

今できることを精一杯

2016.12.10. from Kobe Mutsu Nakanishi



災害や病気など数多の困難の中に居られる方々にエールを!! ↓

いつも 思いをはせています。↓

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる」

暖かい希望の輪がつながっていることを」 ↓

神 共に居まして ↓

得られるものを変える「勇気」 ↓

変えられないものを受け容れる「心の静けさ」 ↓

両者を見分ける「叡智」を ↓

ニーバーの祈り より ↓

日々新た 今できることを 精一杯 ↓

無理せずゆっくりと ↓

「まあええか 元気だして行こう」と ↓

心は行ったり来たりですが ↓

好奇心さえあれば・・・と前向いて ↓

お互い笑顔で 前向き思考 ↓

元気で乗り切って行きましょう ↓



ジョージ・カーリンのメッセージ ↓

◎「老いを楽しく生きるために」 ↓

「老いを嘆くことはない。100才になったら

赤ちゃんに戻れるんだから・・・」 ↓

そして、忘れてはいけない。 ↓

人生とは自分が息を吸う教ではなく、 ↓

吐く瞬間で測定するものです。 ↓

充実した毎日を生きましょう!! ↓

◆ WMV 動画 ↓

Philosophy For Old Age.pps ↓

東北・熊本・鳥取など 日本各地で被災似合われた人達を応援しよう

3.17.東日本大震災・福島原発事故を忘れずに 復興はまだ 道半ば

◎ 東北讃歌 「あの高嶺 鬼すむ誇り その瀬音 久遠の賛歌

この大地 燃えたついのち ここは(東北)」 - 北上市市民憲章より -



◆ 「東北・三陸沿岸のIron Road」を訪ねる 総集

琵琶湖交通・北陸や美濃・尾張・伊勢など東日本と畿内をつなぐ交通の重要な結节点 近江の彦根

纏向遺跡に匹敵する大型建造物のある鉄器物流を担う拠点都市集落が出土

弥生末から古墳時代前期 (3世紀~4世紀) 邪馬台国から日本の国家形成の時代

1. 「鉄」で栄えた近江の中心都市集落「彦根市稲部遺跡」訪問記(現地説明会) 2016.10.22.



邪馬台国の時代 鉄で栄えた近江の大都市集落稲部遺跡 訪問記

1. 【遺跡概要解説】 邪馬台国の時代 鉄で栄えた大都市集落 滋賀県彦根市「稲部遺跡」
2. 平成 28 年度稲部遺跡 現地説明会資料 2016.10.22 彦根市教育委員会
3. 稲部遺跡 第6次・第7次発掘調査現地説明会
 - 3.1. 第6次調査域 稲部遺跡の中心部【1】 祭祀の区画・大型建物 ほか
 - 3.2. 第7次調査域 稲部遺跡の中心部【2】 方形区画と大型建物と鍛冶工房群
 - 3.3. 発掘調査域から出土した遺物 日本各地の土器片 & 鍛冶関連遺物
 - 3.4. 今回の6次・7次 調査まとめ ?現説資料まとめの整理転記
- 参考1. 荒神山と荒神山古墳と稲部遺跡
- 参考2. 稲部遺跡に先立つ大型建物や巨大祭祀空間のある 巨大集落遺跡「伊勢遺跡」
- 参考3. 淡路島五斗長垣内遺跡にみる弥生時代の鉄器生産
淡路市教育委員会 伊藤宏幸氏講演 より
4. まとめ 稲部遺跡 発掘調査 平成28年現地説明会に参加して by Mitsu Nakanishi

卑弥呼の時代にヤマトと琵琶湖交通・東国を結ぶ結节点近江に「大和の纏向遺跡に匹敵する大型建物を持つ鉄の物流拠点都市集落(彦根市稲部遺跡)」が出土。10月22日現地説明会が開かれた。

巨大都市集落の中核の大型建物のすぐそばに、幾棟もの鍛冶工房群(竪穴住居群)が、繰り返し継続して存在。

「日本の国造りのkeyは鉄」と言われながら、それを実感できなかったが、都市の中心部にこんなに鍛冶工房が林立する姿を見るのは初めてです。

鉄器物流を担う近江の拠点集落集落 まさに「鉄が主役」。初期ヤマト王権に組み込まれた後も、畿内と東国・北陸を結ぶ拠点として、更に勢力を伸ばしていった近江の大勢力の拠点とみられる。

日本の国造りにどんな役割を演じていたのか? この巨大都市の中核でどんな鉄器生産が行われていたのか?

まだ、調査は始まったばかり。今後の検討がうれしい遺跡です。

2. 肥後金象嵌「地鉄の黒の美しさ」金細工のデザインを浮かび上がらせる「漆黒の黒の鉄素地」 2016.12.1.



装飾品や刀のつばに施された肥後金象嵌。主地の黒は肥後漆黒法鉄法(鑄出し・鑄止めで施された「漆黒の黒」) 私の持っていた京象嵌のネクタイピン 漆仕上げでした

金細工のデザインを浮かび上がらせる鉄素地の「漆黒の黒地」の形成は、赤さびを鉄素地表面全体につけ、それを柿渋やお茶に含まれるタンニンで還元黒化して鑄止めする伝統技法。

柿渋を買い求めてやってみると鉄の赤錆がタンニンで全面美しい漆黒になるのにびっくり。

古来から、何百年受け継がれてきた鉄の技がここにもある。



***** 今月の風来坊 Country Walk2016年12月 *****

晩秋と初冬が交錯する2016年12月はじめ

1. 今年はずぐ近くで こんな紅葉に出会えました 2016.12.6.



名谷東落合 須磨東高校近傍上から 妙法寺駅・横尾団地越しに眺める紅葉した西六甲須磨アルプスの山々

1. 須磨アルプス 妙法寺界隈 里山の紅葉 2. 京都御所の紅葉



葉が散ってしまっ銀杏の樹を前景に 中央に若草小学校が見える若草町の丘
初めて南の緑ヶ丘で見つけた素晴らしいポイントで 2016.12.6.



京都御所で 足元の紅葉した落ち葉を踏みしめて 2016.12.4.

***** from Kobe 2016年12月 *****

【From Kobe 12月】12月の便り Merry Christmas !!

- この世界の片隅で 久しぶりに映画「この世界の片隅に」を見て
縄文の心」の小文ではじまつた1年でしたが、
しめくりの12月にもまた「縄文帰りの勤め」で
幸福感よりも不安感が増す激変・変革の時代の今
今一度立ち止まって「地球環境」「平和」「暮らし」を考えたい



左 北若草山の丘にある若草町 中央 南若草山の谷奥 右に高取山 右 南西緑ヶ丘越しに馬の背・横尾山
妙法寺 緑ヶ丘から眺める紅葉した妙法寺界隈の里山 2016.12.6.

1.	<p>【和鉄の道・Iron Road】【スライド動画】 琵琶湖交通・北陸や美濃・尾張・伊勢など東日本と畿内をつなぐ交通の重要な結节点 近江の彦根 縄文遺跡に匹敵する大型建造物のある鉄器物流を担う拠点都市集落が出土 弥生末から古墳時代前期（3世紀～4世紀） 邪馬台国から日本の国家形成の時代 「鉄」で栄えた近江の中心都市集落「彦根市稲部遺跡」訪問記(現地説明会) 2016.10.22.</p>
2.	<p>【和鉄の道・Iron Road】【Pdf File】 肥後金象嵌「地鉄の黒の美しさ」 2016.12.1. 金細工のデザインを浮かび上がらせる「漆黒の黒の鉄素地」</p>
3.	<p>【風来坊・Country Walk】【Pdf File】 晩秋と初冬が交錯する2016年12月はじめ 師走の紅葉 今年はずく近くで こんな紅葉に出会えました 2016.12.6. 1. 須磨アルプス 妙法寺界限 里山の紅葉 2. 京都御所の紅葉</p>
4.	<p>【From Kobe 12月】 Merry Christmas!! 2016年師走 本年最後のHP更新の便り ● この世界の片隅で 久しぶりに映画「この世界の片隅に」を見て 「縄文の心」の小文ではじまった1年でしたが、 しめくくりの12月にもまた「縄文帰りの勧め」で 幸福感よりも不安感が増す激変・変革の時代の今 今一度立ち止まって「地球環境」「平和」「暮らし」を考えたい</p>

一年の終わりに また今一度 「鉄」と「縄文の心」に思いを

生命をつかさどる元素文明を支える元素として「鉄」がなければ人類は生きてゆけない
 溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光の「肌光」その輝きの中に燦然と輝く「鉄」と人類の知恵の数々
 人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道・知恵が「他人を思いやる心」
 かつて日本には 1万年の長きにわたって平和な社会を持続した形成してきた時代があった
 日本人の心のふるさとといわれる「縄文」 そのエンジンは「縄文の心-他人を思いやる心」だった
 「鉄」と「縄文の心」 激変 の今 時代を生き抜く唯一のエンジンである
 現代社会においてはしばしば「なまっちょろい」と嘲ばれ、切り捨てられてきた「心」
 でも 一旦危機・災害に直面した時には 誰ももがその力強さに心打たれる「心」
 「鉄」も今 激変する時代の中で、新しい姿を見せ、新しい指針を示し始めた。
 「鉄は国家なり」の「鉄」から「豊かな海を育てる優しい鉄」・「地球温暖化を軽減するかもしれない鉄」へ

人類が幾多の困難を克服し、命をつないできた道に今 世界が目にする



世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
 そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

■ 日本人のふるさと「縄文」 縄文の心を映すストーンサークルを訪ねる

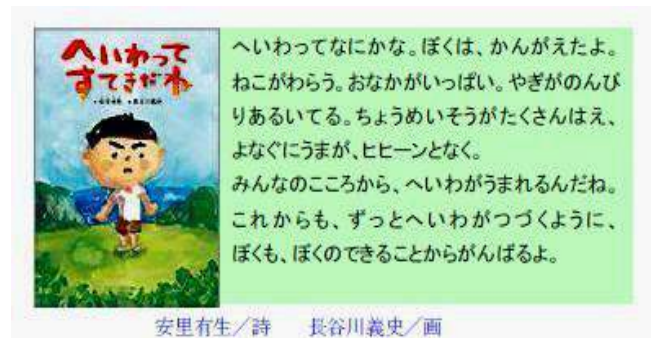
■ 神戸で 思いつくまま From Kobe 2016



2017. 3. 1. ■ [四季折々 Mutsu 神戸便り 2016 のpage](#) ^
 ■ 神戸で 思いつくまま 2016 の page

ホームページ更新時 ホームページ更新の紹介とともに、頭にあることや情報を記憶にとどめておくため、私のメモ代わりに 掲載してきましたが、何か年とともに時代の流れから取り残されている疎外感・・・でも 愚痴はいうまいと。頭にあるのは「平和」・「穏やかな暮らし」そして、高度情報化社会の危うさ等々 毎度 同じことの繰り返しばかりだったかも。

この厳しい時代 日本はどこへ向かうのか？ 激変するこの時代を時代を生き抜く知恵の模索。そんな中で はっと気が付いた「縄文の心」 過酷な時代に一万年の長きにわたり、平和な持続社会を築き上げた日本の縄文人。「おもてなし」がビジネス用語としてとらえられる 薄っぺらな情報社会からの脱却に一度 耳を傾けてほしいと。



人類が幾多の困難を克服し、命をつないできた道に今 世界が注目する



世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
 そのエンジンは「他人を思いやる心」
 北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

by Mutsu Nakanishi

■ 神戸で 思いつくまま *From Kobe* 【15】 2016 kobe2016.pdf

- 【From Kobe 2016年1月 迎春】 fkobe1601.pdf
1. 2016年 年の初めに 溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光り「肌光」
 2. ≪縄文の心≫ 一万年も平和な生活が続いた 「縄文」のエンジンは「他人を思いやる心」
- 【From Kobe 2016年2月 如月】 fkobe1602.pdf
1. 春が待ち遠しい如月の便り
 2. 阪神淡路大震災の記憶 「風化させてはいけない記憶とはなんなのだろうか？」
- 【From Kobe 2016年3月】 fkobe1603.pdf
1. どこかで春が生まれてる 弥生3月の便り
 - ◆ 弥生3月 雌岡山・神出の里の田園地で見つけた春
 - ◆ 原発再稼働トラブルに見る日本人気質
 - ◆ 播磨地域に広がる溜池群を利用したメガソーラー発電所の建設
- 【From Kobe 2016年4月 春爛漫】 fkobe1604.pdf
1. 春爛漫 4月の便り 新しい出会いと出発へ 日々あらた 元気に今を
 2. 神戸の春
 - ◆ 毎春の恵み イカナゴ漁と牡蛎の水揚げ また「イカナゴの夏眠」
 - ◆ わが町 妙法寺「車」周辺の谷筋は 幕末期神戸開港を支えた神戸石炭の大生産地
 3. この四月 TV ニュース番組の芸能番組化 また おかしかった朝日新聞の紙面構成の変化
- 【From Kobe 2016年5月 新緑】 fkobe1605.pdf
1. 新緑 5月の便り 野も山も里も草木燃え 輝きの一瞬 戸外へ出て元気に
 2. 緑色にはどれほど種類があるのだろうか 知らなかった緑色にびっくり
 3. 神戸三宮・元町「高架下」商店街が高架の耐震補強で存続の危機に!!
- 【From Kobe 2016年7月 happy rainy days!!】 fkobe1607.pdf
1. 7月初旬の便り happy rainy days!!
 2. NHK BS 英雄たちの選択
征夷大將軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」評価討論から見えてくること
 3. 合成の誤謬」と今の世相 インターネットで見つけた「合成の誤謬」の評論を見つけて
- 【From Kobe 2016年8月 ひまわりの夏】 fkobe1608.pdf
1. ひまわりの夏 2016の便り 8月 自らと向き合って 平和の危機「憲法九条を守ろう」
 2. 法政大学総長田中優子氏「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」
神戸新聞 2016.8.1. 朝刊記事「識者の視点」のご紹介
- 【From Kobe 2016年9月 初秋】 fkobe1609.pdf
1. 9月 初秋の便り 青空を吹きわたる爽やかな風に気分も新た
 2. 地球の気象異変をわが身のものとして 考えよう!!
- 【From Kobe 2016年10月 里の秋】 fkobe1610.pdf
1. 10月 里の秋の便り 胸膨らませ、今を元気にと
- 【From Kobe 2016年11月 秋桜の秋】 fkobe1611.pdf
1. 秋桜便り 11月 秋桜便り 道端のコスモスにふっと顔を寄せる
 2. 神戸港で 深海調査船「しんかい6500」とその 母船「横須賀」一般公開
- 【From Kobe 2016年12月 Merry Christmas !! 2016 師走】 fkobe1612.pdf
1. 12月 Merry Christmas !! 2016 師走の便り
 2. この世界の片隅で 久しぶりに映画「この世界の片隅に」を見て



生命をつかさどる元素・文明を支える元素として「鉄」がなければ人類は生きてゆけない

溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光り「肌光」

その輝きの中に燦然と輝く人類の知恵の数々

《 縄文の心 》

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」

そのエンジンは「他人を思いやる心」 人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道でもある

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に



<http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/jyomonslide.htm>

ほかの動物に狩猟・採取の生活を見ると「乳離れするまでは 面倒を見るにしる、狩猟・採取の移動の中で 群れについて行けなくなると置いてきぼり」それが狩猟・採取の生活の厳しさ。

そんな縄文の狩猟・採取の時代に 幼くして小児麻痺の少女が成年期を経て、一生 多くの人達に見守られ、縄文の村で暮らしていた。

また、縄文の村猟犬として飼われていた犬たちが、家族同様 大切に暮らしていた証拠もある。

今こそ 「日本人のルーツ 心優しき縄文人」 の心を今取り戻そう。

グローバル・高度情報化社会と日本の成長繁栄が声高に叫ばれる現代社会のほころびが見えだし、
気候温暖化の激変・環境変化・格差と貧困の急激な進行そして戦さなど数々の災いが日常的に脅威として降りかかる。

世界が今 新しいスタンダードを探し求めている。

地球温暖化はもう抜き差しならぬ状況になり、 極端な格差社会が新興国のみならず、先進国でも軒並み 貧困差別と争いを
引き起こしている。 この激変の時代の真ただ中で、ただひたすら、東京一極集中を追い続ける日本。

さらに 抜き差しならぬ状況の中 老齢化成熟社会の厳しさが追い打ちをかけ、「一億総活躍社会」の掛け声にも 首をかし
げなくなる未来不安の世相が蔓延する。

「昔はよかった」と振り返っても なんの役にも立たないが、他人事だった現実が我が身にふりかかる日々にハッと気が付く。
これが人類が追い続ける未来繁栄の道なのだろうか??? 出口を見出す転換をしないと人類・地球滅亡への道の縁にいる。
今一度立ち止まってグローバル・高度情報化社会の現実を直視せねば・・・。

なにか 満たされぬ閉塞感から脱する新しい道を 今踏み出さねば・・・

「どう 生きればよいのか」 あれこれ思いめぐらす中での 新しい年の始まりです。

人間の人間たる所以は「他人を思いやる心」。人は心を許す仲間なくして生き延びてはこれなかった。

それを「愛」という人もいる。今 厳しい競争社会の中で それが大きく揺らぎ、忘れ去られてきた。

「甘っちょろい」との声もあるが、「他人を思いやる心」なくして 人類は生き延びてこれなかった現実を先端の科学そ
して歴史が証明している。

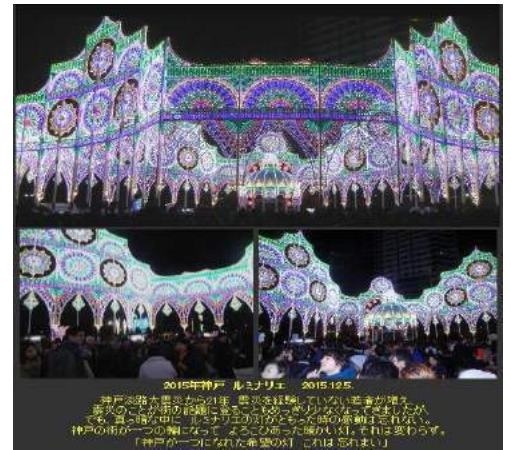
現代社会が忘れたものを 今の現代社会に取り戻すことが、閉塞した現実を
突破する糸口になるだろう。

神戸には 手にしていたすべてが一瞬にして消え去り、立ちすくんで
途方に暮れた中で 神戸の街が一つの輪になって 立ち向かった21年前
の神戸淡路大震災の記憶がある。

グローバル・効率化と激烈な競争の中で、現代人・社会が忘れ去ってし
まったものを思い起こさせてくれたルミナリエの光の環

また、今 世界が「日本の縄文」に着目し、現代社会を見直そうとして
いる。かつて 世界に類のない 「1万年もの長きに渡る平和で豊か
な永続社会築いた日本の縄文」

そんな「日本の縄文」にも 現代を見直す知恵がある。



◆ **競争社会から成熟社会へ移行する日本に必要なのは「縄文かえり・心の優しさ」では・・・**
朝日新聞天声人語にこんな記事が・・・

ヒューマンを特徴づける「利他的精神」がこんなところにも
2014.5.6 朝日新聞「天声人語」より

天声人語

おもしろい実験をネットで見
た。2本の高速道路が合流する
場合、どうすればすんなりと車
線変更できるかを探っている。
「渋滞学」の生みの親として知
られる東大の西成浩裕教授が説
明役だ▼車の代わり人間が二つの道を
歩く。合流する直前まで互いが見えない
状況で徐々に車線変更しようとする
ぶつかりそうになったり、詰まったりす
る。危ない。そこで合流地点から一定の
距離を車線変更禁止とする。するとその
間、互いを見合い、譲り合いながら車線
を変更されるようになる▼われ先に走る
よりは、まわりとコミュニケーションを
取りながら運転するほうが、結果的に速
くなる。車間距離を十分にとることなど
とともに、道路の流れをよくするための
知恵である▼この実験は「利他的精神実
験」と銘打たれている。西成教授が強調
するのは、他のドライバーへの思いやり
だ。目先のプラスばかりを追わず、長期
的視野を持つ。情けは人のためならず。
損して得とれ、とも。頭ではわかってい
ても、なかなか実行できないところが凡
夫の悲しさか▼きのう、Uターンラッ
シュに巻き込まれた方も多いに違いない。
きょうも混雑が続くだろう。渋滞のスト
レスを長時間受け続けるつらさはいかば
かりか。どこにも出かけずじっとして
いた身には、お気持ちを拝察することしか
できない▼大型連休が終わる。朝の駅の
雑踏が戻ってくる。遅い流れにいら立
つて、ともすると前に出たがるのを自
戒することにする。急がば回れ、だ。

2014・5・6

人間が人間たる由縁は「他を思いやる心」を持っていること。 現生人類が現代にまで、幾多の苦難を乗り越え、
文明を発展させて 今まで生き延びることが出来たのは、この「他を思いやる心・利他的精神」を持ち合せていたからだという。
そんな「心やさしき」縄文人は 世界3大文明に先駆け、縄文文化を花開かせ、日本人の心のふるさととなった。
激しい競争社会が展開させる現在 今一度 この人類史の 現実をみつめ直す必要がある。
ややもすれば 自己責任を強要する現代社会への警鐘 こんな身近な例からも社会を考えるヒントがある。

2014.5.6. from Kobe Mitsu Nakanishi

今こそ「日本人のルーツ 心優しき縄文人」の心を今取り戻そう。
 心を許す仲間なくして生き延びてはこれなかった人類。その繁栄の道はただ一つ「他人を思いやる心」。
 人類の歴史の中で 他に類を見ない1万年という長きにわたり、平和な継続社会を築いた「縄文」
 欲望・競争のスピードの渦から抜け出して 今一歩立ち止まって「他人を思いやる心」を眺めよう。
 そこから 生まれる新しい価値観を次の世代へ伝えねばと。

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
そのエンジンは「他人を思いやる心」 人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道でもある
北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に



<http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/jyomonslide.htm>

縄文がえりの勧め 心優しき縄文の村

幼くしてポリオにかかった少女が 縄文の村で みんなに守られ ずっと暮らしていた

「景色のいい素晴らしい高台に暮らす心優しき縄文人」「縄文のこころを映すストーンサークル」と
 縄文に魅せられて縄文の遺跡を訪ねはじめて、もう10数年になる。

■ 入江・高砂貝塚縄文遺跡

「狩猟・採取 自分の食糧確保に精一杯であった縄文時代に
 4000年前の北海道の縄文の村で 幼くして小児麻痺にかかった少女が
 成年期を経て一生みんなに 見守られて その村で暮らしていた。
 その痕跡を示す骨が北海道洞爺湖の近く噴火湾や有珠山を望む入江貝塚
 縄文遺跡で見つかった」と。

北海道洞爺湖の近く噴火湾や有珠山を望む海岸の高台にある縄文時代前期
 から後期(約5000～3500年前)にかけて形成された 大規模な集落。



北海道・北東北縄文遺跡群 入江・高砂貝塚遺跡 http://jomon-net.xsrv.jp/jomon_kairou/iseki/irie-takasago.html

北の縄文文化を発信する会 | 縄文のこころ <http://jomon-heritage.org/jomonheart/>



年齢70を越え、無理は効かぬし力もなし。
 でも まだまだ 好奇心は旺盛 元気はある
 今一度 家族・仲間を頼りに 前向いて元気にと。

右の「三猿」は 「お互い元気に」と義姉が送ってくれた「三猿」
 なるほど 今年はこれでと
 本年もよろしくお祈いします。

2015.1.1. Mutsu Nakanishi From Kobe



《1.》 1995.1.17. 阪神淡路大震災 21年目の記念日の翌日 神戸の街の空に架かった虹におもう
「風化させてはいけない記憶とはなんなのだろうか？」



21年目の阪神淡路大震災 1995.1.17. 記念日の翌日 神戸新聞2016.1.19.より
神戸の街に美しい虹がかかりました

1月17日 神戸では阪神淡路大震災 21年目の記念日。数多くの行事が行われ、数多くの神戸市民がそれぞれの思いの中でこの日を迎えた。しかし、震災後20年を超えて 行事を担ってきた人たちも高齢化し、年々行事がむつかしくなってきた。また、21年を経て 阪神淡路大震災を経験しない若者が多くなり、震災体験者と未体験の椀物とのギャップが埋められず、行事の中でも 世代間の断絶が懸念される事態も起きているという。

そして 行事に参加する人たちも、行動を共にする人たちも年々減少し、「記念日をどう守るか」「記念日を風化させてはならない」との声がたくさん聴かれるようになった。

「風化させてはならないものは何なのでしょう？」 私自身よくわからず、心情はあっても 行動への確信がない。

神戸の巷でも かつては 人が集まると震災の話で 見ず知らずの人も含め、盛り上がったものですが、実感として 今では ほとんどそんな光景を目にすることもない。

風化させてはならぬことの中身についての議論はほとんどないのが現実で、だれも その中身に意識がゆかない。

「風化」を声高に言っても 「行事」そのものが「風化させてはならぬもの」になってはいないだろうか…

また、未体験の次世代を担う若者にも「行事は行事」との受け止めしかない現実が広がっているのではないだろうか……

これではいくら記念行事をやっても 継承者も育たず、改善の糸口さえないのではないかと……と。

数多くの情報が飛び交う情報社会の真ただ中 大事な情報が多くの情報の中に埋没してしまっている。

阪神淡路大震災の翌日 神戸の街の空に美しい希望の虹が現れた。

ますます 高齢化が進む中で 阪神淡路大震災の教訓 そして防災 地域コミュニティの育成等々

それぞれがそれぞれの意識を変えて 取り組まねばならぬこと多し。 がんばろう神戸 そんな虹に見えました。

今一番 大切なものは何か 大切なことは何か 自分にとるべき行動はなにか

そんなことをみんながみんな それぞれの地域一体となって考えねば、震災の教訓の風化は避けられない。

これは 日本人にとって 一番苦手な事かもしれないなあ……と。

ルミナリエの灯 絶やすまい 忘れまい 1995.1.17の記憶

私もそうなのですが、神戸の人達にとって、震災後に ルミナリエの灯が灯った時の感動は忘れられない。
震災直後 真っ暗な公園の火を囲んで 顔を合わせ、暖を取り、語りあい、誰もが お互いを頼りにしあった毎日を
ルミナリエの灯に重ね合わせ、ルミナリエの灯が灯ると自然とあの光の輪の中に行きたくなる。

そんな中で 生まれた知恵・意識・行動が数多くあり、それを次世代の若者たちと共有・共働して、継承ゆくことが、
風化させないこと一番大事なことでないか・・・と。

「自分の命 人の命も大切に」 「利他を思いやる」 それを「絆」・「縁」という人もいるが、
これから生まれる行動連鎖が地域コミュニティとして 日常的に常態化されてゆけば・・・と。



2015年神戸 ルミナリエ 光の環に飛び込んで「神戸が一つになれた希望の灯 忘れまい」 2015.12.5.
鎮魂から未来へ この神戸の灯をいつまでも灯し続け、震災の記憶を語りつなぎたい

神戸淡路大震災から21年 震災を経験していない若者が増え、街の話題に登ることもめっきり少なくなった
でも、真っ暗な中に ルミナリエの灯がともった時の感動は忘れない。

神戸の街が一つの輪になって よろこびあった暖かい灯。それは変わらず。

観光化の懸念も年々論議されていますが、「神戸が一つになれた希望の灯 これは忘れまい」

鎮魂から未来へ この神戸の灯をいつまでも灯し続け、震災の記憶を語りつなぎたい。

2016.31.19.朝 神戸新聞の 神戸の街の空に架かる虹を眺めながら

by Mutsu Nakanishi



日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと

困難の中に居られる方々にエールを!!

いつも 思いをさせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる

暖かい希望の輪がつながっていることを」

かみ ともに いますて

得られるものを変える「勇気」
変えられないものを受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を

ニーバーの祈り より

「まあええか 元気だして行こう」と

心は行ったり来たりですが

好奇心さえあれば・・・と前向いて

お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう



【 From Kobe 2016年3月 どこかで 春が生まれてる 】 2016.3.5. by Mutsu Nakanishi



我が家の角先にも春の草花が花をつけだしました 2016.3.1.

1. 弥生3月 どこかで 春が生まれてる 春はもう そこまで
2. 原発再稼働トラブルに見る日本人気質
3. 播磨地域に広がる溜池群を利用したメガソーラー発電所の建設

《1.》 弥生3月 どこかで 春が生まれてる 春はもう そこまで



高浜原子力発電所4号機が2月26日 原子炉を起動する操作が行われ再稼働した。これで原子力規制委員会の新規制基準の下で再稼働したのは2つの原発の4基になりました。



朝日新聞 DIGITAL 高浜原発4号機が緊急停止 再稼働直後、変圧器で異常か



関西電力は29日、高浜原発4号機（福井県高浜町、出力87万キロワット）で発電と送電を始めた直後に変圧器周辺でトラブルが起き、原子炉が自動で止まったと発表した。高浜4号機は20日に原子炉補助建屋で放射性物質を含む水漏れが見つかり、点検して26日に再稼働したばかりだった。8月下旬の営業運転開始をめざしていたが、遅れる可能性が出てきた。

2016.3.1

26日朝から再稼働前の最後となる原子炉の核分裂反応を抑える制御棒の検査が完了し、中央制御室で関西電力の副社長や、原子力規制庁の検査官などが見守るなか、運転員が制御棒を核燃料の間から引き抜くレバーを操作して原子炉を起動し、再稼働。そして、原子炉は13時間後の27日午前6時頃 核分裂反応が連続する「臨界」の状態になり、29日には発電と送電を始め、その後徐々に原子炉の出力を高め、3月下旬に営業運転に入る計画だったという。

29日午後 多くの関係者 報道陣が中止する中 送電開始のレバーが ひねられた瞬間、「ファンファンファン」という甲高い警報音が鳴り響き、警報盤のランプが点滅し、原子炉は自動的に緊急停止した。

この場に招待されていた報道陣のカメラが切迫した状況の一部始終をとらえていたが、考えさせられる場面ばかり。

運転員らは原子炉の状態を示す計器の確認作業などに追われ、「トリップ（自動停止）確認して」「異常なし」などの声が制御室に交錯。緊迫した雰囲気にも包まれた。そんな切迫した状況の中で 報道陣など関係者を招待していた 関電広報担当者は「通常通り 通常通り ここから出しましょうか」とのんきな声を上げている姿も映し出されていた。この緊急事態の現場の姿を見て 関電の安全視点は少しも変わってないなあ……と。

もう何十年も前になるのですが、 製造現場で非常ベルが鳴り響いた時に、同じ建屋の中で会議をしていたグループから、「非常ベルがうるさい。早く止めろ!!」と。現場の仲間が「異常時 退避の安全処置を取るのが先だろう!!」と怒鳴り返していたのを思い出していました。

映像に映し出された中央制御室 現場担当者が緊急安全処置・異常発生場所の確認に走り回中 ほかの関係者はいたって暢気。警報が鳴っても まったく暢気なもの。しかもそこには 全くわからぬ多くの部外者がいるのにと。これが 再稼働の確認を得た会社の現場の姿。安全審査って なんやねん……と思う。

異常・緊急時 その場に居合わせた関係者それぞれの行動意識など みじんも見られぬ現場。

現場と会社幹部 現場と管理部門の意識の乖離が、福島原発事故でも大きな問題になったが、全くそれが改善されず、安全基準 新規制値の値だけにすぎている姿が浮き彫りに……。これが日本の通常姿なのだろう。

ここにもデジタル値・マニュアルのみに縋りつき、運用・ソフト技術・ノウハウ技術軽視の日本の工場現場 並びに完全基準審査の課題が浮き彫り。よくも悪くも日本人の気質が現れている。

そもそも 操業寿命40年と決められ、稼働してきた原発がさらに20年再稼働できるとする内容がほとんど明らかにされず。報道等知る限り、新基準そのものも原発暴走の原因となった電源喪失をカバーすることのみに集中されているように見える。再稼働となると取り換えの出来なかったコンクリートで固められた原子炉容器など原子炉心臓部の鋼材の劣化・疲労 それを覆うコンクリートの劣化等はどう論ぜられたのだろうか……

また、いったん事故が発生した時の災害の大きさを考えると 電源喪失そして計器・装置破損などによる放射能汚染や水素発生の問題に対する2重・3重の対策はとれているのだろうか…。また、機械・装置を取り換えた時の初期トラブルは重要な課題。今回も長期に停止後、数々の新しい装置が持ち込まれたと推察するのですが、その初期トラブル対処はどうなっているのか……。まだまだ 今回のような再稼働初期トラブルは出てくるのだろうか。

昔 稼働ノウハウとして Copy Exactly を徹底的にたたきこまれたが、再稼働には新しさを求めるよりこの厳密さがなければと。日本人の一番不得手な部分であるが、もう一度 何が再稼働前と何がどう変わっているのか 厳密な視点も必要と思う。

注 原発の建設・補修等に長年携わってきた友人が 中性子照射・疲労など鋼材の劣化 原子炉周辺の水素発生防止などのデータ収集と解析 原子炉の常時監視の状況など丁寧に教えてくれ、材料面での再稼働の安全は確保されていると。

《3》 播磨地域に広がる溜池群を利用したメガソーラー発電所の建設



西神戸神出 合ノ池に建設中のソーラパネルの浮き架台 20106.2.25.

西神戸神出の雌岡山の山頂から周囲の景色を見ていて、雌岡山周辺に広がる溜池群を見ていて、その一つ神出合ノ池の水面全面に架台を並べて、太陽電池パネルを並べたソーラー発電所建設が進んでいるのを知りました。

瀬戸内気候で雨が少なく、しかも大きな川のない西神戸から東播磨の田園地には数多くの溜池が広がっている。この溜池群の水面を利用したクリーンエネルギー ソーラー発電所の建設には最適な場所だと。

インターネットで東播磨の溜池群を調べると すでにほかにもメガソーラー発電所が建設されているのを知りました。身近な場所で 大きなクリーンエネルギーを得るビジネスがすでに進んでいるのを知りました。



水上に設置した太陽光パネルと架台例
兵庫・加東市西平池 高岡西水上メガソーラー発電所

インターネットで調べた溜池に架台をつないで並べた白い浮き筏に設置された太陽電池パネル例
そっくりで 日照り続きの日照時間が長い播磨平野の溜池群は格好の太陽電池パネル設置場所。
これから 次々と溜池にパネルが設置されるのだろう



「兵庫・高岡西水上メガソーラー発電所」
加東市高岡 西平・東平池



google earth で見つけた加東市のソーラー設置池例

加東市東実周辺のソーラーパネル

春爛漫 新しい出会いと出発へ 日々あらた 元気に今を

満開の花をつけた枝を 精一杯広げる桜に 人それぞれ 思い出がある

神戸の市街地 再度山山裾の高台 水の科学館(奥平野貯水池)

樹齢約70年の大きな一本桜「舞桜」が、今年も満開の花をつけました 2016.4.4.



花の香りが漂う春に胸膨らませ、仲間元気を活力に!!
時には助けを求めながら わが道を前向いて

3月27日はイースター・復活日

毎年 復活日が来るとキリストの受難に思いをはせ、自らをふりかえり、わが身に感謝し、家族・仲間 そして地球の人たちへと思いをはせる

希望の明日そして世界平和を春の花に込めて「神とともにいまして」との思いもあらた 新しい出発を誓う



2016.3.27.

Mutsu Nakanishi from Kobe



「希望」「愛」「儼しさ」

アーモンドの花の香りが漂う春

春の妖精 カタクリの花 2016

花言葉は「初恋」・「耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて地表に顔を出し
山腹の斜面で冷たい風に身を打ち震わせ
立ち向かう姿に心を揺さぶられる

今年も元気な姿に出会えました

桜の便りが届きだすと毎年出会いに行く
佐用たたら果のカタクリの花

春一番の楽しみ カタクリの花との出会い
その愛らしい姿にじっと目を凝らす



干穂川が流れる西播磨佐用町 三日月町「弦谷」& 東徳久 殿崎 カタクリの群生地 2016.4.5.

春爛漫 新しい出会いと出発へ 日々 あらた

「老いてはいられない 前向いて 歩を踏み出して」と気を引き締める

2016.4.10. by Mutsu Nakanishi

< ぶつぶつ from Kobe 2016.. 4.1. Mutsu Nakanishi >

1. 神戸の春 海からの毎春の恵み イカナゴ漁と牡蠣の水揚げ
また「イカナゴが夏眠する」 すごい生き残りの知恵 知りませんでした
2. わが町 妙法寺「車」集落周辺の谷筋は 幕末期神戸開港を支えた神戸石炭の大産地
3. この四月 TV ニュース番組の芸能番組化急速に
また おかしかった朝日新聞の紙面構成がおおきくかわってきている

< ぽつぽつ from Kobe より >

1. 神戸の春の海からの毎春の恵み イカナゴ漁と牡蠣の水揚げ また「イカナゴが夏眠する」 すごい生き残りの知恵 知りませんでした



神戸の春 イカナゴ漁と牡蠣の水揚げ

神戸の春の風物詩「イカナゴ」今年はや暖冬がたたって 大阪湾の水温が高く、大阪湾を回遊するイカナゴの稚魚が極端に少なくなくて不漁に。解禁も遅れに遅れて3月7日解禁に。高値を呼んで 毎年 店先のイカナゴを求める行列も 例年ほどにはならず イカナゴの釘煮の話題で盛り上がるの街の輪も、今年是不発に。

それでも 春を感じたく 家内は「くぎ煮」を炊き、こちららは「新子のかまあげ」「くぎ煮」で一杯。うれしい神戸の春の訪れです。

「イカナゴ」とともに この時期 忘れてはならぬ味覚に 西播磨相生・室津の牡蠣がある。 店先には殻付き・剥き身などにして その日水揚げされたたくさんの大粒の牡蠣が店頭に並び並び。

一杯やりながら仲間が「兵庫の春はイカナゴというが、室津や日生海岸の牡蠣を焼いて食べるのが一番」という。

私の高校時代の友人もいつも「日生の牡蠣食べに行こう」といってたなあ・・・と記憶が蘇ってくる。

今年も家内の友達から水揚げすぐの室津殻付き牡蠣を沢山送ってもらって、うれしい焼き牡蠣が食卓にのぼり、舌鼓。

イカナゴのくぎ煮と室津の牡蠣 神戸の春を彩る毎春の恵みです。

ところで、「イカナゴ」のこと。

「イカナゴが海底の砂の中にもぐって夏眠する」って 知っていますか

私は全く知らずで、 そのすごい生き残りの知恵にびっくり。 地球上の動植物みんな すごい知恵で生きている。

「イカナゴは1年の半分近くを寝て過ごす夏眠する修正を持つ珍しい魚いだ」と砂の中から頭を出す写真入りで新聞に掲載されて、初めて この「イカナゴの夏眠」を知りました。

イカナゴは、もともと寒い北の海の魚で、お正月前後が産卵期 卵は明石海峡や紀淡海峡近くの海底の砂つばに産み付け、10日ほどでふ化。

海の流れに乗って大阪湾内に広がり、海中のプランクトンを食べながらぐんぐん大きくなり、2月下旬から3月初めになると、体長3cm程に成長。

それを待って 春の風物詩イカナゴ漁が始まるのだそうだ。一方、漁を免れ、生き残ったイカナゴは 水温が高くなる6~7月頃になると、イカナゴは体力の消耗を避けるため、海底の砂の中に潜って活動を停止する。これを「夏眠」と呼ぶのだと。イカナゴはそれ以後 餌も食べず、12月まで砂の中でじっとしている。

この習性は、彼らが北の海から南へ分布を広げるために身につけた、暑い夏を 乗り切るすばらしい戦略的生活の知恵。

12月頃になって水温が下がってくると、イカナゴは砂の中から出てきて、産卵をおこない、満1才で親になるという。



海底の砂浜に頭だけ出して 仮眠するイカナゴ

今年は一説によると今年は大阪湾の海水温が高いために、大阪湾に入るイカナゴが極端に少なくなったのだと。無数のイカナゴが砂から頭を出している写真を見ながら「イカナゴは生き延びるためすごい戦略を持っているのだ」といままさらながらびっくり。大阪湾のイカナゴ漁にとって、暖冬や寒さは漁期を変えるだけなんだと思っていましたが、敵なんだと初めて知りました。

高山植物やカタクリなどの植物の生き残り戦略の話はよく聞かして知っていましたが、魚にもこんな生き残り戦略がある。初めて知るイカナゴの体得したすごい生活の知恵なんだと。

2 わが町 妙法寺「車」集落周辺の谷筋は 幕末期神戸開港を支えた神戸石炭の大生産地

びっくりついでにもう一つ 新聞記事から。

長年住んできましたが、住民ほとんどが、見たことも聞いたこともない石炭産出の新聞報道にびっくり。

「神戸石炭」といい、鎖国が解かれ、日本開国で、開港された神戸港に入港する蒸気船の燃料として、この神戸石炭が港を支えたという。

この妙法寺川が流れ下る車地区やすぐ北の白川峠は植物化石が今も出る場所として、神戸ではよく知られた場所。また モータリゼーション華やかな頃「車大道」のバス停・地名がよく紹介されましたが、まさかそのすぐ横から、石炭が出ていたなんて…。

早速 地図を片手に谷筋を歩きましたが、石炭など見つけれずでした。



(この神戸石炭は石炭になりきらぬ亜炭で、品質の良い他の産地の石炭に次第に置き換えられていったようだ。)

3. この四月 TV ニュース番組の芸能番組化がさらに急速に 公正なニュース報道はどこに・・・ また おかしかった朝日新聞の紙面構成がおおきくかわってきている

◎ 安倍政権のしめつけが、もうここまで と思えるような4月からのNHKのニュース番組構成。

公正な事実を冷静正確に伝えようとするニュース姿勢が全く影を潜め、アナウサーの役割はそっちのけで、判断力を持たぬ内輪の軽薄なコメンテーターの役割に。

また、「東京がなんでも・・・」の目線はもう限界である TVも若者だけでなく 年寄りにまでもが食傷気味。やってる方も嫌でないのだろうか…と不思議になる。

「仲間内でなかったら よしたらへんよ」それが 今の日本の正常な感覚???? なのか

今の世を見ていると 大人から子供まで 全くまったく そんな世

かつて結われた 名前をこ変えた 「島国根性」「仲間内」の進行はすさまじい。

変革はそこにあるように思うのですが、今のところそっちへ向く兆しは全くなし。

◎ 一方 朝日新聞の新聞紙面構成がすごいこと変更されている。

「1週間 新聞入れますので、もう一度 購読検討してください」とこの1週間 ポストに朝日新聞が入る。

紙面を開いてびっくり。依然とお菊紙面構成が変化している。

あの広告の中に 記事を探さねばならぬ紙面や 報道が広告か意見かわからぬ記事が影を潜め、落ち着いた紙面に朝日の中央意識も変化した。この紙面造りは 今読む地方紙の紙面に近い。

◎ 次のような話を聞いた。今の世 この話には 説得力あるなあ……と。

「票に支配された政治家に 中立や 金の節約などという方がおかしい。本来 政治家はお金のバラマキが基本。

権力欲のない公正な政治家など 今の時代にいないだから 憲法などで政治家や権力・中央を縛らねばいけない」

という

勝手な年寄りのたわごとですが、でも 今の世に ちょっとでも かかわらねば…………と。

2016.4.10. by Mutsu Nakanishi

【2016年5月 From Kobe】

新緑の五月 緑は気持ちをゆったりとしてくれる
野も山も里も草木燃え 輝きの一瞬戸外へ出て 元気に

1. 緑色にはどれほど種類があるのだろうか 知らなかった緑色にびっくり
新緑・芽吹き 毎日眺める山の緑のグラデーション この「緑色」をどう呼べばいいのか
2. 神戸 三宮・元町「高架下」商店街 が 高架の耐震補強で存続の危機に!!
またひとつ 普段着の街 昭和の匂いがする商店街がなくなりそう なんと寂しい。



新緑の五月 野山も里も草木燃え 移り変わる春景色 最も美しい輝きの一瞬です
野山を楽しむのもよし、スポーツや街歩きもまた楽し。 戸外へ出て 元気に



但馬氷ノ山麓では南西限の水芭蕉 六甲では新緑の森にツツジ・シャクナゲ そしてヒマラヤの青いケシも



2016.5.8. 新開地 ジャズ ストリートで

5.8. は新開地ジャズストリート 5.15. は神戸まつり 神戸の街に心地よいストリートジャズの音が響き、
多くの人が街に出て楽しむ。 こちからは久しぶりのジャズの音に気分爽快 缶ビール片手にストリートジャズのはしご。
うれしい春の行事が次々と。 真っ青な空に手を広げ 自然を胸いっぱい吸い込んで 今を元気にと。

でも 忘れてはいけない熊本の大地震。 まだ余震が続く中での生活の厳しさを察しながら 早く余震が収まり
一日も早く 生活再建への見通しが立つよう祈っています。 次々と起こる自然災害の怖さがまざまざと。

「自分の身は自分で守る」と意識を高めねばと思うのですが、自分にいったい何ができるのだろうか・・・
 アメリカ・フィリピン そして北朝鮮と 強権をもつ強いリーダー志向がますます広がりそうですが、
 自分がその輪に入れる保証もなく 今の世相を考えると 年寄りや切れ捨てられるだろうなあと。
 災害一つとっても お互いがスクラム組める社会に 平和はそんな礎。 この方向に自分はかけたいと。
 まず 健康に感謝と思いつつ、ますます厳しくなる世相の中で
 輝く自然の英気をもらいつつ がんばらねばと

2016.5.10. Mutsu Nakanishi

1. 緑色にはどれほど種類があるのだろうか 知らなかった緑色にびっくり

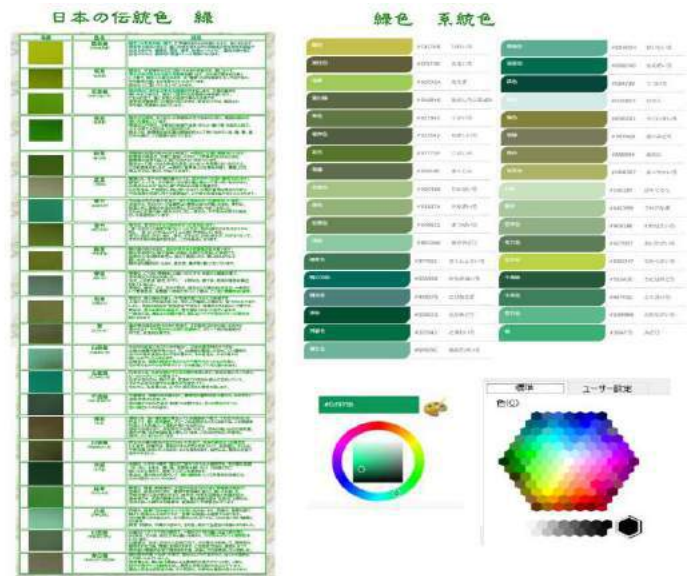
新緑・芽吹き 毎日眺める山の緑のグラデーション この「緑色」をどう呼べばいいのかわ

「芽吹き・新緑」とひとことと言ってしまおうのですが、日に日に変化してゆく4月・5月の山肌の緑の色の変化の表現。
 自分の言葉の少なさになすすべもなし。あの芽吹きの山のグラデーションの色表現ができない。

開き直って「緑色にはどれほどの数の名前がついた色があるのだろうか??」とインターネット検索で調べてみました。
 なんともまあ 暇人だといわれそうですが・・・

インターネットでちょっと調べただけでも 右記の通り。
 考えてみれば PCで色を選択する場合を考えれば 色は
 デジタルの世界の中 絶対値のカラーコード【R値 G値
 B値】で 16進数 10進数で表すことで、色を絶対値
 で統一的に管理されている。

W3C標準 基本16色			10進数 例: rgb(255,0,0)		
カラー名	16進数	短縮系	R値	G値	B値
black	#000000	#000	0	0	0



このカラーコードで表すそれぞれの色ではないが、日本の
 伝統色 現代の系統色それぞれには 古くから名前がつい
 ている。 ちょっと調べた右表だけでもこれだけ多くつ
 いている。 昔から すごい形で色が管理されてきたのだ。
 芽吹きの色合いもちゃんと名前の付いた色で表現できるのだと。

また、自分が緑色に持っているイメージとはずいぶん違色も緑色なんだとびっくり。 私にはお手上げ。 やっぱりせいぜい
 緑 薄緑 黄緑 青緑 新緑 芽吹き そして 海の・・・程度でしか表現できず。 洋名も マラカイトグリーン程度
 しかしらないなあ・・・と。

《調べていて 見つけた緑色の名前に 興味を持って》

◎ 青丹 あおに

添付した図表には「青丹」の名前はないのですが、『万葉集』にも「青丹よし 寧楽ならの京師みやこ……」はと詠われた奈良に
 かかる枕詞「青丹よしの『青丹』」は後ろに「丹」があるので、朱系統の色かと思っていましたが、間違いだった。

青丹(あおに)とは、昔、顔料や化粧料の黛に使われた青粘土のような暗く鈍い黄緑色のこと。青は緑のこと。丹は土を意味し、緑み
 のある土の色を指す。もともとは青土とかいて「あおに」と読んでいたと。青丹は、顔料となる岩緑青(いわろくしょう)を表わす古名で
 あり、奈良が産地として有名だそうだ。

◎ 若草色

奈良の若草山そして私の住む住宅地も「若草」。 何とはなしに山の芽吹きの時の薄緑とイメージするが、正確には知らない。
若草色は正確には春の野山に見られる草木の若葉の色を指すという。万葉の昔から用いられた色で、明るくて鮮やかな黄緑系
 の色。感覚的には萌黄と同じですが、色名の上では、萌黄よりやや濃い黄緑色とされている。
 当たらずとも遠からずでしたが、むつかしい。

◎ 松葉 柳葉 裏葉 青竹 老竹 よく聞く「鶯色」

うぐいすの色だとはわかっているが、はてどう作るのか？ それに 信号の色も「青」か「緑」か・・・
緑色はかつて 青色の系統だったというから、その混用なのでしょうか？

日本の歴史における緑色は、古くは「青」のカテゴリに属しているものが多く、「青白椽（あおしろつるばみ）」や、「青丹（あおこ）」「青竹色（あおたけいろ）」など色の名前にも「青」の文字が垣間見れるという。

◎ もう一つ 緑色系統に鉄色というのがある ほんとなあとびっくりして チェックしてみました。
鉄色と書いて 鉄色・くろがね と読む。黒金のことだという。

「ごく暗い青緑」。一般に、濃い緑色をさし、深緑よりも濃い。光沢が出るほど磨かれた色ではなく、「黒金くろがね」と呼ばれるような黒っぽい状態の鉄の色を表す。染色の色に用いられるが、顔料の色とする説もある。

今まで 鉄の色を緑系統などと思ったことはありませんが、日本の伝統色では 緑系統なのだとびっくりしました。

ふっと思いついて 頭に浮かんだことなども調べてみようと思い、ちょっと調べただけですが、びっくりしました。

色は奥が確かに深い。デジタル値で混合すれば ブルンションとっていましたが、びっくり。

そういえば、自動車のカラーも自分で調合はできぬ色。同じ系統でも各社それぞれ。 はげ落ちた色から車を割り出せると聞く。

まあ 私の緑のボキャブラリーの中にあるのは 若草色 鶯色 それに緑青 マラカイトグリーン程度かな。
機会があれば「青」も検索してみたい。「青」は「緑」よりもっと複雑だろう。

2. 神戸 三宮・元町「高架下」三宮商店街 & モトコーが 高架の耐震補強で存続の危機に!!
またひとつ 普段着の街 昭和の匂いがする商店街がなくなりそう なんと寂しい。



JR三宮駅から神戸駅まで約2キロ JR高架下の商店街 通称「高架下」【1】

2016年5月5日の 神戸新聞朝刊1面コラム「正平調」に 神戸三宮・元町の「高架下」立ち退きの危機に
「高架下」への強い愛着がにじみ出た下記のコラムが掲載された。

正平調

すいぶん前にな
る。取材で同僚
と2人、高架下
の商店街を毎日
歩いた。JR三
ノ宮駅から神戸駅まで
ざっと2キロ、狭い道で
こんな話を見聞きしな
がら◆中古電器店で外
国人がステレオを指し
て言う。「オト、デナ
イ」。店主は傍らのア
ンプ、スピーカーを示
し「これとこれ、セッ
ト。そしたら音、ポー
ン」。これで十分伝わ
る◆途上国の衣類を売
る店主は段ボールを積
んで客を待つ。「外見
なんぞ、どないでもえ
え。見て、触って、気
に入って、こうてくれ
たらええねん。こんな
吉、高架下やからでき
る」◆アメ横と高架下
は戦後の残り香が鼻先
をかすめる東西の横綱
だ。その高架下の西平
分、元町―神戸駅間が

だ。その高架下の西平
分、元町―神戸駅間が
存続危うしという。耐
震補強で退去を求めら
れるが、工事が終わっ
た後どうなるのか。店
主らの不安はそこにあ
る◆昔々、「雑」は衣
偏に集とも書いた。さ
まざまな色合いの布を
集めた衣服の意味だそ
うだ。とすれば神戸は
「雑の街」だ。歴史の
浅い港町は、いろんな
個性のこった煮で大き
くなった。高架下はそ
の神戸物語に欠かせぬ
一章◆冒頭の話が続け
る。開店準備の若者が
壁板を外したら「第六
組」の字がある。闇市
の表示と教わり、彼は
「古いもんやし、大事
にしよう」。で、字は
そのまま店に残した。
歩みを語るもの、何と
かして守りたいと若者
に教わる。 2016.5.5



JR三宮駅から神戸駅まで約2キロ JR高架下の商店街 通称「高架下」【2】

神戸・阪神間では高齢者から若者まで知らぬものがない「高架下」。 タイガースや神戸大震災の話と同じく、

「高架下」の話になるとひとつやふたつ 誰しものが とっておきの話を持っていて、ワイワイガヤガヤ 誰もが寄ってくる。

JR三宮駅から神戸駅まで東から西へ約2キロ 天井上の高架を JR の電車が走り、狭い道の両側に種々雑多な店がひしめき合って続く 昭和の香りがする雑な街「高架下」。

三宮高架下「ピアザKobe」 & 元町高架下「モトコー」の正式名はあるのですが、「モトコー」とは言うが「ピ



神戸三宮・元町高架下商店街
三ノ宮のシャレタ店から若者の店 そしてマニアックな店へ
若者から年寄りまで 世代を超えた多くの人が行きかう街

アザKobe」では通じない。みんな「高架下」で通じるそんな街。元町商店街が神戸の表の顔に対して 裏通りの存在である。

かつての闇市から発展した安いものが何でもそろう街から、若者が種々のアイデアグッズ・衣装・ファッションの店を並べた明るい最先端の一角があり、また、年寄りか幅をきかず暗い通りに 中古・レトロ・マニアックな店を出す不思議な区画まで 高級品から中古品 バッタ商品。そして古いからうまい店も。一本の高架下通りですが、中は複雑 不思議な魅力。店主とも顔をつきあわせてあれこれ。一度行けば 次からはもう友達感覚になれる。

若者も年寄りもそれぞれがこの街歩きを楽しむ。地元では 気の合うもの同士 また、ひとりそっと出かける場所である。それこそ 昭和レトロ・先端の若者の街など 映画の世界かテーマパークの中に迷い込んだ感覚。休日ともなれば 若者から高齢者まで 多くの人が行きかう神戸や阪神間では誰もが知る商店街。そんな 誰にも愛された「高架下」。上を電車が走る高架の耐震補強で立ち退きを迫られている。

街がよそ向きのきれいな顔にどんどんってゆく一方。 そんな中で ふらっと普段着で行ける街である。

神戸のホッとする空間が消えてゆくのがなんとも寂しい。なんか ならぬのかと。。。。。

5月8日 新開地のジャズストリートへ出かけたら、あるストリート stage で 自作の歌「モトコーを歩こう」を歌うグループに聞いている人がみんな手拍子で答えて 盛り上がっていました。

みんな 『高架下は好きなんや』『高架下』残ってほしいなあ。。。。と。

そんな思いも込めて、先日 新開地ジャズストリートで聞いた『モトコーを歩こう』のメロディーを添付

© 2016. 5. 8. 新開地ジャズ ストリート ライブで聞いた『モトコーを歩こう』

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/2016mutsu/fkobe1605motokowoaruko.mp3>

2016. 5. 8. Mutsu Nakanishi

【 From Kobe 2016年7月 】

梅雨明けが待ち遠しい 7月初旬

神戸 そぼ降る雨の 街明かり Happy Rainy Days!!

6月23日 沖縄慰霊の日

「命は宝」

平和な日々の実現に

《ぶつぶつ from Kobe 》

1) 征夷大將軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」の評価討論から見えてくるもの

NHK BS 英雄たちの選択 「衝突!その時 男は何を見た 征夷大將軍・坂上田村麻呂」 2016.5.26. より

2) 「合成の誤謬」と今の世相 インターネットで見つけた「合成の誤謬」の評論を見つけて



2016.6.1. 田圃に水が入り、一機に田園風景が初夏モードに 2016.6.1. 東播磨加東市で



刻々と色を変えてゆく庭の紫陽花 雨上がりの朝は一層鮮やかに

ゴールデンウィークが過ぎて 田圃に水が入ると 野山も里も一機に景色が初夏モードへ

ふっと気が付くと この時期 街で過ごすことが目白押し。

例年の中間の会に 「今この年やから 同窓会やろう」との誘いに
うれしくて出かけてゆく。

この梅雨は「年寄りのゴールデンウィークだ」とハッと気が付く
Happy Rainy Days !!

日頃 近くにいながら なかなか出会えぬ仲間たち また 50年ぶりの
仲間にも出会え、久しくご無沙汰している山口美弥の田中さんご
夫妻そして「パナン島で私のかつての仕事仲間に随分世話になった」と
古い大学仲間 仲間も神戸を訪ねてくれた。

また 季節の便りを添えて【サクランボ】が届いた。



夏の朝顔ほか苗の準備を家内がせっせと進めている

孫たちも梅雨をものともせず、元気に頑張っている。「教えてくれた ジョージ カーリンの言葉 みんなにも配ったよ」とカントリーライブに誘ってくれた仲間が言う。「そや 100になったら赤ちゃんや 一度 私もみなければ」と年寄りの二人暮らし「うれしいねえ」と多くの仲間と健康に感謝としつつ、Happy Rainy Days!!
次は高校野球の予選 母校の応援に。これが始まると梅雨明けと暑い夏の到来
無理せず 元気に今を過ごしたい。

2016.6.20. 神戸にて Mutsu Nakanishi



2016.5.21. 西六甲縦走路 梅尾山から眺める明石海峡 遠望



《 いつまでも若くいるコツ 》 by ジョージ カーリン

1. 年齢、体重、身長など、どうでもいい数字は気にしないこと こんな事は医者任せましょう。そのために医療費を払っているのですから。
2. 元気な友達とだけ付き合うこと 愚痴しか言わない人といると、こちらの気持ちも暗くなります。
3. 生涯学習あるのみ コンピュータ、工芸、ガーデニング、ハム無線、なんでもよいので学ぶ姿勢を持ちましょう。脳を怠けさせない事。怠けた心には、衰えという悪が宿ります。
4. 単純な事を楽しみましょう
5. 沢山、長く、大きな声で、お腹が痛くなるくらい笑いましょう
6. 悲しみ、耐えて、そしてまた進む 涙も出るでしょう。しかし一生付き合い合ってくれるのは、自分自身です。命ある限り、自分の人生を歩みましょう。
7. 好きなものに囲まれて暮らしましょう 家族、ペット、思い出の品、音楽、植物、趣味、何でもいいですから好きなものに囲まれて暮らしましょう。家は自分の居心地の良い場所なのでから。
8. 体を大切に！ 今健康ならそれを維持し、悪いなら、改善に努めそれが無理なら、助けを求めましょう。
9. 後悔しないこと ショッピング、隣町、外国、とにかく後悔する気持ちを忘れさせてくれる場所に出かけましょう。
10. どんな時でも、大切な人に「愛している」と伝えましょう

そして忘れてはいけない事: 人生とは、自分が息を吸う数ではなく息を吐く瞬間で測定するものです。充実した毎日を生きましょう!!

でも ひとりより仲間。年々出会うのが難しくなってきましたが、仲間の笑顔はみんなの応援歌と。みんなまだまだ元気。好奇心もある 仲間が頼りですが、時には 助けてもらいながら 無理せず 前向いて
『From Kobe 梅雨明けが待ち遠しい 7月初旬 』 Happy Rainy Days!!

2016.6.20. 神戸にて Mutsu Nakanishi

《ぶつぶつ from Kobe 》

1] 征夷大將軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」の評価討論から見えてくるもの

NHK BS 英雄たちの選択 「衝突!その時 男は何を見た 征夷大將軍・坂上田村麻呂」 2016.5.26. より

2] 「合成の誤謬」と今の世相 インターネットで見つけた「合成の誤謬」の評論を見つけて

【1】 征夷大將軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」の評価討論から見えてくるもの

NHK BS 英雄たちの選択 「衝突!その時 男は何を見た 征夷大將軍・坂上田村麻呂」 2016.5.26. より

出演：磯田道史、赤坂憲雄、里中満智子、宮崎哲弥、鈴木拓也



坂上田村麻呂



古代の城柵「志波城」を復元した歴史公園



時は平安遷都を行った桓武天皇の時代。遷都と並ぶ国家プロジェクトが東北の蝦夷の制圧だった。大きな期待を背負い戦った坂上田村麻呂は、蝦夷のリーダー・アテルイを降伏させることに成功する。しかし田村麻呂はアテルイから助命を要請される。

朝廷の大反発が予想される中 命を救う行動にできるか、それとも 敵将処刑やむなしと突き放すのか？

国家の方針で蝦夷と衝突し、そして蝦夷の実像を知っていた田村麻呂の苦悩に迫る。

インターネット NHK オンデマンド PR コピーより

アテルイは東北では英雄であるが、他では「鬼」・「悪路王」・「逆賊のリーダー」であり、坂上田村麻呂は逆賊を制圧した英雄である。

敵のリーダーアテルイとモシの度量と人柄を評価していた田村麻呂は まだ帰順せぬ蝦夷たちへの説得工作も視野にあったと推察されるが、助命を嘆願するも、彼らの謀反を恐れる貴族たちの反対もあり、2人は処刑された。この場面で、坂上田村麻呂の選択を支持するのか、それとも反対するのか？

4人のコメンテーターがどちらの選択をするのか？ コメンテーターの意見・討論で番組が進む。

「多分 東京や都市圏で仕事をする2人は処刑を選択し、地方で仕事する2人は助命を選択するだろう」と

家内と話をしながら見ていたのですが、ドンピシャ。興味深々で4人の評価討論を見ていました。

帰属意識を捨てて、一般常識的に考えると

「平和な暮らしが続いている蝦夷の人たちにとっては、突如 仰天の未知なる新しい社会秩序への選択を迫られたわけである。怒るのもあたりまえであろう」。

でも 大和の中央集権政権側からの勝手な都合からいうと喉から手が出るほど新秩序に組み込みたい。

「小を殺して大をとる」と。

この構図は沖縄問題・東京と地方・アフガニスタン&中東紛争 そして 最近の政権の政策運営・自民党議員の言動・もっと直近では東京都知事問題等々にあまりにも極似していることに驚く。特に最近の安倍政権の「課題を2/1化して、敵か味方かを迫るかやり方」は目に余る。

「右か左」「2/1の選択」は どちらかしか解がないように誘導した幻想土俵を作り上げ、ややもすると帰属意識のぶつかり合いで、決着をつけようとする。それは必ずしも「真ならず」と思うのですが……………。

もっとおだやかな時間をかけた解決策があるはずだと……………。

いいかえれば、性急なスピードオンリーの今の価値判断がどれほど間違いだらけであったかは今の社会情勢を見れば、明らか。相手の暮らしを考えず、自分の暮らす社会の常識だけを判断根拠とするいわば 島国根性的発想になりやすい「2/1の判断」は本当に正しいのだろうか……………。 そんなことが 垣間見える番組でした。

最後に東北学を提唱推進されてきた赤坂憲雄氏は

「いずれにせよ 坂上田村麻呂・アテルイは 二人して 次の時代を切り開いた英雄に違いない。

中央政権はこれ以後 秋田城・志波城を築き、さらに北進してゆくが、武力での制圧を捨て、同化政策を採っていく。

この政策転換にも 大きな影響を与えたに違いない。現代社会も彼らに学ぶことが多い」

と結ばれた言葉が強く心に響いてくる。解はなく人それぞれ。でも 私には考えさせられた有意義な討論でした。



須磨アルプから眺める北の横尾団地から 妙法寺・鶴越方面 2016.5.21.

2016.6.1. from Kobe Mutsu Nakanishi

2. 「合成の誤謬」と今の世相 インターネットで見つけた「合成の誤謬」の評論を見つけて

「合成の誤謬」という言葉をインターネットのビジネス評論の中で見つけた。ぼんやりとは知っていましたが、評論を眺めていて、この言葉は「日本人の気質・知恵」を言い表すのに大事な言葉だと。

部分の最適化が全体最適と相容れないケースの話を指す言葉である。

例えば、映画館で火事が起きたとしよう。個人の生存を考えればできるだけ早く逃げ出すことが正しい。

最初に脱出するのと、最後に脱出するのではリスクが違う。

だから個人の最良の選択肢は「誰よりも先に逃げ出す」ことになる。

しかし、全員が同じことを考えれば、狭い出口に人が殺到し、将棋倒しになって誰一人助からないということも

起きかねない。こうした場合に全体最適化をするためには退出順序を決め、全体の効率を上げて

「最後の人を最も早く脱出させる」方法を考えることが一番だ。

以前 紹介した高速道路の合流の話 また電車バスの整列乗車等々

「譲り合い」「やさしさ」などとも紹介されてきた日本人は比較的得意な分野で、日本人が長年にわたる経験から体得してきた技でもある。

この話をよくよく考えてみると 今の時代 外国人たちが表向きは「日本の美徳・おもてなし」どの言葉で評価している事柄の中に この「日本人の知恵」と呼ばれる分野の行動がたくさんあると はたと気が付く。

また、逆に グローバリゼーション・アメリカ至上主義の名のもとに「デジタル・スピード・効率」を錦の御旗のごとくはやし立て、自らの経験の中で体得してきたこの「合成の誤謬」を避ける知恵を今 日本人は去ろうとしているのではないか?。厳しい競争社会の中で生きること晒されてきた諸外国の人たちには 体得しえなかった知恵であろう。

明日は我が身 気が付いた時には すでに時は遅しである。

これらの行動は日本人の中で 表向きどう語られているのだろうか?

本音と建前。 正当な評価を与えず、「日本人の美徳」 また 正反対に「茶化した行動」としてしか 語られない向きも多いが、今の時代だからこそ この「合成の誤謬」の視点で これを避ける知恵をもう一度見直すことが本当は極めて重要。

日本人に根差したやさしさ 白黒をつけるでなし 周りを眺め、ゆっくりと流れてゆく道を探す

縄文の時代から日本人が心の奥底ですっと育ててきた気質・知恵に 諸外国の人たちがあこがれを持って見つめていることを日本人はもっと知るべきではないでしょうか・・・・・・。

2016.6.1. from kobe Mutsu Nakanishi

参 考

インターネットのビジネス評論の中に「中古車で十分」の先に起こる日本の不幸化と題して この「合成の誤謬」について「週刊モータージャーナル」に書かれた池田直渡氏の評論がある。

ぼんやりとした 知らなかった「合成の誤謬」の言葉を見直し、考えてみるきっかけになった評論。

私とは立場も意見も異なり、 結論が書かれているわけでもないが、今の時代の世相や疑問を直視し、

「合成の誤謬」の視点から日本の経済環境をやさしく書き表した評論と思え、随分参考になりましたのでご紹介。



2016年05月30日 08時00分 更新

池田直渡「週刊モータージャーナル」：

「中古車で十分」の先に起こる日本の不幸化

「新車なんて買えない。中古車で十分だ」。これが今の日本の消費者のリアルな声だ。

そこには日本経済の停滞が大いに関係するのは言うまでもない。

この連載の重要なテーマは日本の自動車産業のゆくえである。クルマが売れる、売れないの話は、日本経済がもっと強くなるためにはどうしたらいいのかという視点で書いているつもりだ。

当然それは企業だけが儲かればよいという話ではなく、国民全体が豊かで幸せになることへとつながっている。

もちろん読者の個人個人に同じ視点の持ち方を強要するつもりはないから、そこは自由に読んでいただいて構わない。

ただ新車の売れ行きの話をするると非常に多く目にするコメントがあり、ちょっと気になっているのだ。

1. 低所得時代のクルマ選び 「新車なんて買えない。中古車で十分だ」

それは、日々生きていく中で、高いリアリティを持つ言葉だと思う。正直な話、筆者も個人的に同感なのだ。中古車で十分。というより、それがベターな選択肢だと思う。何よりもない袖は振れない。選択肢がないのだから仕方がない。

会社員として生きていくとしたら、毎年のベースアップが当たり前という時代はもう失われて久しいし、むしろ会社の業績いかによっては給料が下がる心配をしなくてはならない。転職しようにも、給料が上がるのはどんどん限られた層のものになっている。今や給料が増えるどころか、何かあって会社を辞めざるを得ないとき、経験を生かした転職ができるだけでも恵まれた人だと言える。未来に対する安心材料はいっこうに増えていく気配がない。

「閉塞した状況を打破するためには起業しかない。アニマルスピリットを持ってチャンスをつかめ」という声は常にある。

日本という国の活力や競争力を考えたとき、この国には起業家がまったく足りてないというのも事実である。

だから起業して成功した人はヒーローのようにもてはやされていたりする。

しかし、実態としてその成功率がどんなものかと言えば、起業1年後の生存率が40%。5年後は15%。10年後は6%。20年後になるとわずか0.3%に過ぎないと言われている。

実はこの数字、国税庁の2005年調査だということであちこちで引用されているが、元ソースがどうやっても見つからない。筆者も散々探したが、同じように困っている人が見つかるのみだ。

しかしながら、税理士などの現場を見ている人たちの実感として概ね正しそうだという声もあるので、一応信用することになると、起業した1年後には半分は敗者になっているし、10年後の生存率は1割を割り込む。

この数字を見て起業に挑もうとするのは酔狂だ。

つまり、収入増をアテにした作戦はどうやっても立てられない。となれば、現実的な対応策は出費を減らす以外にない。

企業経営でもそれは同じだ。売り上げアップや高付加価値化は常にミズモノで、成果が出るかどうかはやってみるまで分からない。やれば必ず成果が上がるのはコストダウン、つまり出費の抑制だ。

企業も人も、お金を使わないことこそが最も確実な「負けない方法」なのである。

だから出費を抑えるという意味で「中古を買うのは正しい」のだ。

ギャンブル的要素もあるので、一概には言えないケースもあるが、それはまた別のテーマとして書くことにする。

2. キーワードは合成の誤謬

さて、節約は堅実な戦法であるとして、皆でやるとどうなるだろうか？

経済の世界には「合成の誤謬（ごうせいのごびゅう）」という言葉がある。

部分の最適化が全体最適と相容れないケースの話だ。

例えば、映画館で火事が起きたとしよう。個人の生存を考えればできるだけ早く逃げ出すことが正しい。最初に脱出すると、最後に脱出するのではリスクが違ふ。だから個人の最良の選択肢は「誰よりも先に逃げ出す」ことになる。しかし、全員が同じことを考えれば、狭い出口に人が殺到し、将棋倒しになって誰一人助からないということも起きかねない。こうした場合に全体最適化をするためには退出順序を決め、全体の効率を上げて「最後の人を最も早く脱出させる」方法を考えることだ。

日本人はこういうことが比較的得意である。

例えば、電車の乗り降りの際、降りる人を優先して左右に分かれて出口を広く開け、降りる人の退出を最速化することが、結局は乗り込む人が最も早く乗れる方法だということをほとんど誰もが知っていて、駅員が整理を行わなくても自然にフォーメーションが実行されている。世界的にも恐らくは希なことだと思う。

仮に単語としては知らなくても、日本人は合成の誤謬を実践レベルで知っているのだ。

こうした合成の誤謬の観点から冒頭に記した中古車購入の話を見たらどうなるか？

それはもう言うまでもないだろう。新車が売れなくなってメーカーの業績が下がる。業績が下がるからサプライヤーを含めた自動車産業従事者の給料が下がる。労働人口の10%を占めると言われる自動車産業従事者の所得低下は消費を押し下げてほかの産業の業績も下げることになる。

こうして国民大部分の給料が下落すれば、より中古車指向が強まっていき、そのスパイラルは再度日本を深いデフレの淵へ飲み込んでいく可能性があるのだ。個人の判断としては正しい「消費の抑制」が、合成の誤謬によってさらなる個人経済の悪化に循環的につながってしまうのである。

ここで「だから個人がお金を使わなくてはいけない。新車を買え」という結論を出すのは短絡的に過ぎる。

全員がそうすれば確実に状況は変わるが、気の早い人だけが尻張って新車を買ったとしても、多数派が追随しない限り結果は変わらない。結果として全体最適化につながらなければ、個人的判断の間違いになるだけのことだ。

3. 出口はあるのか？

こういう状況だから出口は簡単ではない。ほかの指標を見ても分かるのだ。

これだけ税収が足りないと云いつつ、なぜ国の借金が増え続けていくのか納得かいかない人は多いだろう。

それはこういうことだ。

個人が消費を抑制し、企業がコストダウンをして内部留保を貯める。それは金融機関にどんどん貯め込まれる。

貯め込まれたお金には当然金利が発生するので、銀行は何か運用しないわけにはいかない。

個人も企業もお金を使う気はないので、国に使ってもらうしかない。

もし誰も使う人がいなければ預金金利を払えず銀行が潰れるのだ。

それは銀行という企業の問題ではなく金融システムの崩壊だ。

となれば国が国債を発行するしかない。そして国債を発行して財源を用意してしまった以上何かに予算を付ける。

そうやって「国民の借金」が増えていく。

生活者としての実感と正反対の話だが、今世界中で起きている現象は「金余り」だ。

だから日本は国債残高がどんどん増えていくし、余ったお金の運用先を求めているから、常に世界のどこかでバブルが発生することになる。という遠回りをして、ようやくクルマの話に戻る。

「新車が売れないと言ったって、それは中古車が使い物になる間だけでしょ？」という人もいる。それはその通り。

機械である以上寿命があるので、中古車はやがて淘汰される。その間新車が売れなければ、未来の中古車の供給は減り、中古の競争率が高くなる。新車と違って相場商品である中古車の受給が引き締まれば、中古車がどんどん値上がりすることになり、

価格差がなくなって新車の売れ行きが戻るのだ。だから一時的なものに過ぎないという見方は正しい。
しかし、企業経営というのはそういう波に弱い。「要らない」と言われて新車生産を調整してきたところで、突然新車が売れるようになって生産量には限界がある。ましてや「要らない」と言われている間に生産設備自体を処分してしまう場合だってある。そうなればもう簡単には元に戻れない。
財の生産装置としての自動車メーカーを健全に維持していくためにはコンスタントな需要があることが理想なのだ。働いている人だって「来年給料を倍払うから今年は無給で働いてくれ」と言われたら干上がってしまう。
企業も同じだ。

4. 問題に直面するロードスター

「中古車で十分」という言葉の向こうにはこういう問題が横たわっているのだ。
マツダ・ロードスターなどはこの問題に直面していると言っても良い。
初代NA型以来、最新のND型まで、クルマとしての本質的価値は変わらない。
変わらないということは素晴らしいことだが、ユーザー側に見れば どうしても新型を新車で買わなければならない理由は乏しい。ロードスターの最大の敵は旧型ロードスターなのだ。
価格も程度も幅広く、選り取り見取りだ。しかし、あまりにも多くの人がそういう合理的な判断をすると、25年続いたロードスターの歴史が途絶えてしまう。中古のロードスターを合理的に選択しておいて、いざ「NE型は出ませんでした」となったとき、「あんな名車の生産を止めてしまうなんておかしい」と叫んでも後の祭りである。

さてこの話、処方せんは何もない。こうすればそうならないという方法があるわけではないのだ。
個人としての合理的選択を否定したら自由経済が立ちいかない。
だからただ1つ、合理的選択をするときに合成の誤謬という視点を思い出してほしい。
そういう考え方があるということを知った人が多ければ、消費の仕方が変わるかもしれない。
なぜなら電車の乗り降りだって同じだからだ。
誰か一人だけ脇に避けても、効率は改善せず、その人の乗り込む順番が遅くなるだけだったはずなのだ。
しかし、日本人は多くの人のマナー向上という方法で、全体最適を実現して見せているのである。
救いがあるとしたらそれは知恵だけなのだ。

2016.5.30. 池田直渡「週刊モータージャーナル」：「中古車で十分」の先に起こる日本の不幸化 より転記



須磨アルプから眺める北の横尾団地から 妙法寺・鶴越方面 2016.5.21.



【 From Kobe 8月 ひまわりの夏 2016 の 便り 2016.8.5 .】

2016年 ひまわりの夏到来 お変わりありませんか
暑い酷暑 熱中症にかからぬようご注意ください

「蝸牛 角ふりわけよ 須磨明石」 梅雨明けを待ちかねたように一斉にセミが鳴きだし、
久しぶりに登った山からは須磨の海が遠くまで見渡せる 気持ちも晴れ晴れですが、酷暑が定番となった暑い夏



今年も奥播磨に原チャリを走らせ、
元気なひまわりに出会ってきました。
黄色のまん丸の顔・顔・顔
一斉にこちらを向いて「よう!!」と
この姿に出会いたくて 通いだしてもう何年になるで
しょうか? 緑の山里を駆け抜ける爽快感と明るいひ
まわり 私の夏迎え
みんなにも ひまわりの元気な姿を届けたい。
「2016 ひまわりの夏
2016.8.5. from Kobe
Mutsu Nakanishi



東播磨 小野のひまわりの丘で ひまわり畑を埋め尽くす 元気な顔に出会えました 2016.7.11.



2016.7.20. 奥播磨 奥播磨佐用 林崎 & 宝蔵寺の郷で

◆ 8月 自らと向き合って 平和の危機「憲法九条を守ろう」

法政大学田中優子氏の憲法論議についての視点のご紹介

2016.8.1. From Kobe by Mutsu Nakanishi

8月1日の神戸新聞の朝刊の「月曜オピニオン 識者の視点」の欄に掲載されていた

法政大学田中優子総長の意見文「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」との記事に目が留まった。今の政治を「理想や理念の創造力よりも 政治の技術を重視し、誇り、それに頼ってことを進めているように見える」と述べられている。

いろんなことが去来する8月 仲間・家族 そして社会のこと等々。でも 毎日がなんとわなしに過ぎてゆく。そのありがたさを感じつつも、見聞する社会の激しさ・異常さ・地球環境変化の おそろしさなど先行きへの不安感は増大の一途を。そして「国際・グローバル化」の衣に包んで ひたひたと進む戦争への踏み込みが急速に進む勢い。刹那的な今の利しか追わない政治が多数派を占め、平和主義憲法の砦「憲法九条」の危機が現実のものに。

いつも 選挙のたびに 感じていましたが、今度ばかりはついに少数派 ほんとなんか… こんなに多数派の人たち婆多いのか…とそのギャップの大きさに意気消失。

最近では 多数派ではないなあ…と感じることの多いシルバー世代 自分の身の置き所のなさに無力感ただよ。若者が老練な政治に翻弄されているように見えて仕方がないのですが、どうせ 年寄りのボヤキ 口はだすまいと。

そんな8月の初め 心と見た新聞に法政大学田中優子総長の意見文

「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」の記事が目にとまり、勇気づけられました。

(今の政治)は「理想や理念の創造力よりも政治の技術を重視し、誇り、それに頼ってことを進めているように見える」と
「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」と。

神戸新聞 2016. 8. 1. 朝刊 「識者の視点」欄 法政大学総長田中優子氏の視点より

田中優子氏の視点の私の理解は次の通り。

今まさに政治・憲法論議の転換点にあるこの時にも

「今の政治家たちは創造力・知恵のなさをひた隠し 政治の職人たちの政治手法に多数の人たちがたぶらかされてしまっている」との視点と読みました。

今の政治家が一番隠したいことに、ズバーと切り込む鋭い視点である。

「平和憲法を守る」というと まるで骨董品のように、そんなことで平和が守れるか?と門切り型の攻撃が来る。

でも 日本が戦後著しい復興を遂げ、繁栄を謳歌できるまでに成長できたのも 戦争に巻き込まれなかったことによることが大きい。昨今の周辺諸国を見るだけでも 明らかですが、多数派はこれを評価しない。

またそろ「そんなことで 国を守れるか…」とほかのことでは「個人・個人という」連中が 異口同音 国を持ち出す。何か信用ならぬ裏があると感じるのは 私だけか……。

また、縄文人は厳しい生活の中で 世界に類を見ない1万年を超える永続社会を維持し続けたことが明らかになっている。ここにもまた、平和を愛する日本人の心・知恵が生きていることに世界が注目する。

「日本の縄文ぐらい 勉強すればいいのに」と思うのですが…

今は受け継ぐ政党もなくなった革新少数派。多数派の思うがままに 少数派の力がますます封じ込められている、そんな 少数派の意見の中にこそ、しっかりと時代を見つめる視点・正論がうずもれている。

今 声をあげねば……。

少数派・多数派どちらにもくみせず、冷静に今も分析するに憲法論議のスタート論・視点是非 憲法論議 平和を考える視点として 一読・一考をとご紹介。

次ページに 神戸新聞に掲載された田中優子氏の視点を転記させていただきました。

法政大学総長田中優子氏の意見文 「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」
参考になればと記事を転載させていただきました。

米大統領選でのトランプ氏人
気過激派組織「イスラム国」(I
S)が絡むテロの拡散、英国の欧
州連合(EU)離脱方針など、世
界は共存から対立へ大きく動いて
いる。その中で日本では先の参院
選の結果、自、公明の与党に
一部野党を加えた「改憲勢力」が
非改選を合わせて全議席の三分
二を超えた。

憲法96条は改正について「各議
院の総議員の三分の二以上の賛成
で、国会が、これを発議し、国民
に提案してその承認を経なければ
ならず、国民投票で「過半数の
賛成を必要とする」と定める。改
憲の意志と草案を明確に持つ自民
党が、他党との調整は残るものの、
その発議権を手にしたというのが
今回の参院選の意味である。自民
党がこの好機を逃すはずがない。
国会発議と国民投票はおこなわれ
るだろう。

政治の職人

EU離脱を決めた英国の国民投
票を思い出す。離脱が国民経済に
どんな結果をもたらす、何が起

識者の視点

るのか、よ分からないうまま、あ
るいは間違った情報を鵜呑みにし
て投票し、「後悔」した人々が少
ななかつたという。改憲勢力に
投票した日本の方々は、然
自
民
党
の
改
憲
案
を
読
ん
で
い
た
ら
う。だが一方で、無作為に聞いた
人々の半分以上が「三分の二」と
いうキーワードを知らなかったと
の報道もあった。背筋が寒くなる
時。

自民党の改憲案では、天皇を
象徴から元首に変え、国防軍を創
設し、家族を基盤とする国づくり
を打ち出している。公明党は、改
憲ではないかのように「加憲」と
いう表現を使うが、自民党草案も
9条の部分は9条9項「国防軍」、
9条3項「領土等の保全」などの
「加筆」が大半である。公明党の
「加憲」はこう連つたのか。

法政大総長

田中優子氏

改憲論議 事実知る努力を



たなか・ゆうこ 1952年横浜市
生まれ。法政大大学院修了。2014
年4月から現職。専攻は近世文学、
アジア比較文化。著書に「自由とい
う広場」「江戸百夢」など。05年紫綬
褒章。

国民投票に備える

改憲と経済が別々の争点である
かのように受け取る人もいる。両
者を無関係に見せかけているの
は、政治手法だ。どうやら今の自
民党には政治の「職人」がいる。
理想や理念の創造力よりも政治の
技術を重視し、誇り、それに頼っ
てことを進めているように見え
る。

むん、アベノミシスの経済効
果を期待して投票した方々は、そ
の経済成長路線が、改憲草案の国
家像を前提にしたものであること
なく、とくに存在しないのである

連携の象徴

共存から対立へ、世界が動く背
景には権力構図の変化がある。米
国は世界の方角を決める力を失
つつある。実際、イラク戦争以降、
問題を広げるばかりで制御でき
ない。そこで、だいた前から米
国は「連携強化」という名の「困
い込み」を強めている気がする。
その象徴が沖縄だ。日米両政府
の沖縄への執着は、そこに暮らす
人々の協力を得られるのか、とい
う大きな問題を含めて、基地とし
ての適否を現実的に検討するだけ
の冷静さを欠いている。そしてそ
の背後には多くの日本人の無関心
があり、世界の米軍基地の現状や
周辺の暮らしに対する多くの米国
人の無関心がある。

連携強化の象徴が沖縄だとすれ
ば、その要は改憲にある。「日本
独自の憲法に」と言う政治家がい
るが、本気だろうか？ 日本にし
かない、新しい世界の方角を示す
憲法とは、今の憲法のことである。
自民党が目指している憲法とは、
米国の求める連携強化の中で生

れた、君主と軍隊を持つ「普通」
の憲法である。
政治をたけが国や社会をつくる
わけではない。いま必要なのは
政治家や官僚に丸投げ、おまかせ
にしない姿勢である。外国人の差
別や排斥、好戦的な世相が今後も
強まっていくようなら、それは政
治の技術に私たちが乗せられてい
るからだ。政治の現場では、国内
の格差問題を他国に責任転嫁し、
国民の排外感情をあおるといふこ
とが平然とおこなわれる。意図的
に戦争準備に入ることで、大企業
による「戦争経済」を活性化しよ
うとする。

月曜日(210)

【From Kobe 9月 初秋の便り 青空を吹きわたる爽やかな風に気分も新た .】

◆ From Kobe 地球の気象異変をわが身のものとして 考えよう!!

2016.9.5 by Mutsu Nakanishi



西神戸の田園地帯も黄金色に色好きはじめ、果樹園では秋の収穫が始まりました 北神戸 淡河の里で



西神戸の初秋の味覚 イチジク・葡萄・梨 朝採りの出荷がたけなわ 西神戸性海寺で

さすがの酷暑も朝晩はめっきり涼しくなってきました。

真っ青に澄み渡る大空を わやかな秋の風が吹き渡り、蝶やアキアカネが山を渡ってゆく
里の田園は黄金色に色づき、傾斜地の果樹園には ブドウ・イチジク・なしなどの果実がいっぱい
また、新学期が始まった街の通りを 子供たちがかけてゆく
夏の喧騒から ゆったりとした秋の訪れに「気分も新た」新しい風にもふれたいなっあと

◆ 地球の気象異変をわが身のものとして 考えよう!!

2016.9.5. by Mutsu Nakanishi

オリンピックに沸いた8月でしたが、やっと終わって静かになったというのが本音。

終わってみれば、芸能化した有名スポーツ選手の顔しか浮かばない。

高い放送権料を払っての「金や銀や銅やと」そればっかしのオリンピック放送はやめてもらいたいが、次の東京はもっとエスカレートするのだろう。この現状路線のパターンは 東京への一極集中をさらに進め、次世代を担う日本先進化の取組をさらに遅らすことになるだろう。

「今のままのオリンピックは もう役割を終えた」と感じるのは 私だけだろうか・・・
政治も経済も 早く東京一極集中から脱して先進方向に舵を切ってほしいもの。

今月はぶつぶつというまいとと思っていましたが、8月の報道「オリンピックそして東京都知事選・参議院選挙」などを聞くとやっぱり気になる。

おりしも8月 日本各地では地球温暖化による台風・ゲリラ豪雨に雷など経験したことのない気象異変の猛威災害に日本各地が襲われ、平穏な日常が一瞬にして危機へと変わった。

流される映像と各地で日々頻発される集中豪雨の警報にその猛威のすごさは 他人ごとではない。

都市洪水のすごさ 雷の猛威は年ごとにエスカレート。

今までの防災設備と意識では守れない限界に近づいている。

今もてはやされ始めている「物のインターネット (Internet of Things : IoT)」などは 雷や都市洪水の前にはひとたまりもない。

落雷による都市圏交通網の混乱と同じことが、都市社会全般にさらに拡大してゆく。

「地球規模の巨大災害が ますます拡大してゆく時代に入った」と専門家は指摘する。

経験したことのない環境変化が進む中で、「ストップ ザ 温暖化」はもう無理。でも軽減・防備への対策行動は今 スタートしないとますます厳しくなる。

「限られた資源をどこに投入すべきか」は政治・国の大きな方向性「理念と資質」にかかわっている。

今 世界も大きく舵を切り始めたこの問題に「無作為な言葉の連呼」だけでは何も変わらないのである。

原因はもう後戻りできない毎年の海水温の上昇。

スピードを加速しつつ、今世紀末には気温が4℃も上昇するといひ、専門家たちはもう現実として、もとに戻すことはできぬという。

100mm/hr を越える局地的集中豪雨 猛烈な突風 そして すさまじい落雷などが引き起こすすさまじい脅威が 日本のおいたるところで その激しさを増しつつ、突然に何度も人それぞれに襲いかかる。

差し迫った危機がもう始まっている。そして 今ひとり一人の生き方に直接かかわっている。

オリンピックに名を借りた東京投資など 目先と仲間内ばかりに うつつを抜かす場合ではないのである。

年寄りといえども 厳しい時代がすでに始まっていることを認識して 前向いて生き抜かねばと。

次世代を担う若者たちにも時代に迎合することなく 未来をみつめ 自分の立ち位置をしっかりと。

この脅威の中で すでに被災された皆様に一日も早く救援の手が差し伸べられ、

立ち直られますよう。また、新しい方向転換が一日も早く始まるよう声をあげねば・・・・・・・・と。

おぼろげですが、何か不安をいだきつつ、もやもやしていた中身を知って

頭をガツンと打たれた思いでいます。

今 世界で起こっていることに自ら向き合おう。

先月 掲載した平和憲法擁護の立場から、「自らと向き合って 事実を知る努力を」と説く 法政大学田中優子総長の意見とも その根のところで 相通すると思える。

何もできなかった今年の8月でしたが、夜静かに ネットサーフィンしながら 考えさせられてしまいました。

2016.9月 暮らしに思いをはせて by Mutsu Nakanishi

◆ 再集録 「自らと向き合って 事実を知る努力を」

法政大学田中優子総長の意見 「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」より

**「理想や理念の創造力よりも 政治の技術を重視し、誇り、
それに頼ってことを進めているように見える 」**

神戸新聞 2016.8.1. 朝刊「識者の視点」 法政大学総長田中優子氏の意見文より

2016. 8月掲載分の再録 「自らと向き合って 事実を知る努力を」

8月 自らと向き合って 平和の危機「憲法九条を守ろう」より

法政大学田中優子氏の憲法論議についての視点のご紹介

2016.8.1. From Kobe by Mutsu Nakanishi

8月1日の神戸新聞の朝刊の「月曜オピニオン 識者の視点」の欄に掲載されていた

法政大学田中優子総長の意見文 「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」との記事に目が留まった。今の政治を「理想や理念の創造力よりも 政治の技術を重視し、誇り、それに頼ってことを進めているように見える」と述べられている。

いろいろなことが去来する8月 仲間・家族 そして社会のこと等々。でも 毎日がなんとわなしに過ぎてゆく。そのありがたさを感じつつも、見聞する社会の激しさ・異常さ・地球環境変化の おそろしさなど先行きへの不安感は増大の一途を。そして「国際・グローバル化」の衣に包んで ひたひたと進む戦争への踏み込みが急速に進む勢い。刹那的な今の利しか追わない政治が多数派を占め、平和主義憲法の砦「憲法九条」の危機が現実のものに。

いつも 選挙のたびに 感じていましたが、 今度ばかりはついに少数派 ほんとなんか… こんなに多数派の人たち婆多いのか…とそのギャップの大きさに意気消失。

最近 は 多数派ではないなあ…と感じることの多いシルバー世代 自分の身の置き所のなさに無力感ただよ。若者が老練な政治に翻弄されているように見えて仕方がないのですが、 どうせ 年寄りのボヤキ 口はだすまいと。

そんな8月の初め 心と見た新聞に法政大学田中優子総長の意見文

「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」の記事が目にとまり、勇気づけられました。

(今の政治)は「理想や理念の創造力よりも政治の技術を重視し、誇り、それに頼ってことを進めているように見える」と
「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」と。

神戸新聞 2016. 8. 1. 朝刊 「識者の視点」欄 法政大学総長田中優子氏の視点より

田中優子氏の視点の私の理解は次の通り。

今まさに政治・憲法論議の転換点にあるこの時にも

「今の政治家たちは創造力・知恵のなさをひた隠し 政治の職人たちの政治手法に多数の人たちがたぶらかされてしまっている」との視点と読みました。今の政治家が一番隠したいことに、ズバーと切り込む鋭い視点である。

「平和憲法を守る」というと まるで骨董品のように、そんなことで平和が守れるか?と門切り型の攻撃が来る。

でも 日本が戦後著しい復興を遂げ、繁栄を謳歌できるまでに成長できたのも 戦争に巻き込まれなかったことによることが大きい。昨今の周辺諸国を見るだけでも 明らかですが、多数派はこれを評価しない。

またそろ「そんなことで 国を守れるか…」とほかのことでは「個人・個人という」連中が 異口同音 国を持ち出す。何か信用ならぬ裏があると感じるのは 私だけか……。

また、縄文人は厳しい生活の中で 世界に類を見ない1万年を超える永続社会を維持し続けたことが明らかになっている。ここにもまた、平和を愛する日本人の心・知恵が生きていることに世界が注目する。

「日本の縄文ぐらい 勉強すればいいのに」と思うのですが……

今は受け継ぐ政党もなくなった革新少数派。多数派の思うがままに 少数派の力がますます封じ込められている。そんな 少数派の意見の中にこそ、しっかりとした時代を見つめる視点・正論がうずもれている。

今 声をあげねば……。

少数派・多数派どちらにもくみせず、冷静に今も分析するに憲法論議のスタート論・視点

是非 憲法論議 平和を考える視点として 一読・一考をとご紹介。

次ページに 神戸新聞に掲載された田中優子氏の視点を転記させていただきました。

法政大学総長田中優子氏の意見文 「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」
参考になればと記事を転載させていただきました。

米大統領選でのトランプ氏人
気過激派組織「イスラム国」(I
S)が絡むテロの拡散、英国の欧
州連合(EU)離脱方針など、世
界は共存から対立へ大きく動いて
いる。その中で日本では先の参院
選の結果、自、公明の与党に
一部野党を加えた「改憲勢力」が
非改選を合わせて全議席の三分
二を超えた。

憲法96条は改正について「各議
院の総議員の三分の二以上の賛成
で、国会が、これを議決し、国民
に提案してその承認を経なければ
ならず、国民投票で「過半数の
賛成を必要とする」と定める。改
憲の意志と草案を明確に持つ自
民党が、他党との調整は残るものの、
その発議権を手にしたというのが
今回の参院選の意味である。自
民党がこの好機を逃すはずがない。
国会発議と国民投票はおこなわれ
るだろう。

政治の職人

EU離脱を決めた英国の国民投
票を思い出す。離脱が国民経済に
どんな結果をもたらす、何が起

識者の視点

るのか、よみかたないまま、あ
るいは間違った情報を鵜呑みにし
て投票し、「後悔」した人々が少
なくなってきた。改憲勢力に
投票した日本人の方々は、自
民党の改憲案を読んでいただろ
う。だが一方で、無作為に聞いた
人々の半分以上が「三分の二」と
いうキーワードを知らなかったと
の報道もあった。背筋が寒くなる
話。

自民党の改憲草案では、天皇を
象徴から元首に変え、国防軍を創
設し、家族を基礎とする国づくり
を打ち出している。公明党は、改
憲ではないかのように「加憲」と
いう表現を使うが、自民党草案も
9条の部分は9条2項「国防軍」、
9条3項「領土等の保全」などの
「加筆」が大半である。公明党の
「加憲」はこう導くのだろうか。

法政大総長

田中優子氏

改憲論議 事実知る努力を



たなか・ゆうこ 1952年横浜市
生まれ。法政大大学院修了。2014
年4月から現職。専攻は近世文学、
アジア比較文化。著書に「自由とい
う広場」「江戸百夢」など。05年紫綬
褒章。

国民投票に備える

改憲と経済が別々の争点である
かのように受け取る人もいる。両
者を無関係に見せかけているの
は、政治手法だ。どちらか今の自
民党には政治の「職人」がいる。
理想や理念の創造力よりも政治の

技術を重視し、誇り、それに頼っ
てことを進めているように見え
る。
むしろ、アベノミクスの経済効
果を期待して投票した方々は、そ
の経済成長路線が、改憲草案の国
家像を前提にしたものであること
なく、とくに「共存」なのである

連携の象徴

共存から対立へ、世界が動く背
景には権力構図の変化がある。米
国は世界の方向を決める力を失
つつある。実際、イラク戦争以降
問題をひけるばかりで制御でき
ない。そこで、だいぶ前から米
国は「連携強化」という名の「困
い込み」を強めている気がする。
その象徴が沖縄だ。日米両政府
の沖縄への執着は、そこに暮らす
人々の協力を得られるのか、とい
う大きな問題を含めて、基地とし
ての適否を現実的に検討するだけ
の冷静さを欠いている。そしてそ
の背後には多くの日本人の無関心
があり、世界の米軍基地の現状や
周辺の暮らしに対する多くの米国
人の無関心がある。

連携強化の象徴が沖縄だとすれ
ば、その要は改憲にある。「日本
独自の憲法に」と言う政治家がい
るが、本気だろうか？ 日本にし
かない、新しい世界の方向を示す
憲法とは今の憲法のことである。
自民党が目指している憲法とは、
米国の求める連携強化の中で生ま

れた、君主と軍隊を持つ「普通」
の憲法である。
政治家だけが国や社会をつくる
わけではない。いま必要なのは
政治家や官僚に丸投げ、おまかせ
にしない姿勢である。外国人の差
別や排斥、好戦的益世相が今後も
強まっていくなら、それは政
治の技術に私たちが乗せられて
いるからだ。政治の現場では、国内
の格差問題を他国に責任転嫁し、
国民の排外感情をおおるといっ
とが平然とおこなわれる。意図的
に戦争準備に入ること、大企業
による「戦争経済」を活性化しよ
うとする。

スペインに「反々わき戦略」と
いう運動があるそうだ。「移民の
せいで医療費がぐらんである」
など、多様な問題の責任を移民に
転嫁しようとする言説を集め、デ
ータで検証し、事実を国民に知ら
せる。いま私たちに必要なのは、
こうした姿勢ではないか。事実を
知る努力を続け、事実を周知する
ことによって、事実無根のうわさ
と責任転嫁を排除する。そして、
国民投票に備えるのである。

月曜日(2016.8.1)

【From Kobe 10月 秋便り .】.

みのりの田を飾る彼岸花

身も心も弾む里の秋 秋到来に期待を膨らませています



10月 街の木々も色づき始め、市場には秋の味覚が勢ぞろい

刈り入れの始まった田の畦には彼岸花 里の秋 いよいよ 秋本番

西神戸・播磨の郷では 実りの田の畔を彼岸花が飾り、郷の入口には祭りの飾りつけ

そして 実りの田の収穫も始まり、元気にこの秋を楽しみたいと 毎秋のスケジュールが頭を巡る

秋の風物詩を訪ねて 戸外に出て遊ぶのも 共に酒を酌み交わすもよし 夜長静かに家で過ごすのも

また、運動会で孫たちの成長を眺めるのもうれしい。10月の便りをお届けします。

一日中 スカッとほれた秋晴れの天気がまちどおいしい毎日 いかがでしょうか

どこにいても すぐ答えてくれるWi-Fiスマホに毒されている精なのか 老化なのか 頭が回らなくなっているなあと感じることが多く、文章がなかなか書けず、悪戦苦闘。また おなじこといってるなあ……と。

もう 今月はやめました。 スッキリした話題もよう見つけませんでしたので、今月は 里の秋の写真のみに。

「いろんなこと思い浮かべて あれやこれややるより、どっしり集中するのが、ボケ防止に一番

精神統一して 瞑想にふけるべし」と聞きました。 そんな境地になれるか……と。

でも それなら 山登るのも パソコンに打ち込むのも みなおなじではないか……と。

「そんなこと言ってるから ボケてくるんや」と笑われました。

先日 この一年 病気と闘っている仲間が、今日は散歩に出かけてきたと我が家を訪ねてくれました。

嬉しかった。 仲間の元気が一番。 また 一緒に いろんな事やりたいなあ……と。

なにはともあれ、 好奇心を失わず 元気で 前むいてと……。

深刻な異常気象が引き起こす巨大災害 専門家はさらに地球規模でエスカレート もとに戻ることはないというもうこちらにも抜かりなきよう

仲間・家族がいる。 お互いの笑顔が 元気の源 引き続き よろしく願います。

2016.10.5 From Kobe by Mutsu Nakanishi

【1】酒蔵の旗が畦に立つ 東播磨の山田錦の郷を飾る彼岸花



酒米の郷 播州加東市木梨 幻の酒米「愛山」栽培地で
2016.9.24

酒蔵の旗が畦に立つ 東播磨 山田錦の郷 毎年の秋景色 今年は彼岸花が畦を飾って一層華やかに
昨年知った幻の酒米「愛山」 その栽培地 加東町にも行ってきました。



「山田錦」の栽培地で

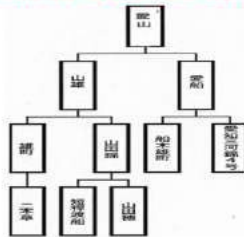
「愛山」の栽培地で

兵庫県産の「山田錦」と「愛山」。どちらも酒米（造り専用のお米）の最高峰であると同時に、栽培が非常に難しい品種でもある

昨年この加東市木梨の「愛山」栽培地に行って、「愛山」の歴史を知り、「山田錦」とともに「愛山」も兵庫県が誇る酒米と知りました。

◆【Iron Road】Country Walk
東播磨の田園に初秋を訪ねる 2015.9.11.
酒米「山田錦」の里 加東・三木吉川 & 多可
<http://www.infokkna.com/ironroad/2015html/walk12/1510kakogawa00.htm>

今年も 秋の訪れとともに すぐ頭に浮かんで、酒米「愛山」の栽培地 加東市旧社町木梨を訪れました。
昨年はあまり印象のなかったヒガンバナが畦を美しく飾って、畦ではたたく酒蔵の旗とともに 播州秋の風物詩 酒米の郷の美しい秋景色。



西神戸 白川の郷で こんなきれいな彼岸花の秋風景が撮れました



2016.9.24 西神戸 白川の郷で



2016.9.24 西神戸 白川の郷で



2016.9.24 西神戸 白川の郷で

【2】西神戸 実りの秋の郷景色



【3】秋の雲がある景色

今秋はよく空をみあげました



身も心も弾む里の秋 秋到来に期待を膨らませています
2016.10.5. From Kobe by Mutsu Nakanishi

【From Kobe 11月 秋桜の便り】.2016.11.5.

11月 秋桜便り 道端のコスモスに ふっと顔を寄せる by Mutsu Nakanishi

● 神戸港で一般公開 母船「横須賀」と深海調査船「しんかい6500」



天候もやっと落ち着き、街路の樹々も色づきはじめました

見上げる青空に 気持ちも晴れやか 飛び出して Good Luck!!

道端のコスモスに ふっと顔を寄せる

街にはジャズが流れ、数々のイベントに ぶらぶらの街歩きが楽しい

酒蔵・利き酒のイベントも 何とはなしに人恋しい秋です

力の衰えを感じながらも、空元気半分 好奇心はまだある。

ぶつぶつは言うまいと奮い立たせています。

なんやかや 勝手ごちゃまぜの神戸からの 2016 秋桜便り

爽やかな秋のコスモスの姿 お届け。毎度同じ秋風景ですが、あたらしい発見も……

毎度気持ちをすっきりさせてくれる志方の郷の秋桜の秋景色 今年もどっぴりと。

また、 昨今 日本の造船業の衰退が著しく、神戸での大型船建造も撤退のうわさ。

そんな中で、20年前 先端技術の粋を集めて、深海資源の探査の目的で建造された「しんかい6500」が神戸の港に入港し、公開された。

深海資源探査・海洋調査の分野の先頭に立って活躍中と聞く。

公開されたしんかい6500の見学会に参加できましたので、その様子をご紹介します。



東播磨の田園 里の秋 2016.10.15.
 2016 秋桜 東播磨 志方の郷のコスモス畑
 今年も加古川中流西岸の志方を訪ねました



有人潜水調査船「しんかい6500」 & 無人探査機「うらしま」
 支援母船「よこすか」に搭載されて 神戸に入港
 10月8日 神戸港 中突堤で一般公開されました 2016.10.8.



10月8日 神戸港中突堤で 有人潜水調査船「しんかい6500」 & 無人探査機「うらしま」とその支援母船「よこすか」が一般公開された。神戸港開港 150 年に合わせて 神戸で開催された国内唯一の海洋関連の国際コンベンション「テクノオーシャン2016」が6～8日、開かれ、その関連イベントとしての神戸一般公開である。

「現在も活躍中のしんかい6500の生の姿を見るまたとないチャンス。また「しんかい12000」についても知りたいし、母船と調査船の関係も……。こんな機会はまたとない」。興味津々で「しんかい6500」 & 「うらしま」そしてその支援母船「よこすか」の見学会に行ってきました。

「しんかい6500」が建造が進められた約20年前。直接携わったわけではありませんが、鉄鋼会社で厚鋼板材料とその溶接の仕事をしていた私には 思い出深い「しんかい6500」である。

6500mの深海に潜り、強烈な水圧に耐えうる真球殻構造を持つ船の建造が不可欠で、鋼に替わる強くて軽くしかも、真球殻構造の加工がしやすい厚板材料の開発とこれを歪が少なく組立溶接できる品質の良い接合技術が不可欠でした。

選択された6AL-4V-Tiの均質なチタン合金厚板の実用化製造技術とこのTi合金厚板を歪ませることなくつなぐ溶接技術として選択された電子ビーム溶接技術の完成。この技術が時代を先取りする先端技術として、当時材料技術の関係者の中では大きな話題であり、かつビジネスでもあり、何度か造船所を訪れたことがありました。

この20年の数々の成果・新発見を得て、海洋・海底資源探査とその開発競争が激化する一方、激変活発化する地球地殻変動や気象変動に対する海洋・海底変化の重要性が認識されるに至り、今 海洋・深海底探査の重要性が日増しに高まりつつある。しんかい6500などの深海探査の成果や後継調査船「しんかい12000」の話もを耳にすることも多くなりました。

今回の一般公開で戴いた資料を今後の深海探査を理解してゆくベース資料として収録しましたので ご参考まで。



2016.10.8. 神戸新聞夕刊より



10月8日見学会は9時スタートでしたが、長蛇の列 約2時間弱かかって「よこすか」船内に
有人潜水調査船「しんかい6500」、深海巡航探査機「うらしま」、支援母船「よこすか」。

3隻はいずれも神戸市で建造された最先端の技術を持った調査船舶。

「しんかい6500」「うらしま」は三菱重工神戸造船所、「よこすか」は川崎重工神戸工場で建造。

◎ 1989年完成の「しんかい6500」は1989年完成で全長9.7メートル、重さ26.7トン
専用に開発された2台の油漬均圧型リチウムイオン電池によって電力を賄い、通常潜航時間8時間
(6500mの潜航にはそれぞれ2.5時間かかるので 実際の調査は約3時間)

地震を引き起こすプレートや海底資源・生物を調査し、有人で潜れる深さは世界最高水準。
今年4月には小笠原諸島・南鳥島沖の深海底でレアメタル(希少金属)が含まれる球状の岩石
「マンガンノジュール」が密集しているのを発見した。

◎ 2000年完成の「うらしま」は全長10メートル、重さ約7トン。電池で航行。
コンピューター制御で巡航しながら海底の地形データなどを集め、連続航走距離と観測した
深さで世界記録を更新した。

◎ 一方、海上での両艇の整備などを担うのが支援母船「よこすか」 全長約105メートル、4439トン。
しんかいやうらしまを搭載できる格納庫があり、2隻の活動をバックアップする。

1990年、しんかい6500の支援母船として建造された。

実は数多く写真を撮ったのですが、そのSDファイルを紛失もしくは消去して それらを整理できず、
見学会の様子を示す神戸新聞Nextの写真をインターネットから取込ませていただきました。

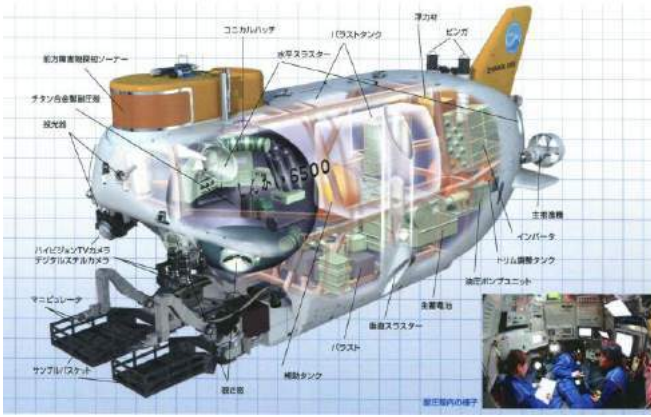


10月8日朝 ちょっと出遅れたかなあ…と思いつつ、「しんかい6500」を搭載した母船「よこすか」が停泊している神戸港の中突堤に到着したのが9時30分前。岸壁の中ほどに「よこすか」の後部が見え、船体後甲板に備え付けられた門型の起重機の奥に柿色の無人潜水探査船「うらしま」と白い有人潜水調査船「しんかい6500」の姿が見え、見学に行く人たちの長い行列ができていました。約1時間半ほど待って「よこすか」の船主側のブリッジに登ることができました。私の少し前で見学者1000人目の記念品をもらった人そして並び始めた時よりも長い行列ができていたので、この日の見学者は3000人をこえているのかも……。

深海潜水調査船「しんかい6500」そして日本を取り巻く海洋・深海の探査への関心の高さがよくわかる。上甲板の最上部の操舵室から船内に入り、研究者の部屋や会議室・食堂などを見学しながら「しんかい6500」・「うらしま」の格納庫がある船尾側の後甲板へ。多くの見学者でいっぱいであるが、よく管理された見学会スムーズに後甲板へ。「よこすか」の船内の要所要所には若い乗組員やJAMSTECの研究者が立っていて、きびきびと順路応対してくれるのが、清々しい。

しんかい6500が格納展示されている後甲板はさすがに満員でごった返しているが、すぐ目の前に「しんかい6500」がある船首部正面に立つ。船主の両側から1つつつ、突き出た2つのマニピレータのアーム。その向こう船体から弧状に張り出した丸い覗き窓のついた耐圧殻(人が入る調査室)がみえる。しかも厚いチタン合金を加工して作られた真球の耐圧殻がむき出しのままである。その脇には「しんかい6500」の紹介パネルが置かれ、また深海熱水鉱床から採取されたサンプルが並べられている。私の一番見たかったところである。





◎ 20年を経ても 海水にさらされながら 無塗装で まったく傷もさびなど付着物もなく、無垢のままの姿に驚く。鋼では全く及ばぬ海水に強いチタン合金のすごさである。

また、船体は薄い化粧鋼板パネルがはりつけられていて、その側面部のパネルが一部外されていて中の機械装置がのぞけるように展示されている。外された外板の中に見える装置もチタン合金製なのでしょう。まったく無垢のまま。 海水に何度もつかりながら、20年を経ても、錆一つなく、びっくりしました。ふと 船体の外板が外せるのか……????。

考えてみれば「しんかい6500」は潜水船。船体外板の中にも海水が入らないと潜水ができず、深海の水圧にも持たないと気が付いて、にやりと……。

かつて 鋼板とともに開発対象として扱ったことがある6Al-4V-Ti合金厚板 やっぱり すごい。

◎ この「しんかい6500」の人が入る耐圧殻は直径2mの真球。ここにパイロットを含め、3人がはいるという。中に入れないのでよくわからぬが、調査・通信・運航装置のモニターも全部この中と想像すると本当に狭そう。高圧下の深海では僅かなゆがみも許されず、この球の真球度は1.004、外径は僅か±2mm以下の製作精度で製造され、覗き窓が3か所ついているとのことでした。

◎ 「しんかい6500」をただ単に海に入れても絶対に沈まず、浮く構造だという。

深海の高圧環境に耐える強度と浮力を持ったこの浮力材が、潜水船の隙間という隙間にぎっしり組み込まれ、浮くように造られた潜水船に「おもり（バラスト）」を積むことで潜航すると聞きました。

◎ 超深海の資源探査に挑む

「海洋研究開発機構は2023年ごろの運用開始を目指して、世界最深の1万2000メートルまで潜航できる次世代の有人潜水船「しんかい12000」の開発構想がすでに本格的に動き出している」と「しんかい6500」のそばにいた若い研究者が教えてくれた。

「研究生生活を続ける間に「しんかい12000」が完成したら、一番にパイロットになって「12000」を操縦して、深海に行きたい」と 眼をキラキラ輝かせて、話してくれました。

最近 なかなか出会えなかったこんな若い研究者に こつちの気持ちもうれしくなる。

是非 次の時代を切り開いてほしいと。

是非 見学したかった「しんかい6500」の姿。そして 次の時代を担うはつらつとした若者たちの群像にも出会え、気持ちも爽快。 かつて仕事をしていた時代を思い浮かべながら、晴れ晴れと港を離れました。

2016.10.8 午後 Mutsu Nakanishi

この「しんかい6500」の見学記を バシバシ撮ったデジカメ写真と一緒に記そうとしたのですが、紛失したのか 消してしまったのか どうしてもSDメモリーが見つからず。

インターネットから 神戸新聞Nextが伝える一般公開の動画から、写真を一部収録させてもらって掲載しました。SDが出てきたら、また きっちり写真を差し替えながら、追加記載させていただきます。

なお 写真採取は下記から採取させていただきました。。

■ 2016/10/8 11:48 神戸新聞NEXT 山はスイング 海には探査船里帰り 神戸の3連休

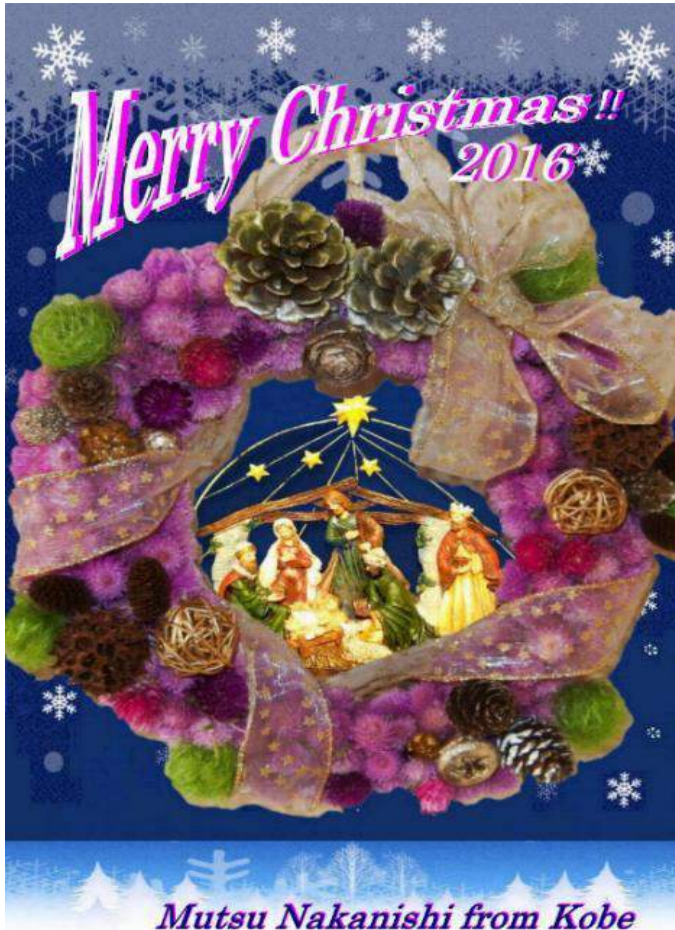
<http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201610/0009564111.shtml>

【From Kobe 12月の便り】

2016.12.10.

Merry Christmas!! 2016 年師走 本年最後のHP 更新の便り

● この世界の片隅で 久しぶりに映画「この世界の片隅に」を見て
「縄文の心」の小文ではじまつた1年でしたが、しめくりの12月にもまた「縄文の心」で
幸福感よりも不安感が増す激変・変革の時代の今 今一度立ち止まって「地球環境」「平和」「暮らし」を考えたい
by Mutsu Nakanishi



11月の寒波襲来が嘘のような師走の温かさ 異常気象が続く中 神戸ではルミナリエも始まり、
クリスマスの装いをした街に 華やいだ声があふれ、神戸の街も師走のムードに
振り返ってみると あっという間の1年 色々気にかけていただき ありがとうございました。
この1年 格差の増大と幸福感が日に日に遠のいてゆく現実がひたひたと弱者切り捨て
問答無用の封建時代に戻ってゆくような現実が ひたひたと。そんな不安感が頭をよぎる昨今
われわれも 勝ち組の仲間の中に入れてほしいなあと でも 愚痴は言うまい 前向いて
歳をとるとともに スピードについてゆけず、
あっという間 色々あった1年だったですが、
おかげ様で孫たちもすくすく家族ともども元気に暮らしています
まだまだ 元気 好奇心もある
新長田の「鉄人28号」 原色に近い色に塗りなおされ、
こぶしを空高く高く 振り上げる
これからも 仲間の元気を活力に 前向いてと
お互い無理せず元気に よろしくお祈りします

2016 年クリスマス

Mutsu Nakanishi From Kobe

● **この世界の片隅で** 久しぶりに映画「この世界の片隅に」を見て
「**縄文の心**」の小文ではじまつた1年でしたが、しめくくりの12月にもまた「**縄文の心**」で
幸福感よりも不安感が増す**激変・変革の時代**の今 今一度立ち止まって「**地球環境**」「**平和**」「**暮らし**」を考えたい

久しぶりにアニメ映画「この世界の片隅に」を見た。
戦時下 空襲にさらされ、逃げまどい そして原爆投下の厳しい現実。
そんな呉・広島で暮らす若夫婦の生活・絆を淡々と描かれる。
年寄世代にはちよつと物足りぬ面もあるのですが、
こんなに淡々と戦争悪を描けるのかと。
ちょっとすがすがしさも感じながら 映画館をでてきました。

知らなかったのですが、今この映画に多くの若者たちが共感して
続々上映館が増えてヒット中と聞く。
これはうれしい若者の変化の兆しか……
機会があれば ぜひ一度どうぞ



一年の終わりに また今一度 「鉄」と「縄文の心」に思いを

生命をつかさどる**元素**・文明を支える**元素**として「**鉄**」がなければ人類は生きてゆけない
溶鉄の輝き「**閃光**」と鉄の黒光り「**肌光**」その輝きの中に燦然と輝く「**鉄**」と人類の知恵の数々
人類が**激変**する地球を生き抜いてきた**唯一の道**・知恵が「**他人を思いやる心**」

かつて日本には 1万年の長きにわたって**平和な社会**を持続した**形成**してきた時代があった
日本人の心のふるさとといわれる「**縄文**」 その**エンジン**は「**縄文の心**・他人を思いやる心」だった
「**鉄**」と「**縄文の心**」 **激変** の今 時代を生き抜く**唯一のエンジン**である

現代社会においてはしばしば「**なまっちょろい**」と呼ばれ、切り捨てられてきた「**心**」
でも 一旦**危機**・災害に直面した時には 誰しもがその**力強さ**に心打たれる「**心**」

「**鉄**」も今 **激変**する時代の中で、**新しい姿**を見せ、**新しい指針**を示し始めた。
「**鉄は国家なり**」の「**鉄**」から「**豊かな海を育てる優しい鉄**」・「**地球温暖化を軽減するかもしれない鉄**」へ

世界の先陣を走っているといいつつも、厳しい競争にさらされ、幸福感が味わえぬ高度情報社会のギャップの大きさ。
今 世界でそのほころびが目立ち、戦争の危機・貧困・格差の克服の道さえ見えず、軽薄な**アジテーション**。
自分さえよければの**独裁**・**保護主義**の道への入口にいる。日本でも例外でない。今 一度考えよう。

世相は混沌 世界の情勢も 既存勢力が次々とどんでん返し。こんなはずではなかったとの声も。
グローバル化・効率・大量消費を追い求めた**国際金融中心**の情報化社会のほころびがあちこちに。
過度の**グローバル化**・**金融主義**がもたらす過度の競争と格差の急拡大が抜き差しならぬものとなり、**大国主義**の増長
と**スピード**と**数の力**に頼った薄っぺらな**東京一極集中** 情報社会の弊害もますます拡大しつつある。
自己責任と想定外を声高に叫び、自分さえよければ…の**保護**ご都合主義の声も日増しに拡大している。
貧困・核の脅威・戦争の拡大が我が身にも 現実のものとなって迫ってくる。
この1年 格差の増大と幸福感が日に日に遠のいてゆく現実がひたひたと
弱者切り捨て、問答無用の**強権** なにか**封建時代**に戻ってゆくような**錯覚**さえ漂う現実が ひたひたと。
そんな不安感が頭をよぎる**昨今** 何の反省もなく、何か**日本だけ**が旧態依然の**中央一極集中**を**猛スピード**で

ひた走り、いまだに金遣いの荒い箱もの政治で悦に入っている政治家たち。
国際化を口を開けば標榜しながらも、世界の孤児に、薄っぺらな仲間政治に気がつかぬのか……

ごく普通の庶民に見える国際色豊かな外人たちが闊歩する日本の街を見れば、一目瞭然。日頃 マスコミが言うのとは違う現実が目の前に。日本は彼らにも負け、置いてきぼりになった実感がふつつと。

でも 突破口はどこにあるのだろうか……

内橋克人氏が警鐘を鳴らし続ける「頂点迎合主義」は もうまっぴら。

人に任せず、惑わされず、自分の感性をみがかねば……と

トランプに期待したって所詮自分の仲間にしかな興味がない人物。

彼に希望を託した人たちが報われれば、新たな希望が生まれるのですが、さあ どうでしょうか……

日本も東京以外に希望はないのか でも東京からはよせてもらえぬだろうなあ。

東京化をいくら主張したって、所詮 先は知れている。暗いなあ……と。

若者に静かなブームだという映画「この世界の片隅に」で聞く若者の変化の兆し……

現実をしっかりと見つめる若者が時代の先端を担ってほしいと

「縄文の心」の小文ではじまった1年でしたが、師走の12月にも また「縄文の心」を訴える
地球環境変化による異常気象や地球の活動活発化による巨大災害が降りかかる時代
誰もが、大災害に巻き込まれかねぬ時代 危険予知をしっかりと、少しでも災害の軽減に 抜かりなきよう。

暖冬が続いていますが、気象激変がわが身に迫る時代まもなく「北風小僧がやってくる」

インフルエンザの季節 体調管理でにご留意ください。

私も長びく風邪 早く治したいと。

2016.12.10. From Kobe Mutsu Nakanishi

参考1 和鉄の道・Iron Road 【縄文の心・他人を思いやる心】 縄文帰りのの勧め

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」

そのエンジンは「他人を思いやる心」 人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道でもある

- ◆ 2016年1月 2016年年初めに <<縄文の心>> 2016.1.1.

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」

そのエンジンは「他人を思いやる心」 人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道でもある

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/2016mutsu/fkobe1601.pdf>

- ◆ 「利他的精神」について 朝日新聞天声人語より

競争社会から成熟社会へ 日本に必要なのは「心の優しさ」では 2014.6月

<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/2014mutsu/fkobe1406B.pdf>

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に



<http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/jyomonslide.htm>

参考2 和鉄の道・Iron Road 「鉄」は豊かな海の源

- ◆ 畠山重篤 山と海の出逢い -つながりと恵みを巡る旅- 第18回「鉄の誘い」

「鉄」は豊かな海の源 雑誌「岳人」2016年2月号掲載雑記

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1604tetsuenosasoieb.pdf>

四季折々 Monthly 神戸便り & 思いつくまま From Kobe

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/ironroad.htm>

四季折々 【I】 1999-2002

四季折々 まえがき

mutsustart.pdf

四季折々 Mutsu 1999

mutsu1999.pdf

四季折々 Mutsu 2000

mutsu2000.pdf

四季折々 Mutsu 2001

mutsu2001.pdf

四季折々 Mutsu 2002

mutsu2002.pdf

四季折々 あとがき

mutsuend.pdf

思いつくまま 1999 (四季折々 Mutsu 1999 より)

mutsu1999.pdf

- | | |
|--|-------------|
| 1. 「鉄道員」ポッポ屋の映画 | 1999.7.3. |
| 2. 東海村 JCO 原子炉臨海事故に思う | 1999.11.4. |
| 3. 日本溶接協会 創立 50 周年記念講演
竹中平蔵氏「日本経済の復活は可能だ」 | 1999.11.24. |

関東で 思いつくまま I 2000.1.-2003.2.

kantou01.pdf

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 冬の手賀沼・印旛沼 | 2000.1.13. |
| 2. 花粉症を逃れて 渡良瀬川 遊水池へ | 2000.3.11. |
| 3. 柏便り 2000.4月 春点 描 | |
| 4. 東京都江戸川区 江戸川 河川敷 『小岩菖蒲園』 | 2000.6.25. |
| 5. 「江戸の変化朝顔」 —「雑草」と「江戸の変化朝顔」— | 2000.7.19. |
| 6. 「めりけんのパンパンパン」 | 2000.7.19. |
| 7. 「陸の松島」 栃木市 太平山 | 2001.3.24. |
| 8. 暮張界限 | 2001.2.25. |
| 9. 「ご飯」「メシ」の言葉にこめられた日本人の思い | 2001.5.14. |
| 10. 柏の日曜日 梅雨の合間に 菖蒲・紫陽花・バラの花を見る | 2001.6.24. |
| 11. 夾竹桃の語らい 夏を告げる夾竹桃の花 | 2001.8.6. |
| 12. 『日本人 はるかな旅 日本の源流』展を見て | 2001.10.10. |
| 13. 関東・柏で『京都うまいもの市』 | 2001.11.12. |
| 14. 東京「珈琲の老舗」の「Aging 珈琲」 | 2002.2.18. |
| 15. 縄文の土器が語る「物づくりの技」とプロの眼 | 2002.9.6. |
| 16. 癒しの由来 | 2002.10.28. |
| 17. 映画「阿弥陀堂だより」を観て | 2002.10.27. |
| 18. Merry Christmas !! 2002 年 柏でのクリスマス | 2002.12.24. |
| 19. 暖かい冬の週末 柏 ひだまり Walk | 2003.1.26. & 2.1. |

神戸で 思いつくまま I 2000.1.-2003.2.

kobe01.pdf

- | | |
|---|-------------|
| 1. 尼崎 城 | 2000.1.15. |
| 2. 兵庫県加西市 兵庫県フラワーセンター | 1999.1.23. |
| 3. 英国映画『プラス』鑑賞 【威風堂々】 | 1997.12.29. |
| 4. 「威風堂々」テレビコメディ「合い言葉は勇氣」 | 2000.11.1 |
| 5. 阪神・淡路大震災復興記念聖堂
日本聖公会 神戸聖ヨハネ教会 献 堂 式 | 1999.6.1. |
| 6. 映画『スペースカーボーイ』をみました | 2000.12.2. |
| 7. 2001 年神戸 春の花 | 2001.4.2. |
| 8. 『ひまわりの夏』 | 2001.8.3. |
| 9. この夏 異変 | 2001.8.3. |
| 10. 『光のプログラム』クロモリット Kobe 2001 | 2001.8.16. |
| 11. 2002 年 冬 点 景 | 2002.2.9. |
| 12. 『春到来 2002 神戸 自宅庭に咲いた春の草花』 | 2002.3.17. |
| 13. 6月から7月 梅雨の合間に 神戸にて | 2002.7.20. |
| 14. 梅雨の晴れ間 久しぶりに花菖蒲 須磨離宮へ | 2002.6.16. |
| 15. 中島潔 童画展「金子みすず 一まなざし」を見る | 2003.1.4. |

四季折々【Ⅱ】 2003

四季折々 Mutsu 2003

神戸・関東で 思いつくまま Ⅱ 2003

mutsu2003.pdf

kobe2003.pdf

1. 桜散策 Walk 東京・千葉界隈 2003. 4月 2003. 4. 12.
東京 千鳥が淵 ・谷中から上野・千葉佐倉
2. 「構造改革論」と「景気浮揚対策論」に日本人思考の二面性を重ねて 2003. 5. 20.
3. バラ満開の季節 八千代市緑ヶ丘 京成バラ園 2003. 5. 11.
4. 京都 お盆法要の説法『戦中派の責任としての最近の世相について』 2003. 8. 17.
5. 2003 夏 京都 点描 一無手勝流 京都案内一 2003. 8. 20.
6. 関西で 秋たけなわ 2003 年秋 2003. 10. 20.
7. 「西アフリカ おはなし村」の贈り物 2003. 11. 25.

四季折々【Ⅲ】 2004

四季折々 Mutsu 2004

神戸で 思いつくまま Ⅲ 2004

mutsu2004.pdf

kobe2004.pdf

1. 神戸 ルミナリエ 2003 写真集 2004. 1. 11.
2. 山はごぶさた 久しぶりに 須磨アルプスに 2003. 12. 17.
3. 鉄のモニュメント 東京六本木ヒルズ (66ビル群) 2004. 1. 8.
4. 「だまし絵」 最近の6本木ビル回転ドアやトラック脱輪事故対処に思う 2004. 3. 1.
5. 日本列島 気候激変が繰り広げたドラマ 2004. 4. 30.
関東平野も大阪平野も 6000年前は海や低湿地 そんな昔の海岸線知ってますか・・・
太平洋側の里山傾斜地に咲くカタクリの花 「氷河期の生き残り」って知ってますか???
6. 三菱自動車欠陥問題について 2004. 7. 1.
何か変と思いませんか
7. 北海道 宗谷 猿払村 海の開拓宣言「いさりの碑」 2004. 9. 5.
8. 大阪縄文塾 小山修三氏と佐藤洋一郎氏の対話 2004. 10. 2.
「縄文の森 火と農耕・森に火をいれる」を聞いて
縄文の森と知恵に スーロライフを重ねて
9. 2004 秋 つれづれに 思うこと 2004. 10. 15.

四季折々【Ⅳ】 2005

四季折々 Mutsu 2005

神戸で 思いつくまま Ⅳ 2005

mutsu2005.pdf

kobe2005.pdf

1. 西アフリカ マルアの子どもの乾期にうたう「雨ごいのうた」
2. 最近のNHK ドラマの風潮に「冬のソナタ」のブームを重ねて
3. 2005 春 風来坊 Walk 思いつくままに
4. 日本を追い越してゆくアジアを韓国映画に見る
5. JR 尼崎の脱線・転覆事故に思う
6. 空梅雨の間に山口へ 山口を基地に初夏の緑を風来坊
7. 最近の新地名にとまどい「雲南市」って知っていますか ??
8. 青春 18 きつぷで 夏のあちこち 風来坊
9. 縄文がえりのすすめ
10. 「和鉄の道 たたら遺跡探訪」も 60 編を越えました
11. 地球温暖化がもたらすもの 瀬戸内海・大阪湾を作った地球温暖化
12. 面白い市場 下関唐戸市場【1】 日曜日下関「唐戸市場」は「うまいもの市・お祭り広場
13. 面白い市場 下関唐戸市場【2】 「はげ」と「かわはぎ」は同じ魚
皮の剥ぎ取りの早業にびっくり
14. Merry Christmas !!

四季折々【V】 2006

四季折々 Mutsu 2006
神戸で 思いつくまま V 2006

mutsu2006.pdf
kobe2006.pdf

1. 最近の発掘調査 速報 雑感 2006. 3.
2. 最近のTVから 異常気象 お花見 とグローバル スタダード 2006. 4.
3. 最近のTVから 「鉄腕 DASH 村」で !! 精錬鍛冶を紹介
TV で紹介 「古鉄再生 「沸かし付け」の技術 2006. 4.
4. アフリカ砂漠では 雪がそのまま水にならずに雲になる???? 2006. 6.
5. ティーバッグ タイプ の コーヒ 2006. 6.
6. 生産が始まるまで 500 年を越えるたたら製鉄の謎
ここに日本の物づくりの原点を見る 2006. 7.
7. 鉄道遺産 SL 山口号が京都梅小路で解体修理された 2006. 8.
8. 抱擁 2006. 11.
- 『宗教・教派を超えた平和の祈り』の集い「広島国際平和会議」に参加して-

四季折々【VI】 2007

四季折々 Mutsu 【6】 2007
神戸で 思いつくまま 【6】 2007

mutsu2007.pdf
kobe2007.pdf

1. 2007 年 1 月 きままなひとりごと 2007.1.25.
2. 「発掘された日本列島 2006」展 大阪 2007.1.17
3. 「縄文時代が教科書から消えつつある」にびっくり 2007.3.5.
4. 「兵庫」の鎖 - 「兵庫鎖」を調べていて-
兵庫鎖・「兵庫」のルーツとゴム輪など・知らないことが次々と 2007.4.15.
5. 「この春 風来坊で感じた地方の疲弊
地方格差・公共交通の崩壊がすすんでいます
そして 中央では絶対見えないほころびが・・・」 2007.6.1.
6. 「8月 広島で感じたこと」 2007.8.25.
風化させてはならないのは 何 为什么呢
7. 「この夏であった不思議な石」 2007.8.25.
「カンカン石」と呼ばれるサヌカイトと蛇紋岩
8. この秋 感激したこと おもいつくまま 2007.12.1.
 1. エジプト ツタンカーメンの鉄につながるかも???
たたらルーツである塊錬鉄
 2. 月面探査衛星「かぐや」の撮影した「三日月の地球」に感激
 3. 大阪の西の守り 四層の天守閣と三層櫓の素晴らしい尼崎城の姿(復元模型)

四季折々【Ⅶ】 2008

- 四季折々 Mutsu 【7】 2008
- 神戸で 思いつくまま【7】 2008

mutsu2008pdf

kobe2008.pdf

From Kobe

1. 2008年1月 年の初めに 2008.1.1.
「くろがね」の「くろび かり」の美しさと暖かさ そんな思いが頭をよぎっています
2. From Kobe 2月 日本人の一部 節分の「鬼」 2008.2.3.
3. From Kobe 3月 鉄のモニュメント 世界遺産になっているこんな珍しい橋がある 2008.3.5.
世界遺産 世界最古の運搬橋 「ス ペイン ビスカヤ橋」
TV TBS「世界遺産」2008.2.24. & インターネット「ビスカヤ橋」検索より
4. From Kobe 4月 4月 神戸より 思いつくまま 2008.4.5.
 1. 3月23日 イースター・復活日に
 2. 卑弥呼の時代 「大和への鉄の道」のルートは 淀川・大和川・紀ノ川 ????
やっぱり 大和川が最有力 か… 畿内に現れる庄内式土器が語る卑弥呼の重要路
5. From Kobe 5月
 - 【1】 大阪 国際ウエルディング ショウ に 「ものづくり」の現実 2008.4.21.
 - 【2】 久しぶりにアフリカのむかしばなし と アフリカのリズムを堪能 2008.5.4.
6. From Kobe 8月

惜 別 言葉と心の壁越える達人と愛された 江ロー久さんが急逝 2008.8.
この5月 「久しぶりに 江ロサロンの人たちに出会えた」と紹介した仲間
- 7 From Kobe 9月 2008.9.
帯木蓬生著「国銅」（新潮社）に物づくりの思いを見る 奈良の大仏を作った長登の銅の周辺で
8. From Kobe 10月 「混乱の時代に」 2008.10. 15
「変えられないものを受け入れる 心の静けさ
変えられるものを変える 勇気と
その両者を見わける 英知と 」
9. From Kobe 11月 2008.11.15.
 1. Yes We Can やれば できる
 2. 巣に引っかかった虫の振動で獲物を知る蜘蛛

四季折々【Ⅷ】 2009

- 四季折々 Mutsu 【8】 2009
- 神戸で 思いつくまま【8】 2009

mutsu2009.pdf

kobe2009.pdf

From Kobe

1. 2009年1月 年のはじめに fkobe0901.pdf
2. 2009年2月 またまた ぶつぶつ 混乱の時代に fkobe0902.pdf
じっとはしておられない。「Challenge !!」
眼一杯の効率主義を捨て ゆとりある「質」へ キーワードは「環境・エコ」「共生・融和」の追求だと
3. 2009年3月
 - 【1】 日本人の心ノルーツ「縄文」連鎖的にいろいろ fkobe0903a.pdf
アカデミー賞受賞映画「おくりびと」と直木賞受賞児童書「悼む人」ほか
 - 【2】 【写真ファイル】ラグビーぶつかり合う場面に血を騒がせて シャッターを fkobe0903b.pdf

4.	2009年4月	2009年4月	先月に続いて 変わり行く 故郷「尼崎」のこと	fkobe0904.pdf
			1. 阪神電車 なんば線開通と甲子園リニューアル	
			2. かつての鉄の街・尼崎の象徴「尼崎の三本煙突」探していた写真を送っていただきました	
			3. 宮本輝 作「流転の海 第五部 花の回廊」に幼い頃の「尼崎」が描かれていました	
5.	2009年5月	2009年5月	Kobe 便り	fkobe0905.pdf
			1. 温暖化で年々数の減るカタクリの自生地 片栗粉の原材料は????	
			2. 携帯電話 機種変更で知った 年寄りにはきついアメリカ型考え方も 携帯電話を使いこなさないと年寄りにはますます厳しくなる	
6.	2009年6月	2009年6月	Kobe 便り	fkobe0906.pdf
			1. 新型インフルエンザもおさまり 平穏に 心配をおかけしましたが、神戸の街も もう元気です!	
			2. 新型インフルエンザ 関西と関東の差にビックリ	
			3. 萩焼 陶芸家 田中講平さんの作品が第32回山口伝統工芸展近鉄松下百貨店賞受賞	
7.	2009年7月	2009年7月	Kobe 便り	fkobe0907.pdf
			◆ やめられない大人の価値観 政治の変革とともに かわるのでしょうか かえられるのでしょうか	
8.	2009年8月	2009年8月	Kobe 便り 2009.8.1.	fkobe0908.pdf
			「南郷 (なんごう)」と「南郷 (なんごう)」 **忘れかけていた言葉のマジック **	
9.	2009年10月	2009年10月	Kobe 便り	fkobe0910.pdf
			「知らなきゃ損する」IT 社会 携帯電話での失敗など	
10.	2009年11月	2009年11月	Kobe 便り	fkobe0911.pdf
			報過多の時代 情報操作が進んでいるのでは……芸能化が進むテレビの声高情報に疑問	
11.	2009年12月	2009年12月	Kobe 便り	fkobe0912.pdf
			「和鉄の道・Iron Road」1年を振り返って	

四季折々【IX】 2010

■ 四季折々	Mutsu	【9】	2010	mutsu2010.pdf
■ 神戸で	思いつくまま	【9】	2010	kobe2010.pdf

<i>From Kobe 2010</i>				
1.	2010年	1月	Kobe 便り 「としのはじめに」	fkobe1001.pdf
2.	2010年	2月	Kobe 便り 2月「今年もまた『鬼』に寄せて」 —「福は内 鬼も内」—	fkobe1002.pdf
3.	2010年	3月	Kobe 便り トヨタ問題で思い出した “Copy Exactly” と “Kaizen”	fkobe1003.pdf
4.	2010年	4月	Kobe 便り	
			【1】 誕生から約46億年 鉄の歴史と役割にびっくり 岩波の科学ライブラリー「鉄学 137億年の宇宙誌」を読んで	fkobe1004a.pdf
			【2】 写真 大阪中ノ島がきれいなウォーターフロントに	fkobe1004b.pdf
5.	2010年	5月	Kobe 便り	fkobe1005.pdf
			【1】 「重複は無駄なのか? それとも 無駄は無駄ならぬのか?」 なにかおかしき民主党の事業仕分け	
			【2】 草木萌える5月 神戸で 庭で咲く春の花 & 六甲高山植物園の石楠花	
6.	2010年	6月	Kobe 便り 樹木の年輪と幹 = 檜の柱材「節」の謎 =	fkobe1006.pdf
7.	2010年	7月	Kobe 便り 思議なねじのアクション 再現	fkobe1007.pdf
8.	2010年	8月	Kobe 便り ひまわりの夏 毎年 はっと気がつく平和への思い	fkobe1008.pdf
9.	2010年	9月	Kobe 便り 2010年9月 なにか 日本がおかしい	fkobe1009.pdf
10.	2010年	11月	Kobe 便り 縄文がえりの勤め 心憂しき縄文の村 幼くしてポリオにかかった少女が 縄文の村で みんなに守られ ずっと暮らしていた	fkobe1011.pdf
11.	2010年	12月	Kobe 便り 和鉄の道・Iron Road 2010 1年を振り返って	fkobe1012.pdf

四季折々【10】 2011

- 四季折々 Mutsu 【10】 2011 mutsu2011. pdf
- 神戸で 思いつくまま 【10】 2011 kobe2011. pdf

From Kobe 2011

1. 2011年 1月 Kobe 便り 2011年 年の始に fkobe1101.pdf
2. 2011年 3月 Kobe 便り 元気出して行こう 声かけあってゆこう fkobe1103.pdf
3. 2011年 4月 Kobe 便り 未曾有の大災害 東日本大震災
メディアの報道姿勢に大きな差 毎度ながら TV の報道姿勢に疑問 fkobe1104.pdf
4. 2011年 5月 Kobe 便り 共に元気出して 声かけあって fkobe1105.pdf
5. 2011年 6月 Kobe 便り 放射能と向き合う 朝日新聞の特集記事図面要約
放射能被曝と健康 朝日新聞の特集記事より fkobe1106.pdf
6. 2011年 8月 Kobe 便り 夏に多い脱水症・熱中症からの脳梗塞にご用心
脳卒中は猛暑の夏場にも多いことご承知でしょうか
朝日新聞の記事より fkobe1108.pdf
7. 2011年 9月 Kobe 便り 実りの秋が もう そこまで、
この 暑い夏 ふと頭をよぎったこと fkobe1109.pdf
(1) 鉄の歴史に 今の生き方を考える
「鉄学 137 億年の宇宙誌」を読み返してみても 頭によぎったことを書きとめました。
(2) 京都大文字の送り火騒動に見た日本の情報社会のほころび
8. 2011年 10月 Kobe 便り 明石たこ フェリーがなくなって1年 fkobe1110.pdf
原付バイクが渡れぬ明石海峡 淡路島は原付バイクの孤島に
原付の道がとざされたまま これも弱者切り捨てか……
9. 2011年 12月 Kobe 便り 一年を振り返って 今出来ることを精一杯 fkobe1112.pdf

四季折々【11】 2012

- 四季折々 Mutsu 【11】 2012 mutsu2012. pdf
- 神戸で 思いつくまま 【12】 2011 kobe2012. pdf

■ 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り 【11】 2012

mutsu2012. pdf

■ 四季折々 Monthly page 2012 更新時の top page を集めて掲載しています

年賀 2月 3月 4月 5月 7月 8月 9月 10月 12月

年賀

1. 年賀
2. 支えあい 声かけ合って 今できることを 精一杯
3. Home page 掲載記事概要

2月の便り

1. 今出来ることを精一杯
2. 2月節分の鬼に寄せて
3. 姫路 衣川さんのインターネット通信「夢通信」
1月号に「和鉄の道」紹介の記事掲載
4. ラグビーシーズンももう終盤
毎年楽しみなラグビー観戦 今年も仲間と
5. Home page 掲載記事概要

3月の便り

1. 「カンパニオ」 映画「しあわせの♡♡」より
2. 2月12日伊丹 白雪蔵まつり
3. ラグビー観戦
やっどトライの瞬間写真に 今シーズンの収穫
4. home page 更新記事概要

5月の便り

1. 薫風 5月 元気に
2. 大輪田の泊 兵庫大仏に出会えました
3. 痛ましい 交通事故続発に思う
4. 西神戸 神出 雄岡山・雄岡山のこと
5. よちよち歩きを始めた孫のしぐさ
6. 今月の home page 掲載記事概要

8月の便り

1. ひまわりの夏到来
2. ゲリラ豪雨に重ねて ぶつぶつ
3. 朝顔の花の魅力
4. 7月が来ると毎年 気になる夏の高校野球
5. 今月の home page 掲載記事概要

10月の便り

1. 深まりゆく秋
2. 山中伸弥氏 ノーベル賞受賞 おめでとう
3. 東京スカイツリーのこと
4. 今年も盛んに特別展・講演会
たたら製鉄のルーツをもとめて
5. home page 掲載記事概要

4月の便り

1. 2012年春 平々凡々の有難さ
2. 映画「はやぶさ 遥かなる帰還」を観る
3. 同窓会の仲間へ
3. 写真合成の技術を手に入れて
3. NHKスペシャル
「ヒューマン なぜヒトは人間になれたか」
4. 今月の home page 掲載記事概要

7月の便り

1. 7月 梅雨明けが待ち遠しい毎日
2. 集中豪雨の高速道路走行
3. 麦秋を迎える山口・九州
4. 弥生時代の国内最大級の鍛冶工房村
淡路島 五斗長垣内遺跡が国の史跡に
5. 大阪阿部野橋で日本一の高層ビルが建設中
6. home page 掲載記事概要

9月の便り

1. 9月 もう秋が……
2. ラグビーシーズン開幕
3. あやうい技術立国日本の見方
4. home page 掲載記事概要

12月の便り

1. 師走 ルミナリエで
2. 単身でスーダンの製鉄遺跡を調査する
若き考古学者 関広さん
3. 山口萩焼の田中講平さんの
陶芸作品集のご紹介
4. home page 掲載記事概要
5. 今年一年 和鉄の道を振り返って

From Kobe 2012

1. from Kobe 2012年1月 **年の初めに 厳しさを力に** fkobe1201. pdf
 経済評論家 内橋克人氏100年インタビューに共感して
2. from Kobe 2012年2月 **節分の時節 気になったあれこれ情報** fkobe1202. pdf
 1. 2011年日本列島考古学新発見トピックスの記事紹介 &
 東北人間復興の支えとして 東北の文化財・博物館の復興にも眼をむけよう
 2. あまりにもスピードの速い情報機器の変遷 知らない人を置いてゆく・・・
 黙ってその利を独り占めする&享受したいサービスもある
 3. google gmail アドレス取得すると使いやすいメーラーに

【おまけ】「節分の鬼」 From Kobe 2008年2月「節分の鬼」
<http://www.infokkna.com/ironroad/2008htm/walk5/0802oni00.htm>

 1. 日本人の祖先の一部 節分の「鬼」
 2. 和鉄の道 Iron Road 日本各地 鬼伝説が残っている例
3. from Kobe 2012年3月 **弥生3月 どこ子かで春が生まれ〜てる** fkobe1203. pdf
 「みんなで前向いて」 2012. 3. 1.
 1. しあわせのパン「カンパニオ」 共にパンをわけあう人々・仲間
 コルコルの映画ですが、いつになく気持ちが和みました
 2. 日本の技術の甘さ 技術屋の自問自答がつづく いつものぶつぶつです
 原発事故 信じて推進した我々の技術が木っ端微塵に 技術屋の自問自答が続く
 追い討ちをかけて、日本技術のほころびと物づくり技術が揺らいでいる
4. from Kobe 2012年4月 **50年前高校3年の夏 母校の高校野球兵庫決勝の熱戦の記憶** fkobe1204. pdf
 番組採録「捕手一筋に裏方精神を胸に」50年の軌跡を重ねた仲間の思い
 1. 記憶が蘇ってくる昭和36年7月 高校野球夏の決勝戦 甲子園球場
 あの 熱戦の光景と興奮がいまもありありと眼に浮かぶ
 2. 【ラジオ番組投稿録音】 捕手一筋 裏方精神を胸に
 最高齢 最高のグリーンキーパーをめざす グリーンキーパー 加司 淳
5. from Kobe 2012年5月 **風薫る5月の早朝のSound** fkobe1205. pdf
 5月の風に乗って 聞こえてくるせせらぎと鳥の声
 自宅のある丘から 南の里山を眺めながら 聞こえてくる音に耳をかたむけました
6. From Kobe 2012. 6月 **遊び心の 金環食 観測** fkobe1206. pdf
7. From Kobe 2012. 7月 **雨上がりの紫陽花が美しい時節に** fkobe1207. pdf
8. From Kobe 2012. 8月 **ひまわりの夏2012 “ Stay Young Day !! ”** fkobe1208. pdf
 或るアメリカ人 ジョージ カーリンのメッセージ 動画 「老いを楽しく生きるために」
9. from Kobe 2012. 9月 **いじめが常態化しているお笑い・バラエティ番組の氾濫** fkobe1209. pdf
 誰も指摘せぬいじめの温床 それはTVでないか
10. from Kobe 2012. 10月 **深まりゆく秋を楽しんでいます** fkobe1210. pdf
 秋の夜長「知らないところで パソコンが勝手に作業 ???」
11. from Kobe 2012. 12月 **また ぶつぶつ 日本の現状に考えさせられることが多い** fkobe1212. pdf
 2012. 11. 25. 朝日新聞に掲載された2つの記事を読んで

- 四季折々 Mutsu 【12】 2013
- 神戸で 思いつくまま 【12】 2013

mutsu2013.pdf

kobe2013.pdf

2013年 四季折々 目次

[mutsu2013.pdf](#)

■ 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り【12】 2013

[mutsu2013.pdf](#)

年賀	1&2月	3月	4月	5月	7月	8月	9月	10月	12月
----	------	----	----	----	----	----	----	-----	-----

■ 四季折々 Monthly page 2013 更新時のtop pageを集めて収録しています。

1. 2013 年年賀 2013.1.1.



猪のいるさと 奥島家 出典神戸「八坂大蛇」より

2. 2013 年 1&2月冬便り 2013. 1.15.

- 1.1月17日 阪神淡路大震災の記念日
- 2.NHKBSBSドラマ「アテルイ」
- 3.2012年版「和鉄の道-Iron Road」
- 4.タブレット端末「Nexus7」
- 5.身でスーダンの製鉄遺跡を調査する若き考古学者 関広さん
- 6.萩焼田中講平さんの陶芸作品集のご紹介

3. 2013 年 早春 3月 2013.3.5.

【2013年 早春3月の便り 2013.3.5.】

- 1.春はもうそこまで！毎年確定申告で始まる須磨の春
- 2.早春の「比叡山さくら坂トライ」
- 3.2012年版「和鉄の道-Iron Road」電子ブック
- 4.タブレット 端末「Nexus7」その後
- 5.山口森城の田中講平さん、3月末神戸のイベントに出店
- 6.今月のhome page 更新記事

4. 2013 年 春 4月 2013.4.5.

【2013年 4月 春便り 2013.4.5.】

- 1.4月 山・里・街そして人も一気に春色に
- 2.復活日・イースター 今の思いを
- 3.春の妖精「カタクリの花」が咲き出しました
- 4.パソコンウィルスにご注意を 孫から泣声で緊急SOS
- 5.今月のhome page 更新記事

5. 2013 年 新緑 5月 2013.5.15.

【5月 新緑の季節便り 2013.5.15.】

- 1.新緑に包まれた野山の春景色
- 2.念願の「屋久島興」文材に出会えた
- 3.砂鉄浜・たたら島 種子島へも
- 4.こんな 比叡山の姿知っていますか
- 5.yahooブログ《ぎーちゃんのお庭》
- 6.今月のhome page 更新記事

6. 2013 年 初夏 7月 2013.7.5.

【7月 初夏便り 2013.7.5.】

- 1.初夏7月 「へいわって すてきたね」
- 2.カタクリの実と種
- 3.新しい鉄の顔
- 4.発掘された2本列島2013I展
- 5.スゴトー 今年も面白くなる
- 6.今月のhome page 更新記事

7. 2013 年 ひまわりの夏 8月 2013.8.5.

【8月 夏便り 2013.8.5.】

- 1.ひまわりの夏8月
- 2.夏の高校野球は 若き日の良き思い出
- 3.ユリ園の知恵にひっくり 初夏スキー場ゲレンデそのものに 一面満開のユリ
- 4.今月のhome page 更新記事

8. 2013 年 深かまる秋 10月 2013.10.15.

【10月・秋の便り】 2013.10.15.

- 1.深まり行く秋
- 2.ふるさとの祭は街の同窓会 ふるさと 尾崎のたんじり
- 3.私の産業遺産 工場構内を走り回る軌条を垣間見る
- 4.阿蘇カルデラ内南側の谷「南郷谷」
- 5.今月のhome page 更新記事

9. 2013 年 師走 12月 2013.12.5.

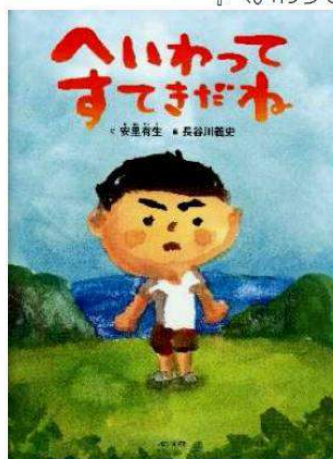
【12月の便り】 2013.12.5.

- 1.晩秋と初冬が入り混じる師走
- 2.早朝練習 吐く息も真っ白に
- 3.神戸の猪 丸々と太った猪に出会いました
- 4.冬のラグビーシーズンの再開に 今年も冬の楽しみに
- 5.思わぬ出会いが楽しみに
- 6.今月のhome page 更新記事

1. From Kobe 2013年1月 迎春 2013年1月 新しい変革の年に
《21世紀にふさわしいエンジニア「社会をデザインする工学 オーリンの三角形》》 fkobe1301.pdf
2. From Kobe 2013年3月 街で見かけた面白いこと 2013.3.5. fkobe1303.pdf
停車中の電車の中を通り抜けて 隣のホームへ移動できる阪神電車尼崎駅
3. From Kobe 2013年4月 イースター 新年度に向けて また ぶつぶつ です fkobe1304.pdf
4. From Kobe 2013年5月 5月 新緑の季節便り fkobe1305.pdf
1. 春景色 From Kobe 2. 屋久島・種子島の不思議な島を結ぶ線で作った断面図で眺める
5. From Kobe 2013年7月 2013年7月 久しぶりの東京 fkobe1307.pdf
これ以上過密の東京に投資して いいのだろうか・・・とも
6. From Kobe 2013年8月 ひまわりの夏の便り「あまりに多い想定外・経験したことがない」 fkobe1308.pdf
「NHK 朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介
今一番自分にすっと入る「NHK 朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説」
7. From Kobe 2013年9月 fkobe1309.pdf
藻谷浩介・NHK 広島取材班 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介
今日日本で一番求められている地域を元気にする
里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏創設の実践
8. From Kobe 2013年10月 「天声人語」氏 2013.10.5「解雇のできる特区」の記事を読んで fkobe1310.pdf
「天声人語」氏の冷静な解説分析に共感 政治・経済活動の視点に「命を守る」を据えてほしいもの
あまりにひどい「解雇のできる特区」政治・経済の方向にいきどおり
9. From Kobe 2013年12月 師走 あっというまの1年 古希を迎えて fkobe1312.pdf



『へいわってすてきだね』 詩 安里有生 絵 長谷川義史



へいわって なにかな。
ぼくは、かんがえたよ。
おともだちとなかよし。
かぞくが、げんき。
えがおであそぶ。
ねこがわらう。
おなががいっぱい。
やぎのんびりあるいてる。
けんかしてもすくなかなおり。
ちょうめいそうがたくさんはえ。
よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。
みなとには、フェリーがとまっていた。
うみには、かめやかじきがおよいでる。
やさしいところがにじになる。
へいわっていいね。へいわってうれしいね。
みんなのころから、
へいわがうまれるんだね。

せんそうは、おそろしい
「ドドーン、ドカーン。」
ばくだんがおちてくるこわいおと。
おなががすいて、くるしむこども。
かぞくがしんでしまって なくひとたち。

ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。
このへいわが、ずっとつづいてほしい。
みんなのえがおがずっと、つづいてほしい。

へいわなかぞく、
へいわながっこう、
へいわなよなくにじま、
へいわなおきなわ、
へいわなせかい、
へいわってすてきだね。

これからも、ずっとへいわがつづくように
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

- 四季折々 Mutsu 【13】 2014 mutsu2014.pdf
- 神戸で 思いつくまま 【13】 2014 kobe2014.pdf

2014年 四季折々 目次 mutsu2014.pdf

- 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り【13】 2014 mutsu2014.pdf

年賀	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

■ 四季折々 Monthly page 2014 更新時のtop pageを集めて収録しています

1. 2014年 年賀 2014 1.1. ⇐

【1月 年初の便り】 2014.1.1.
 1.2014年 年初
 2.2013ルミナリエの灯
 1月17日 阪神淡路大震災の日を迎えます
 幾多の苦難を乗り越えた喜びの灯でもあります
 3.今月のhome page 更新記事

3. 2014年 3月 2014 3.5. ⇐

【弥生3月の便り】 2014.3.5.
 Spring has come
 1. 2014年 弥生3月 春迎えの便り
 2. 神戸医療産業都市の中心「港島」
 3. 春恒例 灘の酒蔵の蔵開き
 4. 庭に珍しい冬あやめの花
 5. 今月のhome page 更新記事

5. 2014年 5月 2014 5.1. ⇐

1. 初夏 梅雨明けが待ち遠しい7月
 2. 銀河鉄道に乗って 三陸へ
 やっと 三陸の街を歩いてこれました
 3. ご案内 大阪弥生博物館特別展
 「運かなるメソポタミア」関連セミナー
 「古代ユーラシア大陸のアイアン・ロード
 - 鉄の歴史を探る -」
 4. 岩手の縄文 軽米町のすばらしい土偶など
 5. 今月のhome page 更新記事

7. 2014年 7月 2014 7.5 ⇐

1. 初夏 梅雨明けが待ち遠しい7月
 2. 銀河鉄道に乗って 三陸へ
 やっと 三陸の街を歩いてこれました
 3. ご案内 大阪弥生博物館特別展
 「運かなるメソポタミア」関連セミナー
 「古代ユーラシア大陸のアイアン・ロード
 - 鉄の歴史を探る -」
 4. 岩手の縄文 軽米町のすばらしい土偶など
 5. 今月のhome page 更新記事

9. 2014年 9月 2014 9.5. ⇐

1. 秋近し 9月
 2. の夏神戸で 須磨の海釣り公園で 大漁
 3. 三陸鉄道「島越駅の復興」が 朝日新聞の記事に
 4. 妖怪ウォッチWalk
 5. 一度やってみよう! ナイター観戦 独り立ってビールを飲み干す
 6. 今月のhome page 更新記事 ⇐

11. 2014年 11月 2014 11.5 ⇐

1. 神戸11月 秋便り
 2. 「飯」の字を「たたら」と読む
 3. 元気の出る映像
 マオリ・オールブラックスの躍り「ハカ」
 4. 秋 紀淡海峡に昇る日の出
 5. 今月のhome page 更新記事

2. 2014年 2月 2014 2.5 ⇐

【2月 春待ちの便り】 2014.2.5.
 1. 2014年 春待ちの便り
 2. 京都の水族館
 3. 人間を超えた賢い動物たち
 4. 柿本人麻呂の人丸神社と長門のたたら
 5. 今月のhome page 更新記事

4. 2014年 4月 2014 4.5. ⇐

【4月 春便り】 2014.4.5.
 1. 4月 春便り
 2. 2014 イースター おめでとう
 3. Windows XPをWindows8に
 4. 4月 三陸鉄道がうれしい全線復旧
 5. 今月のhome page 更新記事

6. 2014年 6月 2014 6.5 ⇐

1. June Bright 6月
 2. 朝日新聞天声人語にこんな記事が...
 競争社会から成熟社会へ
 日本に必要なのは「心の優しさ」では...
 3. パラの花 須磨の須磨離宮公園
 4. 野球のこと 2つ
 1. 学生野球 関西一の速球派 田中投手
 2. プロ野球の応援する若者にエール
 5. 国道17号線沿いの街通筋 アメリカスタイル
 トラック ストップ カフェ
 6. 今月のhome page 更新記事

8. 2014年 8月 2014 8.5 ⇐

1. ひまわりの夏
 2. 平和に思いを
 3. 夏の朝 涼しさを演出する京朝顔
 4. グリーンの球場は青春の思い出
 5. 鉄の話題2つ
 1. 世界最古の鉄塊は 銅製造の過程で生まれたとの説
 2. 三陸の海は鉄が育んだ豊かな海?
 6. 祇園祭 後祭に大船鉦復元巡行
 7. メソポタミアの土偶
 8. 今月のhome page 更新記事

10. 2014年 10月 2014 10.5 ⇐

1. 神戸10月 秋便り
 2. 街再発見Walk おすすめ 神戸 街歩き
 3. お彼岸 京都東寺の弘法さん
 4. また ぶつぶつです
 手の打ちようがないのか 「なりすまし」を見抜く方策
 5. 今月のhome page 更新記事 ⇐

12. 2014年 12月 2014 12.5 ⇐

1. 神戸 節走・12月の便り
 紅葉から一樹に木枯らしの季節に
 2. たたら・Iron Road 異聞
 有馬温泉で「たたら釜釜」の名を見つけました
 3. 12年かけて編み上げたマフラー
 2015年賞状のデザインが話題に
 来年は「来年」の節?年
 前回来々年を迎える12月何をしていたらうか...
 4. 冬シーズンのスポーツ観戦
 5. 今月のhome page 更新記事 ⇐

1. From Kobe 2014年1月 迎春 2014年 年の初めに “ Stay Young Day !! ” fkobe1401.pdf
古希を迎えて ぼやいてばかりはいられない 70歳
まだまだ早い せくな 老楽 これからよ 好奇心さえあればと前向いて
2. From Kobe 2014年 2月 2月春待ちの便り - 毎年気になる「鬼と共」に - fkobe1402.pdf
【1】 1.17. 阪神淡路大震災から19年 「神戸の記憶」
【2】 2014年節分の鬼 「仲間としての鬼」に思う
3. From Kobe 2014年 3月 弥生3月 Spring has come 春迎の便り 2014.3.1. fkobe1403.pdf
【1】 Spring has come 神戸の春便り
【2】 「ソチ五輪の放送に感動しましたか?」 何かおかし「特別」の氾濫
4. From Kobe 2014年 4月 From Kobe 2014. 4月 2014. 4. 5 fkobe1404.pdf
1. 日本は今 心のない時代に 今警鐘をならさねば・・・
2. STAP細胞の小保方さん STAP細胞は存在するのでしょうか…
5. From Kobe 2014年 5月 草木萌える新緑がまぶしい fkobe1405.pdf
一本桜 奥平野の「舞桜」に寄せて
桜を眺めるといつも口づさむ歌 私の応援歌 TV ドラマ主題歌「記念樹」
6. From Kobe 2014年 6月 June Bright 春から夏へ 梅雨時前の輝きの中 fkobe1406.pdf
1. 6月 様相を変えるのに忙しい梅雨時前の息吹き
2. 「利他的精神」について
7. From Kobe 2014年 7月 自民党が猪突猛進「集団自衛権」を今一度考えよう fkobe1407.pdf
8. From Kobe 2014年 8月ひまわりの夏 2014 到来 fkobe1408.pdf
1. 「私雨」「得意傲然」を排して
2. 「NHKスペシャル」『東日本大震災 復興 正念場の夏～“建設バブル”と被災地～ を見て』
9. From Kobe 2014年 9月 夏の終りと秋の始まりが入り混じる神戸で fkobe1409.pdf
1. 災害に備えを自己確認
2. 朝日新聞 ひとえきがたり 三陸鉄道 島越駅
10. From Kobe 2014年 10月 澄み切った青空に 元気に飛び出しましょう !! fkobe1410.pdf
1. 初秋 神戸の観光 walking spot スポット 案内
2. 気持ちがほっとする 京都 東寺の弘法さん これは私だけ??
11. From Kobe 2014年 11月 11月 秋便り 神戸の秋 3つ fkobe1411.pdf
1. 10月8日夜 皆既月食 東の山の上高くに 赤い月
2. 疾走するモーターボートレースの迫りに元気を
3. 秋の夜長 折込んで小さく平坦にできる紙バック その折り目はとでこ??
12. From Kobe 2014年 師走の便り fkobe1412.pdf
最近 都会のヤングママに果実の人氣がなく、消費が落ち込む これも時代か??

震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9
東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる



Stay Young Day!! 今できることを 精一杯

まだまだ早い せくな 老楽 これからよ
好奇心さえあれば…と前向いて

お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう
今 元気にくらしていることを感謝しつつ
お互い元気で 日一日を笑顔ですごせたらと



また、困難の中に居られる方々に エールを!!

病气や介護・老化など幾多の苦難に立ち向かっている
数多くの仲間や東北の人たちへ
いつも 思いをはせています。
「忘れまい 忘れないうで 仲間がいる 暖かい希望の輪が繋がっていることを」

四季折々【14】 2015

- 四季折々 Mutsu 【14】 2015 mutsu2015.pdf
- 神戸で 思いつくまま 【14】 2015 kobe2015.pdf

2015年 四季折々 目次 mutsu2015.pdf

■ 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り【14】 2015 mutsu2015.pdf

四季折々 Monthly page 2015 更新時の top page を集めて収録しています

- 年賀
- 1月
- 2月
- 3月
- 4月
- 5月
- 6月
- 7月
- 8月
- 9月
- 10月
- 11月
- 12月

＜ 1月 新春の便り 2015.1.1. ＞

1. 新春の便り 本年もよろしくお祝いします
2. 1.17 阪神大雪から20年 幸せ運べるよ！
3. 「老いを楽しく生きるために」 ジョージ・カーリンのメッセージ
4. 今月のhome page 更新記事



冬の楽しみはラグビー観戦



迎春 2015

＜ 2月の便り 2015.2.5 ＞

1. 2月の便り 寒さに震える朝 でも春の芽も
2. 2月3日節分 尼崎大覚寺 「福は内 鬼も内」
3. 陶芸 HAZUKI 河口湖店 山口の田中嗣さんが新しい陶芸工房open!
4. 「舟が山を越えてゆく」 長野正孝著 古代史の謎は「海路」で解ける
5. 今月のhome page 更新記事

＜ 弥生3月 神戸春便り 2015.3.5 ＞

1. 弥生3月 春到来 神戸の便り
2. 造船大国復活ニュースに感無量 重厚長大の技術が見直される時代になれば
3. 友人から送っていただいた 世界国の栄枯盛衰図(BC.2000～現在)
4. 今月のhome page 更新記事




＜ 4月 新生の息吹に満ちた神戸の春便り ＞

1. 新生の息吹に満ちた神戸の春便り
2. 4月5日イースターに思いを寄せて
3. 「縄文の赤」で彩色された土偶
4. 何とはなしにうれしい 伊川谷 森本さんのイチゴが香港へ
5. 平成の大修理を終えた姫路城 これぞ白鷺城
6. 今月のhome page 更新記事



今年も春の妖怪カクワの花に出会えました

＜ 5月 新緑の5月草木燃え さあこれから!! と ＞

1. 新緑の5月 神戸の便り
2. 政治の大きなうねりの今 「平和を そして 国を考えよう」
3. 市街地と田園風景が入り混じる 西神戸で「春」
4. 映画「ライアの祈り」
5. 新緑の須磨アルプス 馬ノ背
6. 今月のhome page 更新記事
7. 明治日本の産業革命遺産が 世界遺産登録へ



ツクシジャクナグ 六甲森林植物園 石橋花谷で

＜ 6月の便り ＞ 無理せず 元気に 梅雨を乗り切りましょう

1. 6月 神戸の便り みんな一緒に漕ごう!
2. 70代 パワー全開まだまだ現役 頑張らねば! 政治の大変な辺りの今 「平和を そして国を考えよう」
3. 神戸 春から初夏へ Country Walk
4. 今月のhome page 更新記事
5. 明治日本の産業革命遺産が 世界遺産登録へ



＜ 7月の便り ＞ 梅雨明けが待ち遠しい7月の始まり 無理せず 元気に乗り切りましょう

1. 7月 神戸の便り「半夏生」の時節 梅雨空に映えるアジサイや花苺蒲 霖雨に輝く里山もも 梅雨の一時の晴れ間には 気分もスカッと爽快
2. Country Music 梅雨時の楽しみ
3. ブドウが沢山の房を付け、桔梗の花が咲きました。また、京朝顔やひまわりも すくすくと 着々と夏へ
4. 今月のhome page 更新記事




＜ 8月 ひまわりの夏 ＞ 無理せず 元気に乗り切りましょう

1. 8月ひまわりの夏
2. 夏の高校野球 今年も応援に
3. 明石海峡にやっと輪車を乗せてもらえるフェリーがこの秋就航
4. また、製鉄関係の明治産業遺産が世界遺産登録に 同く 世界遺産登録を目指す日本人の心のふるさと「縄文」のこと
5. 無料インストールが始まったWindows 10
6. 今月のhome page 更新記事



ひまわりの夏 2015

＜ 9月 夏から秋へ ＞ なんとかはく 無気力になっていた夏も もう終わりがんばらねばと……

1. 9月 夏から秋へ 好奇心を奮い立たせて
2. 8月17日 神戸とときめき商品券の行列に加わりました
3. windows 10 標準装備のEdgeでホームページの動画が見られぬ事態に
4. 今年の夏に
5. 今月のhome page 更新記事




＜ 10月 実りの秋を迎えて ＞ 流れる粟も秋 里の田は黄金色に 街路樹も一様に色づき始めました

1. 10月 実りの秋を迎えて 気分もあたら 元気に 山田錦」と並ぶ幻の酒米「麴山」って ご存知でしょうか
2. パスまつり
3. windows 10 標準装備のEdgeでホームページの動画が見られぬ事態に
5. 70代 パワー全開 まだまだ現役 頑張らねば……
6. 今月のhome page 更新記事




＜ 深まりゆく秋 ＞ 小さい秋 戻ってきましたか あっという間に 野山も里も街も 紅葉に

1. 11月 深まりゆく秋 小さい秋 戻ってきましたか
2. 特牛10のこと 久しぶりTVで NHK(Fキッズ)の時間 - 旅演師イカ野人生 -より
3. 秋の夜 「世界を愛した書物展」 2015.11.5.
4. 縄文の如題に眼名向けよう
5. 今月のhome page 更新記事




＜ 2015年 師走 ＞ 歳とともに「師走」という言葉も年々不感になってきましたが、ルミナリエも始まり、神戸の街も師走のムードに クリスマスの装いをした街を多くの人達の華やかな声があふれ、振り返ってみると あっという間の1年

1. 12月 師走 ありがとうをいよいよ 送ります 忘れぬ師走の街 神戸ルミナリエ
2. 神戸ルミナリエの光の中で 縄文の心の暖を見る 世界に類のない1万年の平和で豊かな生活が輝いた日本の「縄文」 日本と世界の縄文遺産を「ユネスコ世界遺産」
3. ラグビー選手の帰郷 あの昔に気分爽快
4. 神戸 生田の森 なぜか消えるせせらぎの河床が黄土色
5. 「鉛字製造所」の看板が神戸の印舎に新風
6. 今月のhome page 更新記事
7. 和歌の道 2015年 一年を振り返って



<p>【From Kobe 2015年1月】</p> <p>1. 2015年1月の便り 年の初めに 2. 今一番気になっている言葉など収録</p>	fkobe1501.pdf
<p>【From Kobe 2015年2月】 寒さに震える朝 でも春の芽も 2月の便り</p> <p>1. <節分の鬼> 鬼にされたたら衆ほか和鉄の道場戦リスト</p> <p>2. 大阪 うどん屋のかぜ薬「うどんや風一夜薬」</p>	fkobe1502.pdf
<p>【From Kobe 2015年3月】 弥生3月 神戸の春便り</p> <p>1. 新聞の紙面作りに疑問符？ 私の新聞感にあわなくなった</p> <p>2. 造船大国復活のうれしいニュース</p>	fkobe1503.pdf
<p>【From Kobe 2015年4月】 4月 新生の息吹 元気に 神戸の便り</p> <p>1. 4月5日 イースター・復活日に寄せて 今頃に浮かぶこと</p> <p>2. 無騒音・無振動杭打ち工法の新たな進展・開港にびっくり</p> <p>TV番組「夢の扉+」3月22日 杭打ち革命</p>	fkobe1504.pdf
<p>【From Kobe 2015年5月】 新緑の五月 真っ青な空を 胸いっぱい吸い込んで</p> <p>1. 真っ青な空を 胸いっぱい吸い込んで</p> <p>2. 最近流布される情報や政権のアナウスマントに違和感と疎外感</p> <p>自分には一番納得できた 最近の新聞記事の紹介</p>	fkobe1505.pdf
<p>【From Kobe 2015年6月】 梅雨前というのに 真夏のような暑さ 無理せず 元気に</p> <p>1. 橋本大阪市長大阪都構想にノーを突きつけた70代のノワー まだまだ現役</p> <p>2. 神戸 好奇心いっぱい さわやかな時節を楽しむ</p> <p>3. 企業に責任を問えない日本 新聞でこんなことを知りました</p>	fkobe1506.pdf
<p>【From Kobe 2015年7月】 「半夏生」梅雨の末期 大雨の警戒を忘れずに</p> <p>1. 7月2日は 歳時記の「半夏生」梅雨の末期 大雨の警戒を忘れずに</p> <p>2. 八戸市民が世界へ青森・八戸の縄文を発信する 市民映画「ライアの祈り」</p>	fkobe1507.pdf
<p>【From Kobe 2015年8月】 ひまわりの夏 2015</p> <p>1. ひまわりの夏 2015</p> <p>2. 戦争に道を開く安全保障法案が 国民的課題に 国の大きな転換点</p> <p>今 声を上げねば！！ 平和を今 自分の顔で考えよう</p>	fkobe1508.pdf
<p>【From Kobe 2015年9月】 <9月 夏から秋へ></p> <p>1. もう 待たなし！！ 要ロードマップ そんな時代が迫っている</p> <p>地球温暖化防止から改善へ 放散ガスの固定化技術展開</p>	fkobe1509.pdf
<p>【From Kobe 2015年10月】 10月 爽りの秋を迎えて 一機に気持ちにも変化が・・・</p> <p>1. 10月 爽りの秋に 秋晴れの空 戸外へ</p> <p>2. ワールドカップ2015 【日本34-32南アフリカ】 世界ランキング3位の南ア破る快挙 凄い</p> <p>3. 神戸新聞「随想」欄に掲載された 金野幸雄氏の意見「この国の未来」ご紹介</p>	fkobe1510.pdf
<p>【From Kobe 2015年11月】 2015年秋便り</p> <p>1. 2015年秋便り 2. 久しぶりに海外 台北の街へ</p> <p>3. 山口県西長門 懐かしい 特牛の港のこと</p> <p>4. またぞろ起きたモノづくり現場の偽装問題 この中に潜む日本の体質</p>	fkobe1511.pdf
<p>【From Kobe 2015年12月】 2015年 師走の便り <格差を縮める社会の実現を></p> <p>1. 2015年 師走の便り クリスマス & ルミナリエに思う</p> <p>2. 沖縄の思いに耳を傾けよう 東京・一極集中の弊害が露骨に 沖縄普天間基地移設に関する沖縄県と国との法廷闘争</p> <p>3. シリコンバレーに見るすさまじい格差社会の現実</p>	fkobe1512.pdf

2016年 四季折々 目次

[mutsu2016.pdf](#)

- 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り 【15】 2016 [mutsu2016.pdf](#)
- 神戸で 思いつくまま From Kobe 【15】 2016 [kobe2016.pdf](#)

■ 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り 【15】 2016 [mutsu2015.pdf](#)

■ 四季折々 Monthly page 2016 更新時のhome page の top pageを集めて収録しています

年賀 1月 2月 3月 4月 5月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

1月 年の初め 迎春の便り

1. 2016年 年の初め 迎春の便り
2. 絶やすまい 忘れまい 1995.1.17 の記憶
3. <<三猿>>と<<新三猿>>
4. 賀状にあふれる仲間の顔
5. 天王山の山腹 山崎聖天さんの石段
6. 今月の home page 更新記事

2月「如月」の便り 春が待ち遠しい

1. 春が待ち遠しい 2月「如月」の便り
2. 節分 追儺式 そして「鬼」の話
3. なにか ほっこりする話は?
◆ネズミに見えるジャガイモ
◆バレンタインのハートの花の環
4. 今 淡路島が面白い 淡路島に前方後円墳????
5. 今月の home page 更新記事

弥生3月 春便り どこかで春が生まれてる

1. 弥生3月 春便り どこかで春が生まれてる
2. 東播磨の溜池にこんなものが設置されていた
3. 3.17東日本大震災 被災した人達を忘れずに
4. 東大寺のお水取りと若狭遠敷の里の水送りの行事
アテルイと坂上田村麻呂交流の痕跡を知る
5. 今月の home page 更新記事

4月春爛漫 春便り 出会いと出発へ日々新らた

1. 春爛漫 4月春便り 出会いと出発へ日々新らた
2. 満開の花をつけた枝を精一杯大空に掲げる一本桜
人それぞれに思い出がある
3. 神戸の話題 イカナゴの「夏眠」と幻の神戸石炭
4. 春の陽気に誘われて 好奇心一杯で
久しぶりに見る狂言・大阪散歩・淀川背割りの堤
5. 今月の home page 更新記事

7月の便り 待ち遠しい 梅雨明け

1. 梅雨明けが待ち遠しい7月の便り
6月23日「命は宝 沖縄慰霊の日」
沖縄の現実を我が身に
2. 本年の須磨離宮のバラ
春の終わりを飾るローズフェスティバル2016
3. 淀川の源流はどこ?
4. 鉄の惑星 地球の壮大な営み
「豊かな森に包まれた山の『鉄』が豊かな海をは育む」
5. 今月の home page 更新記事

8月 ひまわりの夏 2016 の 便り

1. 8月 ひまわりの夏 2016
2. 自らと向き合って
平和の危機「憲法九条を守ろう」
3. 高校野球の観戦とともに夏が来た
郷土の「市尼」 甲子園出場 おめでとう
4. 京都半日会 京朝顔展
5. 今年もハオハブの木が花をつけた
6. 今月の home page 更新記事

9月 初秋の便り

1. 初秋の便り
2. 夏の甲子園へ 今年も孫と
3. 格安スマホで LINE に挑戦
4. 新名神高速道路建設が着々と
5. 今月の home page 更新記事

10月 秋便り 身も心も弾む里の秋

1. 10月 秋便り
里の秋 胸膨らませ、今を元気にと
2. マンドリン オーケストラ
3. 飛行機雲
4. 孫の運動会
5. 今月の home page 更新記事

11月 深まりゆく秋の秋桜便り

1. 11月秋 秋桜便り
2. 故郷「尼崎市制100年」
仲間が描く「尼崎風景」が記念切手に
3. 小野アルプス「紅山」 南稜岩尾根のスロープ
4. スマホの緊急地震警報音 はじめて鳴ってびっくり
5. 人恋しい秋 秋の夜長 色々思い浮かべて
6. 今月の home page 更新記事

12月 Merry Christmas!! 2016年師走

1. 2016年 Merry Christmas!! 12月 師走
2. 2016年和鉄の道を振り返って
3. 師走の紅葉 こんな紅葉が見られました
4. 今月の home page 更新記事

■ 神戸で 思いつくまま *From Kobe* 【15】 2016 kobe2016.pdf

- 【From Kobe 2016年1月 迎春】 fkobe1601.pdf
1. 2016年 年の初めに 溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光り「肌光」
 2. <縄文の心> 一万年も平和な生活が続いた 「縄文」のエンジンは「他人を思いやる心」
- 【From Kobe 2016年2月 如月】 fkobe1602.pdf
1. 春が待ち遠しい如月の便り
 2. 阪神淡路大震災の記憶 「風化させてはいけない記憶とはなんなのだろうか？」
- 【From Kobe 2016年3月】 fkobe1603.pdf
1. どこかで春が生まれてる 弥生3月の便り
 - ◆ 弥生3月 雌岡山・神出の里の田園地で見つけた春
 - ◆ 原発再稼働トラブルに見る日本人気質
 - ◆ 播磨地域に広がる溜池群を利用したメガソーラー発電所の建設
- 【From Kobe 2016年4月 春爛漫】 fkobe1604.pdf
1. 春爛漫 4月の便り 新しい出会いと出発へ 日々あらた 元気に今を
 2. 神戸の春
 - ◆ 毎春の恵み イカナゴ漁と牡蠣の水揚げ また「イカナゴの夏眠」
 - ◆ わが町 妙法寺「車」周辺の谷筋は 幕末期神戸開港を支えた神戸石炭の大生産地
 3. この四月 TV ニュース番組の芸能番組化 また おかしかった朝日新聞の紙面構成の変化
- 【From Kobe 2016年5月 新緑】 fkobe1605.pdf
1. 新緑 5月の便り 野も山も里も草木燃え 輝きの一瞬 戸外へ出て元気に
 2. 緑色にはどれほど種類があるのだろうか 知らなかった緑色にびっくり
 3. 神戸三宮・元町「高架下」商店街が高架の耐震補強で存続の危機に!!
- 【From Kobe 2016年7月 happy rainy days!!】 fkobe1607.pdf
1. 7月初旬の便り happy rainy days!!
 2. NHK BS 英雄たちの選択
征夷大將軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」評価討論から見えてくること
 3. 合成の誤謬」と今の世相 インターネットで見つけた「合成の誤謬」の評論を見つけて
- 【From Kobe 2016年8月 ひまわりの夏】 fkobe1608.pdf
1. ひまわりの夏 2016の便り 8月 自らと向き合って 平和の危機「憲法九条を守ろう」
 2. 法政大学総長田中優子氏「国民投票に備える 改憲論議 事実知る努力を」
神戸新聞 2016.8.1. 朝刊記事「識者の視点」のご紹介
- 【From Kobe 2016年9月 初秋】 fkobe1609.pdf
1. 9月 初秋の便り 青空を吹きわたる爽やかな風に気分も新た
 2. 地球の気象異変をわが身のものとして 考えよう!!
- 【From Kobe 2016年10月 里の秋】 fkobe1610.pdf
1. 10月 里の秋の便り 胸膨らませ、今を元気にと
- 【From Kobe 2016年11月 秋桜の秋】 fkobe1611.pdf
1. 秋桜便り 11月 秋桜便り 道端のコスモスにふっと顔を寄せる
 2. 神戸港で 深海調査船「しんかい6500」とその 母船「横須賀」一般公開
- 【From Kobe 2016年12月 Merry Christmas !! 2016 師走】 fkobe1612.pdf
1. 12月 Merry Christmas !! 2016 師走の便り
 2. この世界の片隅で 久しぶりに映画「この世界の片隅に」を見て